

東名厚木病院 年報

第30号(2024)



Heart
Happiness
Health
Humanity
Hospitality



2025年10月

社会医療法人社団 三思会

年報発刊にあたって



年報30号をお届けします。当法人の2024年度の事業報告です。

本邦の医療費は有に40兆円を超え、医療経済はますます厳しい時代となりました。来年度(2026年度)から新たに発動する中期5か年計画のスローガンは「サステナブルな三思会であるために」という言葉です。創設以来の柱である「地域医療」、「地域の方たちの命と健康を守る」「地域における保健・医療・介護・福祉の提供」に責任をもって対応し続ける。そしてそれらをしっかり担保できる強い経営力を持つ。すでに来年度を待たずして動き出しています。

様々に社会環境が変わる中、旧態依然とした安全安心を求めるのではなく、これからの時代にしっかりとリーダーシップを発揮できるよう変わっていきたいと思います。皆さんと共に。

病院の理念である①地域に信頼される病院、②患者に愛される病院、③誇りと責任を持てる病院。

法人の理念である①社会に貢献する法人、②信頼される法人、③誇りと責任を持てる法人。

我々は組織の礎であるこれらの思いのもとにこれらの改革を継続してまいります。

この年報を通してこの1年の当法人の活動を知っていただきたいと思います。

今後とも皆様よりのご指導ご鞭撻を賜りますことをお願いし、挨拶とさせていただきます。

2025年10月1日

三思会

理事長 野村 直樹

年報第30号発刊によせて



昨年2024年は、診療報酬改定、医師の働き方改革など、医療界全体においての大きなイベントがありました。当院においても、ダビンチを用いたロボット支援手術の開始、そしてO-armシステムを用いた脊椎領域の手術の開始という2つの大きなイベントがありました。そして術者にもトップクラスのスペシャリストを招き、ロボット手術センターと脊椎センターを立ち上げることができました。まさに2大改革であり、当院にとっての大きな発展であったと思われます。その反面、物価高騰、光熱費の増加などに比例しない現在の診療報酬体制は、経営面だけではなく、今後の医療界を維持できるかどうかに関わっており、当院にとっても大きな途上問題として残っています。しかし、どのような状況においても、地域医療支援病院、神奈川県がん診療連携指定病院という立場を守り、今後も当院は急性期医療とがん治療を両輪に、さらに精進していく所存です。

この年報は、各部署の1年間の具体的な活動内容や実績等をまとめ、毎年報告させていただいているものです。当院の各部署の現状等がよくわかる内容になっていますので、時間のある時には是非ご一読していただき、御評価や御批判をいただければ幸いです。

2025年10月1日

東名厚木病院 病院長
北野 義和



東名厚木病院・透析センター



介護老人保健施設さつきの里あつぎ



サービス付き高齢者向け住宅マザーホーム戸室 看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」多機能型事務所「にじいろ」 訪問看護ステーション もみじ



訪問看護ステーションさつき
東名厚木病院居宅介護支援センター



介護老人保健施設なでしこの里リハビリひらつか



厚木市南毛利地域包括支援センター



新横浜メディカルサテライト



東名厚木メディカルサテライトクリニック



愛川クリニック



Yangon Japan Medical Centre



とうめい厚木クリニック



とうめい綾瀬腎クリニック



とうめい宮の里クリニック

目 次

年報発刊にあたって

理事長 野村 直樹

年報第 30 号発行によせて

東名厚木病院 病院長 北野 義和

I 三思会の現況

社会医療法人社団三思会の沿革	3
三思会概要及び組織・施設	7
法人組織執行体制・法人本部機構	10
三思会グループ職員数報告	11
病院の位置と案内	16

II 病院の現況

東名厚木病院の概要	18
東名厚木病院 職制組織図	24
委託業務及び保守契約	25
主要機器	26
年間行事	27

III 統計

部門別月間医療活動データ	29
その他（各部署・委員会）データ	36

IV 診療部門

医務部 各科医師紹介	44
各科診療現況	60
臨床研修部	82
救急部	84
ICU	85
内視鏡センター	86
化学療法センター	87
放射線治療センター	88
ロボット手術センター	90
手術室・中央材料室	92

V 看護部門

看護部	93
摂食嚥下療法科	100

VI 診療協力・技術部門

臨床検査科	101
薬剤科	104
リハビリテーション科	107
放射線技術科	109

栄養科	112
臨床工学科	114

VII 事務・管理部門

総務課	116
医事課	117
地域連携部	118
患者総合支援センター	120
診療情報管理室	122
医師事務支援室	123
医療安全管理室	124
院内感染対策室	126

VIII 各種委員会

院内定例会議及び委員会・医療チーム	128
-------------------	-----

IX 外部発表（学会・研修会等）

医務部	151
看護部	168
その他	169

X 福利厚生

サークル活動	172
--------	-----

XI 関連施設

介護老人保健施設さつきの里あつぎ	177
厚木市南毛利地域包括支援センター	180
東名厚木病院居宅介護支援センター	181
訪問看護ステーションさつき	184
サービス付き高齢者向け住宅 マザーホーム戸室	186
看護小規模多機能型居宅介護事業 いわしぐも	187
多機能型事業所にじいろ	189
訪問看護ステーションもみじ	191
介護老人保健施設なでしこの里リハビリひらつか	193
東名厚木メディカルサテライトクリニック	197
新横浜メディカルサテライト	200
Yangon Japan Medical Centre	201
透析センター	203
愛川クリニック	204
とうめい綾瀬腎クリニック	205
とうめい厚木クリニック	206
とうめい宮の里クリニック	211

編集後記	212
------	-----

社会医療法人社団 三思会の沿革

病院の開設趣旨

社会医療法人社団三思会は、1981年に東名厚木病院を母体として設立されました。東名厚木病院の開設趣旨は、①地域住民のだれにでもいつでも一定レベルの医療を提供すること ②24時間・365日の救急医療体制を整備すること ③医療を通して「地域住民の健康を創り、守ること」を、病院内はもとより地域に出て自ら実践し、また関連他施設等とも連携するというものです。その理念としては、①社会に貢献する法人 ②信頼される法人 ③誇りと責任を持てる法人 を掲げています。現在は地域支援病院としての地域救急医療と神奈川県がん診療連携指定病院としてのがん治療に力を注いでいます。

社会医療法人化

東名厚木病院は、開院から3年後の1984年に医療法人格を取得し、1999年特定医療法人となり、さらに救急医療等公益性の高い医療実績と事業運営の公的条件を満たす社会医療法人制度が開始され、2009年4月1日付で社会医療法人社団三思会と認定され、神奈川県知事認可第1号となりました。

東名厚木病院の歩み

1981年、東名厚木病院は1号館60床で開院し、1982年には100床に増床、さらに1987年、2号館を開設し202床と大幅に増床しました。2001年、3号館を建設し、併設している透析センターを30床から60床に増やしました。2002年、とうめい厚木クリニックを開設し外来部門を分離し、さらに同年電子カルテシステムを導入しました。2003年、ICUが施設認定され、209床に増床しました。2009年、58床増床し、許可病床を267床としました。2017年、東名厚木病院4号館を新設し、救急部門、放射線部門、手術・ICU部門を強化しました。さらに内視鏡センターと化学療法センターを開設し、外来部門の機能を集約しました。また同年、新電子カルテシステムを導入しました。2017年から2号館を改装し、緩和ケア病床と地域包括ケア病床を開設しました。2018年6月、地域包括ケア病床を60床に増床し、現在許可病床数は282床となっています。がん治療を進めるうえで、今後緩和ケア病床を7床増床の予定です。念願であった自前での病理検査を2023年4月より病理医師の赴任を機に新設いたしました。また、2023年12月ダビンチXiを導入し、2024年4月よりロボット手術センターを開設し、ダビンチ手術を開始しています。さらに術中イメージングシステム0アームを導入し、

脊椎センターを設立し、脊椎手術を 2024 年 11 月より開始しています。また、皆様に食事を提供する厨房を 2024 年秋口に刷新し、職員食堂も新しく併設致しました。

地域と共に進化する東名厚木病院

地域医療を活性化するためには、近隣の医療機関の皆様との連携が最も重要と考え、登録医制度を推進しています。地域連携部を中心とし、登録医療機関の皆様との相互紹介や高度医療機器の共同利用をすすめ、開放病床の制度を設けています。2024 年 3 月現在 235 施設（253 名）の医療機関にご協力を頂いています。登録医療機関の皆様の協力を得て、症例・事例発表会等を開催し、これらの活動が実り、2011 年、地域医療支援病院として認定されました。その後は登録医の皆様との交流の場として、年 1 回の地域連携フォーラムを継続開催しており 2024 年度まで 6 回を数えました。（2020 年以降はコロナ禍にて休止とし、2023 年度から再開しています）今後も地域医療推進のため開催を予定しています。

1998 年、日本医療機能評価機構の病院機能評価において県下で初めて外部評価の認定を受けました。5 年毎の更新を重ね、2025 年に 6 回目の認定を頂いています。研修医教育にも力を入れ、2019 年には卒後臨床研修評価機構（JCEP）より認定され、2023 年度に更新も行いました。2020 年に、これまでのがん治療への取組みと実績が評価され、神奈川県県央地区における医療法人病院として初めての神奈川県がん診療連携指定病院の指定を受けました。

人材の育成・教育

人材の育成・教育は非常に重要です。2004 年、医師臨床研修制度が始まると同時に、臨床研修病院の指定を受け、臨床研修医の受け入れを積極的に行ってきました。現在 1 学年 6 名の前期臨床研修医が在籍しています。また後期研修医の受入れも行い、新専門医制度のもと内科、総合診療科の後期専攻医の受入れを行っています。また、看護師、薬剤師、理学療法士等の実習指定病院となっており、学生の教育にも貢献しています。地域の介護人材の育成にも力を入れており、介護職員初任者研修を法人で実施しています。救急医療においては、湘南地区メディカルコントロール協議会の主メンバーとして、湘南地区救急隊員の病院実習の場となっており、医療従事者の養成に協力しています。2024 年度から医師の働き方改革にはタスクシフトを配慮し積極的に取り組んでいます。2025 年 4 月からは看護職キャリアセンターを設立し、看護職のキャリア支援を開始しています。

介護・福祉事業と地域包括ケアシステム推進

1993 年、厚木市委託事業である東名厚木病院在宅介護支援センターを開設（病院併設は県内初）し、2006 年、厚木市南毛利地域包括支援センターに継承しました。1995 年、訪問看護ステーションさつきが厚木市第 1 号として開設されました。1997 年、介護老人保健施設さつきの里あつぎは、厚木市第 1 号施設として開設し、入所サービスおよびデイケアを開設しました。介護保険制度の開始に伴い、1999 年には訪問看護ステーションもみじ（法人 2 施設目）と東名厚木病院居宅介護支援センターを開設しました。同センターは 2007 年神奈川県第 1 号の特定事業所を取得していま

す。関連施設として、2012 年、厚木市戸室に社会福祉法人康仁会・特別養護老人ホーム・はなの家とむろを設立。106 床の入所施設と 20 名の通所介護事業を開始しました。2016 年、サービス付き高齢者向け住宅・マザーホーム戸室を開設しました。同施設内には訪問看護ステーションもみじ、多機能型事業所にじいろ、看護小規模多機能型居宅介護事業いわしぐもを併設しています。にじいろでは 2022 年 1 月から居宅訪問型児童発達支援の事業を開始致しました（県央地区第 1 号施設）。2019 年、法人 2 施設目となる介護老人保健施設なでしこの里リハビリひらつか（入所定員 100 名）を開設しました。

健診事業

1984 年から開始した病院での健診事業は、1992 年に東名厚木メディカルサテライト（TAMS）を新設し移行致しました。2005 年、人間ドック学会の機能評価で認定されました。2008 年全面改装を実施し、サービス向上を図り、さらに 2013 年、MRI を導入しました。利用して頂いた方からも好評で、リピーターも多数いらっしゃいます。また、2015 年新横浜に新横浜メディカルサテライト（SYMS）を開設し、都市部での健診事業も好調で、2024 年 5 月には、床面積を倍増し沢山の皆様にご利用して頂いております。

透析事業

1986 年、病院内に人工透析部門を設置し、施設を拡充しつつ、透析センターとして現在に至っています。2013 年、愛川町初の透析及び内科診療を行う愛川クリニックを開設し、2015 年、小児科を併設しました。2017 年、とうめい綾瀬腎クリニックとして綾瀬市で初めて透析医療を中心としたクリニックを開設し、地元の支援を頂いています。2022 年度より病院透析センターを透析事業に編成しました。さらに、医療提供を行えるマンションに併設し、外来、透析、リハビリが可能な透析クリニック、とうめい栄町クリニックを 2025 年 4 月開院しました。またさらに、透析事業のみならず、高度先進医療もみすえて 2025 年 4 月、慢性腎臓病総合医療センターを設立いたしました。

外来事業

2002 年、病院から外来部門を独立させ、総合外来クリニックとしてとうめい厚木クリニックを開設しました。2007 年、病院隣接地に移転し、東名厚木病院の外来担当として多くの地域の医療機関よりご紹介を頂いています。また地域のがん検診などの検診業務も力を入れています。2020 年には自動受付機、自動精算機を導入し、スムーズな会計で利便性にも配慮し、またコロナ禍における非接触活動にも貢献しています。また ICT を駆使し、WEB での診療予約も開始しました。

また厚木市北部の皆様の御要望にお応えして、とうめい宮の里クリニックを 2022 年 11 月 1 日に開院致しました。

海外事業 ミャンマーへの地域貢献

2013 年、法人中期方針によるアジアへの医療貢献として、JICA 採択案件の「人間ドック等予

防医療普及促進事業」が承認され、2014 年より同事業にて東南アジアのミャンマーにて現地及び国内活動を実施しました。2016 年、ミャンマーにて健診クリニックの開設を申請し、2017 年、日本の医療法人として初となるミャンマー投資委員会（MIC）からの開設認可を取得しました。それを受けて 2019 年、ヤンゴン市に Yangon Japan Medical Centre（YJMC）を開設し、健康診断、外来診療サービスを開始しました。2021 年 2 月にクーデターにより一時業務を休止していましたが、安全に配慮して 2022 年 7 月に再開しております。ミャンマー進出企業からの信頼も厚く、健診業務を行っています。

法人体制

2017 年、三思会社員総会・理事会・評議委員会承認の下、初代理事長中 佳一が会長就任となり、野村 直樹が理事長職に就きました。

また、2024 年秋の叙勲において、中 佳一会長が長年にわたる地域医療への貢献により、瑞宝双光章を受章しました。

現在、野村 直樹理事長のもと創設以来の理念・方針を継承し、地域貢献に推進する所存です。

（文責 三思会本部長・常務理事 日野 浩司）

三思会概要及び組織・施設

三思会の概要

(1) 社会医療法人社団 三思会の目的及び業務

本社は、病院、診療所及び介護老人保健施設を経営し、科学的でかつ適正な医療及び要介護者に対する看護、医学的管理下の介護及び必要な医療等を普及することを目的とする。

(2) 役員等 [2025 年 6 月現在]

理 事 長	野村 直樹	理 事	田村 博之	理 事	久木田 光司
常 務 理 事	日野 浩司	〃	河野 昌史	非常勤理事	半沢 浩
理 事	山下 巖	〃	北野 義和	〃	小島 正寿
〃	桐山 誠一	〃	中野 敦史	監 事	安村 寛
〃	中 正剛	〃	入澤 彰仁	〃	井上 信雄
〃	中川 望	〃	江原 正恭		

評 価 委 員	遠藤 成一	中馬 統一郎	山本 忠則
	笹生 正人	福原 隆裕	見上 知司
	高橋 徹也	森田 静江	

(3) 成 立

(医療法人認可)

1984 年 (昭和 59) 年 9 月 1 日

(特定医療法人認可)

2000 年 (平成 12 年) 3 月 28 日

(社会医療法人認可)

2009 年 (平成 21 年) 4 月 1 日

(4) 事業施設 [2025 年 6 月現在]

- 1) 東名厚木病院（開設 1981 年（昭和 56 年）6 月 1 日）
所在地 神奈川県厚木市船子 232 番地
院 長 北野 義和
- 2) 訪問看護ステーションさつき（開設 1995 年（平成 7 年）4 月 7 日）
所在地 神奈川県厚木市船子 322 番地 1
所 長 田中 和子
- 3) 介護老人保健施設さつきの里あつぎ（開設 1997 年（平成 9 年）9 月 1 日）
所在地 神奈川県厚木市船子 322 番地 1
施設長 入澤 彰仁
- 4) 訪問看護ステーションもみじ（開設 1999 年（平成 11 年）3 月 16 日）
所在地 厚木市戸室 1 丁目 29 番 1 号
所 長 今堀 亜紀
- 5) 東名厚木病院居宅介護支援センター（指定 1999 年（平成 11 年）8 月 2 日）
所在地 神奈川県厚木市船子 322 番地 1
センター長 三橋 悟
- 6) とうめい厚木クリニック（開設 2002 年（平成 14 年）2 月 25 日）
所在地 神奈川県厚木市船子 237 番地
院 長 河野 昌史
- 7) 厚木市南毛利地域包括支援センター（開設 2006 年（平成 18 年）4 月 1 日）
所在地 神奈川県厚木市温水西 2 丁目 1405 番地の 1
カーネーションパーク 1 階
センター長 石綿 祐樹
- 8) 東名厚木メディカルサテライトクリニック（開設 2008 年（平成 20 年）9 月 1 日）
所在地 神奈川県厚木市船子 224 番地
院 長 田中 浩史
- 9) 愛川クリニック（開設 2013 年（平成 25 年）1 月 7 日）
所在地 神奈川県愛甲郡愛川町中津 2035 番 1
院 長 村本 将俊
- 10) 新横浜メディカルサテライト（開設 2015 年（平成 27 年）12 月 11 日）
所在地 神奈川県横浜市港北区新横浜 2 丁目 5 番 11 金子第一ビル 4 階
院 長 荒井 肇

11) サービス付き高齢者向け住宅マザーホーム戸室（開設 2016 年（平成 28 年）4 月 1 日）

所在地 厚木市戸室 1 丁目 29 番 1 号

管理者 石綿 祐樹

12) 看護小規模多機能型居宅介護事業いわしぐも（開設 2016 年（平成 28 年）4 月 1 日）

所在地 厚木市戸室 1 丁目 29 番 1 号

管理者 徳原 春香

13) 多機能型事業所にじいろ（開設 2016 年（平成 28 年）4 月 1 日）

所在地 厚木市戸室 1 丁目 29 番 1 号

管理者 兼子 健

14) とうめい綾瀬腎クリニック（開設 2017 年（平成 29 年）3 月 1 日）

所在地 神奈川県綾瀬市深谷中 1 丁目 8 番 20 号

院 長 寺田 典生

15) 介護老人保健施設なでしこの里リハビリひらつか（開設 2019 年（平成 31 年）1 月 4 日）

所在地 神奈川県平塚市東八幡 4 丁目 19 番 3 号

施設長 桐山 誠一

16) Yangon Japan Medical Centre（開設 2019 年（平成 31 年）2 月 1 日）

(Nippon Sanshikai Medical Services Center Co., Ltd.)

所在地 No.168/A, Dhama Zedi road, Shwegonedaing ward, Bahan township,
Yangon, Myanmar

社 長 松田 俊夫

施設長 U Aung Kyaw Myint

17) とうめい宮の里クリニック（開設 2022 年（令和 4 年）11 月 1 日）

所在地 厚木市宮の里 1 丁目 2 番地 9 号

院 長 中野 敦史

18) とうめい栄町クリニック（開設 2025 年（令和 7 年）4 月 1 日）

所在地 厚木市栄町 2 丁目 3 番 13 号 ParkBear 本厚木 1F・2F

院 長 田村 博之

(5) 関連施設

1) 社会福祉法人康仁会 特別養護老人ホーム はなの家とむろ

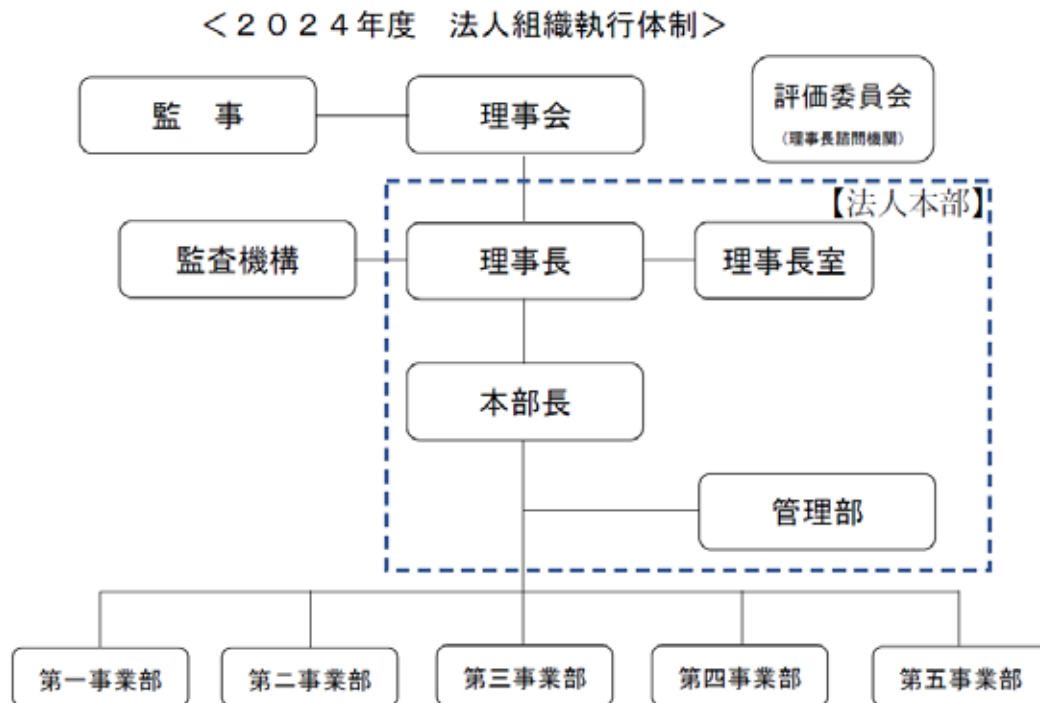
(開設 2012 年（平成 24 年）1 月 4 日)

所在地 神奈川県厚木市戸室 5 丁目 9 番 15 号

理事長 川崎 智隆

施設長 北島 揚子

法人組織執行体制



法人本部機構

１．理事長室

法人の経営責任者である理事長を直接補佐する業務と、法人の経営状況を分析しつつ将来方向を考え提言する業務を担当しています。

２．監査機構

理事長直轄組織として、法人各施設が質の高い保健・医療・介護・福祉サービスを維持する上で阻害する要因をとらえ、対処策を講ずるセクションであります。通称ケアセクションと呼んでいます。各施設にケアセクション委員を委嘱するとともに、直接ないしはケアセクション意見箱、メール等を通し、職員の意見、クレームを徴収し、機構責任者が理事長に報告しています。

３．法人本部

法人各事業の円滑な運営を期し、理事長のもとに法人本部を設置し、医療・診療・保健、看護、地域包括ケア推進及び管理に関する各業務を分掌しています。

三思会グループ職員数報告

2025 年 3 月 1 日現在

事業所	部署	職種別		常勤	非常勤		
					非常勤数	常勤換算	
東名厚木病院	診療部		医師（後期研修医含む）	57	51	26.4	83.4
		研修医 内訳	* 研修医 前期1年目	6	0	0.0	6.0
			* 研修医 前期2年目	6	0	0.0	6.0
			合計	57	51	26.4	83.4
	看護部		看護部長	1	0	0.0	1.0
			副看護部長	2	0	0.0	2.0
			看護師	265	7	4.7	269.7
			准看護師	6	1	0.3	6.3
			看護助手(ケアワーカー)	49	4	2.4	51.4
			歯科衛生士	4	0	0.0	4.0
			事務	2	0	0.0	2.0
			合計	329	12	7.4	336.4
	診療技術部・診療協力部	薬 剤	薬剤師	18	3	1.8	19.8
			メディカルクラーク	5	0	0.0	5.0
		臨床検査	臨床検査技師	14	1	0.1	14.1
			放射線 技術	診療放射線技師	16	0	0.0
				事務	0	1	1.0
		リ ハ	理学療法士	17	0	0.0	17.0
			作業療法士	5	0	0.0	5.0
			言語聴覚士	3	0	0.0	3.0
			助手	0	0	0.0	0.0
		栄養	管理栄養士	5	1	0.7	5.7
		臨床工学	臨床工学技士	9	0	0.0	9.0
			合計	92	6	3.6	95.6
		放射線治療品質管理室		医学物理士	1	0	0.0
	事務部		事務長	1	0	0.0	1.0
		総務	事務（うち医師事務1名）	8	2	0.8	8.8
		医事	事務	18	5	3.8	21.8
	診療支援部	診療情報	診療情報管理士	4	0	0.0	4.0
			事務	0	1	0.6	0.6
		医師事務	医師事務作業補助	7	1	0.8	7.8
			合計	38	9	6.0	44.0
	医療福祉相談室		社会福祉士(MSW)	8	0	0.0	8.0
	医療安全管理室		課長(看護師)	看護部に含む			
	院内感染対策室		課長(看護師)	看護部に含む			
		第一事業部合計	525	78	43.4	568.4	

事業所	職種別	常勤	非常勤		合計
			非常勤数	常勤換算	
介護老人保健施設 さつきの里あつぎ	医師	1	0	0.0	1.0
	保健師	0	0	0.0	0.0
	看護師(看護顧問含む)	12	6	3.1	15.1
	准看護師	3	0	0.0	3.0
	歯科衛生士	0	1	0.1	0.1
	社会福祉士(MSW)	3	0	0.0	3.0
	介護福祉士	41	0	0.0	41.0
	介護職	3	5	1.9	4.9
	管理栄養士	1	0	0.0	1.0
	介護支援専門員	2	1	0.1	2.1
	理学療法士	8	1	0.5	8.5
	作業療法士	3	0	0.0	3.0
	言語聴覚士	0	0	0.0	0.0
	リハビリテーション科補助	0	1	0.7	0.7
	薬剤師	0	0	0.0	0.0
	事務	4	6	3.4	7.4
	合計	81	21	9.8	90.8
介護老人保健施設 なでしこの里リハビリ ひらつか	医師	1	0	0.0	1.0
	社会福祉士(MSW)	1	0	0.0	1.0
	看護師	10	3	1.8	11.8
	准看護師	1	3	1.9	2.9
	介護福祉士	38	5	4.3	42.3
	介護職	2	1	0.8	2.8
	管理栄養士	1	0	0.0	1.0
	介護支援専門員	6	0	0.0	6.0
	理学療法士	5	0	0.0	5.0
	作業療法士	3	0	0.0	3.0
	言語聴覚士	0	1	0.8	0.8
	薬剤師	0	1	0.4	0.4
	事務	4	5	3.9	7.9
	合計	72	19	13.9	85.9

事業所	職種別	常勤	非常勤		合計
			非常勤数	常勤換算	
東名厚木病院 居宅介護支援 センター	社会福祉士(MSW)	0	0	0.0	0.0
	看護師	0	0	0.0	0.0
	准看護師	0	0	0.0	0.0
	介護福祉士	0	0	0.0	0.0
	介護支援専門員	10	0	0.0	10.0
	事務	1	0	0.0	1.0
	合計	11	0	0.0	11.0
厚木市南毛利 地域包括支援 センター	社会福祉士(MSW)	1	1	0.4	1.4
	看護師	2	0	0.0	2.0
	介護支援専門員	3	0	0.0	3.0
	主任介護支援専門員	1	0	0.0	1.0
	事務	0	1	0.8	0.8
	合計	7	2	1.2	8.2
訪問看護ステーション さつき	看護師	8	2	1.4	9.4
	准看護師	0	0	0.0	0.0
	事務	1	0	0.0	1.0
	理学療法士	3	0	0.0	3.0
	合計	12	2	1.4	13.4
訪問看護ステーション もみじ	看護師	9	2	1.4	10.4
	准看護師	0	0	0.0	0.0
	事務	0	0	0.0	0.0
	理学療法士	2	1	0.6	2.6
	作業療法士	0	1	0.6	0.6
	合計	11	4	2.6	13.6
多機能型事業所 にじいろ	看護師	1	0	0.0	1.0
	介護福祉士	0	0	0.0	0.0
	理学療法士	1	0	0.0	1.0
	保育士	2	1	0.3	2.3
	事務職	0	1	0.5	0.5
	合計	4	2	0.8	4.8
看護小規模多機能型 居宅介護事業 いわしぐも	看護師	3	0	0.0	3.0
	准看護師	0	0	0.0	0.0
	介護福祉士	13	0	0.0	13.0
	介護職	0	1	0.8	0.8
	事務(運転手、調理担当)	0	3	0.9	0.9
	合計	16	4	1.7	17.7
サービス付き高齢者 向け住宅 マザーホーム戸室	事務(施設長補佐を含む)	5	1	1.0	6.0
	合計	5	1	1.0	6.0
	合計	66	15	8.7	74.7
第二事業部合計		219	55	32.4	251.4

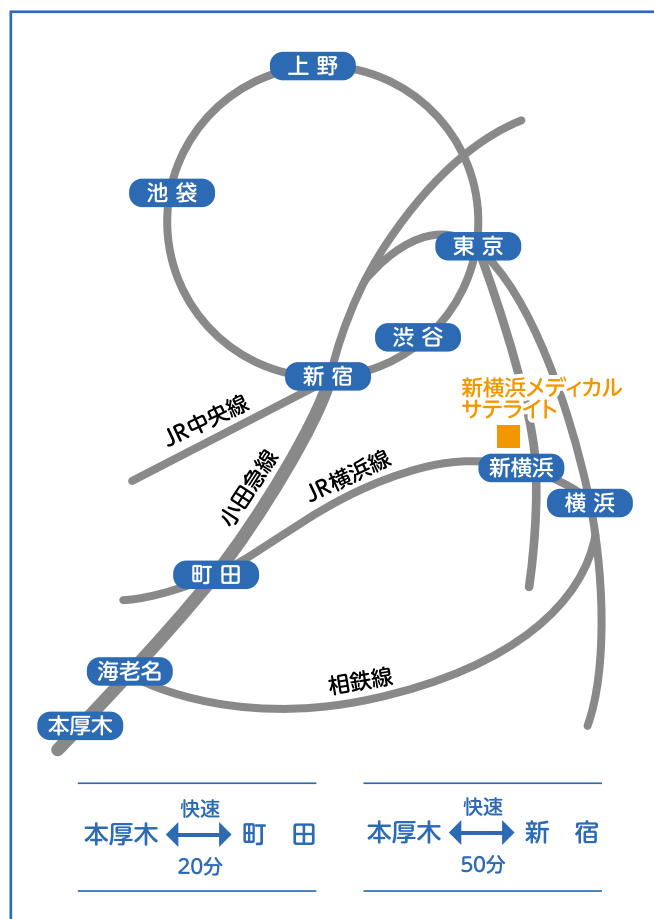
事業所	職種別	常勤	非常勤		合計
			非常勤数	常勤換算	
東名厚木メディカル サテライトクリニック	医師	3	50	25.0	28.0
	臨床検査技師	7	3	1.2	8.2
	診療放射線技師	4	4	1.7	5.7
	保健師	1	2	1.5	2.5
	看護師	9	5	2.9	11.9
	准看護師	1	0	0.0	1.0
	助手(看護サポートグループ)	0	5	2.4	2.4
	事務	23	20	11.8	34.8
	合計	48	89	46.5	94.5
新横浜メディカル サテライト	医師	1	28	14.0	15.0
	臨床検査技師	4	3	0.9	4.9
	診療放射線技師	2	4	2.0	4.0
	保健師	1	0	0.0	1.0
	看護師	4	6	4.0	8.0
	准看護師	0	0	0.0	0.0
	事務	14	32	14.1	28.1
	合計	26	73	35.0	61.0
ヤンゴン ジャパン メディカル センター	医師	0	0	0.0	0.0
	看護師	0	0	0.0	0.0
	事務	1	0	0.0	1.0
	合計	1	0	0.0	1.0
第三事業部合計		75	162	81.5	156.5
事業所	職種別	常勤	非常勤		合計
			非常勤数	常勤換算	
東名厚木病院 透析センター	医師	1	8	4.0	5.0
	看護師	17	1	0.5	17.5
	准看護師	1	0	0.0	1.0
	ケアワーカー	5	0	0.0	5.0
	臨床工学技士	11	0	0.0	11.0
	管理栄養士	1	0	0.0	1.0
	事務	6	0	0.0	6.0
	合計	42	9	4.5	46.5
愛川クリニック	医師	2	14	7.0	9.0
	看護師	7	1	0.8	7.8
	准看護師	3	0	0.0	3.0
	ケアワーカー	6	0	0.0	6.0
	臨床工学技士	6	0	0.0	6.0
	管理栄養士	0	0	0.0	0.0
	事務	4	1	0.4	4.4
	合計	28	16	8.2	36.2
とうめい綾瀬腎クリニック	医師	1	8	4.0	5.0
	看護師	8	0	0.0	8.0
	准看護師	0	0	0.0	0.0
	臨床工学技士	6	1	0.8	6.8
	ケアワーカー	5	0	0.0	5.0
	管理栄養士	0	0	0.0	0.0
	事務	5	3	1.8	6.8
	合計	25	12	6.6	31.6
第四事業部合計		95	37	19.3	114.3

事業所	職種別	常勤	非常勤		合計
			非常勤数	常勤換算	
とうめい厚木クリニック	医師（院長を含む）	4	71	35.5	39.5
	事務（事務長を含む）	28	20	13.3	41.3
	保健師（山内課長）	1	0	0.0	1.0
	看護師	15	12	7.8	22.8
	准看護師	3	2	1.2	4.2
	ケアワーカー（看護部）	2	0	0.0	2.0
	社会福祉士(MSW)	1	0	0.0	1.0
	診療放射線技師	1	0	0.0	1.0
	理学療法士	3	0	0.0	3.0
	作業療法士	1	0	0.0	1.0
	ケアワーカー（リハビリテーション科）	2	1	0.4	2.4
	臨床検査技師	7	7	2.6	9.6
	眼鏡作成技能士	0	1	0.1	0.1
	合計	68	114	60.9	128.9
とうめい宮の里クリニック	医師（院長を含む）	1	1	0.5	1.5
	事務（事務長代行を含む）	3	0	0.0	3.0
	看護師	2	1	0.7	2.7
	合計	6	2	1.2	7.2
第五事業部計		74	116	62.1	136.1

部署	職種別	常勤	非常勤		合計
			非常勤数	常勤換算	
法人本部・管理部	理事長	1	0	0.0	1.0
	会長	0	0	0.0	0.0
	本部長	1	0	0.0	1.0
	その他本部職員	2	0	0.0	2.0
	管理部職員	43	2	0.9	43.9
	臨床心理士	0	1	0.5	0.5
	売店	0	4	4.0	4.0
	はなの家とむろ(在籍出向者)	3	0	0.0	3.0
	合計	50	7	5.4	55.4
さがみ緑風園診療所	医師	1	4	2.0	3.0
	看護師	13	1	0.6	13.6
	准看護師	1	0	0.0	1.0
	ケアワーカー	1	1	0.4	1.4
	理学療法士	0	1	0.2	0.2
	作業療法士	2	0	0.0	2.0
	言語聴覚士	0	1	0.1	0.1
	事務	1	0	0.0	1.0
	合計	19	8	3.3	22.3
本部合計		69	15	8.7	78

三思会合計	1057	(0)	463	247.4	1304.4
-------	------	-----	-----	-------	--------

病院の位置と案内



東名厚木病院 交通のご案内

小田急線

- 本厚木駅から徒歩 20 分
- 愛甲石田駅から徒歩 15 分

神奈川中央交通バス

- 本厚木駅／厚 43 系統「森の里」行き
- 愛甲石田駅／愛 20 系統「毛利台団地」行き
『船子バス停』下車徒歩 5 分

お車ご利用

- 東名厚木インターより 5 分

II

病院の現況

東名厚木病院の概要

(1) 病院の理念

地域に信頼される病院

患者に愛される病院

誇りと責任をもてる病院

(2) 所在地

神奈川県厚木市船子232

TEL: 046-229-1771 (代表)

FAX: 046-228-0396

施設の面積

項 目		面 積
敷 地 の 面 積		14,844 m ²
敷 地 の 駐 車 場		927 m ²
建築延面積	病 棟 部 門	7,596 m ²
	救 急 部 門	432 m ²
	管理共用部門	4,912 m ²
	透 析 部 門	1,171 m ²
	診 療 部 門	3,894 m ²
	計	18,005 m ²

病院の使命

一つは医療の主体は病める人…住民であることを絶えず確認する医療の実践、もう一つは住民が健康である事によってコミュニティが活性化し得る手助けをすることである。

このためには、先ず、法人自ら地域に積極的に出て「地域住民とともに歩む医療」「健康をつくり守る医療」の実践を通して、法人を発展・継承する。

(3) 役員等 (2024年4月1日現在)

院長	北野 義和	透析センター長	大山 聡子
副院長	鬼塚 圭一郎	内視鏡センター長	玉置 道生
副院長	中 正剛	化学療法センター長	神山 公希
副院長兼看護部長	伊藤 玲子	患者総合支援センター長	安齋 明雅
事務長	金谷 涉	院内感染対策室室長	川井 貴美子
医務部長	小島 淳夫	名誉院長	富田 公夫
診療協力部長	鎌田 順道	名誉院長	山下 巖
診療技術部長	高坂 佳宏	名誉院長	岩村 正嗣

(4) 開設 昭和 56 年 6 月 1 日

(5) 病床数 282 床

(6) 診療科目及び診療時間

① 診療科目

内科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病代謝内科、人工透析内科、神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、救急科、泌尿器科、婦人科、眼科、麻酔科、精神科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、緩和ケア内科、放射線診断科、放射線治療科 病理診断科

② 救急告示病院 24 時間救急体制

(7) 主な施設及び設備

	1号館	2号館	3号館	4号館
4階	●入院病棟（24床）	●入院病棟（36床）	●入院病棟（52床）	●入院病棟（48床）
3階	●化学療法センター	●入院病棟（14床）	●入院病棟（52床）	●入院病棟（48床）
2階	●リハビリテーション室 ●医療安全管理室 ●院内感染対策室 ●専任看護師室 ●看護事務室 ●総務課 ●総務課	●診療情報管理室 ●ME室 ●治験事務局	●透析センター	●手術室 ●ICU室（8床）
1階	●医局 ●図書室	●医局 ●栄養科（厨房） ●臨床研修医室 ●患者総合支援センター ・医療福祉相談室 ・地域連携室 ●売店（コンビニ） ●霊安室 ●解剖室 ●職員食堂	●検査室 ●情報システム ●研究室 ●結石破碎室 ●薬剤科 ●内視鏡センター ●入退院支援センター	●正面玄関（病院受付） ●医事課 ●放射線科 ・放射線治療室 ・X線撮影室 ・MRI室 ・CT室 ・血管造影室 ・心臓血管撮影室 ●救急処置室 ●霊安室

(8) 各種法令指定医療機関

健康保険法
生活保護法

結核予防法
労災保険法

国民健康保険法

(9) 各種認可認定

当院は保険医療機関の指定を受けています	臨床研修指定病院
地域医療支援病院	日本病院会「人間ドック」認定施設
救急告示病院	健康保険組合連合会「人間ドック」契約
神奈川県がん診療連携指定病院	全日本病院協会「人間ドック」認定施設
労災保険指定医療機関	日本医療機能評価認定施設
DPC 対象病院	難病指定医療機関
災害時医療支援活動指定病院	日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設認定
神奈川県災害協力病院	日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設認定
開放型病院認定施設	
公益社団法人日本栄養士会 栄養サポートチーム担当者認定施設	
日本乳房オンコプラスティックサージャリー協会エキスパンダー実施施設	
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設	

(10) 施設基準認定

＜基本診療料の施設基準＞

一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 1）	病棟薬剤業務実施加算 2
救急医療管理加算	データ提出加算 2（イ）
臨床研修病院入院診療加算 1	入退院支援加算 1
超急性期脳卒中加算	入院時支援加算
診療録管理体制加算 1	認知症ケア加算 3
医師事務作業補助体制加算 1（40 対 1）	せん妄ハイリスク患者ケア加算
夜間 50 対 1 急性期補助体制加算	精神疾患診療体制加算
夜間看護体制加算	地域医療体制確保加算
25 対 1 急性期看護補助体制加算 （看護補助者 5 割以上）	ハイケアユニット入院医療管理料 1
看護職員夜間 12 対 1 配置加算 1	地域包括ケア病棟入院料 2
療養環境加算	看護職員配置加算
栄養サポートチーム加算	看護補助体制充実加算 1（急性期看護体制加算）
医療安全対策加算 1	看護補助体制充実加算 3（地域包括ケア病棟入院料）
医療安全対策地域連携加算 1	緩和ケア病棟入院料 2
感染対策向上加算 1	看護職員処遇改善評価料
指導強化加算	入院時食事療養（Ⅰ）
患者サポート体制充実加算	医療 DX 推進体制整備加算
後発医薬品使用体制加算 1	バイオ後続品使用体制加算
病棟薬剤業務実施加算 1	呼吸ケアチーム加算

＜特掲診療料の施設基準＞

糖尿病合併症管理料	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
がん性疼痛緩和指導管理料	椎間板内酵素注入療法
がん患者指導管理料イロハニ	体外衝撃波腎石破碎術
二次性骨折予防継続管理料 1	大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
院内トリアージ実施料	後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）
外来放射線照射診療料	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
開放型病院共同指導料	体外衝撃波腎尿管結石破碎術 輸血管理料Ⅱ
がん治療連携計画策定料	輸血適正使用加算
薬剤管理指導料	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
医療機器安全管理料 1 2	人工肛門人工膀胱造設術前処置加算
在宅療養後方支援病院	麻酔管理料（ⅠⅡ）
在宅血液透析指導管理料	高エネルギー放射線治療
BRCA1/2 遺伝子検査	酸素の購入価格の届出
検体検査管理加算（ⅠⅣ）	外来腫瘍化学療法診療料 1
画像診断管理加算 1 2	外来在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
CT 撮影及び MRI 撮影	入院ベースアップ評価料
冠動脈 CT 撮影加算	連携充実加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	放射線治療専任加算
無菌製剤処理料	強度変調放射線治療 IMRT
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	定位放射線治療
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	外来放射線治療加算
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	体外照射呼吸性移動対策加算
がん患者リハビリテーション料	定位放射線治療呼吸性移動対策加算（その他）
人工腎臓	画像誘導放射線治療 IGRT
導入期加算 1	一回線量増加加
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算 1	
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	
組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検	
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	
胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術支援機器を用いる場合）	

経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）

膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）

食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）

医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6

（歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む。）に掲げる手術（K通則）

(11) 認定医制度の研修施設

日本整形外科学会	日本外科学会
日本形成外科学会	日本消化器内視鏡学会
日本超音波医学会	日本泌尿器科学会
日本胸部外科学会（関連施設）	日本脳卒中学会
日本呼吸器内視鏡学会	日本がん治療認定医機構
日本緩和医療学会	日本消化器外科学会
日本脳神経外科学会	日本呼吸器外科学会（関連施設）
日本麻酔科学会	日本内科学会（関連施設）
日本循環器学会	日本消化器病学会
日本乳癌学会（関連施設）	日本透析医学会
日本腎臓学会	日本糖尿病学会
日本肝臓学会	日本病院総合診療医学会
日本救急医学会	

(12) 各種認定研修施設

管理型医師臨床研修指定病院

救急救命士実習指定病院

看護学校実習指定病院

厚木看護専門学校	看護学科
湘南平塚看護専門学校	
神奈川工科大学	健康医療科学部看護学科
松陰大学	看護学部
積善会看護専門学校	

薬剤科実習指定病院

昭和薬科大学

横浜薬科大学

薬学部

薬学部

栄養科実習指定病院

神奈川県立保健福祉大学

栄養学科

社会福祉士実習指定病院

東海大学

明治学院大学

相模女子大学

大妻女子大学

田園調布学園大学

日本女子大学

健康学部健康マネジメント学科

社会学部社会福祉学科

人間社会学部社会マネジメント学科

人間関係学部人間福祉学科

人間福祉学部社会福祉学科

人間社会学部社会福祉学科

リハビリテーション科実習指定病院

横浜リハビリテーション専門学校

北里大学

国際医療福祉大学

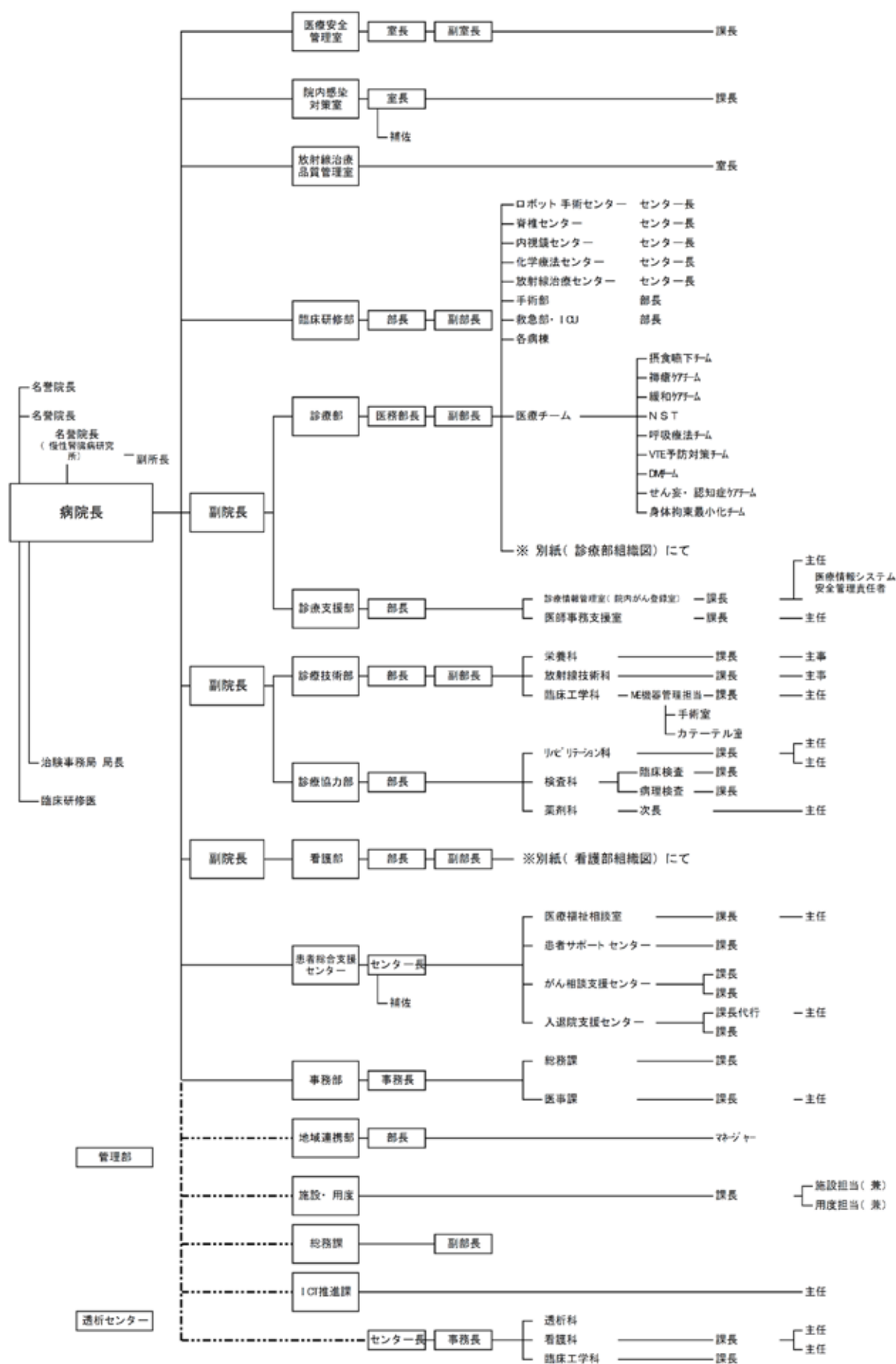
理学療法学科、作業療法学科

医療衛生学部リハビリテーション学科

理学療法学専攻、作業療法学専攻

保健医療学部 理学療法学科

2024. 11. 1



委託業務及び保守契約

◎ 委託業務

業務名	業者名
寝具類洗濯業務	(株)柴橋商会
患者給食労務業務	日清医療食品(株)
院内清掃業務	(株)パイオニア・サービス
医療用ガス供給設備の保守点検業務	(株)星医療酸器
特別管理産業廃棄物処理	(株)大相
産業廃棄物	中央カンセー(株)
廃液処理	相田化学工業(株)
一般ゴミ	(有)長澤商事
書類処理	(有)長澤商事
病理検査委託	東海大学医学部付属病院
臨床検査委託	(株)保健科学研究所

◎ 保守契約

業務名	業者名
電気設備	新日本空調(株)
自家発電機	新日本空調(株)
消防用設備	(株)神菱商事
非常放送設備	(株)神菱商事
ボイラー	新日本空調(株)
第一種圧力容器	新日本空調(株)
医療用ガス供給設備	(株)星医療酸器
電話交換設備	神田通信機(株)
エレベーター	(株)日立ビルシステム
放射線機器 一般撮影	(株)島津製作所
MRI	キャノンメディカルシステムズ(株)
CT撮影	キャノンメディカルシステムズ(株)
結石破碎装置	ドルニエメドテックジャパン(株)
マンモグラフィー・CR一式	コニカミノルタヘルスケア(株)
線量測定	アロカ(株)
心臓カテーテル装置	(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン
血管造影装置	キャノンメディカルシステムズ(株)
放射線治療装置	キャノンメディカルシステムズ(株)
消化器・呼吸器系内視鏡他装置	オリンパスマーケティング(株)
内視鏡洗浄消毒器	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
電気手術器	アムコ(株)
麻酔器	GEヘルスケア・ジャパン(株)
	ドレーゲル・メディカルジャパン(株)
透析機器	東レ・メディカル(株)
	ニプロ(株)

主要機器

◆手術室主要装置◆			◆透析◆		
装置		台数	装置		台数
手術支援ロボット	Da Vinci Xi	1台	血液ガス分析	ABL9	1台
術中イメージングシステム	O-arm ステルスステーション	1台	透析監視装置	NCV2	39台
超音波診断装置	Arietta 65LE	1台		NCV3	18台
高速気腹装置	SONIMAGE HS2 PRO 2nd	1台	◆軟性鏡他◆		
エアーシール	UHI-4	2台	装置		台数
手術用顕微鏡	エアーシール	1台	内視鏡ビデオスコープシステム	EVIS LUCERA ELITE	4台
	VISU160	1台		EVIS X1	1台
	MM80/YOH4	2台		EU-ME2 PREMIUM PLUS	1台
超音波白内障手術装置	VERITASビジョンシステム	1台	高周波焼灼電源装置	ESG-100	1台
ビデオシステムセンター(プロセッサー)	OTV-S190	2台		ESG-150	2台
関節鏡システム	S&Nエンドスコピー560P	1台	外科手術用エネルギーデバイス	THUNDERBEAT	3台
エンドヴィーナスクロージャシステム	RFG2	1台		GIF-HQ290	1台
ハーモニック	GEN11	1台		GIF-H290	1台
エネルギープラットフォーム	FT10	2台		GIF-XZ1200	1台
超音波手術器	USG-400	3台		GIF-XP290N	1台
	ESG-400	3台	上部消化管ビデオスコープ	GIF-H260	4台
高周波焼灼電源装置	サージトロ	1台		GIF-Q260J	1台
高気圧蒸気滅菌器	RU-240HVW	2台		GF-UCT 260	1台
酸化エチレンガスカートリッジ式滅菌器	Ec II-B2600	1台		GF-UE290	1台
プラズマ滅菌器	ステラッド100NXダブルドア	1台		PCF-H290I	3台
超音波洗浄器	US-201SAN	1台		JF-240	1台
	WUS-2100	1台	十二指腸ビデオスコープ	JF-260V	1台
自動ジェット式超音波洗浄装置	WUS II-3100DXW	1台		TJF-Q290V	1台
レーザー手術装置	トルニエ・Solve	1台		CF-HQ290I	2台
	VIO200Sスタンダードモデル	1台	大腸ビデオスコープ	CF-Q260AI	1台
電気手術器	アルゴンガス供給装置APC2FIAPC	1台		PCF-H290ZL	1台
				CF-H260AI	2台
			気管支ビデオスコープ	BF-H290	1台
				BF-Q290	1台
				MAF-TM2	1台
			胆道ビデオスコープ	CHF-240	1台
				硬性鏡	3台
				LTF-S190-10	1台
			腎盂尿管ビデオスコープ	URF-V2	1台
				硬性鏡	6台
◆X線装置◆			<クリニック>		
装置		台数	◆X線装置◆		
一般撮影用X線装置	RAD Speed Pro	2台	マンモグラフィ	MGU-1000DNS	1台
MRI	Vantage Galan 3T	1台	X線透視撮影装置	SONIAVISION G4	1台
外科用イメージ	DHF-105CX	1台	CT	Aquilion PRIME/focusEdision	1台
X線透視撮影装置	onescope acteno	2台	一般撮影用X線装置	RADspeed pro	2台
血管造影装置	富士メディコ CUREVISTA OPEN	1台	◆生理検査装置◆		
CT	INFX-8000V/NB	1台	装置		台数
	Aquilion PRIME/focusEdision	1台	デジタル心電計	FCP-8321	1台
移動式X線装置	シリウス130HP	1台	ホルター心電計	FCP-8800	1台
結石破砕装置	Mobale Art Evolution	2台	呼吸機能測定装置	RAC-3103	4台
心カテ装置	AZURION7 B12	1台	長時間心電図解析装置	DSC-3300	1台
高精度放射線治療装置 線形加速器システム	デルタIII	1台	血圧脈波検査装置	VaSera	1台
放射線治療室	エレクタ シナジー	1台	呼吸機能測定装置	SP-390	1台
シミュレータCT	ELECTA / SYNEGY	1台	超音波診断装置	Aplio a / Verifia	2台
	Aquilion/LB	1台		Aplio 500 Platinum	1台
			鼻腔通気度測定装置	SP-390Rhino	1台
			運動負荷試験システム	STS-2100	1台
			オージオメータ	AA-79S	1台
◆生理検査装置◆			◆検体測定装置◆		
装置		台数	装置		台数
デジタル心電計	ECG-2450	3台	生化学自動分析機	JCA-ZS050	1台
ホルター心電計	RAC-3103	1台	自動免疫測定装置	LUMIPULSE G1200	1台
呼吸機能測定装置	DISCOM21FX II	1台	自動血球計算装置	XN-1000	1台
	Aplio a CUS-AA000	2台	血液凝固測定装置	CA600	1台
超音波診断装置	Xario 200G	1台	HbA1c測定装置	HLC-723GR01	1台
	Affinity 70G	1台	尿自動分析装置	US-1200	1台
	Xario-100	4台	血液ガス分析	GASTAT_navi	1台
皮膚灌流圧測定装置	ホーパルエコー Vscan Extend	1台	安全キャビネット	BHC-T701 II A-2	1台
SPP-K1		1台	◆軟性鏡他◆		
筋電図・誘発電位検査装置	MEB-2306	1台	装置		台数
血圧脈波検査装置	VS-2000	1台	内視鏡統合ビデオシステム	VISERA Pro	2台
睡眠ポリグラフィ装置	PSG-1100	1台	コルポスコプ	VISERA	1台
体成分分析装置	InBody S10	1台		CYF-VA2	1台
			膀胱腎盂ビデオスコープ	OCS-500	1台
			子宮ビデオスコープ	HYF-V	1台
			耳鼻咽喉ビデオスコープ	ENF-VQ	1台
◆検体測定装置◆			◆眼科◆		
装置		台数	装置		台数
血液ガス分析装置	ABL90 FLEX PLUS	1台	YAGレーザー	ULTTAQ-TW	1台
	GASTAT1835	1台	◆健診センター>		
自動血球計算装置	XR-1000	1台	◆X線装置◆		台数
生化学自動分析機	JCA-ZS050	1台	マンモグラフィ	MGU-1000DNS	1台
血液凝固測定装置	CA650	1台	X線透視撮影装置	ESPACIO AVANT	2台
システム顕微鏡	CX43LF	1台	DAIVISTA		1台
HbA1c測定装置	HLC-723GR01	1台	一般撮影用X線装置	Evolution	2台
アンモニア測定器	NX10N	1台	MRI	1.5T Vantage Titan	1台
自動免疫測定装置	LUMIPULSE G1200	1台	レントゲン撮影車	SREX-D32C/S1	1台
尿自動分析装置	US-1200	1台	◆生理検査装置◆		
安全キャビネット	SG-303	1台	装置		台数
			超音波診断装置	Aplio 300	1台
◆病理装置◆				Aplio a / Verifia	3台
装置		台数		ECG1350	1台
凍結組織切片作製装置	CM1950	1台	デジタル心電計	FCP8400	2台
臓器撮影装置	DL-N-FA	1台		ECG2450	2台
密閉式自動固定包埋装置	VIP-6 AI	1台		ECG3350	1台
パラフィン包埋ブロック作製装置	ティッシュ・テック TEC6	1台	呼吸機能測定装置	SYSTEM7	2台
自動染色装置	DRS-Prisma-P-JD	1台		AS407	1台
◆薬剤◆			眼圧測定器	CT-1P	1台
装置		台数		KT-800	1台
無菌調製用陰圧アイソレーター	デュアルケモNDC-2400	1台	眼底カメラ	CR-2	3台
安全キャビネット	SG-303	1台	血圧脈波検査装置	VaSera VS-2000	1台
クリーンベンチ	NCC-900D	1台	骨密度測定器	AOS-100es	1台
全自動散薬分包装机	Twin-R93IV	1台	◆硬性鏡他◆		
小型全自動錠剤分包装机	Litrea II SE-t	1台	装置		台数
全自動PTPシート払出装	Robo-pick II	1台	内視鏡ビデオスコープシステム	EVIS LUCERA ELITE	2台
◆輸液ポンプ◆				GIF-XP290N	2台
装置		台数		GIF-PQ260	2台
FP-970EX他		66台	上部消化管ビデオスコープ	GIF-XP260NS	1台
◆シリジポンプ◆				GIF-XQ260	2台
装置		台数		GIF-H290	4台
CSP-120他		49台	◆モニタ◆		
◆除細動器◆			装置		台数
装置		台数	PVM-2701他		52台
TEC-5631他		11台	◆麻酔器◆		
◆酸素吸入装置◆			装置		台数
装置		台数	7900SEPSVエスティバ		2台
二相式気道陽圧ユニット	NIPネーザルV	3台	Apollo		2台
高気圧酸素治療装置	KS-202 O型	1台	Aespire View		1台
◆人工呼吸器◆			◆モニタ◆		
装置		台数	装置		台数
ニューポートe500		5台	PVM-2701他		52台
ニューポートe360		4台	◆麻酔器◆		
ハミルトンC1		7台	装置		台数
ART-21EX		2台	7900SEPSVエスティバ		2台
ベネット760		1台	Apollo		2台
HT70		1台	Aespire View		1台
◆モニタ◆			◆モニタ◆		
装置		台数	装置		台数
PVM-2701他		52台	PVM-2701他		52台
◆麻酔器◆			◆麻酔器◆		
装置		台数	装置		台数
7900SEPSVエスティバ		2台	7900SEPSVエスティバ		2台
Apollo		2台	Apollo		2台
Aespire View		1台	Aespire View		1台

年間行事

- | | |
|------|---|
| 4 月 | 新入職員オリエンテーション
新入職員歓迎会
2023 年度総括・2024 年度目標発表会
BLS 研修
三思会杯ミニバスケットボール大会 |
| 5 月 | 全館停電検査
診療部(各科) 目標発表会
職員献血
BLS 研修 |
| 6 月 | 東名厚木病院 開院 43 周年
ICLS 研修
保険診療に関する研修会
三思会杯少年野球大会
三思会杯ソフトテニス大会 |
| 7 月 | 納涼祭
BLS 研修
クリニカルパス大会
がんサロン「ここが知りたい! 医療講座 ロボット手術って何? ～ダビンチって誰?～」 |
| 8 月 | イブニングセミナー「航空機内の医療」
講師: 安西 秀聡 医師
防災訓練
BLS 研修 |
| 9 月 | 医療安全講演会 「医療者間のコミュニケーションエラー防止 ～ノンテクニカルスキルを
活用したチーム連携～」 Web 開催
講師: 横浜市立大学市民総合医療センター 医療の質・安全管理部部長 中村 京太先生
BLS 研修
ダビンチ見学ツアー |
| 10 月 | イブニングセミナー
「内視鏡手術に求められるリスク管理について ノン・テクニカルスキルの重要性」 |

- 講師：岩村 正嗣 医師
介護職員初任者研修
三思会杯ソフトボール大会
ICLS 研修
- 11 月 地域連携フォーラム
三思会活動発表会
BLS 研修
糖尿病教室「一步前進 今できることからはじめよう」
三思会杯サッカー大会
- 12 月 院内感染対策講演会「環境から感染する病原微生物とその対策」
講師：社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 TQM センター 感染管理対策室
大石 貴幸 先生
がんサロン「ここが知りたい！医療講座 乳がんの治療選択 ～選択した治療によるメリットと デメリット～」
臨床病理検討会
職員献血
BLS 研修
三思会忘年会
- 1 月 BLS 研修
医療監視立入調査
- 2 月 緩和ケア研修会
緩和ケア地域連携カンファレンス
イブニングセミナー「コラーゲンと骨」
講師：成尾 宗浩 医師
保険診療に関する研修会
防災訓練/安否確認サービス（テスト送信）
ICLS 研修
- 3 月 個人情報保護に係る研修
院内感染対策講演会「多職種で取り組む抗菌薬適正使用」
講師：東京慈恵医科大学付属病院 感染対策部 中澤 靖 先生
初期臨床研修修了式

III

部門別月間医療活動データ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
	総 数	662	706	748	958	891	855	790	822	1,002	994	712	765	9,905
	救 急 車	363	360	407	569	462	485	483	473	485	544	421	453	5,505
蘇生状況	CPA患者数	12	2	9	9	5	12	10	14	16	24	14	12	139
	内蘇生者	3	0	3	3	1	3	6	3	0	6	6	3	37
入院	ST処置	9	2	6	6	5	8	4	11	16	19	8	10	104
	救急車搬入入院	144	148	178	213	178	210	181	195	197	228	191	196	2,259
院	時間外来入院	64	61	67	87	91	73	87	67	75	86	64	80	902
	内科	309	315	337	509	434	407	393	388	580	558	337	377	4,944
科	うち入院者数	105	109	121	162	148	148	154	133	145	164	128	132	1,649
	循環器内科	22	19	18	24	23	29	17	31	27	24	30	30	294
外科	うち入院者数	13	8	15	16	14	14	10	17	22	15	20	15	179
	外科	16	6	16	19	18	13	11	22	17	22	16	17	193
別	うち入院者数	11	3	14	15	12	7	6	15	12	12	9	13	129
	脳外科	68	66	73	85	84	77	73	89	76	87	69	81	928
急	うち入院者数	28	21	26	29	28	33	28	26	30	34	36	32	351
	胸部外科	4	7	2	5	11	13	12	11	11	13	7	13	109
外	うち入院者数	2	7	1	3	8	12	8	8	9	7	6	11	82
	整形外科	106	126	128	137	130	142	134	131	151	139	133	106	1,563
来	うち入院者数	15	23	21	24	27	28	24	36	26	35	30	32	321
	形成外科	71	87	101	86	91	90	75	76	60	61	62	71	931
(ER)	うち入院者数	3	6	6	6	6	5	9	2	1	6	2	4	56
	泌尿器科	10	21	21	19	30	19	20	24	20	14	15	19	232
救急	うち入院者数	1	0	2	0	1	3	2	0	2	3	0	4	18
	救急	43	41	44	60	46	53	43	41	41	67	36	47	562
外	うち入院者数	30	32	37	43	37	32	27	27	26	38	24	33	386
	その他	12	18	8	15	26	10	12	9	18	9	7	4	148
機	PCI	6	0	6	10	7	9	7	6	6	7	9	9	82
	溶解 止血	2	0	0	1	3	0	4	1	1	1	1	0	14
査	内視鏡	19	14	5	5	9	7	16	10	17	18	11	11	142
	手術	2	3	3	6	5	1	4	1	4	4	0	6	39
重	A	40	30	41	37	35	45	41	44	55	58	45	43	514
	B	178	191	215	274	240	255	234	235	241	277	224	248	2,812
度	C	444	485	475	610	612	546	515	543	705	655	443	474	6,507
	入院	208	209	245	300	269	283	268	262	272	314	255	276	3,161
転	帰宅	452	489	502	655	612	552	519	552	726	677	452	484	6,672
	転院	2	8	1	1	5	14	3	7	3	3	5	5	57
手	外科	37	25	26	35	33	34	31	27	35	34	20	25	362
	消化器科	4	7	8	7	9	8	9	8	10	5	10	10	95
別	乳腺外科	43	54	39	63	58	42	62	66	52	78	73	74	704
	形成外科	20	19	30	30	23	27	28	24	29	21	30	29	310
件	脳外科	8	6	4	9	0	4	9	10	10	9	7	14	90
	OPE 胸部外科	5	5	5	5	4	3	10	3	10	3	4	8	65
数	内科	3	3	3	1	4	4	2	9	7	4	4	3	47
	泌尿器科	34	25	25	24	26	28	30	32	30	26	24	27	331
室	血管外科	10	6	2	3	4	1	3	2	1	3	1	3	39
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
術	眼科	15	12	13	15	11	13	9	15	9	14	9	13	148
	計	179	162	155	192	172	164	193	196	193	197	182	206	2,191
全	麻	125	121	111	143	132	117	154	147	142	147	145	156	1,640
	麻	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	1	6
局	麻	42	31	36	42	35	39	30	40	37	39	29	41	441
	その他	12	10	7	6	5	7	7	9	14	11	8	8	104
(オンコルOPE 内数)		3	4	5	4	3	4	7	3	3	4	3	7	50

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	
救急外来 （検査）	内視鏡	GIF	257	223	251	425	302	391	447	399	348	369	327	225	3,964	
		止血	10	15	2	4	2	1	3	8	6	2	8	5	66	
		PEG	3	2	5	5	3	5	4	2	2	2	2	2	37	
		ESD	1	4	1	2	1	3	2	2	1	1	2	0	20	
		EUS	34	35	36	47	43	40	34	36	39	39	35	48	466	
		CF	262	231	226	261	203	235	257	268	234	223	223	223	2,846	
		EMR(ホリヘリ含)	62	53	60	66	50	35	47	45	43	38	49	37	585	
		止血	2	1	2	1	1	2	2	3	3	0	2	3	22	
		ESD	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	
		その他	11	4	0	10	9	11	3	8	12	4	6	16	94	
		ERCP	27	14	21	27	19	17	33	16	19	31	28	21	273	
		EBS	15	12	10	19	14	12	25	15	12	25	16	14	189	
		ENBD	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4	
		EPBD	3	2	1	4	0	1	0	1	2	2	4	3	23	
		EST	8	0	6	5	6	5	11	2	10	15	18	5	91	
		採石・砕石	9	2	7	11	5	3	7	3	6	8	11	8	80	
		その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		BF	4	2	0	3	2	1	3	2	6	2	1	2	28	
		合 計		550	470	498	716	526	644	740	685	607	625	579	471	7,111
救急外来 （検査）	放射線	心カテ	予約	35	10	36	36	37	36	42	34	33	35	31	47	412
			緊急	6	0	6	10	7	9	7	6	6	7	9	9	82
		脳アンギオ	予約	3	0	2	1	1	2	0	3	3	0	0	0	15
			緊急	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
		腹部アンギオ	予約	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
			緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		四肢アンギオ		1	2	1	4	3	2	3	1	2	2	1	3	25
			シャント造影	予約	12	11	15	15	9	14	11	9	15	13	6	11
		緊急		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		テレビ室		40	33	21	35	33	41	22	30	37	34	36	48	410
		CT・MRI・CBF		98	96	85	94	101	79	92	76	98	75	85	78	1,057
		破 砕	予約	4	6	5	5	6	6	6	2	4	3	2	6	55
		合 計		200	158	171	202	198	190	183	161	199	169	170	202	2,203
		入院 病棟	オンコール件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2－3	368		356	332	377	376	350	393	406	360	394	372	420	4,504		
2－4	1,152		1,273	1,533	1,582	1,695	1,590	1,485	1,389	1,471	1,671	1,575	1,677	18,093		
3－3	1,178		1,209	1,174	1,316	1,362	1,305	1,345	1,300	1,315	1,442	1,300	1,380	15,626		
3－4	1,174		1,147	1,188	1,451	1,427	1,374	1,467	1,311	1,332	1,517	1,382	1,499	16,269		
4－3	886		806	890	1,103	1,183	1,124	1,250	1,166	1,054	1,252	1,165	1,254	13,133		
4－4	973		881	1,014	1,074	1,135	1,107	1,190	1,130	1,086	1,213	1,153	1,265	13,221		
ICU	132		134	151	182	171	162	164	146	169	170	164	172	1,917		
計	5,863		5,806	6,282	7,085	7,349	7,012	7,294	6,848	6,787	7,659	7,111	7,667	82,763		
在 院 日 数	2－3		13.1	12.7	10.9	16.4	15.7	13.7	12.1	22.0	12.6	17.9	14.3	22.7	184.1	
	2－4		11.9	14.3	17.1	15.4	18.4	15.8	15.5	15.8	17.4	13.8	17.4	15.3	188.0	
	3－3		6.7	8.1	7.0	6.5	7.5	8.1	7.5	7.5	7.7	8.3	8.1	8.6	91.5	
	3－4		16.9	17.4	20.0	16.0	17.7	17.7	18.7	16.6	17.9	17.5	17.3	18.7	212.4	
	4－3		6.4	6.3	6.1	7.4	7.3	9.3	7.9	7.7	7.3	8.5	8.2	8.1	90.7	
	4－4	10.9	11.1	11.3	10.4	10.7	12.4	12.6	11.4	10.3	12.6	12.5	11.9	138.0		
	ICU	2.3	2.8	2.8	3.0	2.5	2.6	2.5	2.6	2.4	2.5	2.6	2.5	31.0		
	病院全体	8.9	9.8	9.8	9.7	10.3	11.0	10.3	10.3	9.9	10.7	10.9	11.0	122.5		
MSW 業務	件数	新規	179	144	151	182	190	114	171	190	197	203	161	189	2,071	
	延べ件数	755	638	639	667	763	524	763	776	770	886	774	794	8,749		
	ソーシャルワーク業務	心理・社会的問題	73	55	73	89	104	63	49	80	60	106	94	67	913	
		経済的問題	122	103	78	82	112	82	53	94	78	127	99	104	1,134	
		退院支援	612	526	521	489	584	419	654	626	634	718	617	661	7,061	
		受診・受療	67	39	42	71	90	64	63	64	66	82	88	67	803	
		家族への支援	44	39	33	32	42	30	15	33	39	49	28	31	415	
		社会復帰支援	2	2	1	4	1	0	4	4	5	4	2	2	31	
	方法	面接	407	380	315	316	417	271	363	414	469	511	421	434	4,718	
		電話	584	503	525	42	570	397	598	552	565	691	637	600	6,264	
訪問		5	1	3	0	6	3	0	1	0	1	2	3	25		
記録文書		627	530	537	494	603	402	637	639	671	729	601	626	7,096		

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
地 連	紹介患者 件数	225	254	282	282	235	265	262	240	224	292	250	266	3,077
	内入院件数	65	76	97	91	104	94	90	89	84	116	100	110	1,116
	紹介入院 件数(クリニック経由)	64	41	41	36	41	38	43	52	47	48	48	46	545
	紹介率 (紹介初診患者数÷(初診救急車搬送患者数+休日・夜間初診救急患者数)×100)	80.1	87.8	85.6	86.6	82.0	83.1	89.4	85.9	82.4	91.0	86.8	86.4	
	逆紹介率 (逆紹介患者数÷(初診救急車搬送患者数+休日・夜間初診救急患者数)×100)	147.8	145.0	143.3	159.3	151.7	128.2	171.7	185.3	169.1	176.3	186.1	171.0	
病 院 検 査 料	外 注	848	805	957	1,118	1,019	919	921	775	1,079	961	859	836	11,097
	生化学	2,204	2,112	2,287	2,883	2,746	2,565	2,684	2,467	2,496	2,615	2,546	2,777	30,382
	血液学	2,122	2,050	2,221	2,788	2,651	2,384	2,643	2,413	2,440	2,209	2,412	2,708	29,041
	尿	377	344	384	401	438	390	383	377	403	351	374	403	4,625
	クロスマッチ	95	97	115	136	120	131	90	107	85	80	86	84	1,226
	血液ガス	278	259	304	455	386	446	400	358	456	404	418	452	4,616
	凝固	859	842	922	1,113	1,030	1,103	1,043	939	1,105	919	987	984	11,846
	A1c	190	212	205	297	250	240	243	222	225	213	186	291	2,774
	感染症	712	587	637	689	643	673	874	855	619	531	535	905	8,260
	生理 心電図	69	50	84	78	73	51	66	49	81	49	57	57	764
	マスター・トレッドミル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ホルター心電図	6	5	5	10	15	11	6	9	13	9	10	13	112
	SPP	1	3	6	7	6	5	4	2	7	10	7	3	61
	腹部エコー	47	49	43	59	56	35	57	56	46	47	58	52	605
	表在エコー	14	10	9	12	7	8	12	13	18	7	8	11	129
	心エコー	290	262	287	304	308	310	340	310	302	292	323	324	3,652
	血管エコー	95	118	127	126	107	128	130	139	122	130	147	160	1,529
	呼吸機能(SPG)	1	1	2	3	1	3	0	3	6	3	0	2	25
	脳波・誘発電位	6	6	4	7	4	5	9	4	3	0	2	5	55
	筋電図・MCV	4	5	7	3	8	4	2	3	1	0	0	2	39
	血圧脈派	8	15	19	28	14	18	15	10	16	16	20	20	199
	術中モニタリング(MEP)	2	0	1	3	0	0	1	2	0	2	0	3	14
健 診 料	外 注	934	1,061	1,083	1,181	1,199	1,063	1,178	1,296	1,130	884	969	823	12,801
	生化学	943	1,089	1,073	1,178	1,124	1,005	1,253	1,205	1,089	865	882	749	12,455
	血液学	909	1,089	1,073	1,178	1,173	1,005	1,253	1,205	1,089	817	920	749	12,460
	A1c	944	1,037	937	1,126	1,173	1,003	1,253	1,205	1,089	817	920	749	12,253
	尿	942	1,038	1,067	1,174	1,152	1,044	1,203	1,198	1,083	810	912	749	12,372
	外注	224	224	197	225	287	382	264	215	249	177	191	205	2,840
	生化学	231	234	217	230	300	341	360	294	340	264	299	284	3,394
	血液学	230	232	217	231	300	339	356	297	344	256	298	282	3,382
	クロスマッチ	2	2	0	3	1	3	4	3	3	10	4	4	39
	血液ガス	3	3	4	6	8	6	7	3	4	2	4	5	55
	凝固	11	12	21	22	21	15	25	15	10	9	14	15	190
	感染症	143	3	5	8	9	42	112	13	10	15	12	13	385
	生理 心電図	40	39	30	37	44	35	38	45	39	39	40	41	467
	ホルター心電図	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	腹部エコー	0	3	8	10	15	10	15	8	3	5	7	13	97
	表在エコー	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	心エコー	1	3	9	9	18	10	11	11	2	4	18	8	104
	血管エコー	7	8	11	13	14	25	20	13	1	4	11	16	143
	呼吸機能(SPG)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血圧脈波	0	1	13	12	17	14	12	4	4	3	11	11	102
	SPP	0	1	12	12	15	13	12	4	4	3	11	11	98

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	
検査科	愛川CL	心電図	15	15	14	14	3	0	0	15	0	1	0	0	77	
		血圧脈波	4	4	8	0	0	0	0	4	0	0	0	0	20	
		心エコー	15	15	14	15	3	0	0	15	0	20	20	7	124	
		腹部エコー	4	4	8	3	14	15	9	4	0	1	0	0	62	
		血管エコー	0	0	0	7	18	18	31	0	0	20	20	7	121	
		体表エコー	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	
	綾瀬CL	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		血圧脈波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		心エコー	9	9	13	7	8	7	7	9	4	4	0	0	77	
		腹部エコー	9	9	12	7	8	6	6	9	6	3	0	0	75	
		血管エコー	3	3	3	8	11	13	11	3	1	4	0	0	60	
		体表エコー	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	
	CL	心エコー(内)	162	149	169	172	169	164	188	178	173	160	170	173	2,027	
		組織診断	317	306	332	373	309	310	336	299	334	277	282	308	3,783	
		細胞診断	144	65	122	239	213	195	264	239	238	233	191	135	2,278	
		術中迅速診断	7	5	7	6	5	6	7	5	11	6	9	11	85	
放射線技術科	病院(内訳)	遺伝子解析	11	10	14	13	16	21	30	21	24	24	24	34	242	
		一般撮影	1,539	1,546	1,639	2,061	1,902	1,694	1,875	1,790	1,952	1,985	1,809	1,587	21,579	
		ポータブル件数	204	195	234	317	287	244	270	226	271	327	269	256	3,100	
		造影・透視下撮影(イメージ含む)	890	94	70	98	91	77	81	89	89	111	120	179	1,989	
		CT件数	891	932	967	1,176	994	1,078	1,060	990	1,040	1,118	964	999	12,209	
		MRI件数	137	140	125	144	94	120	115	119	113	98	116	110	1,431	
		心カテ件数	39	8	41	52	42	40	46	35	38	40	51	51	483	
		DSA件数	22	21	20	22	16	21	14	17	22	20	12	16	223	
		結石破砕	4	8	6	5	4	6	7	6	6	5	3	4	64	
		件数計	2,707	2,749	2,863	3,612	3,143	3,186	3,191	3,040	3,325	3,454	3,075	2,946	37,291	
	患者数計	1,716	1,807	1,811	2,293	2,042	2,044	1,937	1,876	2,010	2,203	1,738	2,062	23,539		
	放射線治療	シミュレータC(人)	26	21	14	22	18	17	17	21	17	28	17	24	242	
		外部照射(人)	胸部部	13	13	9	13	13	7	11	9	7	16	10	19	140
			頭頸幹部	19	17	15	14	10	4	12	10	18	14	17	4	154
			四肢・その他	7	5	7	5	7	4	6	8	5	4	7	13	78
			合計	39	35	31	32	30	18	29	27	30	34	34	36	375
		新患(人)	25	17	16	24	20	18	16	21	20	25	20	21	243	
リハビリ科	理学療法	3,574	3,468	3,722	4,118	3,977	3,748	3,880	3,622	3,827	4,333	4,352	4,409	47,030		
	作業療法	1,162	1,197	1,299	1,290	1,062	921	948	1,093	1,023	1,082	966	1,002	13,045		
	言語療法	579	584	566	521	745	750	846	771	820	733	685	860	8,460		
	嚥下	77	49	67	76	100	72	92	71	95	111	73	101	964		
	計	5,392	5,298	5,654	6,005	5,884	5,491	5,766	5,557	5,765	6,259	6,076	6,372	69,519		
薬剤科	臨床工学技士	OHP	31	9	17	45	67	53	69	39	20	13	17	49	429	
		心カテ	40	11	38	49	39	40	49	36	35	40	40	48	465	
		外来処方	293	358	349	413	413	384	323	515	556	473	300	313	4,690	
		入院処方	3,211	3,183	3,333	4,083	3,682	3,418	3,947	3,759	3,954	4,078	3,879	4,017	44,544	
		無菌製剤処理	207	297	235	235	253	237	213	191	93	99	247	310	2,617	
栄養科	栄養士	薬剤管理指導	555	539	494	564	532	461	569	515	468	528	453	494	6,172	
		患者	一般	9,662	9,478	10,522	12,655	12,177	12,585	12,930	11,492	10,829	13,114	9,147	13,491	138,082
			特食	4,406	4,604	4,820	4,433	5,111	4,486	5,101	5,176	5,645	5,880	4,247	6,319	60,228
		計	14,068	14,082	15,342	17,088	17,288	17,071	18,031	16,668	16,474	18,994	13,394	19,810	198,310	
		職員食数	2,805	2,813	2,668	2,986	2,988	2,698	2,891	2,774	2,796	2,738	2,636	2,833	33,626	
		個別対応 病棟(%)	49	39	45	49	40	58	50	50	56	46	49	54	585	
		病棟訪問件数	451	686	788	938	1,038	1,258	1,511	1,347	1,241	1,108	1,043	1,000	12,407	
		栄養状態の再評価件数	280	274	265	339	348	386	430	388	385	431	402	447	4,375	
		栄養指導人数	178	159	160	155	166	156	167	182	202	175	215	165	2,080	
特食率(%)	31	33	31	26	30	26	28	31	34	45	32	47				
施設・用度	単位・千円	コピー用紙	233	83	163	142	160	155	155	187	156	137	155	167	1,893	
		トナー	416	291	284	240	324	314	152	298	303	308	410	385	3,725	
		電気料	6,411	7,338	8,838	11,908	10,906	9,737	8,011	8,515	9,360	9,450	7,811	8,090	106,375	
		LPガス 使用金額	58	51	51	44	39	40	48	49	64	68	66	66	644	
		都市ガス使用金額	669	872	1,265	1,971	1,780	1,939	809	1,467	2,233	2,237	1,882	1,755	18,879	
		灯油	580	0	580	562	0	581	0	386	591	420	633	0	4,333	
		水道料(2ヵ月毎)	0	1,361	0	2,190	0	1,833	0	1,795	0	1,984	0	1,949	11,112	
		ガソリン	154	163	187	200	199	167	181	149	150	158	143	165	2,016	
		送迎バス従人員	10,989	10,955	11,008	12,718	11,431	11,165	12,272	11,166	10,927	10,927	10,124	11,014	134,696	

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	
第三事業部	東名厚木	人間ドック延受検者	943	1,089	1,074	1,177	1,160	1,047	1,252	1,205	1,085	902	921	749	12,604	
		出張健診延受検者	6,124	1,792	1,260	1,886	2,965	1,033	2,843	4,151	846	271	1,194	285	24,650	
		院内健診延受検者	2,423	2,275	2,727	2,997	2,479	2,639	3,790	3,194	2,480	2,245	2,212	1,907	31,368	
診療情報管理室	退院時要約 14日以内提出率(%)		91.6	94.1	96.5	90.7	90.4	91.3	91.8	92.5	92.4	90.3	91.4	93.8	1,106.7	
	入院診療録貸出件数（再入院）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	（書類）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	（クリニック診察）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	（その他）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	開示要求件数		3	7	9	23	11	9	14	6	11	20	10	7	130	
	開示件数		11	5	7	19	10	9	13	9	7	30	17	8	145	
退院患者数			597	526	566	635	654	541	643	610	621	610	567	610	7,180	
医療の質・評価	転帰率・入院	治癒（%）	10.4	10.3	10.6	9.8	8.0	7.8	7.8	7.2	6.4	60.7	7.2	5.9		
		軽快（%）	64.2	68.1	66.1	71.0	73.2	71.0	69.1	71.5	68.8	70.3	67.7	72.0		
		不変（%）	11.6	11.0	10.8	9.8	9.0	8.1	9.0	8.5	11.8	10.7	10.2	9.5		
		転院（%）	7.7	5.7	5.8	5.2	4.9	6.5	6.5	7.2	6.8	5.9	7.4	7.2		
		死亡（%）	6.2	4.9	6.7	4.3	4.9	6.7	7.6	5.6	6.3	7.1	7.4	5.4		
	死 亡 数		37	26	38	27	32	36	49	34	39	43	42	33	436	
		（男）	22	15	27	12	14	21	33	17	24	29	23	19	256	
		（女）	15	11	11	15	18	15	16	17	15	14	19	14	180	
	術後（血管内検査等含む） 10日以内の死亡数		1	1	2	1	2	6	3	3	3	5	4	3	34	
	創 傷 数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	死亡数科別	消化器内科	4	6	5	2	7	7	13	1	8	6	7	5	71	
		循環器内科	6	1	4	5	6	6	5	2	9	8	12	7	71	
		腎代謝内科	2	4	3	3	2	1	4	2	3	5	1	3	33	
消化器外科		3	5	3	4	0	4	5	2	3	3	2	4	38		
呼吸器外科		1	2	2	0	0	0	4	0	1	3	1	1	15		
整形外科		1	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	6		
形成外科		0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	6		
脳神経外科		4	1	3	3	6	3	4	1	2	6	3	1	37		
乳腺外科		0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1	6		
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
救急総合科		4	0	7	0	3	5	8	2	5	5	6	4	49		
緩和ケア内科		12	7	10	2	6	6	4	3	7	5	7	7	76		
総合診療科		0	0	1	5	0	1	0	2	0	2	2	0	13		
褥瘡有病人数			221	229	359	435	385	425	202	333	347	559	311	326	4,132	
褥瘡有病率			3.8	3.9	5.7	6.1	5.2	6.1	2.8	4.9	5.1	7.3	4.4	4.3		
褥瘡新規発生数			6	7	4	8	5	5	4	10	5	14	10	3	81	
褥瘡推定発生率			1.0	1.3	0.7	1.2	0.8	0.9	0.6	1.7	0.8	2.1	1.7	0.5		
摂食嚥下ケア	延べ人数		435	512	589	803	633	611	687	478	546	831	541	558	7,224	
	新規介入者		87	103	98	135	102	108	101	108	95	142	87	107	1,273	
	嚥下造影検査		0	1	1	1	1	3	0	0	1	0	1	1	10	
	退院指導		0	5	3	1	0	1	2	3	3	0	3	1	22	
	歯科延べ対応数(往診)		9	14	18	19	19	13	14	16	9	3	8	9	151	
むくみケア	ケア内容	新 患 数	外来	1	3	6	4	5	3	2	4	5	1	1	4	39
			病棟	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
		フットケア	外来	0	1	0	0	0	0	0	3	2	2	1	1	10
			病棟	0	0	0	2	0	40	0	0	0	0	0	0	42
		むくみケア	外来	39	55	51	46	47	40	48	39	57	38	42	50	552
			病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			病棟	12	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	20
		延べ人数	外来	39	56	51	46	47	40	48	42	59	40	43	51	562
			病棟	12	1	0	2	6	0	0	0	0	0	0	1	22

項 目		前年度 月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
入 院	入院数	553	582	523	588	674	616	585	621	597	593	657	590	615	7,241	603	
	クリニック入院	284	330	268	289	330	296	256	312	293	279	303	296	301	3,553	296	
	対入院数比	51.3%	56.7%	51.2%	49.1%	49.0%	48.1%	43.8%	50.2%	49.1%	47.0%	46.1%	50.2%	48.9%	—	49.1%	
	(内 C L 即入院)	61	65	66	58	68	73	61	63	70	64	57	78	60	783	65	
	(内 C L 予約)	222	265	202	231	262	223	195	249	223	215	246	218	241	2,770	231	
	病院入院	269	252	255	299	344	320	329	309	304	314	354	294	314	3,688	307	
	対入院数比	48.7%	43.3%	48.8%	50.9%	51.0%	51.9%	56.2%	49.8%	50.9%	53.0%	53.9%	49.8%	51.1%	—	50.9%	
	(内 H P 即入院)	241	222	224	265	318	289	299	294	273	282	326	262	286	3,340	278	
	(内 H P 予約入院)	28	30	31	34	26	31	30	15	31	32	28	32	28	348	29	
	時間内	408	446	395	449	486	441	382	435	427	419	452	424	444	5,200	433	
	時間外	145	136	128	139	188	175	203	186	170	174	205	166	171	2,041	170	
	救急車搬送入院数	167	153	150	180	219	185	213	198	199	198	232	192	201	2,320	193	
	(時間内)	66	63	63	79	86	66	69	73	75	73	89	75	81	892	74	
	(時間外)	101	90	87	101	133	119	144	125	124	125	143	117	120	1,428	119	
	紹介患者入院数	74	65	76	97	91	104	94	90	89	84	116	100	110	1,116	93	
	紹介患者入院数 (C L 搬送入院)	44	64	41	41	36	41	38	43	52	47	48	48	46	545	45	
	初診入院	189	179	169	205	258	229	245	239	211	216	256	207	219	2,633	219	
	院	退院数	553	597	526	566	635	654	541	643	610	621	610	567	610	7,180	598
		入院実日数	7,441	6,492	6,362	6,885	7,781	8,074	7,592	8,013	7,491	7,461	8,296	7,703	8,320	90,470	7,539
1 日平均在院患者数 (24 時現在)		223.5	195.4	187.3	209.4	228.5	237.1	233.7	235.3	228.3	218.9	247.1	254.0	247.3	2,722	226.9	
占床率		79.2%	69.3%	66.4%	74.3%	81.0%	84.1%	82.9%	83.4%	81.0%	77.6%	87.6%	90.1%	87.7%	—	80.4%	
項 目		前年度 月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
外 来	延べ患者数	3,028	3,025	3,152	2,952	3,308	3,082	2,942	3,104	3,043	3,120	3,144	2,686	2,910	36,468	3,039	
	(時間内)	2,628	2,683	2,750	2,555	2,817	2,600	2,505	2,708	2,594	2,521	2,581	2,318	2,532	31,164	2,597	
	(時間外)	400	342	402	397	491	482	437	396	449	599	563	368	378	5,304	442	
合 計	診療実日数 (患者延べ人数)	3,283	3,365	3,422	31,889	3,564	3,270	3,139	3,337	3,209	3,331	3,366	2,928	3,080	67,900	5,658	
	対象人数	1,344	1,300	1,344	1,354	1,515	1,387	1,384	1,403	1,371	1,518	1,467	1,254	1,320	16,617	1,385	
	初診患者数 (入院含む)	810	716	585	808	997	895	889	850	833	983	980	713	772	10,021	835	
	初診率 (入院含む)																

項 目		前年度 月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
救 急 （ 内 数 ） 外 来	延べ患者数（時間内）	178	143	134	108	210	165	179	163	161	184	161	141	180	1,929	161
	（内 救急車来院）	146	127	129	142	205	176	156	163	159	154	166	133	148	1,858	155
	延べ患者数（時間外）	400	342	402	397	491	482	437	396	449	599	562	368	376	5,303	442
	（内 救急車来院）	282	236	228	270	358	287	336	317	317	342	378	289	304	3,662	305
	延べ患者数 合計	578	485	536	505	701	647	616	559	610	783	723	509	558	7,232	603
	（内 救急車来院）	428	363	357	412	563	463	492	480	476	496	544	422	452	5,520	460
	診療実日数（患者延べ人数）	583	489	534	549	697	650	614	567	614	785	722	512	570	7,303	609
	対象人数	573	487	522	535	676	640	594	567	591	773	706	501	558	7,150	596
	患者数初診数（入院含む）	679	528	449	647	833	763	734	691	700	871	832	579	652	8,279	690
	新患数（内数）	234	186	231	235	264	238	228	203	238	289	284	183	222	2,801	233
	新患率	40.8%	38.2%	44.3%	43.9%	39.1%	37.2%	38.4%	35.8%	40.3%	37.4%	40.2%	36.5%	39.8%	—	39.2%
	救急車 搬送人数	428	363	357	412	563	463	492	480	476	496	544	422	452	5,520	460
	救急車 搬送台数	423	360	354	404	556	459	489	479	473	490	540	421	450	5,475	456
	稼働日数	30	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30
項 目		前年度 月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
紹 介 （ 内 外 数 ） 来	診療実日数（患者延べ人数）	163	184	205	197	214	171	172	189	158	140	160	135	133	2,058	172
	対象人数	153	169	186	189	202	161	163	175	150	130	153	131	129	1,938	162
	紹介患者数	9	7	11	10	7	5	13	12	10	9	12	13	6	115	10
放 射 （ 内 治 数 ） 療 科	診療実日数（患者延べ人数）	282	365	298	232	276	199	204	226	223	244	264	266	196	2,993	249
	対象人数	40	45	43	38	41	33	30	36	43	34	37	37	46	463	39
内 視 鏡 （ 内 数 ） 外 来	診療実日数（患者延べ人数）	297	296	275	287	306	256	301	341	295	298	272	294	279	3,500	292
	対象人数	288	287	265	276	289	251	297	331	285	286	261	286	275	3,389	282
化 学 （ 療 内 法 数 ） 外 来	診療実日数（患者延べ人数）	217	277	305	302	301	272	245	285	244	219	268	217	295	3,230	269
	対象人数	125	134	156	151	150	140	136	132	138	130	144	139	159	1,709	142
援 和 （ 内 ア 数 ） 内 科	診療実日数（患者延べ人数）	35	45	47	35	36	35	40	39	43	42	36	36	33	467	39
	対象人数	30	36	35	31	27	31	32	30	33	31	36	32	28	382	32
透 析 （ 内 外 数 ） 来	診療実日数（患者延べ人数）	1,706	1,709	1,758	1,587	1,734	1,687	1,563	1,690	1,632	1,603	1,644	1,468	1,574	19,649	1,637
	対象人数	139	142	137	134	130	131	132	132	131	134	130	128	125	1,586	132

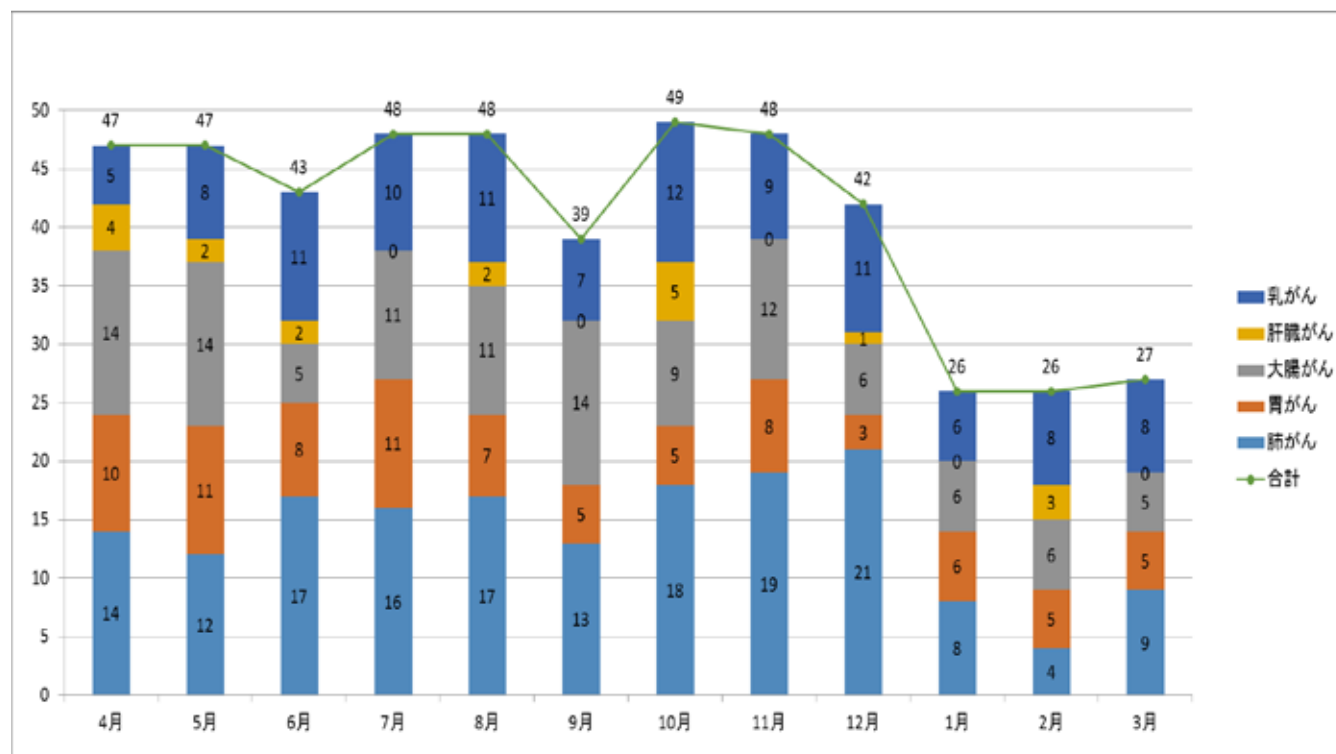
診療情報管理室統計データ

診療情報開示件数推移（2020 年～2024 年）

開示件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計	月平均
2020年度	5	0	5	3	0	7	6	4	7	0	6	20	63	5.3
2021年度	15	14	22	12	19	8	13	12	6	12	12	11	156	13.0
2022年度	19	15	13	13	18	10	15	11	6	11	7	10	148	12.3
2023年度	14	9	11	15	9	7	12	14	11	5	11	11	129	10.8
2024年度	11	5	7	19	10	9	13	9	7	30	17	8	145	12.1

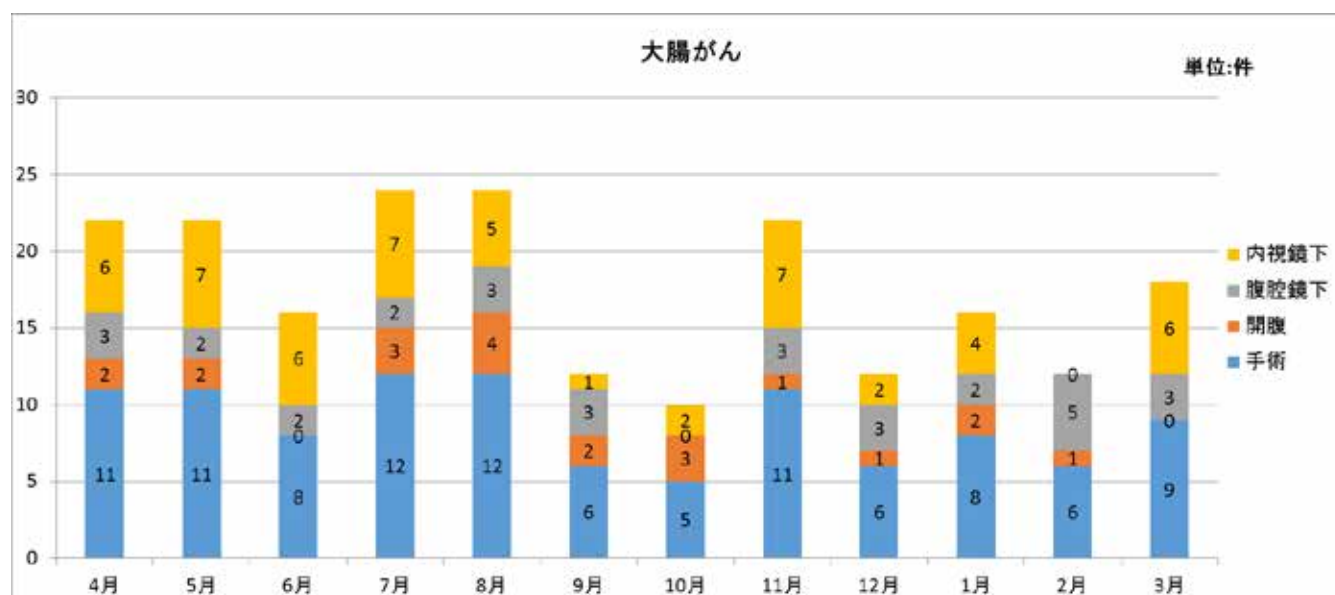
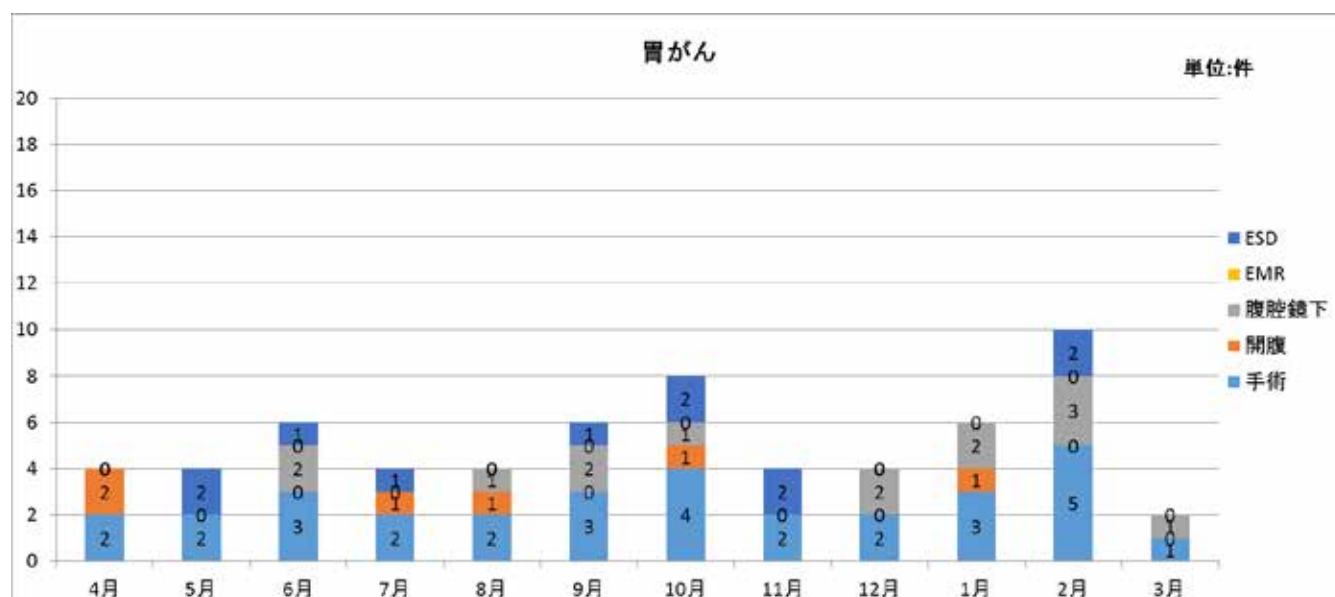
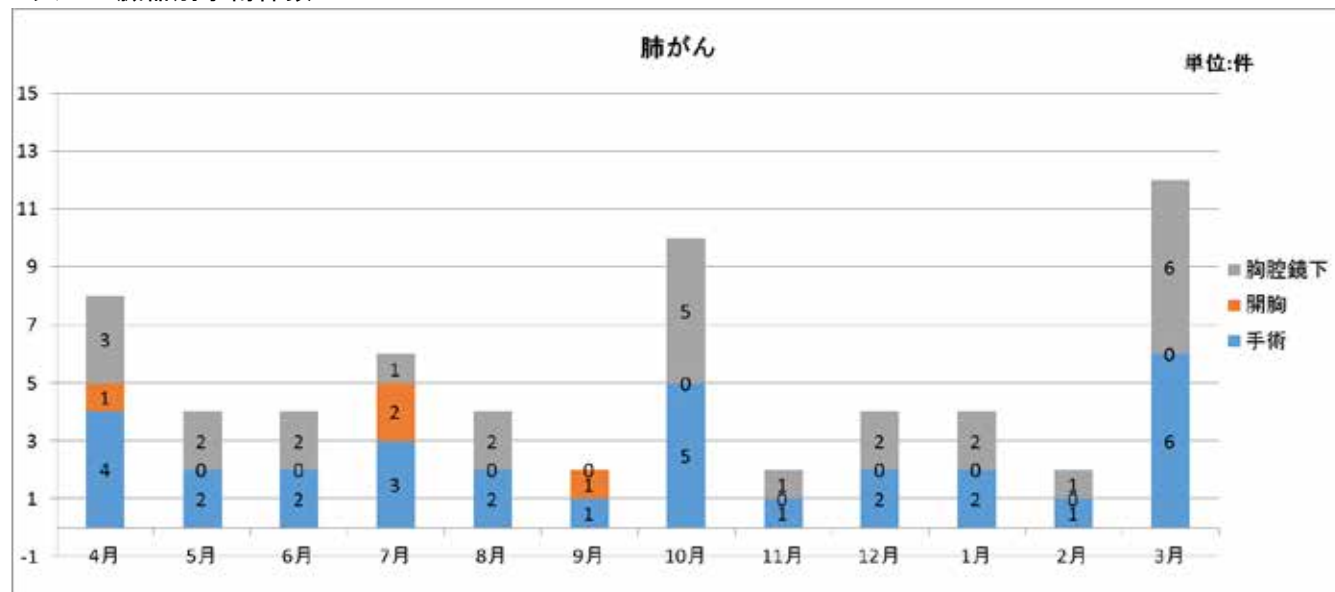


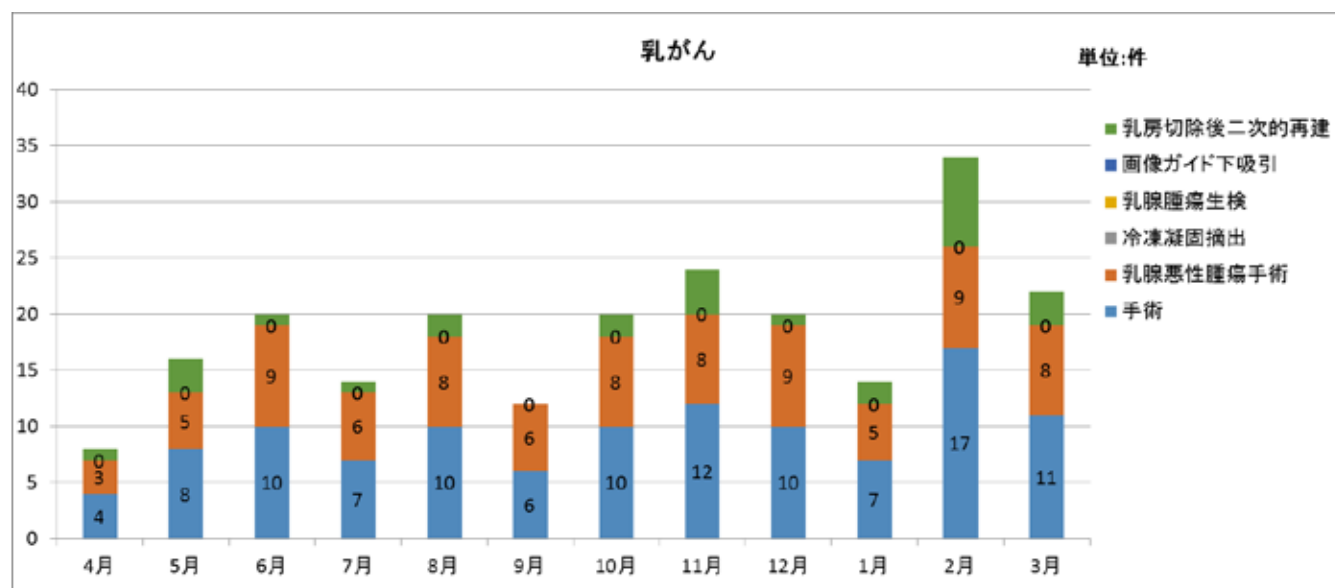
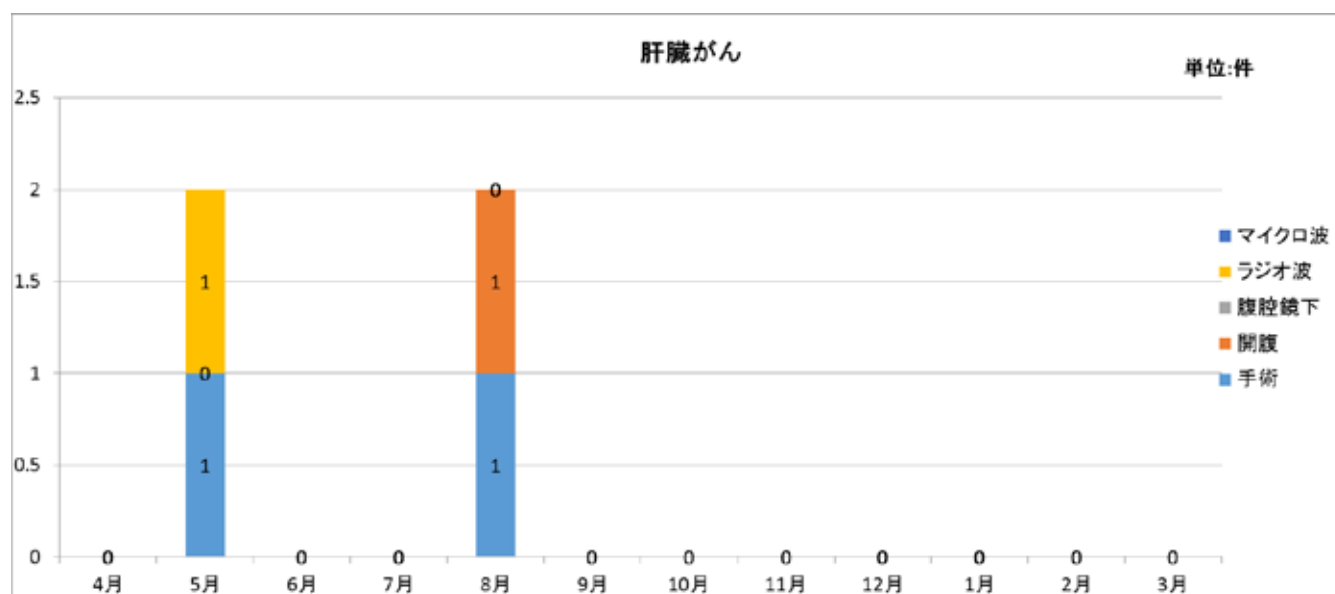
臓器別悪性腫瘍新規入院患者数



※新規患者のうち、原発巣が5大がんの患者数

5 大がん臓器別手術件数





院内がん登録 原発部位別登録数

(登録日集計)

ICD-O	原発部位	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数		702	51	61	55	61	52	59	54	62	60	60	59	68
C00-14・30・31	頭頸部	7	1	0	0	2	1	0	0	0	1	0	2	0
C15	食道	16	0	2	1	1	1	1	0	2	1	2	3	2
C16	胃	72	5	7	5	7	7	4	7	7	7	5	5	6
C18	結腸	106	10	8	9	6	6	8	14	7	9	7	13	9
C19-20	直腸	53	3	3	2	3	4	9	4	5	6	8	4	2
C22	肝臓	23	2	2	5	4	2	0	0	3	1	1	3	0
C23-24	胆嚢 胆管	12	0	3	0	0	1	0	1	0	2	2	2	1
C25	膵臓	44	4	1	5	3	1	3	5	7	6	3	3	3
C32	喉頭	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C33-34	肺 気管	94	7	10	5	13	6	7	9	5	6	8	5	13
C40-41・C47・C49	骨 軟部	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
C44	皮膚	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
C50	乳房	106	9	8	10	1	9	8	7	11	8	12	11	12
C53	子宮頸部	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
C54	子宮体部	9	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0
C56	卵巣	7	0	1	0	0	0	3	0	1	1	0	0	1
C61	前立腺	78	7	8	3	12	7	6	3	4	6	6	4	12
C67	膀胱	24	0	3	3	5	1	3	1	1	2	2	1	2
C64-C66・C68	腎 尿路	5	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0
C70・71・72・C751-753	脳 神経	3	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
C73	甲状腺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C77	悪性リンパ腫	3	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
C80	原発不明癌	5	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1
上記以外	その他	23	1	2	2	1	1	4	1	4	2	1	1	3

疾病分類別入院患者数（2024 年度 退院患者傷病名）

感染症及び寄生虫症（A00―B99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
腸管感染症（A00―A09）	47	49	96
結核（A15―A19）	1	1	2
その他の細菌性疾患（A30―A49）	13	11	24
中枢神経系のウイルス感染症（A80―A89）	2	1	3
皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症（B00―B09）	2	5	7
ウイルス性肝炎（B15―B19）	4	2	6
その他のウイルス性疾患（B25―B34）	3	0	3
真菌症（B35―B49）	1	1	2
ぜんく蠕＞虫症（B65―B83）	1	1	2
シラミ症，ダニ症及びその他の動物寄生症（B85―B89）	1	0	1
感染症及び寄生虫症 合計	75	71	146

新生物＜腫瘍＞（C00―D48）			
疾病中間分類名	男	女	合計
口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞（C00―C14）	3	2	5
消化器の悪性新生物＜腫瘍＞（C15―C26）	274	125	399
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞（C30―C39）	167	49	216
骨及び関節軟骨の悪性新生物＜腫瘍＞（C40―C41）	1	0	1
皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物＜腫瘍＞（C43―C44）	1	2	3
中皮及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞（C45―C49）	4	3	7
乳房の悪性新生物＜腫瘍＞（C50）	2	116	118
女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞（C51―C58）	0	11	11
男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞（C60―C63）	138	0	138
腎尿路の悪性新生物＜腫瘍＞（C64―C68）	45	13	58
眼，脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞（C69―C72）	1	4	5
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物＜腫瘍＞（C73―C75）	0	0	0
部位不明確，続発部位及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞（C76―C80）	37	24	61
リンパ組織，造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞， 原発と記載された又は推定されたもの（C81―C96）	6	2	8
上皮内新生物＜腫瘍＞（D00―D09）	0	4	4
良性新生物＜腫瘍＞（D10―D36）	9	11	20
性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞（D37―D48）	52	51	103
新生物＜腫瘍＞ 合計	740	417	1,157

血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50―D89）			
疾病中間分類名	男	女	合計
栄養性貧血（D50―D53）	10	18	28
溶血性貧血（D55―D59）	0	0	0
無形成性貧血及びその他の貧血（D60―D64）	3	5	8
凝固障害，紫斑病及びその他の出血性病態（D65―D69）	0	0	0
血液及び造血器のその他の疾患（D70―D77）	3	0	3
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 合計	16	23	39

内分泌，栄養及び代謝疾患（E00―E90）			
疾病中間分類名	男	女	合計
甲状腺障害（E00―E07）	2	3	5
糖尿病（E10―E14）	43	20	63
その他のグルコース調節及び膵内分泌障害（E15―E16）	7	1	8
その他の内分泌腺障害（E20―E35）	2	1	3
栄養失調（症）（E40―E46）	3	4	7
その他の栄養欠乏症（E50―E64）	0	0	0
肥満（症）及びその他の過栄養＜過剰摂食＞（E65―E68）	1	0	1
代謝障害（E70―E90）	43	41	87
内分泌，栄養及び代謝疾患 合計	101	70	174

精神及び行動の障害（F00—F99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
症状性を含む器質性精神障害（F00—F09）	0	4	4
精神作用物質使用による精神及び行動の障害（F10—F19）	6	1	7
統合失調症，統合失調症性障害及び妄想性障害（F20—F29）	0	1	1
気分〔感情〕障害（F30—F39）	0	0	0
神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害（F40—F48）	1	2	3
成人の人格及び行動の障害（F60—F69）	0	1	1
精神及び行動の障害 合計	7	9	16

神経系の疾患（G00—G99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
中枢神経系の炎症性疾患（G00—G09）	5	1	6
錐体外路障害及び異常運動（G20—G26）	1	2	3
神経系のその他の変性疾患（G30—G32）	2	3	5
中枢神経系の脱髄疾患（G35—G37）	0	0	0
挿間性及び発作性障害（G40—G47）	89	51	140
神経，神経根及び神経そうく叢の障害（G50—G59）	2	5	7
多発（性）ニューロパチ＜シ＞ー及びその他の末梢神経系の障害（G60—G64）	3	0	3
神経筋接合部及び筋の疾患（G70—G73）	2	0	2
脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群（G80—G83）	3	1	4
神経系のその他の障害（G90—G99）	10	3	13
神経系の疾患 合計	117	66	183

眼及び付属器の疾患（H00—H59）			
疾病中間分類名	男	女	合計
眼瞼，涙器及び眼窩の障害（H00—H06）	17	21	38
水晶体の障害（H25—H28）	83	65	148
脈絡膜及び網膜の傷害（H30—H36）	0	0	0
眼及び付属器の疾患 合計	100	86	186

耳及び乳様突起の疾患（H60—H95）			
疾病中間分類名	男	女	合計
中耳及び乳様突起の疾患（H65—H75）	1	0	1
内耳疾患（H80—H83）	19	25	44
耳のその他の障害（H90—H95）	2	2	4
耳及び乳様突起の疾患 合計	22	27	49

循環器系の疾患（I00—I99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
慢性リウマチ性心疾患（I05—I09）	0	0	0
高血圧性疾患（I10—I15）	5	6	11
虚血性心疾患（I20—I25）	217	60	277
肺性心疾患及び肺循環疾患（I26—I28）	4	3	7
その他の型の心疾患（I30—I52）	187	129	316
脳血管疾患（I60—I69）	208	125	333
動脈，細動脈及び毛細血管の疾患（I70—I79）	29	15	44
静脈，リンパ管及びリンパ節の疾患，他に分類されないもの（I80—I89）	14	9	23
循環器系のその他及び詳細不明の障害（I95—I99）	2	0	2
循環器系の疾患 合計	666	347	1013

呼吸器系の疾患（J00—J99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
急性上気道感染症（J00—J06）	4	2	6
インフルエンザ及び肺炎（J09—J18）	175	116	291
その他の急性下気道感染症（J20—J22）	4	10	14
上気道のその他の疾患（J30—J39）	4	2	6
慢性下気道疾患（J40—J47）	28	17	45
外的因子による肺疾患（J60—J70）	55	45	100
主として間質を障害するその他の呼吸器疾患（J80—J84）	35	11	46
下気道の化膿性及びえく壊＞死性病態（J85—J86）	10	2	12
胸膜のその他の疾患（J90—J94）	42	14	56
呼吸器系のその他の疾患（J95—J99）	8	2	10
呼吸器系の疾患 合計	365	221	586

消化器系の疾患（K00—K93）			
疾病中間分類名	男	女	合計
口腔、唾液腺及び顎の疾患（K00—K14）	0	0	0
食道、胃及び十二指腸の疾患（K20—K31）	74	40	114
虫垂の疾患（K35—K38）	36	25	61
ヘルニア（K40—K46）	79	15	94
非感染性腸炎及び非感染性大腸炎（K50—K52）	12	2	14
腸のその他の疾患（K55—K64）	565	311	876
腹膜の疾患（K65—K67）	8	5	13
肝疾患（K70—K77）	54	22	76
胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害（K80—K87）	222	153	375
消化器系のその他の疾患（K90—K93）	40	31	71
消化器系の疾患 合計	1090	604	1694

皮膚及び皮下組織の疾患（L00—L99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
皮膚及び皮下組織の感染症（L00—L08）	29	17	46
皮膚炎及び湿疹（L20—L30）	1	1	2
じんま＜蕁麻疹＞疹及び紅斑（L50—L54）	0	3	3
皮膚及び皮下組織の放射線に関連する障害（L55—L59）	0	0	0
皮膚付属器の障害（L60—L75）	0	3	3
皮膚及び皮下組織のその他の障害（L80—L99）	8	11	19
皮膚及び皮下組織の疾患 合計	38	35	73

筋骨格系及び結合組織の疾患（M00—M99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
感染性関節障害（M00—M03）	1	4	5
炎症性多発性関節障害（M05—M14）	7	7	14
関節症（M15—M19）	19	54	73
その他の関節障害（M20—M25）	8	12	20
全身性結合組織障害（M30—M36）	2	1	3
変形性脊柱障害（M40—M43）	1	3	4
脊椎障害（M45—M49）	39	17	56
その他の脊柱障害（M50—M54）	23	14	37
筋障害（M60—M63）	3	7	10
滑膜及び腱の障害（M65—M68）	4	5	9
その他の軟部組織障害（M70—M79）	5	1	6
骨の密度及び構造の障害（M80—M85）	5	1	6
その他の骨障害（M86—M90）	2	1	3
筋骨格系及び結合組織のその他の障害（M95—M99）	0	1	1
筋骨格系及び結合組織の疾患 合計	119	128	247

腎尿路生殖器系の疾患（N00—N99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
糸球体疾患（N00—N08）	5	3	8
腎尿細管間質性疾患（N10—N16）	31	32	63
腎不全（N17—N19）	58	31	89
尿路結石症（N20—N23）	105	39	144
腎及び尿管のその他の障害（N25—N29）	8	2	10
尿路系のその他の疾患（N30—N39）	48	45	93
男性生殖器の疾患（N40—N51）	28	0	28
乳房の障害（N60—N64）	1	2	3
女性骨盤臓器の炎症性疾患（N70—N77）	0	0	0
女性生殖器の非炎症性障害（N80—N98）	0	2	2
腎尿路生殖器系その他の障害（N99）	0	0	0
腎尿路生殖器系の疾患 合計	284	156	440

先天奇形、変形及び染色体異常（Q00—Q99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
神経系の先天奇形（Q00—Q07）	0	0	0
目、耳、顔面及び頸部の先天奇形（Q10—Q18）	0	2	2
循環器系の先天奇形（Q20—Q28）	0	0	0
消化器系のその他の先天奇形（Q38—Q45）	3	7	10
腎尿路系の先天奇形（Q60—Q64）	2	1	3
その他の先天奇形（Q80—Q89）	0	0	0
先天奇形、変形及び染色体異常 合計	5	10	15

症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00—R99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候（R00—R09）	4	4	8
消化器系及び腹部に関する症状及び徴候（R10—R19）	14	27	41
神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候（R25—R29）	1	0	1
腎尿路系に関する症状及び徴候（R30—R39）	3	1	4
認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候（R40—R46）	12	8	20
全身症状及び徴候（R50—R69）	18	19	37
血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの（R70—R79）	0	0	0
尿検査の異常所見、診断名の記載がないもの（R80—R82）	0	0	0
画像診断及び機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの（R90—R94）	1	1	2
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 合計	53	60	113

損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00—T98）			
疾病中間分類名	男	女	合計
頭部損傷（S00—S09）	95	48	143
頸部損傷（S10—S19）	13	6	19
胸部＜郭＞損傷（S20—S29）	21	25	46
腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷（S30—S39）	24	56	80
肩及び上腕の損傷（S40—S49）	53	53	106
肘及び前腕の損傷（S50—S59）	35	61	96
手首及び手の損傷（S60—S69）	31	6	37
股関節部及び大腿の損傷（S70—S79）	56	116	172
膝及び下腿の損傷（S80—S89）	77	37	114
足首及び足の損傷（S90—S99）	11	4	15
多部位の損傷（T00—T07）	3	0	3
部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷又は部位不明の損傷（T08—T14）	1	1	2
自然開口部からの異物侵入の作用（T15—T19）	3	2	5
熱傷及び腐食（T20—T32）	3	1	4
薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒（T36—T50）	2	4	6
薬用を主としない物質の毒作用（T51—T65）	1	0	1
外因のその他及び詳細不明の作用（T66—T78）	24	9	33
外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの（T80—T88）	21	29	50
損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症（T90—T98）	2	0	2
損傷、中毒及びその他の外因の影響 合計	476	458	934

特殊目的用コード（U00－U99）			
疾病中間分類名	男	女	合計
原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類（U00－U49）	65	50	115
特殊目的用コード 合計	65	50	115

IV

1. 各科医師紹介（2024年1月1日～2025年3月31日）

【消化器科】

中野 敦史（なかの・あつし）

- （1）出身校 1986年3月 東海大学医学部卒
- （2）資格等 医学博士（東海大学），日本内科学会認定 認定内科医，日本消化器病学会認定 消化器病専門医・指導医，日本内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医・指導医，日本肝臓学会認定 肝臓専門医・指導医，日本ヘリコバクター学会認定 H.pylori（ピロリ菌）感染症認定医，ICD制度協議会認定 インフェクションコントロールドクター，日本化学療法学会認定 抗菌化学療法認定医，肝機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医
- （3）専門領域 消化器（肝，胆）

玉置 道生（たまき・みちお）

- （1）出身校 2001年3月 徳島大学医学部卒
- （2）資格等 日本内科学会認定 総合内科専門医，日本消化器病認定 消化器病専門医，日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医，日本肝臓学会認定 肝臓専門医，日本医師会認定産業医，臨床研修指導医
- （3）専門領域 消化器疾患

川井 貴美子（かわい・きみこ）

- （1）出身校 2012年3月 浜松医科大学医学部卒
- （2）資格等 日本内科学会認定 認定内科医，日本消化器病学会認定 消化器病専門医，日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医，日本肝臓学会認定 肝臓専門医，ICD制度協議会認定 インフェクションコントロールドクター，日本化学療法学会認定 抗菌化学療法認定医，臨床研修指導医
- （3）専門領域 消化器内科

新井 圭一（あらい・けいいち）

- （1）出身校 2014年3月 近畿大学医学部卒
- （2）資格等 日本内科学会認定 認定内科医，日本消化器病学会認定 消化器病専門医，

日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医，日本肝臓学会認定 肝臓専門医，臨床研修指導医

(3) 専門領域 消化器内科

原 真太郎（はら・しんたろう）

(1) 出身校 2014 年 3 月 帝京大学医学部卒

(2) 資格等 日本内科学会認定 認定内科医，日本消化器病認定 消化器病専門医，日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医，日本肝臓学会認定 肝臓専門医

(3) 専門領域 消化器疾患

三谷 啓介（みたに・けいすけ）

(1) 出身校 2020 年 3 月 横浜市立大学医学部卒

(2) 専門領域 消化器内科

阿久津 朋宏（あくつ・ともひろ）

(1) 出身校 2020 年 3 月 帝京大学医学部卒

(2) 専門領域 消化器内科

岡本 寛治（おかもと・かんじ）

(1) 出身校 2020 年 3 月 帝京大学医学部卒

(2) 専門領域 消化器内科

苗村 佑太（なむら・ゆうた）

(1) 出身校 2019 年 3 月 帝京大学医学部卒

(2) 専門領域 消化器内科

【循環器科】

北野 義和（きたの・よしかず）

(1) 出身校 1991 年 3 月 北里大学医学部卒

(2) 資格等 医学博士(北里大学)，日本内科学会認定 認定内科医，日本内科学会認定 総合内科専門医，日本循環器科学会認定 循環器専門医，心臓機能障害身体障害指定医，日本病院会認定 病院総合医，臨床研修指導医

(3) 専門領域 循環器内科

石川 征之（いしかわ・まさゆき）

- （１） 出身校 2013 年 3 月 宮崎大学医学部卒
- （２） 資格等 日本内科学会認定 認定内科医，日本心血管インターベンション治療学会認定 CVIT 認定医，日本循環器科学会認定 循環器専門医，心臓機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医
- （３） 専門領域 循環器内科一般，総合内科

石川 沙羅（いしかわ・さら）

- （１） 出身校 2013 年 3 月 宮崎大学医学部卒
- （２） 資格等 日本内科学会認定 認定内科医，日本心血管インターベンション治療学会認定 CVIT 認定医，日本循環器科学会認定 循環器専門医，心臓機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医
- （３） 専門領域 循環器内科一般，総合内科

深井 翼（ふかい・つばさ）

- （１） 出身校 2015 年 3 月 センメルベイス大学医学部卒
- （２） 専門領域 循環器内科一般

神宮 裕太（しんぐう・ゆうた）

- （１） 出身校 2019 年 3 月 大分大学医学部卒
- （２） 専門領域 循環器内科一般

春木 耀介（はるき・ようすけ）

- （１） 出身校 2019 年 3 月 北里大学医学部卒
- （２） 専門領域 循環器内科一般

豊崎 礼（とよざき・れい）

- （１） 出身校 2021 年 3 月 北里大学医学部卒
- （２） 専門領域 循環器内科一般

【呼吸器科】

竹内 真吾（たけうち・しんご）

- （１） 出身校 2002 年 3 月 日本医科大学医学部卒
- （２） 資格等 医学博士（日本医科大学），日本外科学会認定 外科専門医，日本呼吸器外科学会認定 呼吸器外科専門医，日本がん治療認定医機構認定 がん治療認

定医，肺がん CT 検診認定医，呼吸機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医，緩和ケア講習会修了

- (3) 専門領域 呼吸器外科疾患全般，緩和ケア

三浦 隼（みうら・じゅん）

- (1) 出身校 2015 年 3 月 金沢大学医学部卒
(2) 資格等 日本外科学会認定 外科専門医，日本呼吸器外科学会認定 呼吸器外科専門医
(3) 専門領域 呼吸器外科疾患全般

【腎代謝内科】

冨田 公夫（とみた・きみお）

- (1) 出身校 1973 年 3 月 東京医科歯科大学医学部卒
(2) 資格等 医学博士（東京医科歯科大学），日本内科学会認定内科医，日本腎臓学会腎臓指導医・専門医，日本透析医学会透析指導医・専門医，じん臓機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医，臨床検査管理医
(3) 専門領域 腎臓内科，透析，高血圧

大山 聡子（おおやま・さとこ）

- (1) 出身校 2000 年 3 月 東京女子医科大学卒
(2) 資格等 日本内科学会認定 認定内科医，日本透析医学会認定 透析専門医・指導医，日本腎臓学会認定 腎臓専門医・指導医，じん臓機能障害身体障害指定医，日本医師会認定産業医，臨床研修指導医
(3) 専門領域 腎臓内科・透析

堀 賢一郎（ほり・けんいちろう）

- (1) 出身校 2006 年 3 月 獨協医科大学医学部卒
(2) 資格等 日本内科学会認定 総合内科専門医，日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医・研修指導医，日本内分泌学会認定 内分泌代謝専門医，じん臓機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医
(3) 専門領域 糖尿病・内分泌・腎臓

【外 科】

田澤 賢一（たざわ・けんいち）

- (1) 出身校 1993 年 3 月 富山医科薬科大学医学部卒
- (2) 資格等 医学博士 (富山大学), 日本外科学会認定 外科専門医・指導医, 日本消化器外科学会認定 消化器外科専門医・指導医, 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医・指導医, 日本消化器病学会認定 消化器病専門医・指導医, 日本乳癌学会認定 乳癌専門医・指導医, 日本内視鏡外科学技術認定医 (一般外科・ヘルニア領域), da Vinci 助手 certificate, 臨床研修指導医
- (3) 専門領域 消化器外科全般, 腹部救急, 腹腔鏡手術 (胃・ヘルニア・胆嚢他), 乳腺・甲状腺, 肛門病変

高坂 佳宏 (たかさか・よしひろ)

- (1) 出身校 1994 年 3 月 富山薬科医科大学医学部卒
- (2) 資格等 日本外科学会認定 外科専門医・指導医, 日本消化器外科学会認定 消化器外科専門医・指導医, 肝機能障害身体障害指定医, 小腸肝機能障害身体障害指定医, ぼうこう又は直腸機能障害身体障害指定医, 臨床研修指導医
- (3) 専門領域 消化器全般 (特に消化管の腹腔鏡手術), 総合的外科診療

神山 公希 (かみやま・こうき)

- (1) 出身校 2001 年 3 月 富山医科薬科大学医学部卒
- (2) 資格等 医学博士 (富山大学), 日本外科学会認定 外科専門医, 日本消化器外科学会認定 消化器外科専門医・消化器がん治療認定医, 日本腹部救急医学会認定 腹部救急認定医, 日本がん治療認定医機構認定 がん治療認定医, 日本病院会認定 病院総合医, 肝機能障害身体障害指定医, 小腸機能障害身体障害指定医, ぼうこう又は直腸機能障害身体障害指定医, 臨床研修指導医
- (3) 専門領域 一般外科, 消化器外科, 消化器がん化学療法

木村 七菜 (きむら・なな)

- (1) 出身校 2019 年 3 月 富山大学医学部卒
- (2) 専門領域 一般外科

深澤 美奈 (ふかさわ・みな)

- (1) 出身校 2019 年 3 月 富山大学医学部卒
- (2) 専門領域 一般外科, 消化器外科

山野 格寿 (やまの・まさとし)

- (1) 出身校 2019 年 3 月 東京慈恵会医科大学医学部卒

- (2) 専門領域 一般外科

櫻井 太郎（さくらい・たろう）

- (1) 出身校 2019 年 3 月 富山大学医学部卒
(2) 専門領域 一般外科

【血管外科】

小島 淳夫（こじま・あつお）

- (1) 出身校 1990 年 3 月 山梨医科大学卒
(2) 資格等 医学博士（山梨医科大学），日本外科学会認定 外科専門医・指導医，日本脈管学会認定 脈管専門医・指導医，日本血管外科学科認定 血管内治療医，下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会認定 実施医・指導医，日本静脈学会認定 弾性ストッキング圧迫療法コンダクター，ICD 制度協議会認定 インフュージョンコントロールドクター，肢体不自由障害身体障害指定医，日本医師会認定 産業医，臨床研修指導医，血管外科症例検討会幹事，神奈川県臨床外科医学会評議員
(3) 専門領域 血管外科および一般外科

【乳腺外科】

日野 浩司（ひの・こうじ）

- (1) 出身校 1987 年 3 月 富山医科薬科大学医学部卒
(2) 資格等 医学博士（富山医科薬科大学），日本外科学会認定 外科専門医・指導医，日本乳癌学会認定 乳腺認定医，オンコプラスチックサージェリー学会認定 乳房再建実施医師，日本乳がん検診精度管理中央機構認定 検診マンモグラフィー読影認定医，日本病院総合診療医学会認定 認定医・指導医，日本病院会認定 病院総合医，日本専門医機構認定 総合診療専門研修特任指導医，日本医師会認定 認定産業医，臨床研修指導医
(3) 専門領域 乳腺・甲状腺外科（内分泌外科），消化器外科，一般外科，緩和医療

鎌田 順道（かまた・ありみち）

- (1) 出身校 2009 年 3 月 山梨大学医学部卒
(2) 資格等 日本外科学会認定 外科専門医・指導医，日本消化器外科学会認定 消化器外科専門医・指導医，日本乳癌学会認定 乳腺認定医・専門医，日本がん治療認定医機構認定 がん治療認定，日本消化器がん外科治療認定 消化器が

ん外科治療認定医，日本乳がん検診精度管理中央機構認定 検診マンモグラフィ読影認定医，日本乳がん検診精度管理中央機構認定 乳がん検診超音波実施・判定医師，オンコプラスチックサージェリー学会認定 乳房再建実施医師・責任医師，ぼうこう又は直腸機能障害・小腸機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医

(3) 専門領域 乳腺外科，一般消化器外科，化学療法

【緩和ケア内科】

飯田 哲士（いいだ・てつじ）

- (1) 出身校 2000 年 3 月 東海大学医学部卒
- (2) 資格等 日本産婦人科学会認定 産婦人科専門医・指導医，日本婦人科腫瘍学会認定 婦人科腫瘍専門医・指導医，日本臨床細胞学会認定 細胞診専門医，
日本がん治療認定医機構認定 がん治療認定医，日本緩和医療学会認定 認定医，臨床研修指導医
- (3) 専門領域 産婦人科腫瘍

【脊椎センター】

和田 圭司（わだ・けいじ）

- (1) 出身校 1998 年 3 月 島根医科大学医学部卒
- (2) 資格等 医学博士（東京女子医科大学），日本脊椎脊髓病学会認定 脊椎脊髓外科指導医，日本整形外科学会認定 脊椎脊髓病医，日本整形外科学会認定 整形外科専門医，臨床研修指導医
- (3) 専門領域 脊椎・脊髓

【整形外科】

成尾 宗浩（なるお・むねひろ）

- (1) 出身校 2002 年 3 月 日本医科大学医学部卒
- (2) 資格等 医学博士（日本医科大学），日本整形外科学会認定 整形外科専門医，肢体不自由障害身体障害指定医，臨床研修指導医
- (3) 専門領域 肩関節，膝関節，スポーツ整形外科，四肢骨軟部外傷

中 正剛（なか・せいこう）

- (1) 出身校 2004 年 3 月 岐阜大学医学部卒

- (2) 資格等 日本整形外科学会認定 整形外科専門医，肢体不自由障害身体障害指定医，臨床研修指導医
- (3) 専門領域 整形外科一般

沼口 大輔（ぬまぐち・だいすけ）

- (1) 出身校 2006 年 3 月 東邦大学医学部卒
- (2) 資格等 日本整形外科学会認定 整形外科専門医，日本整形外科学会認定 認定脊椎脊髄病医，日本脊椎脊髄病学会認定 脊椎脊髄外科指導医
- (3) 専門領域 脊椎外科，一般外傷

小田 虎賢（おだ・たけとし）

- (1) 出身校 2014 年 3 月 旭川医科大学医学部卒
- (2) 資格等 日本整形外科学会認定 整形外科専門医，日本パラスポーツ協会公認 障がい者スポーツ医，日本パラスポーツ協会公認 初級・中級障がい者スポーツ指導員，日本医師会認定 認定産業医，日本医師会認定 認定健康スポーツ医，日本スポーツ協会公認 スポーツドクター，日本陸上競技連盟公認 陸上競技コーチ 1
- (3) 専門領域 整形外科一般外傷，スポーツトレーニング

清水 岳大（しみず・たけひろ）

- (1) 出身校 2020 年 3 月 山梨大学医学部卒
- (2) 専門領域 整形外科一般

櫻井 太郎（さくらい・たろう）

- (1) 出身校 2018 年 3 月 山梨大学医学部卒
- (2) 専門領域 整形外科一般

【脳神経外科】

鬼塚 圭一郎（おにつか・けいいちろう）

- (1) 出身校 1987 年 3 月 富山医科薬科大学医学部卒
- (2) 資格等 医学博士(富山医科薬科大学)，日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医，日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医・指導医，日本脳卒中の外科学会認定 技術指導医，日本脳神経血管内治療学会認定 脳血栓回収療法実施医，肢体不自由障害身体障害指定医，臨床研修指導医，神奈川県救命情報システム救急指導医

- (3) 専門領域 脳卒中

山崎 友也（やまざき・ともや）

- (1) 出身校 2001 年 3 月 北里大学医学部卒
(2) 資格等 日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医, 肢体不自由障害身体障害指定医, 臨床研修指導医
(3) 専門領域 脳外科全般

【形成外科】

高梨 遼（たかなし・りょう）

- (1) 出身校 2013 年 3 月 杏林大学医学部卒
(2) 資格 日本形成外科学会医認定 形成外科専門医, がん専門修練医（形成外科）修了, オンコプラスチックサージェリー学会認定 乳房再建責任医師, 肢体不自由障害身体障害指定医, 臨床研修指導医, 杏林大学医学部臨床教育講師
(3) 専門領域 形成外科一般, 再建外科, マイクロサージェリー, 顎顔面外科

竹江 雄貴（たけえ・ゆうき）

- (1) 出身校 2017 年 3 月 札幌医科大学医学部卒
(2) 資格 日本形成外科学会医認定 形成外科専門医,
(3) 専門領域 形成外科一般

渋谷 誠（しぶや・まこと）

- (1) 出身校 2020 年 3 月 順天堂大学医学部卒
(2) 専門領域 形成外科一般

白水 夏実（しろうず・なつみ）

- (1) 出身校 2021 年 3 月 富山大学医学部卒
(2) 専門領域 形成外科一般

【麻酔科】

岩倉 秀雅（いわくら・ひでまさ）

- (1) 出身校 1990 年 3 月 島根医科大学医学部卒
(2) 資格等 厚生労働省麻酔科標榜医, 日本専門医機構認定 麻酔科専門医, 日本麻酔科

学会認定 麻酔科指導医，臨床研修指導医

- (3) 専門領域 手術麻酔全般

福島 沙夜乃（ふくしま・さやの）

- (1) 出身校 2002 年 3 月 北里大学医学部卒
2011 年 9 月 北里大学大学院卒
- (2) 資格等 医学博士（北里大学），厚生労働省麻酔科標榜医，日本麻酔科学会認定麻酔科指導医
- (3) 専門領域 手術麻酔全般

樽本 義男（たるもと・よしお）

- (1) 出身校 2007 年 3 月 杏林大学医学部卒
- (2) 資格等 厚生労働省麻酔科標榜医，日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医・指導医
- (3) 専門領域 手術麻酔全般

岩岡 由紀子（いわおか・ゆきこ）

- (1) 出身校 2007 年 3 月 日本大学医学部卒
- (2) 資格等 日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医・指導医
- (3) 専門領域 手術麻酔

吉岡 征夫（よしおか・ゆきお）

- (1) 出身校 2009 年 3 月 東北大学医学部卒
- (2) 資格等 厚生労働省麻酔科標榜医，日本麻酔科学会認定 麻酔科指導医，日本専門医機構認定 麻酔科専門医，日本周術期経食道心エコー認定医，日本区域麻酔学会認定 指導医，臨床研修指導医
- (3) 専門領域 臨床麻酔，麻酔科学一般

中島 光（なかじま・ひかる）

- (1) 出身校 2011 年 3 月 山形大学医学部卒
- (2) 資格等 厚生労働省麻酔科標榜医，日本麻酔科学会認定 麻酔科認定医・専門医
- (3) 専門領域 手術麻酔，緩和ケア

金沢 幸雄（かなざわ・ゆきお）

- (1) 出身校 2013 年 3 月 北海道大学医学部卒
- (2) 資格等 厚生労働省麻酔科標榜医，日本麻酔科学会認定 麻酔科専門医，日本小児麻酔学会認定 小児麻酔認定医

- (3) 専門領域 手術麻酔全般

柴田 衛（しばた・まもる）

- (1) 出身校 2016 年 3 月 神戸大学医学部卒
(2) 資格等 厚生労働省麻酔科標榜医，日本専門医機構認定 麻酔科専門医
(3) 専門領域 手術麻酔全般

【泌尿器科】

岩村 正嗣（いわむら・まさつぐ）

- (1) 出身校 1983 年 3 月 北里大学医学部卒
(2) 資格等 医学博士(北里大学)，日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医・指導医，日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会認定 泌尿器腹腔鏡技術認定医，日本内視鏡外科学会認定 技術認定医，日本内分泌外科学会認定 内分泌外科専門医，日本移植学会認定 移植認定医，泌尿器ロボット支援手術プロクター認定制度認定医，臨床修練指導医，臨床研修指導医
(3) 専門領域 泌尿器科一般

藤城 貴教（とうじょう・たかのり）

- (1) 出身校 1998 年 3 月 北里大学医学部卒
(2) 資格等 日本泌尿器科学会認定 泌尿器科専門医・指導医，ぼうこう又は直腸機能障害身体障害指定医，臨床研修指導医
(3) 専門領域 泌尿器科一般

羽田 理紗（はだ・りさ）

- (1) 出身校 2020 年 3 月 杏林大学医学部卒
(2) 専門領域 泌尿器科一般

【放射線科】

阿部 敦（あべ・あつし）

- (1) 出身校 1996 年 3 月 千葉大学医学部卒
2002 年 3 月 東京大学大学院医学系研究科卒
(2) 資格 医学博士（東京大学），日本医学放射線学会認定 放射線診断専門医・研修指導医，日本専門医機構認定 放射線科専門医，日本核医学会認定 核医学専門医・日本核医学会認定 PET 核医学認定医，臨床研修指導医，医療安全管

理者

- (3) 専門領域 放射線診断学 特に神経放射線学，核医学 特に脳核医学

吉川 渉（よしかわ・わたる）

- (1) 出身校 1993 年 3 月 東京大学医学部卒
(2) 資格 日本医学放射線学会認定 放射線診断専門医，臨床研修指導医
(3) 専門領域 画像診断全般，腹部血管造影

【放射線治療科】

岡部 尚行（おかべ・なおゆき）

- (1) 出身校 2006 年 3 月 昭和大学医学部卒
(2) 資格 日本医学放射線学会認定 放射線科専門医・研修指導医，日本放射線腫瘍学会・日本医学放射線学会共同認定 放射線治療専門医，日本核医学会認定 PET 核医学認定医，臨床研修指導医
(3) 専門領域 放射線治療

【救急総合診療科】

山下 巖（やました・いわお）

- (1) 出身校 1985 年 3 月 富山医科薬科大学医学部卒
1989 年 3 月 同上 大学院卒
(2) 資格等 医学博士(富山医科薬科大学)，日本救急医学会認定 救急医学専門医，日本外科学会認定 外科専門医・指導医，日本消化器外科学会認定 消化器外科認定登録医・指導医，日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医・指導医，日本乳癌学会認定 乳腺認定医，日本がん治療認定医機構認定 がん治療認定医，日本病院総合診療医学会認定 指導医・病院総合診療医，ICD 制度境界認定 ICD インフェクションコントロールドクター，日本救急医学会認定 ICLS・BLS コースインストラクター・ディレクター，肢体不自由障害身体障害指定医，臨床研修指導医，神奈川県病院協会理事，厚木病院協会会長
(3) 専門領域 消化器外科，救急一般

安齋 明雅（あんざい・あきまさ）

- (1) 出身校 1998 年 3 月 杏林大学医学部卒
(2) 資格等 厚生労働省麻酔科標榜医，日本麻酔科学会認定 麻酔科認定医，日本救急医

学会認定 救急科専門医，日本救急医学会認定 ICLS・BLS コースインストラクター，肢体不自由障害身体障害指定医，日本医師会認定 産業医

(3) 専門領域 臨床麻酔科一般

安西 秀聡（あんざい・ひであき）

(1) 出身校 2000 年 3 月 弘前大学医学部卒

(2) 資格等 日本内科学会認定 認定内科医，日本消化器病学会認定 消化器病専門医・指導医，日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医，日本肝臓学会認定 肝臓専門医，日本プライマリ・ケア連合学会認定 プライマリ・ケア指導医，日本救急医学会認定 救急医学救急科専門医，日本医師会認定産業医，肢体不自由障害身体障害指定医，臨床研修指導医，日本病院会認定 病院総合医

(3) 専門領域 消化器疾患全般

渡邊 奈月（わたなべ・なつき）

(1) 出身校 2014 年 3 月 東海大学医学部卒

(2) 資格等 日本外科学会認定 外科専門医，厚生労働省麻酔科標榜医，日本乳癌学会認定 乳腺認定医，日本乳がん検診精度管理中央機構認定 検診マンモグラフィ読影認定医，日本救急医学会認定 救急科専門医，日本医師会認定認定産業医，臨床研修指導医

(3) 専門領域 救命救急全般

【病理】

加藤 優子（かとう・ゆうこ）

(1) 出身校 1988 年 3 月 東海大学医学部卒

1991 年 3 月 同上 大学院卒

(2) 資格 医学博士(東海大学)，死体解剖資格，日本病理学会認定 病理専門医・専門医研修指導医

(3) 専門領域 病理診断学

【研修医】（2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間）

青木 雄佑（あおき・ゆうすけ）

（1） 出身校 2022 年 3 月 帝京大学医学部卒

青柳 昂ノ亮（あおやぎ・こうのすけ）

（1） 出身校 2023 年 3 月 東海大学医学部卒

渥美 優（あつみ・ゆう）

（1） 出身校 2023 年 3 月 東海大学医学部卒

安藤 武俊（あんどう・たけとし）

（1） 出身校 2022 年 3 月 東海大学医学部卒

上埜 秀治（うえの・しゅうじ）

（1） 出身校 2022 年 3 月 島根大学医学部卒

梅津 貴志（うめつ・たかし）

（1） 出身校 2024 年 3 月 秋田大学医学部卒

浦 綾仁（うら・あやと）

（1） 出身校 2023 年 3 月 富山大学医学部卒

大久保 絵子（おおくぼ・えこ）

（1） 出身校 2022 年 3 月 東京医科大学医学部卒

小河内 康弘（おがわうち・やすひろ）

（1） 出身校 2023 年 3 月 山梨大学医学部卒

門松 沙織里（かどまつ・さおり）

（1） 出身校 2023 年 3 月 新潟大学医学部卒

國重 祐太（くにしげ・ゆうた）

（1） 出身校 2024 年 3 月 獨協医科大学医学部卒

迫村 穂貴（さこむら・ほたか）

（１） 出身校 2023 年 3 月 東海大学医学部卒

島田 恭佑（しまだ・きょうすけ）

（１） 出身校 2023 年 3 月 山梨大学医学部卒

千島 佑（ちしま・ゆう）

（１） 出身校 2023 年 3 月 東海大学医学部卒

筒井 祐衣（つつい・ゆい）

（１） 出身校 2024 年 3 月 東京医科大学医学部卒

椿野 瑞希（つばきの・みずき）

（１） 出身校 2023 年 3 月 東京女子医科大学医学部卒

中村 幸範（なかむら・ゆきのり）

（１） 出身校 2024 年 3 月 埼玉医科大学医学部卒

日野 悠輝（ひの・ゆうき）

（１） 出身校 2024 年 3 月 東海大学医学部卒

古川 睦季（ふるかわ・むつき）

（１） 出身校 2024 年 3 月 富山大学医学部卒

松岡 慶悟（まつおか・けいご）

（１） 出身校 2023 年 3 月 北里大学医学部卒

松川 憲二（まつかわ・けんじ）

（１） 出身校 2023 年 3 月 富山大学医学部卒

宮崎 紘慶（みやざき・ひろちか）

（１） 出身校 2022 年 3 月 東海大学医学部卒

森 健太郎（もり・けんたろう）

（１） 出身校 2022 年 3 月 山梨大学医学部卒

矢野 智子（やの・ともこ）

（１） 出身校 2023 年 3 月 東海大学医学部卒

山本 優輝（やまもと・ゆうき）

（１） 出身校 2023 年 3 月 国際医療福祉大学医学部卒

若林 健治（わかばやし・けんじ）

（１） 出身校 2024 年 3 月 東海大学医学部卒

2. 各科診療現況

消化器内科

1. 概 要

消化器内科では、上部消化管（食道、胃、十二指腸）から下部消化管（小腸、大腸）に至る管腔臓器と、肝臓、胆嚢、膵臓等の実質臓器の疾患を扱っています。

2. スタッフ構成

医師：玉置 道夫
新井 圭一
川井 貴美子
三谷 啓介
岡本 寛治

3. 活動内容

2024 年の内視鏡件数は、上部 3,949 件（前年+190）、ESD 24 件（前年+20）、下部 2,930 件（前年+104）、EMR 573 件（前年+17）、ERCP 272 件（前年+9）、EUS 465 件（前年+48）とほぼ横ばいの中 EUS 件数は増加しました。

当院に常備していない処置具を要する症例に対しても、メーカーからの短期貸し出しで専用処置具（電気水圧結石破碎装置：EHL）や専用内視鏡（小腸鏡、胆道鏡）を取り寄せて、術後腸管症例のドレナージや膵石症例に対応しました。

早期食道癌、胃癌、大腸癌に関しても内視鏡的粘膜下層剥離術を施行しており、早期発見、早期治療に取り組んでいます。

全国的に増加傾向の膵臓癌に関しては、超音波内視鏡下穿刺吸引生検法（EUS-FNA）を積極的に行い、早期発見早期治療を目指して取り組んでいます。また、経皮的に生検が困難な肝腫瘍やリンパ節腫瘍に対しても EUS-FNA は有用であり、診療科を越えた活用を行っています。

肝臓癌に対しても、外科的加療の適応がない症例に対しては、RFA による局所焼灼治療のほか、放射線科に TACE を依頼して対応しています。

（文責 新井 圭一）

循環器科

1. 概要

- (1) 虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）に対するカテーテル検査・治療
：冠動脈造影検査・経皮的冠動脈インターベンション
- (2) 不整脈に対するカテーテル検査・治療
：心臓電気生理検査・カテーテルアブレーション（心房細動に対するカテーテルアブレーション含む）
- (3) 下肢閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患に対してのカテーテル治療
：経皮的末梢動脈インターベンション
- (4) 各種原因による心不全（弁膜症、高血圧疾患、拡張型心筋症などの心筋疾患）の検査・治療
- (5) そのほかの循環器疾患の検査・治療

2. スタッフ構成

常勤医師	北野 義和
	石川 征之
	石川 沙羅 : 産後育休中 → 2025 年 7 月より復帰予定
	深井 翼
	神宮 裕太
	春木 耀介 → 北里大学循環器科より出向（半年間延長）
	山本 優輝（専攻医 1 年目）→ 当院研修修了、今年度より当院へ就職
非常勤医師	薄葉 文彦（湘南東部病院）
	沖 淳義（相模原中央病院）
	佐藤 陽（練馬光が丘病院）
	高野 誠（たかの循環器・内科クリニック）

3. 活動内容

PVABL に関しては、昨年 10 月より PVABL 枠を 8 枠から 10 枠/月へさらに増数したため、昨年度の件数はやや増加にとどまりましたが、今年度は 2.5 倍増となる見込みです。それよりも、昨年 4 月後半から、心臓カテーテル室のリニューアルのために約 1 か月間の稼働停止したため、件数の減少が予測されましたが、PCI 件数は 178 件(+22%)と大幅に増加みられ、過去最高の数字となりました。EVT、PMI も増数した結果、インターベンション関連・手術総数は 279 件から 345 件と大幅な増加(+24%)が認められる結果となりました。

スタッフに関しては、当院研修医であった山本医師が新規入局し、産後育休中の石川沙羅医師が 7 月から復帰する予定です。さらに医局から出向中の春木医師が半年間残留となるため、6 人(～7 人)体制となります。心臓カテーテル室もリニューアルされ、新入職もあり、さらに充実した循環器チームで、地域における基幹病院として精進していきたいと考えています。

(文責 北野 義和)

過去5年間の成績

	2020	2021	2022	2023	2024
心エコー(経胸壁)	3,014	3,303	3,181	3,435	3,696
経食道心エコー	61	60	54	84	84
ホルターECG	311	395	392	430	426
イベントレコーダー	37	39	44	52	82
心電図検査	6,094	6,048	6,855	7,458	7,439
トレッドミル検査	17	7	10	12	3
血圧脈波検査(ABI)	1,143	1,130	905	1,314	955
冠動脈CT 検査	262	339	279	318	320
冠動脈造影検査	266	245	270	305	313
左室造影検査	4	3	2	5	4
大動脈造影検査	0	2	3	3	1
右心カテーテル検査	21	17	17	27	11
FFR-Angio					31
PCI 総数	114	160	114	146	178
定時	66	113	69	87	110
緊急	49	47	45	59	68
血管内超音波(IVUS)	92	84	95	117	142
IABP	5	10	7	17	11
PCPS	6	5	3	13	10
EPS/ABL total	60	56	54	100	111
EPS	1	1	1	3	0
ABL	6	4	1	16	14
PVABL	53	51	52	81	97
末梢血管治療(EVT)	5	5	6	10	21
ペースメーカー植込術 総数	24	26	27	26	35
新規植込	17	9	17	19	25
電池交換	7	13	10	7	10
ペースメーカー—時的留置	6	4	4	5	5
下大静脈フィルター	0	2	0	0	2

呼吸器科

1. 概 要

呼吸器科は、肺癌、気胸、縦隔腫瘍、膿胸、肺炎、COPD、間質性肺炎、結核などの呼吸器疾患全般を扱っています。2024年7月から常勤医師は三浦、竹内の2人体制となりました。

隣接するとうめい厚木クリニックでの外来診察は火曜から金曜の午前中に行い、月曜と土曜も診察が可能な場合があります。入院は東名厚木病院で常勤医2人によるグループ制で対応しています。手術では胸腔鏡を使用し、低侵襲化を心がけています。

癌化学療法では入院、外来で専門看護師・薬剤師とともに多職種で連携しながら最新の薬物治療を行っています。

2. 活動内容

令和5年度/6年度の入院患者数は302/408件で、そのうち間質性肺炎の急性増悪は52/70件、気管支鏡入院が22/28件、手術件数が59/67件でした。今年度は常勤医師が増えたため、悪性疾患だけでなく感染症の診療にも積極的に取り組んでいます。

厚木市の呼吸器疾患の患者さんの助けになるよう精進していきます。

(文責 竹内 真吾)

腎臓代謝内科

1. 概 要

腎疾患（急性腎不全 慢性腎不全など）や血液浄化を必要とする疾患（潰瘍性大腸炎、急性膵炎など）幅広い領域の治療を行いました。

2. スタッフ構成

医師 富田 公夫（名誉院長）

医師 田村 博之（とうめい綾瀬腎クリニック院長）

医師 平出 聡（東名厚木病院 外来透析室室長）

医師 大山 聡子（透析センター長 腎臓内科科長）

3. 活動内容

■腎臓内科

- ・腎臓内科新患者外来日を増やし、多くの紹介患者を受け入れられるようにしました。
- ・他院から尿蛋白・腎機能障害精査目的に紹介される症例が増えました（腎生検件数後述）。
- ・尿蛋白・腎機能障害の原因精査目的に腎生検を施行し治療を行いました。
- ・他科に入院中の患者に、腎機能をふくめた全身管理でサポートを行いました。

【年間腎生検患者数】

2019 年 3 件 2020 年 8 件 2021 年 14 件 2022 年 10 件 2023 年 12 件 2024 年 14 件

■透析科

- ・病床数：外来 52 床 入院 5 床
- ・稼働時間：月水金 8：30-22：00 火木土 8：30-19：00 ＊出張透析は別枠時間
- ・通院透析患者数：138 名

■糖尿病科

- ・1 型/2 型糖尿病診療（血糖コントロール、教育入院）を主治医として治療にあたりました。
- ・他科に入院した患者に併診し血糖コントロールを行いました。

（文責 大山 聡子）

糖尿病・代謝内科

1. 概 要

糖尿病を中心とした代謝疾患、内分泌疾患の診断治療

2. スタッフ構成

堀 賢一郎

3. 活動内容

糖尿病・代謝内科は2016年8月、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、MSW、事務職とともに糖尿病チームを結成し、毎月のチーム会議を通じて、病院・クリニックの糖尿病診療・療養指導体制の構築・改善活動を行ってきました。

クリニックでは、2017年度から糖尿病療養指導士および専任看護師が糖尿病外来に常駐し、自己注射・血糖測定、フットケア、セルフケア指導、シックデイ時の相談等を行う体制ができました。2018年度からは、医療クラークも業務効率化に参画し、医師が本来の役割に注力できるようになりました。診療技術面では、持続皮下インスリン注入療法（CSII）や持続グルコース測定器（isCGM/rtCGM）を取り入れ、無自覚低血糖など血糖管理困難例のコントロールが向上しています。

病院では、クリニック、救急外来、地域から患者さんが入院され、眼科・透析センター・形成外科・循環器科・血管外科・脳外科・外科等の診療科と協力して、糖尿病コントロール、急性・慢性合併症の診断・治療、化学療法・免疫チェックポイント阻害薬使用時の併診を行っています。毎週病棟で多職種カンファレンスを行い、患者さん一人一人の課題共有・方針決定・役割分担を行うことで、きめ細かい治療・ケアが行えるようになってきています。他科からの依頼を受け周術期等の血糖管理を担当する際は、入院期間が許せば、低血糖回避など安全の観点で入院前処方を変更し治療を最適化しています。2022年4月より常勤医一人体制となりました。引き続き入院および外来診療の受け入れを行っています。治療方針が定まり病状が安定された患者さんは地域の先生方に治療の継続をお願いしています。2024年11月13日、14日に世界糖尿病デーに合わせ、クリニックで糖尿病の啓発、知識の普及のため第6回外来糖尿病教室開催し、多数の参加がありました。

糖尿病の治療や療養指導の進歩・発展はすさまじく、常にアップデートを行い、病院全体のチーム医療を通して、より良い医療が提供できるように努めています。

（文責 堀 賢一郎）

慢性腎臓病研究所

1. 概 要

尿に血液や蛋白がでる慢性腎炎だけでなく、腎臓の血液を濾過する血管が詰まって機能が低下した状態を含めた広い腎障害をいいます。今までのよく使われていた病名の腎炎や、糖尿病、膠原病、高血圧などによる腎臓の障害だけでなく、加齢などによる動脈硬化などで腎機能が低下した場合も含まれるため、現在の日本人ではおよそ 1,300 万人いると推測されている国民的な病気です。推算糸球体濾過量（eGFR） $60\text{ml/ml/min/1.73m}^2$ 未満がこの範疇に入ります。活動性の腎炎では病態を正確に把握するために腎生検による評価が大切になります。eGFR が $10\text{ml/ml/min/1.73m}^2$ 以下になると、腹膜透析・血液透析や腎移植が必要になりますが、それ以上に怖いのは心血管病の発生率が指数関数的に増えていくことにあります。腎機能が悪くならないように早め早めに治療をしていくことが大切です。

腎機能が徐々に進行して、透析療法が必要になった場合でも、適切に治療することにより、心血管合併症を抑制できますし、骨病変の進行を阻止することも可能です。

腎機能の進行阻止、および骨・心血管合併症の予防・治療を研究する事を目的としています。

2. スタッフ構成

富田 公夫

田村 博之

大山 聡子

村本 将俊

堀 賢一郎

齋藤 快児

張 杰

3. 活動内容

進んでしまった腎障害を元に戻すことは簡単ではありませんが、薬により蛋白尿を減らし、腎機能を改善することが可能になってきています。また、腎炎の軽い時期に見つかれば治療により腎炎がほとんど治ってしまうこともあります。障害が進んでから治療するよりも、障害が軽度のうちに治療する方が治癒しやすいことは当然のことです。また、透析療法を受けている患者さんにおいては、よりよい生命予後のためにどのような治療をしていったら良いのかについての臨床研究をして、広く学会に報告しています。

（文責 富田 公夫）

消化器外科

1. 概 要

腹部疾患の外科的治療を中心に診療を行っています。消化器癌（特に食道、胃、大腸、膵臓、肝臓、胆管）に対し、手術、とくに腹腔鏡下手術を中心に標準治療を行っています。2024 年 4 月より結腸癌のロボット支援下手術も開始いたしました。消化器癌の化学療法も積極的に行い、消化器内科、放射線治療科、緩和ケア内科との連携、カンサーボード月 1 回開催、緩和治療も含めた集学的治療を行っています。腹部救急疾患に対し、救命第一の手術治療を軸とした集中治療を行っています。

2. スタッフ構成

田澤 賢一
高坂 佳宏
神山 公希
木村 七菜
深澤 美奈
山野 格寿

3. 手術

2024 年度

手術件数 360 例（緊急手術 84 例）
全身麻酔 328 例

胃癌 16 例（12 例が鏡視下手術）
大腸癌 47 例
（26 例が鏡視下手術、3 例がロボット支援下手術）

胆嚢癌 1 例（全例開腹手術）
肝臓癌 2 例（全例開腹手術）
虫垂切除 27 例（26 例が鏡視下手術）
鼠径ヘルニア 79 例（53 例が鏡視下手術）
胆嚢摘出 53 例（51 例が鏡視下手術）

2023 年度

手術件数 355 例（緊急手術 72 例）
全身麻酔 309 例

胃癌 14 例（12 例が鏡視下手術）
大腸癌 43 例（33 例が鏡視下手術）

胆嚢癌 1 例（全例開腹手術）
肝臓癌 1 例（全例開腹手術）
虫垂切除 29 例（28 例が鏡視下手術）
鼠径ヘルニア 65 例（47 例が鏡視下手術）
胆嚢摘出 70 例（64 例が鏡視下手術）

（文責 田澤 賢一）

整形外科

1. 概 要

東京女子医大整形外科より派遣の医師 4 名、当院常勤 1 名の合計 5 名で診療にあたっております。2024 年 11 月から脊椎センター長として和田圭司医師を迎え、今年度は成尾、中、和田、清水、浦田の 5 人体制となりました。例年通り、救急搬送される外傷症例が大部分ですが、脊椎手術が大幅に増え、人工関節、関節鏡手術症例も増加傾向にあります。

肩、膝関節の内視鏡手術、人工肩、膝関節手術を成尾、清水が行い、脊椎固定、除圧手術を和田、浦田医師、内視鏡脊椎手術を和田医師、人工股関節手術を宗像医師、整形外科全般の四肢外傷を中、清水、浦田医師が担当しています。

2. スタッフ構成

常勤医師	成尾 宗浩	
	和田 圭司	
	中 正剛	
	清水 岳大	
	浦田 雄太朗	
非常勤医師	宗像 裕太郎	(火曜：股関節外科)
	薄井 豊	(火曜、金曜)
	熊木 光貴	(火曜)
	原 由里子	(水曜)
	竹内 賢一	(水曜：骨粗鬆症)
	和田 啓義	(木曜：脊椎外科)
	山口 裕	(木曜)
	北里大学医師	(火、金曜)
	夏山 元伸	(第 4 土曜：スポーツ整形)

3. 活動内容

整形外科手術は、骨軟部腫瘍を除いて大きく三つの分野に分けることができます。

① 外傷 ②関節外科 ③脊椎外科 に分けた 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの件数は以下の通りです。

外傷	347 例
関節外科	155 例
脊椎外科	105 例
その他	225 例
合計	832 例

外傷については、ここ数年と同様、高齢者の大腿骨近位部骨折（頸部骨折、転子間骨折など）が多い傾向でした。手術後はADLが術前より悪化することが多いため、地域連携パスを使用して近隣の各病院と連携をとりできるだけスムーズな退院を目指して診療を行っています。関節、脊椎の手術でも高齢の患者さんのみならず、活動性の高い若年層の再建手術も増えてまいりました。高齢者であれば合併症も多くなるため、安全でより侵襲の少ない手術を心がけて治療を行っています。

（文責 成尾 宗浩）

脳神経外科

1. 概 要

急性期脳卒中、頭部外傷を中心にてんかん重積、脳腫瘍、髄膜炎等の診療を行いました。

2. スタッフ構成

鬼塚 圭一郎、山崎 友也の脳神経外科専門医 2 名で診療を行いました。とうめい厚木クリニックでの外来診察は火曜と金曜、土曜の第 1, 3, 5 週を鬼塚 圭一郎、金曜を西尾 陽一、木曜、土曜第 2, 4 週を山崎 友也が担当しました。

救急症例では脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの脳卒中、および頭部外傷の急性期が主でした。頭部 CT、MRI、造影検査等を行い、超急性期脳梗塞に対し t-PA 投与、経皮的脳血栓回収術、脳出血、くも膜下出血に対しては開頭術を 24 時間できる体制をとってきました。

3. 活動内容

入院患者数	474 例
脳卒中入院患者数	252 例
脳梗塞 168 例 (t-PA 使用 20 例)、脳出血 68 例、くも膜下出血 16 例	
手術症例 87 例	
脳動脈瘤クリッピング術	9 例
脳動脈瘤コイル塞栓術	4 例
脳動静脈奇形摘出術	1 例
脳腫瘍	5 例
硬膜動静脈瘻塞栓術	1 例
頸動脈血栓内膜剥離術	10 例
頸動脈ステント留置術	1 例
頭蓋内外動脈バイパス術	3 例
神経微小血管減圧術	1 例
脳内出血	2 例
急性硬膜外下血腫	4 例
慢性硬膜下血腫	31 例
水頭症手術	1 例
経皮的脳血栓回収術	5 例
その他	19 例

(文責 鬼塚 圭一郎)

血管外科

1. 概 要

血管疾患の外科治療だけでなく、院内の脈管疾患全般を診るよう心がけています。

2. スタッフ構成

小島 淳夫

3. 活動内容

大動脈疾患、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患、下肢静脈瘤、静脈血栓塞栓症などの診療を行い、腎臓内科と共に血液透析のバスキュラーアクセスの評価や手術にも携わっています。検査診断から手術、血管内治療、保存治療まで一貫して行っていますが、大動脈疾患の外科的治療は人的、施設的な問題から経過観察や保存的治療のみとなっています。バスキュラーラボとして独立していないものの、血圧脈波、皮膚灌流圧、血管エコー、CTA、MRA、血管撮影など検査機器は十分に整っており、「弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター」や「血管診療技師：CVT」の有資格者と共に、脈管疾患全体を診ることができます。下肢静脈瘤手術は高周波による血管内焼灼術とシアノアクリレートによる血管内塞栓術を主体に行って、必要に応じて stab avulsion 法による瘤切除術を加えています。

その他外科系学会が運営しているデータベース NCD、重症虚血肢のデータベース JCLIMB、静脈血栓塞栓症に関する多施設共同研究への参加などを通じて、脈管疾患に関するエビデンス構築にも協力しています。

2024 年度血管外科手術検査件数（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

末梢血管手術	6 例
バスキュラーアクセス	139 例（PTA 93 例）
下肢静脈瘤	16 例
血管造影・血管内治療	4 例
血管エコー	1,672 例
血圧脈波（ABI）	301 例
皮膚灌流圧（SPP）	159 例

（文責 小島 淳夫）

乳腺外科

1. 概 要

乳がん検診から診断、手術、薬物療法、緩和ケアまで広い範囲の治療を提供しています。
初期治療はもちろんのこと、転移再発患者に対する治療にも力を入れております。

2. スタッフ構成

日野 浩司

鎌田 順道

黒田 貴子（非常勤）

松浦 仁（非常勤）

3. 活動内容

東名厚木病院のがん治療は、この 10 年間で大きな進歩を遂げました。2016 年には化学療法室をセンター化し、2017 年には放射線治療センター、緩和ケア病棟の開設、そして 2020 年には念願の「神奈川県がん診療連携指定病院」の認定を受けました。2023 年には院内での病理診断ができるようになっており、「東名厚木のがん治療」は常に前進し続けています。

病院の成長とともに、乳腺外科もおおきな飛躍を遂げています。2021 年から形成外科と協力してスタートさせた乳房 1 次再建手術は、順調にその数を増やしています。化学療法では免疫チェックポイント阻害薬や抗体薬物複合体などの新規抗癌剤を積極的に取り入れています。また当科は、厚木市などの自治体検診でも中心的な役割を果たしており、厚木市医師会を通じて乳がん検診におけるエコーの導入などにも積極的に関わっています。

乳がん治療はチーム医療が欠かせない分野です。多職種での連携を重視しつつ診療に取り組んでまいります。

2024 年度（4～3 月） 手術数 97 例

内訳 乳腺悪性腫瘍手術 83 例

乳腺良性腫瘍手術 9 例

その他 5 例

術式別内訳 乳房全切除術 52 例

（うち 1 次再建を伴うもの 13 例） 1 次再建率 25%

乳房部分切除術 33 例

（文責 鎌田 順道）

緩和ケア内科

1. 概 要

緩和ケアを必要とする患者さんおよびその家族に対する身体・精神・社会的苦痛ならびにスピリチュアルペインを含めた全人的緩和ケアの提供を最大の目標にしています。そのために、緩和ケア医師を中心として看護師・薬剤師・リハビリ担当者・管理栄養士・医療ソーシャルワーカーなど多職種が協働しながらより質の高いケアを実現できるよう心掛けています。対象となるのは、院内もしくは他医療施設において悪性腫瘍の診断・治療を受けたのち、病状の進行・体力の低下等によりそれ以上の積極的治療が困難となった患者さんです。当院のがん相談支援センターあるいは地域連携室を通して各医療機関と緊密な連絡をとりながら、緩和ケア外来への通院、緩和ケア病棟への転院等がスムーズに行えるようにしています。特に放射線治療科の協力を得ながら、骨転移・脳転移・上大静脈症候群・腫瘍性出血に等に対する緩和照射を積極的に施行しています。

現在、専門的緩和治療を提供できる医療施設は必ずしも充足しているとは言えない中、地域医療に貢献できるよう努めています。

とりわけ緩和ケア病棟は、疼痛・呼吸困難・せん妄など多岐にわたるがんの症状を適切にマネジメントし、自宅あるいは地域の療養施設などその患者さんに適した療養場所へつなげるための言わば中継地点であり、そのためにも地域で活躍して下さっている訪問診療・訪問看護事業所・長期療養施設との連携は大切にさせて頂いています。また、緩和ケアは病気に罹患している患者さん本人のみならず介護に当たるご家族もその対象となります。

今後も地域における緩和医療の拠点として活動してまいります。

2. スタッフ構成

飯田 哲士（緩和医療認定医）

高瀬 由佳（がん性疼痛認定看護師・がん看護専門看護師）

緩和ケアチーム：がん総合外来担当看護師、病棟看護師、在宅調整担当看護師、薬剤師、
ソーシャルワーカー、管理栄養士、リハビリ担当者、病院総務担当

緩和ケアチーム活動

- ・病棟ラウンド及び勉強会を開催
- ・緩和ケアチーム依頼を受けた患者さんへ対応
- ・がん性疼痛認定看護師
- ・がん看護専門看護師によるカンファレンス
- ・緩和ケア内科入院患者カンファレンス
- ・緩和ケア研修会の開催

3. 診療・活動内容

外来のべ件数；2023年：436件（うち初診177件）、2024年：520件（うち初診177件）

緩和ケア外来：毎週月・木曜日 9:00～18:00 飯田 哲士医師

緩和ケア内科担当入院件数 2023年：165件、2024年：171件

緩和ケア病棟平均在院日数 2023年：15.9日、2024年：14.7日

（文責 飯田 哲士）

形成外科

1. 概 要

形成外科では市内唯一の常勤体制の施設として地域医療に貢献するため、緊急手術や入院加療が必要な症例を積極的に受け入れています。疾患としては、顔面外傷(顔面骨骨折、眼瞼、鼻、耳、口唇の軟部組織損傷)、手足の外傷(切断指再接着、手指・足趾骨の骨折、腱・神経・血管損傷)の外傷による組織損傷、皮膚・皮下腫瘍、軟部腫瘍に対する外科的治療、副乳や耳瘻孔、耳介形成不全などの先天性疾患、褥瘡や糖尿病性足壊疽をはじめとする難治性皮膚潰瘍、乳癌などの悪性腫瘍切除後または外傷後の組織再建、それに付随するリンパ浮腫治療を扱っております。また、とうめい厚木クリニックにおいて2019年に再開した美容外科診療も引き続き行っています。形成外科の手術件数増加と地域の需要拡大に伴い、2025年度より常勤4名体制での診療となりました。今まで以上に地域に貢献していきます。

2. スタッフ構成

常勤医師	高梨 遼	
	竹江 雄貴	
	渋谷 誠	
	葉佐 竜之介	
非常勤医師	朝戸 裕貴	獨協医科大学医学部形成外科学講座 特任教授
	白石 知大	杏林大学医学部形成外科 准教授

3. 活動内容

形成外科は、病院手術室では火・金曜日に、小規模な手術はクリニック手術室で月曜日から木曜日の午後に行っています。

① 外傷

救急外来の患者さんを積極的に受け入れています。切断指は周辺地域でも数少ない対応可能な施設として、遠方からの転院要請も多く、御殿場など県外の病院からの要請も受け入れ治療しています。また顔面骨骨折も多発骨折など難しい症例に対しても積極的に手術加療を行っています。上顎、下顎骨折ともに対応可能です。外傷後の外鼻変形に対する手術も行っております。

② 先天異常

小児科や小児麻酔の問題から症例は限られますが、成人の方や未成年でも局麻で対応可能の方は積極的に対応しています。

③ 腫瘍

例年、良性腫瘍・悪性腫瘍ともに多数の症例を治療しています。2021 年度より乳房再建を開始しました。当院ではマイクロサージャリーによる遊離皮弁や、有茎皮弁を用いた自家組織、インプラントともに可能です。選択肢としては大学病院にもひけをとらないと思います。お気軽にご相談下さい。

④ 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド

手術による瘢痕拘縮解除や術後放射線照射によるケロイド治療を行っています。注射や貼付剤など手術以外の治療も行っています。

⑤ 難治性潰瘍

高齢化に伴い、症例は年々増加傾向にあります。当科では積極的に褥瘡の受け入れを行っており、県内でも屈指の手術症例数となっています。ただ褥瘡及び下肢潰瘍の治療に難渋し長期間の入院となる症例もあるため、他科医師だけでなく、メディカルスタッフとも協力をしながら治療成績・入院期間の短縮を目指していきます。

⑥ 炎症・変性疾患

眼瞼下垂症の手術を積極的に行っています。また下眼瞼の内反症に対する手術も増加しております。他院での術後症例も含めて気軽にご相談下さい。こちらも高齢化の影響で引き続き増加することが予想されます。また、他院で顔面神経麻痺と診断された患者様の再建も行っております。マイクロサージャリーによる広背筋皮弁移植も可能です。ご相談下さい。

⑦ 美容

2019 年からのほくろ、いぼに対するレーザー治療は継続的に行っております。2022 年より、埋没法による二重術、下瞼のたるみに対する脂肪除去を開始し、多くの患者様が受診しておりますので、是非ご相談下さい。

(文責 高梨 遼)

泌尿器科

1. 概 要

2024 年は東名厚木病院泌尿器科にとって大きな変革の年となりました。2011 年より東名厚木病院の泌尿器科常勤医師が不在でしたが、2013 年 4 月より常勤医として黒坂医師が着任、2016 年 4 月より常勤医が黒坂に代わり藤城が赴任し 8 年が経過いたしました。さらには 2019 年 11 月より北里大学より常勤医師を派遣いただき 2 人体制となっております。2023 年の 4 月より前任の大森医師に代わり羽田医師が着任となり 2 年目を迎えております。さらに本年 4 月より北里大学医学部、岩村正嗣名誉教授が当院名誉院長、ロボット支援手術センター長として着任いたしました。

受け持つ疾患は、尿路悪性腫瘍（前立腺癌、腎癌、膀胱癌）および良性疾患（前立腺肥大症、尿路結石、過活動膀胱、神経因性膀胱、尿路感染症）を扱っております。

昨年導入した前立腺癌に対する放射線治療における直腸毒性の低減を目的とした経会陰的放射線治療材料注入術（space OAR®）に続きロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術も開始し前立腺癌に対するより低侵襲な治療に力を入れております。

診断・治療・フォローアップいずれにつきましても、患者さん・ご家族様とのインフォームド・コンセントを大事に行ってまいりました。

2. スタッフ構成

名誉院長 岩村 正嗣
常勤医師 藤城 貴教（診療科長）
 羽田 理紗
非常勤医師 松本 和将（金曜日午前）

3. 活動内容

2024 年の手術及び検査件数

経尿道的前立腺切除術	18 例
経尿道的膀胱腫瘍切除術	45 例
経尿道的尿管結石碎石術	45 例
体外衝撃波結石碎石術	66 例
腹腔鏡下前立腺全摘除術（ロボット支援）	19 例
腹腔鏡下腎部分切除術（ロボット支援）	2 例
腹腔鏡下根治的腎摘除術（ロボット支援）	1 例
腹腔鏡下腎尿管摘除術・膀胱部分切除術（ロボット支援）	2 例
逆行性腎盂造影検査（尿管ステント含む）	34 例

經皮的腎瘻造設術	1 例
前立腺針生検術	88 例
經会陰的放射線治療材料注入	17 例

(文責 藤城 貴教)

麻酔科

1. 概 要

麻酔科は手術室での全身麻酔、硬膜外・脊髄クモ膜下麻酔、神経ブロックなどの麻酔科管理症例を担当し、安全かつ迅速に手術が遂行できるような環境を提供しています。手術室麻酔以外にも、外来での術前診察、術後疼痛管理を含んだ術後病棟回診も行っています。

2. スタッフ構成

岩倉 秀雅 （常 勤：日本専門医機構認定麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定麻酔科指導医）
福島 沙夜乃（非常勤：日本麻酔科学会認定麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定麻酔科指導医）
樽本 義男 （非常勤：日本麻酔科学会認定麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定麻酔科指導医）
岩岡 由紀子（非常勤：日本専門医機構認定麻酔科専門医）
吉岡 征夫 （非常勤：日本専門医機構認定麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定麻酔科指導医）
中島 光 （非常勤：日本麻酔科学会認定麻酔科専門医）
金沢 幸雄 （非常勤：日本麻酔科学会認定麻酔科専門医）
柴田 衛 （非常勤：日本専門医機構認定麻酔科専門医）
河野 昌史 （麻酔科診療アドバイザー、とうめい厚木クリニック院長、日本専門医機構認定麻酔科専門医、日本麻酔科学会認定麻酔科指導医）

その他、定期非常勤勤務医師 3 名

3. 活動内容

2024 年度は全身麻酔 1,632 例、硬膜外・脊髄クモ膜下・その他麻酔 15 例の計 1,647 例の麻酔管理をしました。近年、手術後速やかな麻酔鎮静作用の消失が可能となる超短時間作用型ベンゾジアゼピン系静脈麻酔薬 アネレムを最大限活用し、高齢者や循環動態の不安定な症例に対しても一層安全な麻酔管理を行えるようになりました。麻酔科は 24 時間、365 日緊急手術に対応しております。 本年も 80 歳以上の高齢者の割合がさらに増加し麻酔管理は難度を高めておりますが、術後鎮痛、モニター管理を徹底し、術後合併症を併発することなく安全な周術期を経過できるよう努めております。

（文責 岩倉 秀雅）

放射線診断科

1. 概 要

画像診断（CT・MR 読影）

血管造影（TACE）

2. スタッフ構成

阿部 敦 医師 科長

吉川 渉 医師 医長

3. 活動内容

読影件数 2024 年 4 月－2025 年 3 月

CT 12,169 件

MRI 1,846 件

血管造影件数 2024 年 4 月－2025 年 3 月

TAE 5 件

（文責 阿部 敦）

放射線治療科

1. 概 要

放射線治療科は 2017 年 5 月末より診療を開始し、8 年目を迎えました。院内、院外の各診療科の先生からご紹介頂き、悪性腫瘍と一部の良性疾患に対する放射線治療を行っています。

2. スタッフ構成

放射線治療医師(常勤) : 岡部 尚行、山下 巖
放射線治療医師(非常勤) : 澤柳 昂、高 弘宇
医学物理士・品質管理士 : 伊藤 拓也
放射線治療専門放射線技師 : 杉田 浩章
診療放射線技師 : 金谷 正人
診療放射線技師 : 高橋 雅代、橋本 智子、朝倉 祐太、高橋 篤義、他
看護師 : 橋本 彩加(～2025 年 3 月)、鶴田 千明(2025 年 4 月～)

3. 活動内容

土日祝祭日を除く平日週 5 日の放射線治療を行っています。

年間照射人数(2024 年) : 242 名。このうち、70 名は院外からの紹介症例です。

多い疾患は、乳癌、肺癌、前立腺癌です。

年間照射人数は、

218 名(2020 年)→233 名(2021 年)→231 名(2022 年)→249 名(2023 年)→242 名(2024 年)

と、ご紹介元の先生方のお力添えで緩徐増加傾向にあります。

引き続き、地域のがん医療が必要十分に行われるよう、そして迅速な対応ができるよう、スタッフ一同努めてまいります。

(文責 岡部 尚行)

病理診断科

1. 概 要

2023 年 4 月に開設され、病理診断を通じて診療の一助となるべく務めております。

東名厚木病院、東名厚木メディカルサテライトクリニック健診センター、とうめい宮の里クリニックにて切除・採取されたすべての組織検体、とうめい厚木クリニックにて切除・採取された一部の組織検体に対して病理組織診断を行っており、東名厚木病院で実施された手術症例においては、執刀医の要請に応じて術中迅速組織診断を実施しています。

遺伝子検査については、外部検査施設へ委託しており、出検に際して検体の適・不適の判断や適正部位の選定、結果受領後の臨床医への報告等を行っています。

その他、臨床医からの依頼に応じて学会発表用組織写真の撮影も行っております。

2. スタッフ構成

加藤 優子（常勤）

梶原 博 （非常勤）

宮原 佐弥（非常勤）

3. 活動内容

病理組織診断（他院標本含む） 約 3,100 件

術中迅速組織診断 86 件

遺伝子検査（外注） 250 件

学会発表用組織写真撮影 約 10 件

（文責 加藤 優子）

臨床研修部

1. 概 要

当院は基幹型および協力型初期臨床研修病院(東海大学医学部附属病院、富山大学附属病院、山梨大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)です。

臨床研修部は、指導医と協力して研修医が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、頻繁に関わる疾患に対して、適切かつ効果的に診断治療できる能力を身に付けることを目標としています。

2. スタッフ構成

部 長 小島 淳夫

副部長 鎌田 順道

(臨床研修担当 足立原 朋世、深谷 有美)

初期臨床研修医

臨床研修医(基幹型)

2 年 渥美 優、門松 沙織里、椿野 瑞希、松岡 慶悟、山本 優輝

1 年 梅津 貴志、國重 祐太、筒井 祐衣、中村 幸範、日野 悠輝、若林 健治

臨床研修医(協力型)

富山大学たすき掛け：

2 年 松川 憲二 (2024. 04. 1～2024. 10. 13)

山梨大学たすき掛け：

2 年 島田 恭佑 (2024. 04. 01～2025. 03. 31)

東海大学たすき掛け：

2 年 迫村 穂貴 (2024. 09. 02～2024. 09. 29)

矢野 智子 (2024. 11. 25～2024. 12. 22)

青柳 昂ノ亮 (2024. 12. 23～2025. 02. 24)

千島 佑 (2025. 01. 27～2025. 02. 24)

3. 活動内容

1) 臨床研修医への研修協力、生活支援

- ・ 協力型病院・施設での研修支援

海老名総合病院(産科・小児科研修)、愛光病院(精神科研修)、

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(精神科以外)、北里大学病院(産科・泌尿器科研修)、南城つはこクリニック(地域医療研修)、日高德洲会病院(地域医療研修)の支援

- ・ 研修医会の開催(1回/月)

- ・ 個々の研修医の意見を尊重した個別のプログラム作成
- ・ 臨床研修部主催の定期的な勉強会の開催

2) 医学生のリクルート活動

- ・ 学生向け web 説明会、Instagramによる臨床研修部紹介、病院見学生募集など

3) 後期研修医・専攻医制度への参画準備

(文責 小島 淳夫、足立原 朋世)

救急部

1. 概要

2003 年 4 月に救急外来部門として独立し、21 年目となりました。救急告知病院として、24 時間 365 日救急車の受け入れに力を入れています。地域医療支援病院の窓口として紹介外来を確立し、厚木市を中心とする近隣医療機関からの紹介患者さんへの対応を強化しています。救急外来は 24 時間 365 日、県央地区の救急医療の受け入れに全力で取り組んでいます。又、県央地区以外からの受け入れも行い、救急車応需率 94%、救急車受け入れ台数 5,505 台となりました。救急担当医と救急外来看護師で的確な初期検査や治療を実践するとともに、各専門分野・診療科へ迅速に応援要請することが可能であり、患者さんにとってベストな医療・看護の提供が行えるように日々精進しています。受け入れ患者さんは、多岐にわたり上記の専門医の協力を得て治療を実施するとともに、更なる専門的治療や検査に至っては、手術室・臨床工学科・放射線科のスタッフが 24 時間オンコール体制で待機し、お互い連携を取りながら対応できるようにしています。

当院では、救急救命士教育研修の受け入れを行っています。また、2013 年 4 月よりワークステーションを 2 回/週（火・金）実施しています。実際に救急医が救急隊と共に出動し、早期に的確な医療を提供できるように行っています。また、救急救命士とのコミュニケーションを図ることで、互いにどのような情報を双方が求めているのか意見交換し、ホットラインを受けてから搬送までの時間短縮につながっています。

更に、院内 BLS や ICLS 研修へインストラクターを派遣し、全職員がどのような状況でも BLS が実践できることを目指して活動しています。院外からの受講者も増加しています。

また、2018 年 10 月よりトリアージ研修を受けた救急看護師により、安全で質の高い救急医療が提供できるよう院内トリアージを行っています。2021 年 8 月からは、夜間看護師による電話トリアージを開始し、体温や血圧等の数値のみならず患者さんの訴えに耳を傾け、数値に表れない情報を得られるようトリアージの質の向上にも取り組んでいます。

2. スタッフ構成

医師：4～5 名（救急専門医兼務 2 名・総合診療科 1 名・研修医 1～2 名）

看護師：27 名（ICLS・BLS インストラクター 4 名）

准看護師：2 名

ケアワーカー：4 名

3. 活動内容

1) 2 次救急対象の救急医療及び時間外の急病や外傷患者の対応

（2024 年業務量は、部門別医療活動データ参照）

2) 救急救命士訓練

3) ワークステーションを 2 回/週（火・金）

4) BLS・ICLS 研修へインストラクター派遣

5) 紹介外来（月～土曜日）

6) 時間外におけるトリアージ

7) 看護師による電話トリアージ

8) 夜勤看護師による緊急検査・治療対応

（文責 安齋 明雅、原山 里美）

ICU

1. 概 要

ICU は、ベッド数 8 床を有しています。2024 年度は一日平均患者数 5.3 名で、病床稼働率 63.6%となりました。月毎に入院人数や診療科人数の変動が見られます。基礎疾患があり侵襲の高い手術後や、高齢者の全身麻酔手術の患者さん受け入れの他に、一般病棟での急変患者さんは医師及び病棟看護課長と連携し速やかな受け入れを行うことができました。救急外来からは、CPA 蘇生後、心不全、心筋梗塞、くも膜下出血、脳梗塞、消化器外科の緊急手術など重症度が高く救命に関わる患者さんの受け入れをスムーズに行うなど、一般病棟及び救急外来と連携してベッドコントロールに努めました。2024 年度より泌尿器科のロボット支援手術が開始され、泌尿器科の術後管理が増えました。人工呼吸器や、経皮的心肺補助法、大動脈バルーンパンピングの補助循環器装置、低体温療法などは、医師や臨床工学士、呼吸療法チームと協働することができました。早期リハビリでは理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と連携し、薬剤に関する管理は、薬剤師と連携しています。また退院後の生活を考え MSW・退院調整看護師との連携など多職種と協働し、安心安全な治療・家族看護に努めました。又、質の高い看護を提供するために、各々が積極的に研修に参加して、伝達講習を行い互いに学びを共有しています。そして、担当医師と情報交換を常に行いながら十分な観察・チームワークとコミュニケーションを図り、患者さんと家族が安心して治療を受けることができるように努めました。

2. スタッフ構成

ICU 医師部長：1 名

医師：診療科毎の主治医体制

看護師：18 名（課長・主任 1 名・副主任 2 名）

3. 活動内容

- 1) 急性治療及び異常の早期発見・対応
- 2) 患者さんや家族に対し、病状説明における適切な情報提供と意思決定支援
- 3) 患者さんや家族に対して危機的状況を理解し心理的援助
- 4) 患者さんや家族の意向や状況に応じた緩和ケアを提供
- 5) 人工呼吸器離脱プロトコルの運用
- 6) 早期離床プロトコルの運用
- 7) 鎮痛・鎮静管理プロトコルの運用

（文責 原山 里美）

内視鏡センター

1. 概 要

外来、病院の機能を統合し内視鏡センターとして効率的に検査、治療を行っています。上下部消化管内視鏡検査をはじめ、EMR、ESD、EIS、EVL、EUS、EUS-FNA、気管支鏡検査など多種多様な疾患に対応できる体制で臨んでいます。

2. スタッフ構成

常勤医師

非常勤医師

看護師

ケアワーカー

臨床工学技士

3. 活動内容

- 1) 上下部消化管内視鏡検査
- 2) EMR、ESD、EIS、EVL、胃瘻造設、ステント留置、止血術、狭窄拡張、捻転解除、LECS
- 3) ERCP、EBS、EPS、EST、EPBD、EPLBD、ENBD、ENPD、ETGBD、結石破碎術
- 4) EUS、EUS 下ろう孔形成術
- 5) 気管支鏡検査

件数 GIF 3,949 件、CF 2,930 件、ERCP 272 件

(文責 川井 貴美子)

化学療法センター

1. 概 要

2024 年も入院、外来（とうめい厚木クリニックを除く）を合わせて 2,000 件を超える件数となっており、今後ますますの需要を見込まれます。免疫チェックポイント阻害薬を多剤併用レジメンや新薬も増えてきており、免疫関連有害事象の対策も含め、最新の標準治療を安全、確実、かつ患者さんにとってできるだけ負担を少なく治療が行われるようしてまいります。月に 1 回、化学療法センター運営会議を開催し、化学療法センターの安全な運営に関してのみならず、院内における新規レジメンの承認、化学療法の運用に係わる提案、監査、問題点改善を行っております。

今後もより多くの患者さんに外来化学療法が提供できるよう、がん治療患者さんの交流の場となるよう、正しいがん治療の知識・情報が得られるような場を目指して行けたらと考えております。

2025 年 7 月に新センターに移設予定です。

2. スタッフ構成

医師 1 名（化学療法担当科の当番制）、看護師 3～4 名、薬剤師 1 名

3. 活動内容

1. 外来化学療法の施行（月曜日～金曜日）
2. 外来化学療法施行中の患者さんへの対応
（主に有害事象や予定変更に対する対応）
3. 医療用ウィッグ、リマンマ商品の展示、案内
4. 化学療法委員会の開催（1 回/月）

（文責 神山 公希）

放射線治療センター

1. 概 要

2022 年 4 月より放射線治療室は放射線治療センターとして運用を行っています。センター化に伴い、運営会議を定期的に隔月、年 6 回行いました。2024 年 12 月に放射線治療科常勤医として岡部尚行医師が赴任し、メンバーに加わりました。

目 的

- ・放射線発生装置を安全に管理し、環境整備を整え、従業者の健康を守る。
- ・患者に対する放射線治療が適切かつ安全に行われているかを検討する。
- ・運営会議の中で、治療実績と問題点等について継続な話し合いを行う。

2. スタッフ構成

医師 2 名、レントゲン技師 2 名、物理士 1 名、看護師 6 名、安全管理室 1 名、事務 1 名の計 13 名で構成されています。

3. 活動内容

- ・前立腺癌に対する根治照射において、希望者にスペース OAR を注入(治療開始前に前もって直腸と前立腺の間にゲル状のスペーサーを注入)し、直腸への放射線の有害事象を減らす試みを、定着させました。
- ・本年も入院による放射線治療を積極的行いました。
- ・常勤医赴任により、さまざまな診療報酬上の加算が可能となり、経営は改善傾向にあります。
- ・年 2 回の防災訓練に参加し、地震等の発災時のマニュアル対応に沿った活動を確認しました。

最後に、2024 年度の放射線治療センターの業績を添付します。根治、緩和、術前、術後など様々なフェーズで治療が行われています。詳細は資料でご確認いただければと思います。

(文責 山下 巖)

放射線治療 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新患 (月内の初回照射をカウント)	25	17	16	24	20	18	16	21	20	25	20	21	243	20.3
月内にシミュレータCTで 計画した人数	25	21	14	22	18	17	17	22	17	28	17	24	242	20.2
月内に照射した人数	39	35	31	32	30	27	29	27	30	34	35	36	385	32.1
照射回数	373	355	284	343	240	223	245	235	244	315	303	249	3409	284.1

照射目的別 統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
緩和	8	8	3	17	6	9	9	7	10	13	11	7	108	9
根治	11	4	8	6	6	5	4	7	7	8	4	9	79	6.5833
術前	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	5	0.4
術後	6	5	5	1	8	4	3	3	3	4	4	5	51	4.3
全体	25	17	16	24	20	18	16	20	20	25	20	22	243	20.25

紹介 院内比較 統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
紹介	8	3	2	5	6	7	4	3	7	10	5	7	67	5.5833
院内	17	14	14	19	14	11	11	17	13	15	15	17	177	14.8

ロボット手術センター

1. 概 要

ロボット手術センターは2024年4月、当院におけるロボット支援手術開始と共に発足しました。高度先進医療機器であるダビンチを用いたロボット支援手術を、安全かつ適切に実施しています。センターでは毎月ロボット手術運営委員会を開催しており、委員は医療安全管理者など直接手術に携わることのないスタッフも交え、他職種で構成されています。

泌尿器科より4術式、外科より1術式の術式申請が行われ、また泌尿器科より2名、外科より2名の術者申請があり、審議の結果これらを承認しました。

2024年度は計24件のロボット支援手術が実施されましたが、いずれも安全に完遂され術中術後を通して重篤な合併症は発生しておりません。

2. スタッフ構成

センター長 岩村 正嗣

3. 活動内容

2023年12月 ダビンチ Xi 導入
2024年4月 ロボット手術センター開設、委員会発足
2024年5月届出 ロボット支援 結腸悪性腫瘍手術
2024年10月届出 ロボット支援 前立腺悪性腫瘍手術

【 承認術者 】

岩村 正嗣医師（泌尿器科）
藤城 貴教医師（泌尿器科）
木村 七菜医師（外科）
深澤 美奈医師（外科）

【 承認術式と施行実績 】

ロボット支援前立腺摘除術（泌尿器科）	16 件
ロボット支援腎部分切除術（泌尿器科）	2 件
ロボット支援腎摘除術（泌尿器科）	3 件
ロボット支援腎盂形成術（泌尿器科）	0 件
ロボット支援結腸悪性腫瘍手術（外科）	3 件

【 イベント 】

ダビンチに関するイベント実施情報

①第14回ココが知りたい！医療講座「ロボット手術って何？～ダビンチって誰？～」

- ・東名厚木病院がん相談支援センター主催
- ・2024年7月27日 15:00～16:30 プロミティあつぎ会議室 AB
- ・参加者 17名（対象：一般市民）

②ダビンチ見学ツアー

- ・2024年9月7日 10:00～14:00 東名厚木病院
- ・参加者 27名（対象：一般市民＋職員・家族）
- ・協力部署 手術室、看護部、臨床工学科、総務課、がん相談支援センター、用度課、リハビリテーション科、医事課、救急外来、管理部

③メディカル KIDS チャレンジ！「ロボット手術を体験してみよう」

- ・2024年3月29日 9:00～12:00 東名厚木病院
- ・参加者 14名（対象：小学4年生～中学3年生＋保護者）
- ・協力部署 手術室、看護部、臨床工学科、総務課、用度課、管理部
- ・応募者数 85名（他県からもあり）

（文責 岩村 正嗣）

手術室・中央材料室

1. 概 要

急性期病院での手術室の役割は、一人でも多くの命を助けることです。そのために、手術室は24時間手術を受け入れられる体制を整えています。

2024年度は、総手術件数は2,189件、全身麻酔件数約1,632件、がん診療連携指定病院として、がん手術は221件と多くの患者を受け入れることができました。また、泌尿器科、消化器外科で、ダビンチ手術が開始となり、医師と協働し多くの患者の手術を行うことができ、ダビンチツアーも開催し地域の方にダビンチ手術を知ってもらうことができました。

超高齢化社会を迎える中、安心して入院し手術が迎えられ治療から回復し地域へ戻れる支援とチーム医療の実践と看護の質を高めた手術看護実践を行い、早期退院ができる支援を今後も行っていきたいと考えています。

中央材料室では、感染を起こさないための安全な器械提供と品質管理を行い、手術室チームとして一緒に働いています。臨床工学技士は、麻酔や手術で使用する機械が安全に使用できるようメンテナンスを行い、日々点検を実施しています。また、器械出し業務も行っており、胸腔鏡・腹腔鏡などのカメラ操作を実践しています。放射線技師は、術中の放射線操作・術後レントゲンなどの撮影を行い、チームで連携を図り、安心・安全な医療を提供しています。

手術室チームでこれからも安全な医療、看護を提供し地域に信頼される病院、患者さんに愛される病院、誇りと責任の持てる病院に貢献していきたいと考えています。

2. スタッフ構成

手術室部長 : 岩倉 秀雅

麻酔科科長 : 岩倉 秀雅

麻酔科医 : 岩倉 秀雅、福島 沙夜乃、樽本 義男、岩岡 由紀子、吉岡 征夫、
中島 光、金沢 幸雄、柴田 衛

看護師 : 20名

准看護師 : 1名

臨床工学技士 : 8名

ケアワーカー : 4名

3. 活動内容

医療の質、看護の質を高めて地域の方に貢献できるように多職種連携を図り、医療・看護を提供しています。また、安全に手術ができるよう勉強会の実施や研修会に参加し、看護の質を高め多職種でカンファレンスを行い、安心して手術が受けられるようにしています。

麻酔科外来では、術前評価を行い、術後訪問で看護実践評価を行うことで、入院から退院まで周術期看護を提供し安心、安全な医療・看護を提供していきます。

(文責 大澤 直子)

看護部

1. 概要

2024 年度看護部は 4 月に 35 名の看護職員を迎え、看護部常勤 363 名・非常勤 12 名の計 375 名でスタートしました。4 月の診療報酬・介護報酬改定を受け、地域医療支援病院・神奈川県がん診療連携指定病院・救急告示病院として、更なる安全で質の高い看護の提供と働きやすい環境に向けて取り組みました。

2. 2024 年度の目標

1) 財務の視点

(1) 急性期病棟・地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟を機能に応じて効果的に運用する

2) 患者の視点

(1) 患者の意思決定を支援し、生活の質向上に視点をあてた看護を提供する

(2) 患者の尊厳を守り、身体拘束を激減する

3) 業務プロセスの視点

(1) 身体的・心理的・社会的側面における看護過程を実践し、適正かつ適時に記録する

4) 学習と成長の視点

(1) PNS を推進し、個々の成長と看護にやりがいの持てる組織を作る

(2) PNS を推進し、心理的安全性を高める職場を作る

「職場で話し合いの場を持つ。雑談・相談の推進」

3. 活動内容

2024 年度は、病床の効果的な運用、患者の尊厳を守るための身体拘束の激減と意思決定支援を強化しました。身体拘束の実施率は 4.0%（前年度比▲9.5%）、離床センサーの使用率は 5.9%（前年比▲7.6%）と激減しました。意思決定支援においては、各部署で 4 分割表を用いて事例検討し、成果発表会を 4 回/年実施しました。更に、意思決定支援の看護記録記載を強化することができました。今後も、患者の尊厳を守った患者中心の看護が実践できる組織づくりを目指していきたいと思います。

人材育成については、引き続きキャリアラダー研修を企画実施し、自ら選択し学ぶ事ができる体制を整えました。院内研修参加者は延べ 2,427 名、院外研修参加者は延べ 137 名でし

た。当院が採用している看護提供方式であるパートナーシップ・ナーシング・システムにより、OJT の教育を強化しました。

将来を担う人材の育成については、学校側とタイムリーに調整しながら、延べ2,323 名の実習を受け入れることができました。職場体験では、中学生 6 名・高校生 30 名受け入れました。

今後、更なる高齢化社会に向け、地域包括ケアシステムでの急性期医療を担う病院としての役割を果たすために、地域との連携、在宅・介護とのシームレスな関係を進めたいと思います。そのためには、看護の専門性が発揮できるよう看護の質向上に努めていきたいと思っています。

(文責 下島 三千代)

2024 年 院内・本部・事業部研修 参加状況

I. 看護部教育委員会研修

1. 看護師研修

	研修名	月日	人数
ラ ダ ー 1 年 目	入職時 新人看護師研修	2024/4/4～5/31	34
	新人看護師研修 6月	2024/6/10	33
	新人看護師研修 7月	2024/7/4	33
	新人看護師研修 8月	2024/8/16	33
	新人看護師研修 9月	2024/9/14	32
	BLS研修	2024/9/27または11/1または12/27	32
	新人看護師研修 10月	2024/10/10	33
	新人看護師研修 11月	2024/11/25	33
	新人看護師研修 12月	2024/12/12または12/16	32
	新人看護師研修 1月	2025/1/7	33
	新人看護師研修 2月	2025/2/10	32
	新人看護師研修 3月	2025/3/10	33
ラ ダ ー 2 年 目	メンバー役割・看護過程①(講義・GW)	2024/6/14または6/20	32
	看護過程②(講義・GW)	2024/8/22または8/29	31
	看護過程③(講義・GW)	2024/11/12または11/18	30
	成果発表	2025/2/17または2/27	30
ラ ダ ー I 段 階	看護過程研 ①-①(老年看護)(講義・GW)	2024/8/5	23
	看護過程研修①-②(老年看護)(GW)	2024/11/11	23
	看護過程研修①-③(老年看護)(成果発表)	2025/2/13	22
	看護過程研修②-①(慢性疾患看護)(講義・GW)	2024/7/24	13
	看護過程研修②-②(慢性疾患看護)(講義・GW)	2024/10/7	12
	看護過程研修②-③(慢性疾患看護)(成果発表)	2025/1/23	13
	フレッシュパートナー研修①(講義・GW)	2024/5/10または5/20	30
	フレッシュパートナー研修②(講義・GW)	2024/9/6または9/13	30
	フレッシュパートナー研修③(成果発表)	2025/1/14または1/20	27
	パートナーシップ研修①(講義・GW)	2024/6/18	12
	パートナーシップ研修②(講義・GW)	2024/10/11	12
	パートナーシップ研修③(成果発表)	2025/2/14	12
	リーダー研修①(講義・GW)	2024/7/9	26
	リーダー研修②(講義・GW)	2024/10/31	22
	リーダー研修③(成果発表)	2025/2/7	22
Ⅲ	指導者育成研修(学びの会)	2025/3/28	5
ラ ダ ー II 段 階	看護過程③-①研修地域包括ケア研修①(講義・GW)	2024/7/30	4
	看護過程③-②研修地域包括ケア研修②(講義・GW)	2024/10/28	4
	看護過程③-③研修地域包括ケア研修③(成果発表)	2025/1/27	4
	がん看護研修①(講義・GW)	2024/6/7	5
	がん看護研修②(講義・GW)	2024/9/9	5
	がん看護研修③(講義・GW)	2024/12/10	5
	がん看護研修④(成果発表)	2025/3/13	5
	中堅看護師研修①(講義・GW)	2024/7/22	7
	中堅看護師研修②(講義・GW)	2024/10/15	7
	中堅看護師研修③(成果発表)	2025/2/20	7
	リーダーステップアップ研修①	2024/8/13	2
	リーダーステップアップ研修②	2024/11/8	2
	リーダーステップアップ研修③	2025/3/10	2

Ⅱ Ⅲ	キャリア開発研修①(講義・GW)	2024/7/12	6
	キャリア開発研修②(講義・GW)	2024/10/21	4
	キャリア開発研修③(成果発表)	2025/2/25	5
ラ ダ ー Ⅲ Ⅳ 段 階	地域包括ケア研修②(成果発表)	2023/2/13	4
	中堅看護師ステップアップ研修③(成果発表)	2023/2/15	2
	キャリア開発ケア研修③(成果発表)	2023/2/17	3
	地域包括ケア研修①(講義・GW)	2023/8/29	1
	キャリア開発研修①(講義・GW)	2023/7/21	6
	キャリア開発研修②(講義・GW)	2023/10/20	6
ラ ダ ー Ⅲ 段 階	グループリーダー研修①(講義・GW)	2024/6/11	8
	グループリーダー研修②(講義・GW)	2024/10/23	8
	グループリーダー研修③(成果発表)	2024/3/11または3/19	8
	グループリーダーステップアップ研修①(講義・GW)	2024/5/14	7
	グループリーダーステップアップ研修②(講義・GW)	2024/9/10	7
	グループリーダーステップアップ研修③(成果発表)	2025/3/11または3/19	6
ラ ダ ー Ⅳ 段 階	主任・主任ステップアップ研修①(講義・GW)	2024/6/19	12
	主任・主任ステップアップ研修②(講義・GW)	2024/9/25	12
	主任・主任ステップアップ研修③(成果発表)	2025/3/11または3/19	12
	課長代行・課長研修①(講義・GW)	2024/6/24	5
	課長代行・課長研修②(講義・GW)	2024/9/30	5
	課長代行・課長研修③(成果発表)	2025/3/11または3/19	5
看 護 研 究	看護研究概要(外部講師講義)	2024/6/22	28
	文献検討	2024/10/12	24
	文献検討～研究テーマ(外部講師面接指導)	2024/11/30	30
	研究計画書(外部講師面接指導)	2025/2/1	33
ト ピ ッ ク ス 研 修	看護必要度研修(新人看護師)	2024/5/27	33
	看護必要度研修	2024/5/10～5/31	265
	看護補助者との連携研修(新人看護師)	2024/5/27	34
	看護補助者との連携研修①	2024/5/28	66
	看護補助者との連携研修②	2024/6/25	58
	看護補助者との連携研修③	2024/7/23	36
	看護補助者との連携研修④	2024/8/27	53
	看護補助者との連携研修⑤	2024/9/24	36
	看護補助者との連携研修⑥	2024/10/22・23・24	4
	PNS基本研修	2024/10/22・11/26・12/24 2025/1/28・2/25	298
	意思決定支援①	2024/8/21	21
	意思決定支援②	2024/10/16	27
	意思決定支援③	2024/12/18	21
	意思決定支援④	2025/2/1	25
			2,103

2. ケアワーカー研修

	研修名	月日	人数
1 段階	看護補助者の役割 医療安全と感染防止、守秘義務と個人情報の保護	2024/7/1	7
		2024/7/10	7
2 段階	看護補助者の役割 医療安全と感染防止、守秘義務と個人情報の保護	2024/7/30	11
		2024/8/8	11
3 段階	看護補助者の役割 医療安全と感染防止、守秘義務と個人情報の保護	2024/8/9	9
		2024/8/30	5
		2024/9/11	2
4	看護補助者の役割 医療安全と感染防止、守秘義務と個人情報の保護	2024/9/5	4
			56

3. 本部研修

	研修名	月日	人数
本 部 研 修	2024度新入職者オリエンテーション	2024/4/1～3	35
	昇級研修ガイダンス(5等級昇級候補者)	2024/4/4	3
	6等級昇級通信教育ガイダンス	2024/4/4	3
	昇級オリエンテーション(3等級昇級申請者)	2024/4/10または17	17
	昇級オリエンテーション(4等級昇級申請者)	2024/4/10または17	16
	昇級オリエンテーション(5等級昇級者)	2024/4/11	8
	昇級オリエンテーション(6等級昇級者)	2024/4/11	1
	自己管理・組織力向上研修	2024/5/9	14
	自己管理能力向上研修(1等級)	2024/5/16または23	37
	自己管理・組織力向上研修	2024/6/13	18
	マネジメント力向上研修(6等級昇級者)	2024/6/6	1
	マネジメント基礎研修(5等級昇級者)	2024/6/27	8
	マネージャーフォローアップ研修	2024/7/11	16
	リーダーシップ研修	2024/7/18	9
	中途採用者オリエンテーション	2024/7/19	1
	リーダースキルアップ研修	2024/7/25	7
	管理者研修	2024/9/12	13
	アサーション研修	2024/9/19	8
	管理基礎研修(5等昇級申請者)	2024/9/26	3
	医療接遇・コミュニケーション研修(新入職者)	2024/10/10または10/24	34
	クレーム対応基礎研修	2024/10/17	8
	経営基礎研修	2024/11/7/14/28	3
	活動発表会	2024/11/9	5
			268

延べ人数合計	2,427
--------	-------

2024 年 院外研修・学会 参加状況

研修項目			受講期間	人数
教育研修 (神奈川県看護協会)	6月	看護実践が見える看護記録を目指して～形式監査・質監査～	2024/6/7	2
		もう困らない！わかりやすい小論文・レポート・報告書の書き方	2024/6/13	2
		事例から学ぼう褥瘡予防とケアの実際～予防編～	2024/6/18	2
	7月	ファンリテーションスキルを学ぼう	2024/7/1	1
		地域包括ケアにつなげる入退院支援～生活者としてその人を見る	2024/7/4	4
		准看護師のためのスキルアップ研修	2024/7/6	1
		主任看護師が取り組み問題解決	2024/7/11	4
		40代・50代からのセカンドキャリア塾	2024/7/17	1
		明日からできる感染防止	2024/7/18～10/17	2
		がん薬物療法を受ける患者の看護～その人らしい生活を支援する～	2024/7/24	4
		感染リンケナースのための感染管理	2024/7/29・30	3
	8月	綺麗でいたい！わたし磨き～看護師にふさわしい美容術～	2024/8/21	1
		看護補助者の活用推進のための看護管理研修①	2024/8/20	3
	9月	認知症高齢者の看護実践に必要な知識①	2024/9/3・4	3
		高齢者の人生最終段階における意思決定支援～患者・家族のACP～	2024/9/19・20	4
		チームで取り組む安全文化	2024/9/30・10/1	3
	10月	看護補助者の活用推進のための看護管理研修②	2024/10/2	3
		フィジカルアセスメントを学ぼう	2024/10/18	7
	11月	認知症高齢者の看護実践に必要な知識②	2024/11/12・13	2
		学びなおしの患者接遇	2024/11/15	1
		リーダーナースのためのフィジカルアセスメント	2024/11/21	4
	12月	実践シリーズ 心電図編	2024/12/12	4
	1月	高齢者支援と認知症患者の看護②	2025/1/21・22	1
		慢性心不全患者の看護	2025/1/27	2
		実践に活かす糖尿病の最新知識	2025/1/28	1
		チーム運営に必要なリーダーシップ	2025/1/30	1
		トラブルを防ぐストーリーメイク～漏れない！取れない！困らない！～	2025/1/31	4
	2月	笑顔が増えれば職場が変わる！～相手とわたしのためのアンガーマネジメント～	2025/2/17	1
	その他	第32回看護研究発表会：県央支部	2024/9/5	6
		新人看護師のための臨床倫理：県央支部	2024/10/10	4
		大人の発達障害への対応：県央支部	2025/1/16	2
管理・指導者研修	済生会横浜市東部病院：保健師助産師看護師実習指導者講習会		2024/6/10～11/21	1
	湘南医療大学看護キャリア開発コアセンター：保健師助産師看護師実習指導者講習会		2024/6/13～8/29	1
	昭和大学保健医療学部：保健師助産師看護師実習指導者講習会		2024/8/19～12/16	1
	東海大学：保健師助産師看護師実習指導者講習会		2024/9/17～12/19	1
	北里大学看護学部：保健師助産師看護師実習指導者講習会		2024/5/24～1/24	1
	セカンドレベル研修：神奈川工科大学看護生涯学習センター		2024/6/7～10/11	1
	ファーストレベル研修：神奈川工科大学看護生涯学習センター		2024/11/8～2025/2/7	2
	医療安全管理者養成研修：神奈川県看護協会		2024/10/10～1/26	1
	NST研修：日本健康・栄養システム学会		2024/8/3～8/6	1
	特定行為研修指導者講習会：東海大学看護師キャリア支援センター主催		2025/1/13	2

その他の研修	人工呼吸器・心電図のモニタリングとアセスメント	2024/6/16	1
	重症化・急変の気づきと看護ケア:e-nusセミナー	2024/7/28	1
	経過観察で求められる観察力:e-nusセミナー	2024/10/20	2
	公開がん看護専門コース「がん放射線療法看護」:国立がん研究センター中央病院看護部	2024/9/25・26	1
	新人看護職員のためのフィジカルアセスメント:県央地区看護部長会	2024/11/16	2
	静脈注射を題材とした教育計画作成研修:テルモ株式会社	2024/11/23	1
	学び直してスキルを磨く ICU・CCU看護実践:日総研	2024/11/23	2
	胸部X線・CT画像の見方と看護ケアへの活かし方:e-nusセミナー	2024/12/1	2
	人工呼吸器セミナー:神奈川県臨床工学技師会	2025/2/9	1
学会参加	誰にでもよくわかる心電図:チーム医療CE研究会東日本	2025/3/9	3
	第52回日本血管外科学会学術集会	2024/5/30・31	1
	第32回日本創傷オストミー・失禁管理学会学術集会	2024/5/25・26	1
	第12回日本感染管理ネットワーク学会学術集会	2024/5/31・6/1	1
	第46回呼吸療法医学会学術集会	2024/6/28・29	1
	第29回日本老年看護学会学術集会	2024/6/29・30	1
	第39回日本環境感染学会	2024/7/25～27	2
	第55回日本看護学会	2024/9/27～29	3
	第65回全日本病院学会	2024/9/27～29	1
	第24回クリニカルパス学会学術集会	2024/10/4・5	4
	第19回医療の質・安全学会学術集会	2024/11/29・30	1
	第40回日本栄養治療学会学術集会	2025/2/14・15	1
	第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会	2024/11/29・30	1
	第26回神奈川県看護学会	2024/11/30	2
	第39回日本がん看護学会学術集会	2025/2/22・23	1
学会発表	第12回PNS研究会	2025/3/1	5
	「離床プロトコル活用による看護師の認識変化」:第55回日本看護学会	2024/9/27～29	
	「外国人看護補助者育成体制構築への取り組み」:第55回日本看護学会	2024/9/27～29	
	「新型コロナウイルス感染症クラスターを契機とした当院の感染対策の経緯」: :第65回全日本病院学会	2024/9/27～29	
	「クリニカルパス教育計画の見直し～パスコ活動の支援を通して～」: :第24回クリニカルパス学会学術集会	2024/10/4・5	
	「弾性ストッキングの色調による使用感と形態的・物理的性質に関する検討」: :第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会 優秀演題賞受賞	2024/11/29・30	
	「調節型圧迫装具による下腿浮腫の減少効果に関する検討」: :第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会	2024/11/29・30	
	「弾力性包帯の伸縮性と影響因子に関する検討」: :第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会	2024/11/29・30	
	「ピクトグラム導入による患者館制度の共通認識を目指した業務改善の取り組み」: :第26回神奈川県看護学会	2024/11/30	
	認知症高齢がん患者の意思決定支援研修会の評価～意思決定支援の取り組みと今後の課題認識の質的分析～:第39回日本がん看護学会学術集会	2025/2/22・23	
	「PNS における看護管理ラダー育成」:第12回PNS研究会	2025/3/1	
	「看護課長PNSによる心理的安全性から得られたシナジー効果」:第12回PNS研究会	2025/3/1	
	「PNSの推進と社会人基礎力の育成」:第12回PNS研究会	2025/3/1	
	「PNSを活用した看護の質向上に向けた取り組み」:第12回PNS研究会	2025/3/1	
	「グループリーダーとしてPNSを活用した人材育成の取り組み」:第12回PNS研究会	2025/3/1	

延べ人数合計

137

摂食嚥下療法科

1. 概 要

摂食嚥下療法科は「口から食べる事」全般を支援する専門部署です。入院と同時に他職種と連携したチームアプローチを積極的に行い、「口から食べて退院する医療」に取り組んでいます。また、口腔衛生にも力を入れており、歯科衛生士を中心に看護師と連携した口腔衛生管理を行っています。

2. スタッフ構成

課長 1 名（歯科衛生士）

常勤看護師 1 名

常勤歯科衛生士 3 名

3. 活動内容

- ・入院患者への摂食嚥下ケア・リハビリ
- ・短期嚥下訓練入院の受け入れ
- ・入院患者への口腔衛生・口腔機能管理
- ・周術期に関連する口腔管理ならびに手術前面接、がん治療開始前の口腔相談
- ・院内、院外への教育的啓発活動
- ・訪問歯科対応、地域歯科医院との連携

1) 入院患者の 3 食経口摂取移行に関する実績

2024 年の摂食機能療法介入者の総数は 1,247 名（前年 1,018 名）で、平均年齢は 80.5 歳（前年 79.5 歳）でした。介入患者 1,247 名のうち死亡退院と嚥下評価のみで終了した患者 240 名を除いた管理総数は 1,005 名で、3 食経口摂取へ移行した患者は 815 名（前年 769 名）、3 食経口摂取移行率は 81.0%（前年 82.9%）でした。介入から 3 食経口摂取移行までの平均日数は平均 1.3 日（前年 1.3 日）、摂食機能療法介入中の肺炎発症例は件 0.2%（前年 0.8%）でした。

2) 摂食嚥下委員会

摂食嚥下委員会は、摂食嚥下チームで構成しています。構成メンバーは摂食嚥下療法科のほか各病棟（ICU 含む）、リハビリテーション科、栄養科、薬剤科、検査科、医療福祉相談室です。定期的な委員会開催のほか、毎週月曜日には各病棟の嚥下回診を行っています。また、研修会や講師派遣、院外からの嚥下相談対応など広域的な活動を行っております。地域医療支援病院として摂食嚥下ケアの大切さを当院から発信することは、重要な役割と考えています。

（文責 西川 利恵）

臨床検査科

1. 概要

臨床検査科は地域医療に貢献するという三思会の基本理念にのっとり、24時間365日休まず検査を実施、結果を提供できる体制をとっています。当部門は「地域医療支援病院」「がん診療連携指定病院」としての機能が果たせるよう、人材・設備の充実を図っています。

一昨年より始動した病理検査部門は、医師1名、技士2名で運営していますが、臨床検査スタッフ1名が指導を受け、病理業務補助を行えるようになっていきます。

検体検査部門では今年度、昨年度で生化学、血算、A1cの機器を更新、それと共に検体運用も再考し、以前よりも迅速に検査報告を行える体制を整えました。次年度は免疫発光分析器、血液ガスシステム導入などを計画しています。超音波検査では、女性技士1名を育成中です。

また、検査科の業務範囲は検査室内にとどまらず、病棟での早朝採血や、院外法人関連施設での出張業務など活動の場は広がっています。トピックとして、法人の業務自動化ソフト(RK)の導入の際にはスタッフ1名が集計業務(日報・検査集計)を自動で行うプログラムを作成し、業務負担軽減を行いました。

2. スタッフ構成

・臨床検査技師 常勤技師 14名(男性 6名 女性 8名) 他 アルバイト技師 1名

・各種認定取得者

緊急検査士 2名、 血管診療技師 1名、 細胞検査士 2名

超音波検査士(消化器領域 2名 循環器領域 2名 血管領域 1名 健診領域 1名)

3. 活動内容

・採血業務(病棟・外来)

朝6時より2名体制で入院中の患者さんの病室に伺い採血を行っています。また、紹介外来や化学療法外来の患者さんの採血も検査科採血カウンターにて実施しております。

・検体検査業務

生化学検査、血液学検査、免疫学検査、尿検査(試験紙法)においては自動分析器を導入し、検体提出から30分以内での報告を行います。また、細菌塗抹検査や輸血検査なども迅速に対応できる体制がとれています。

- ・生理学的検査

各種心電図検査、脈波検査、皮膚灌流圧測定、呼吸機能検査、脳波検査、各誘発電位検査などを実施しています。

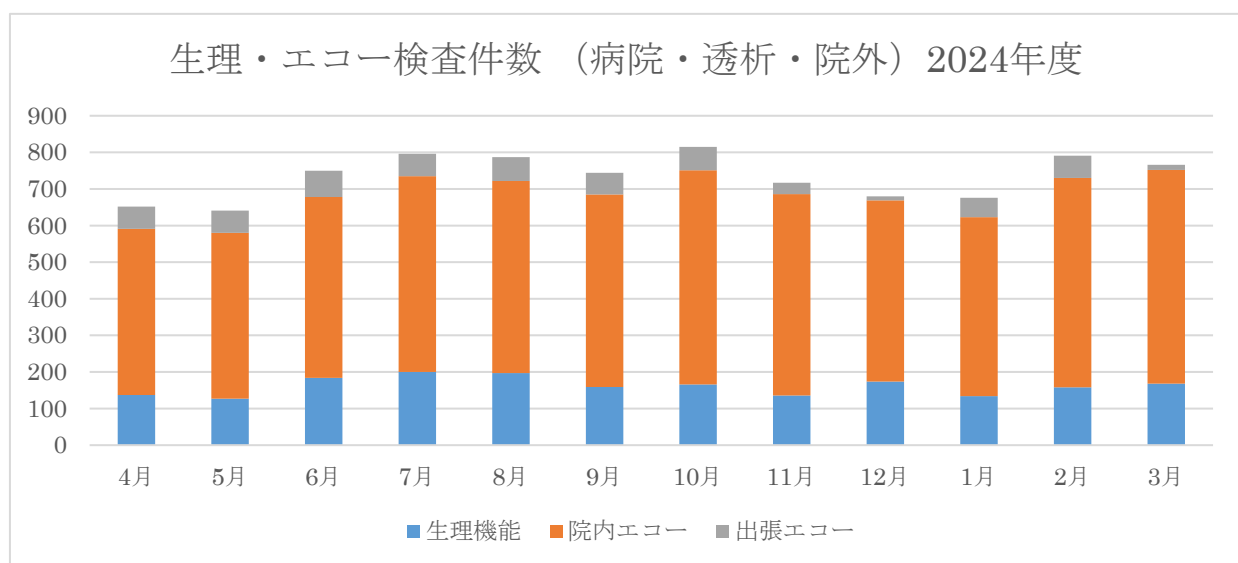
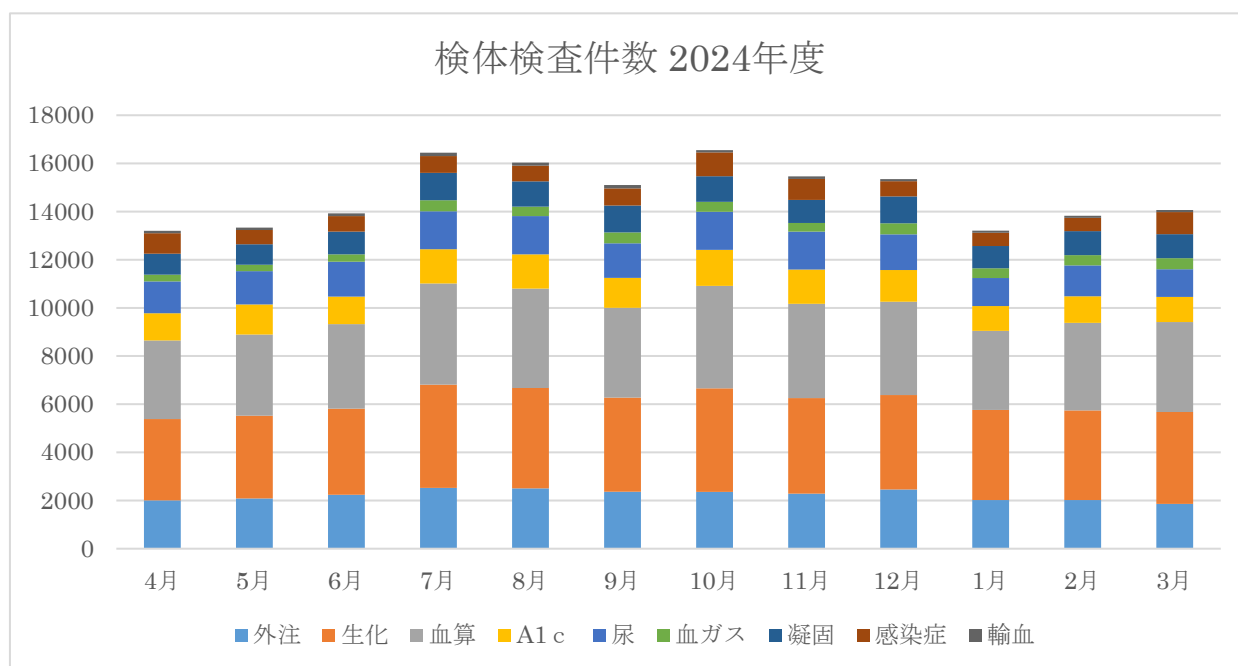
- ・超音波検査

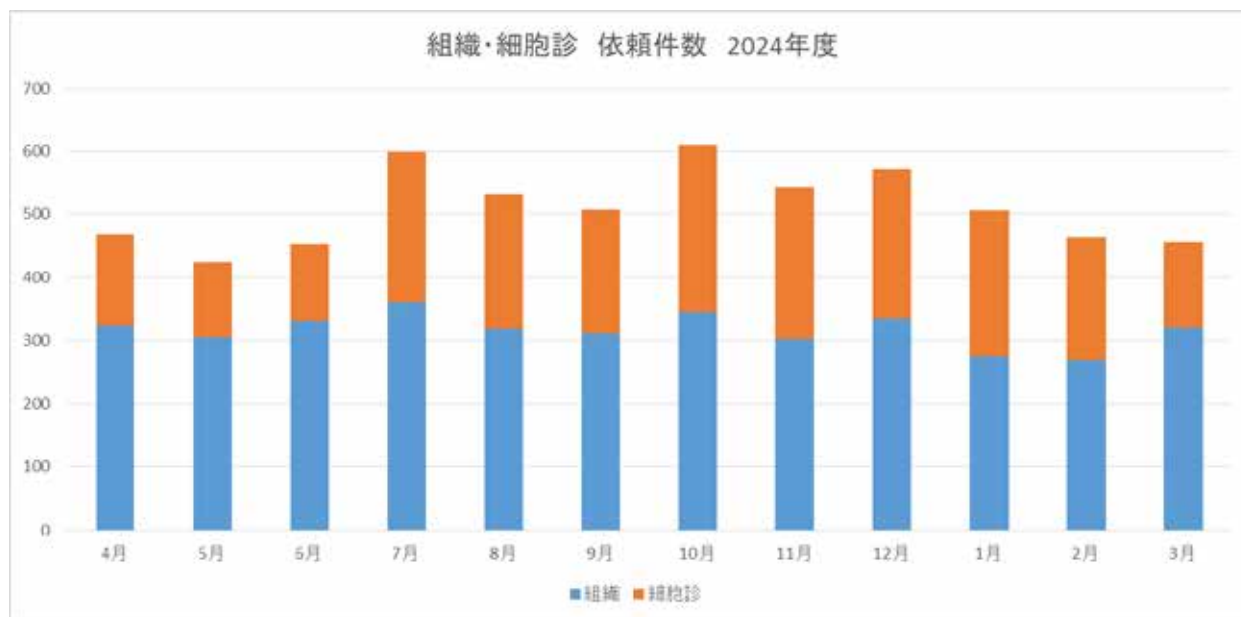
心臓超音波、腹部超音波、体表超音波、血管超音波を実施しています。

- ・病理組織検査

標本作製、術中迅速診断、院内毒劇物管理 etc.

- 業務別件数の推移（病院・ドック・透析）





(文責 栗田 修)

薬剤科

1. 概 要

診療報酬改定・病院機能評価受審を機に、多くの課題解決・業務改善に取り組みました。①中央業務（医薬品管理・調剤・無菌調製・医薬品情報等）、②臨床業務（薬剤管理指導・病棟薬剤業務等）・チーム医療（がん化学療法・緩和・ICT・AST・NST 等）、③その他(教育研修業務・治験事務局業務等)の薬事に関わる業務を担っております。

①中央業務

調剤業務（内服・注射）・製剤業務・無菌製剤処理業務(抗がん剤・高カロリー輸液等)、医薬品管理業務、医薬品情報管理業務に取り組んでいます。夜間当直は入院調剤に加え、救急外来処方に対しても服薬説明を実施しています。2024年度は新たに下記3点に取り組みました。

- ・注射薬運搬カートの更新

注射運搬カートの老朽化に伴い、新しく更新しました。看護部との協力・調整を重ね、調剤から与薬まで1患者 Rp 毎1トレーで安全に運搬・与薬できるようになりました。

- ・5S（調剤室・DI室・注射倉庫・無菌製剤処理室）

注射薬運搬カート更新をきっかけに、モノを減らす取り組みを実行しました。調剤室内の電子カルテを一部モバイル運用に変更して、院内ロケーションフリーで業務できるようになりました。

- ・抗がん剤無菌製剤処理業務の効率化

がん化学療法の患者数増加に伴い、陰圧アイソレーターを用いた抗がん剤無菌製剤処理業務の件数が増加しました。抗がん剤混注開始連絡システム「伝次郎」を導入し、薬剤師2～4名が柔軟に対応できる体制に変更し、待機時間を削減しました。

②臨床業務

病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務・チーム医療業務について臨床薬剤師としての能力を活かし、他職種と協働して取り組んでいます。2024年は新たに下記5点に取り組みました。

- ・感染対策マニュアル改訂

抗菌薬の物流障害や院内採用抗菌薬の変更に対応したマニュアルへ改訂しました。

- ・DI-病棟薬剤師 連携ミーティング

DI担当薬剤師から病棟薬剤師に向けた情報提供を病棟薬剤業務支援システム「ドラレコ (Drug Recorder)」を導入し運用しました。ハイリスク薬新規導入患者、抗菌薬適正使用モニタリング患者等をDI室から発出し病棟で重点介入できる体制を構築しました。

- ・薬剤管理指導業務件数増

科員が精力的に薬学的問題解決に取り組み、薬剤管理指導件数は5484件/年(2023年度)から6228件/年(2024年度)へ15%増加しました。地域包括ケア病棟での退院指導への積極介入を開始しました。

- ・PBPM(プロトコールに基づく薬物治療管理)

院内で承認されたプロトコルに従い、薬剤師が主体的に薬物治療に関わる取組みを開始しました。「がん化学療法患者に対する B 型肝炎ウイルス再活性化対策プロトコル」・「疑義照会簡素化プロトコル」・「定時処方入力支援プロトコル」を実施しました。

・外来がん化学療法に関する保険薬局との連携

外来腫瘍化学療法診療料 連携充実加算の算定を開始しました。保険薬局と協働した研修会の実施や、患者毎のがん化学療法レジメン情報の共有を通じて、副作用モニタリング等を強化するための連携強化に取り組みました。

③その他

・施設認定等の取得

がん専門薬剤師 教育研修施設（連携施設）

・研修出向

2024/4-6 NST 専門療養士研修（武井まどか・東邦大学大森病院）

2025/1-3 がん薬物療法研修（上野未樹・国立がんセンター中央病院）

・学生教育

薬学部病院実務実習（11 週間）昭和薬科大学 1 名

薬学部病院実務実習（11 週間）横浜薬科大学 1 名

2. スタッフ構成

薬剤師 常勤：18 名・非常勤：3 名

メディカルクラーク 常勤：5 名

3. その他

・各種発表

山田咲良「脳外科領域でのアンデキサネットアルファの使用後調査」

日本病院薬剤師会 関東ブロック第 54 回学術大会 2024/8/10-11・埼玉

成田千津「緩和ケアチームと協働し作成した医療用麻薬導入パス」

第 24 回クリニカルパス学会 学術大会 2024/10/4-5・愛媛

・認定等の取得状況

認定等	団体名	氏名
がん薬物療法認定薬剤師	日本病院薬剤師会	松田
外来がん治療認定薬剤師	日本腫瘍薬学会	松田・相場
日病薬病院薬学認定薬剤師	日本病院薬剤師会	松田・武井・上野・坂本・ 亀川
実務実習指導薬剤師	薬学教育協議会	成田・清野・坂本・吉留・ 徳原

公認スポーツファーマシスト	日本スポーツフェアネス推進機構	清家・岡田・徳原
インфекションコントロール ドクター	ICD 制度協議会	徳原
医療安全管理者		成田
認知症ケア専門士	日本認知症ケア学会	成田・清家
NST 専門療養士	日本栄養治療学会	春原・武井
研修認定薬剤師	薬剤師研修センター	亀川・吉留・徳原
糖尿病療養指導士	糖尿病療養指導士認定機構	大石・徳原
心不全療養指導士	日本循環器学会	亀川

(文責 徳原 大介)

リハビリテーション科

1. 概 要

リハビリテーション科は、チームアプローチによるゴール設定の下、PT・OT・STの専門性を活かし、急性期の発症直後から早期離床・短期集中・早期退院に向けて取り組み、地域包括ケア病棟では、自宅退院に向けたリハビリテーションを積極的に実施しています。また、患者さんの安全を守るため、病棟と協働し、転倒転落予防への取り組みや、車椅子の定期的なメンテナンスを行っています。また、地域の皆様の健康増進を望み、地域活動にも積極的に参加しています。

2. スタッフ構成

理学療法士 17名 作業療法士 5名 言語聴覚士 3名

3. 活動内容

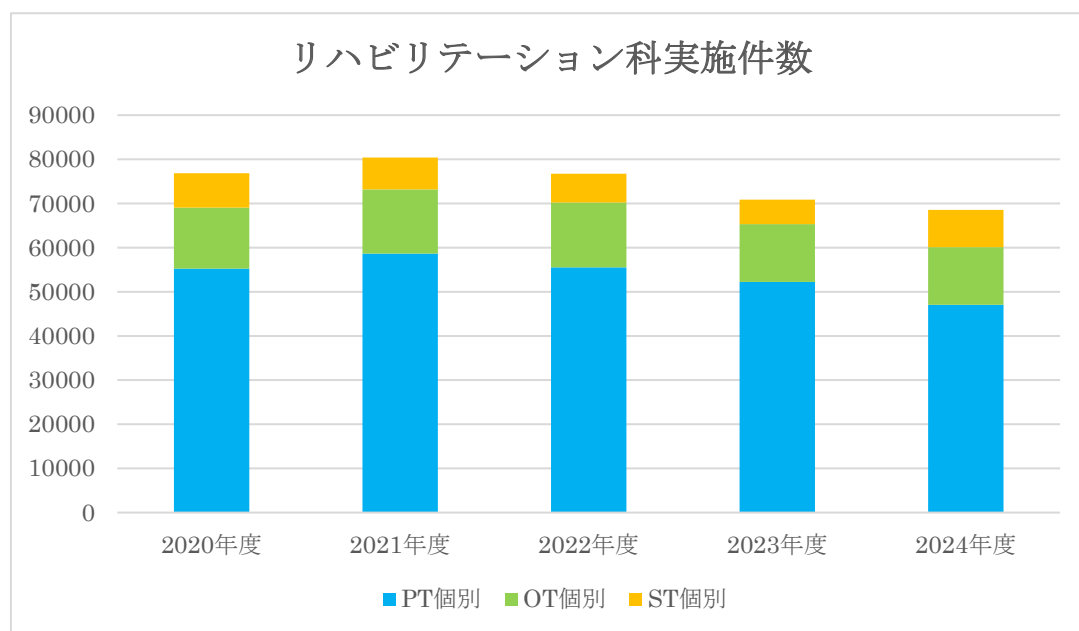
リハビリテーション科では、全診療科より依頼があり、医師の指示の下リハビリテーションを実施しています。脳血管・運動器・呼吸器・がんリハビリテーションのみならず、診療報酬算定出来ない疾患に対してもADL改善目的でリハビリテーション介入を行っています。専門資格では認定理学療法士（運動器・呼吸器）、三学会合同呼吸療法認定士、心不全療養指導士、日本摂食嚥下リハビリテーション指導士等を取得し、質の向上に努めています。また、院内業務として月1回車椅子メンテナンス、委員会活動、各診療科カンファレンス、臨床実習生指導を実施しています。地域活動にも力を入れており、厚木市介護認定審査会委員、県央地区リハビリテーション連絡会役員、神奈川県理学療法士会役員、南毛利南地域福祉推進委員会役員として活動しています。

2024年度はがんリハビリテーションを強化し、新たに従事者を4名育成しました。また、術前・術後・退院時まで一貫して活用出来るよう指導用パンフレットを作成し運用を行いました。以上、簡単ではございますがリハビリテーション科の活動を報告させて頂きました。来年も地域貢献できる力を付けるべく、職員一同、努力してまいります。

（文責 橋本 健太郎）

リハビリテーション科 実施件数 推移（各年度 4/1～3/31）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
PT 個別	55,245	58,636	55,517	52,219	47,047
OT 個別	13,820	14,544	14,705	13,100	13,045
ST 個別	7,781	7,231	6,534	5,564	8,456
総計	76,846	80,411	76,756	70,883	68,548



2024年度地域包括ケア病棟 実績

	患者数	総日数	総 単位数	平均 単位数	直近3ヶ月 平均単位数	脳血管	廃用	運動器	呼吸器	ガン
R6年4月	59	665	1562	2.34	2.28	666	0	564	303	29
R6年5月	53	621	1412	2.27	2.28	492	0	720	177	23
R6年6月	48	645	1529	2.37	2.32	499	0	765	250	15
R6年7月	63	832	1955	2.34	2.33	754	0	991	171	39
R6年8月	62	928	2119	2.28	2.31	1100	0	853	166	4
R6年9月	64	853	1829	2.14	2.25	1049	0	515	255	10
R6年10月	67	746	1699	2.27	2.23	1094	0	337	246	22
R6年11月	61	889	2026	2.27	2.23	1246	0	602	163	15
R6年12月	61	886	2011	2.27	2.27	881	0	930	177	23
R7年1月	73	864	1991	2.30	2.28	899	0	633	448	11
R7年2月	61	704	1622	2.30	2.29	832	15	383	387	5
R7年3月	67	749	1710	2.28	2.30	771	6	706	218	9
平均値	61.58	781.8	1789	2.29	2.28	856.9	1.75	666.6	246.8	17.08

放射線技術科

1. 概 要

主に病院・クリニック・健診センターの3ヶ所による放射線業務

病院での完全日当直制、夜間の緊急検査の為、待機者1名

放射線治療・治療計画用CTの撮影

クリニック業務、健診センターの1.5T MRI検査

愛川クリニック・とうめい綾瀬腎クリニック・とうめい宮の里クリニック・さがみ緑風園でのX線検査

主な設備：一般撮影 2式（オールFPD）・80列マルチCT・3.0T MRI（健診：1.5T MRI）・DR（X線TV透視）・バイプレーン血管造影装置・バイプレーン心カテ装置
外科用イメージ 3式・移動型術中CT装置（0アーム）・ポータブル撮影装置 3台・結石破碎装置・放射線治療（リニアック）、治療計画CT（マンモグラフィ、DEXAはクリニックが担当）

2. スタッフ構成

放射線技師18名（内クリニック専従1名、治療専従1名）事務1名

3. 活動内容

昨年度に引き続き、医療法施行規則の改定に伴う放射線被ばく管理体制の強化を進めるとともに、労働衛生委員会に参画し、診療放射線業務に従事する職員の個人被ばく管理強化により労働衛生環境の改善に取り組んでいます。また、関係職員に対する教育講演の実施など、啓発活動にも対応しています。

科内運営：

PACS画像管理の強化とアーカイブに関するルールの検討を進めています。新たな取り組みとして、STAT画像報告の導入に向けたガイドラインの作成を行うとともに、スタッフの基礎知識の向上を図り、画像診断能力の強化を目指しています。また引き続き、愛川・綾瀬・宮の里クリニック・緑風園に対して実質的な支援を継続しています。

人事：

本年度は定年退職者1名、3月に退職者1名がありましたが、2025年4月より新人2名を迎え入れ、現在は教育に力を注いでいます。

放射線治療：

2024 年 12 月に放射線治療専門医師を新たに迎え入れ、これにより従来以上に質の高い医療サービスの提供を目指しています。

放射線機器：

病院 X 線 TV 装置の更新により、TV 室での検査における被ばく線量の大幅な低減が実現されました。また、クリニックにおいては一般撮影装置の更新を行ったほか、手術室には移動型 CT 装置（O アーム）を新たに導入しました。さらに、とうめい綾瀬腎クリニックでは画像情報装置に FPD（フラットパネルディテクタ）を導入し、画質の向上と検査時間の短縮を図りました。また、心臓カテーテル装置についても更新を実施し、画質向上と被ばくの低減が達成されました。加えて、とうめい栄町クリニックの新規開院に向け、一般撮影装置、骨塩定量装置、CT 装置などの放射線機器の監修を行いました。

認定：

2024 年度に合格した認定

1. 放射線治療専門放射線技師 合格 杉田 浩章（2024 年 10 月 1 日）

まとめ：

本年度は、新卒者 2 名の教育に加え、本院内の放射線機器の複数更新や新規購入機器の導入、さらには透析センターの新設など、多くの業務に取り組んだ一年となりました。これまで通り、放射線安全管理として、被ばく管理とそれに関する啓蒙活動を継続するとともに、新たに STAT 画像報告を通じて、より迅速かつ正確な情報提供に努めています。当院では画像のデジタル化から約 7 年が経過しており、画像データの保存ルールやシステムについて、見直しの時期を迎えています。今後、より適切な運用を目指して再検討を進めてまいります。

今後も、質の高い画像情報の提供と安定した保存体制を構築することで、地域医療への貢献に引き続き尽力してまいります。

（文責 金谷 正人）

2024年 放射線科稼働状況（病院＋クリニックの総数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般撮影	3,789	3,950	3,969	4,624	4,007	4,081	4,276	4,084	4,270	4,369	4,101	3,957	49,477	4,123.1
マンモグラフィ	85	69	92	145	146	161	205	187	148	135	146	133	1,652	137.7
骨塩量測定	138	170	158	170	150	129	139	195	169	195	199	227	2,039	169.9
X-TV	243	265	237	287	247	229	261	298	298	347	336	408	3,456	288.0
MRI	370	377	373	398	341	331	351	360	371	346	370	387	4,375	364.6
CT	1,675	1,731	1,727	1,952	1,698	1,795	1,866	1,762	1,800	1,913	1,781	1,796	21,496	1,791.3
血管造影	22	21	20	22	16	21	14	17	22	20	12	16	223	18.6
心カテ	39	8	41	52	42	40	46	35	38	40	51	51	483	40.3
結石破砕	4	8	6	5	4	6	7	6	6	5	3	4	64	5.3
（portable）	204	195	234	317	287	244	270	226	271	327	269	256	3,100	258
総件数	6,569	6,794	6,857	7,972	6,938	7,037	7,435	7,170	7,393	7,697	7,268	7,235	86,365	7,197.1

放射線治療

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新患人数	25	17	16	24	20	18	16	21	20	25	20	21	243	20
照射人数	39	35	31	32	30	27	29	27	30	33	34	36	383	31.9
照射件数	373	355	284	343	240	223	245	235	244	303	302	249	3,396	283.0

他施設依頼件数（オープン検査）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
MRI検査	51	29	55	60	27	44	38	40	28	40	28	31	471	39.3
CT検査	33	43	56	58	37	49	45	33	31	42	36	42	505	42.1
総件数	84	72	111	118	64	93	83	73	59	82	64	73	976	81.3

栄養科

1. 概 要

栄養科では、主に栄養管理業務と給食管理業務を担っています。栄養管理業務では、病棟担当の管理栄養士が入院患者さんの栄養状態を評価し、食事摂取量の少ない患者さんや低栄養の患者さんに対し、早期に介入することで改善に努めています。さらに医師の指示に基づき患者さん個々の病態や生活に合わせた栄養食事指導を実施しています。給食管理業務では、安全、かつ疾患ごとに適切で、さらに美味しい食事となるよう努めています。

2. スタッフ構成

常勤管理栄養士：6名 非常勤管理栄養士：1名
給食業務委託業者：日清医療食品株式会社 横浜支店

3. 活動内容

【栄養管理業務】

- ・栄養指導枠拡大、指導内容の拡充・拡大
 - ① 入院患者さんへの介入拡大、クリニック・化学療法センターでの継続指導
 - ② 新規、外来放射線治療センターでの介入、オープン検査患者さんへの介入
- ・栄養指導時に「栄養診断」を実施、記録・媒体の見直し
- ・病棟業務拡充・拡大
 - ① 栄養スクリーニング
 - ② 入院前情報収集、入院時に加え再評価時にも患者訪問
- ・科内勉強会開催（1回/月）、院外研修会・学会参加

【給食管理業務】

- ・インシデント対策 研修会（1回/月）、委託給食会社とのミーティング（1回/月）開催
- ・嚥下調整食基準に則った食事形態の見直し（随時）
委託給食会社・摂食嚥下療法科との連携
- ・新厨房運用開始

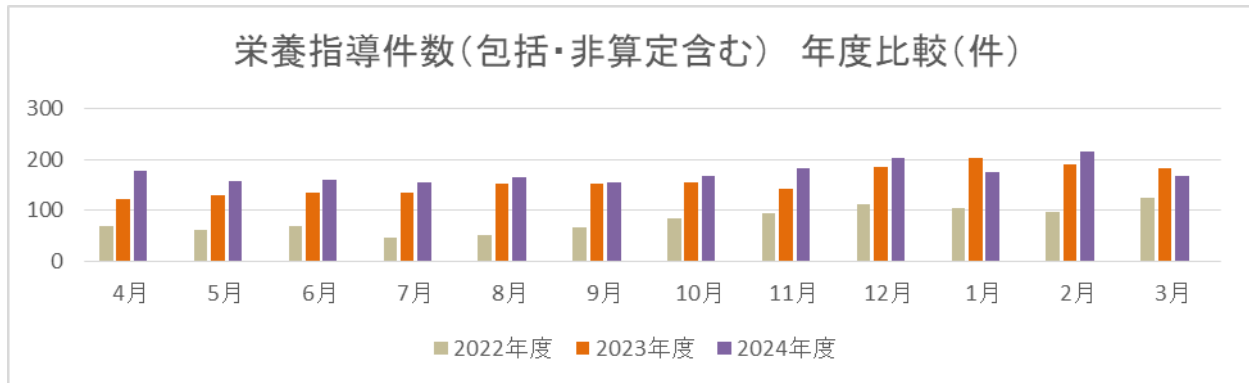
次年度も、さらに栄養管理・給食管理の質の向上に努めてまいります。

（文責 東村 智己）

【活動実績】

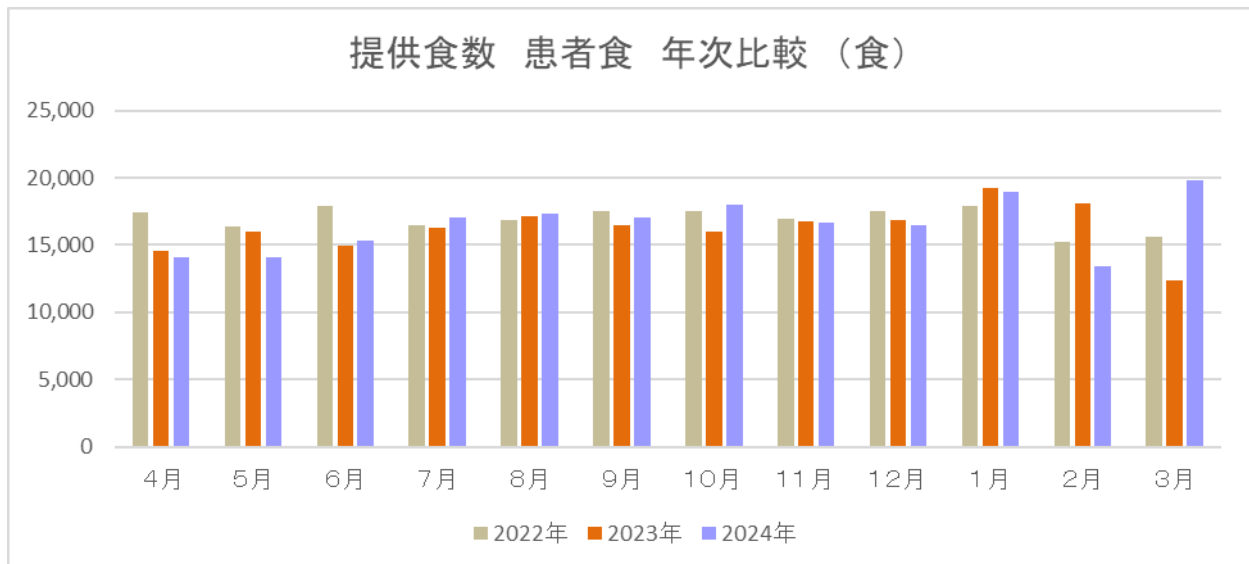
■ 栄養指導件数 3年比較（単位：件）

栄養指導件数（包括・非算定含む） 年度比較														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	SUM	AVE
2022年度	70	63	69	47	53	68	84	95	112	104	98	125	988	82.3
2023年度	123	130	136	135	153	153	156	142	185	203	191	182	1889	157.4
2024年度	178	159	160	155	166	156	167	182	202	175	215	168	2083	173.6



■ 提供食数 患者食 3年比較（単位：食）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年	17,432	16,415	17,909	16,512	16,840	17,532	17,497	16,978	17,505	17,874	15,273	15,595
2023年	14,610	16,034	14,980	16,312	17,173	16,511	16,012	16,777	16,874	19,216	18,079	12,407
2024年	14,068	14,082	15,342	17,088	17,288	17,071	18,031	16,668	16,474	18,994	13,394	19,810



臨床工学科

1. 概 要

臨床工学科は、当院に於ける循環・呼吸・代謝業務に広く携わり、診療・治療の補助、および、生命維持装置の操作を行っています。また医療機器のスペシャリストとして当院が保有する医療機器の維持管理を行い、定期点検や使用前・使用中の点検を通じて安全使用と事故防止に努めています。さらに、機器の情報提供や安全使用教育なども積極的に行っています。また緊急の心臓カテーテル検査にも、24 時間オンコール体制で対応し、医療チームの一員として、適切な診断・治療がスムーズに行えるよう努めています。

2. スタッフ構成

臨床工学技士 10 名

* 不整脈治療専門臨床工学技士 1 名

* 手術関連専門臨床工学技士 1 名

3. 活動内容

・循環器業務

北野院長・石川 征之医師・石川 紗羅医師・深井医師・新宮医師指導のもと、心臓カテーテル検査においては、心内圧測定・心拍出量測定・心内心電図測定などを行っています。PCI（経皮的冠動脈形成術）においては、心電図 12 誘導記録・IVUS（血管内超音波）を用いた血管径などの測定・記録をしています。その他、徐脈治療における体外式ペースメーカー、補助循環装置（IABP）等の操作、体内式ペースメーカー植込みの介助なども行っています。循環器外来においては、体内式ペースメーカーを植え込んだ患者さんに正しくペースメーカーが動作しているか検査するペースメーカーチェック。救急領域においては、心肺蘇生の手段として PCPS（経皮的な心肺補助法）の操作も行い、更に頻脈の治療においてもアブレーション治療（心筋焼灼術）を行っています。

・高気圧酸素業務

高い気圧の下で酸素を吸入させることで、血液中の酸素を増やすのが高気圧酸素療法で、様々な疾患の治療に用いられます。当院には第 1 種高気圧酸素治療装置（1 人用）があり、主に脳塞栓症・ガス壊疽・網脈動脈閉塞症・突発性難聴などに多く適応され、これらの装置の操作、および点検を行っています。

・医療機器管理業務

患者さんの検査・治療にあたっては、医療機器が安全で正しく動作することが求められます。臨床工学科は 2003 年より、医療機器の保守管理を担当するようになりました。

2007 年度からは医療法の改正により、法的にも医療機器の整備が義務付けられました。

これに伴い、今まで以上に知識の向上に努め、全ての医療機器が安全で性能が維持出来るように、保守・点検・管理・教育をし、効率的で適切な運用が出来るようにしています。

手術室においては、顕微鏡や内視鏡など多くの高度な医療機器があります。これらの使用・保守には多くの専門知識が必要で、手術が安全に効率よく進めていける環境の構築に貢献したいと考えています。

2015 年度より内視鏡室においても、機器管理業務を開始しています。

・手術室で行う鏡視下手術における内視鏡用ビデオカメラの保持及び操作

2021 年の法改正により、臨床工学技士の業務として追加されました。タスクシフトとして積極的に医療体制に貢献できる様に進めています。

4. 実施件数

循環器業務

心臓カテーテル検査	161 件	PCI	174 件
スワンガンツ	9 件	IABP	11 件
PCPS	10 件	アブレーション	98 件
EPS	9 件	ペースメーカー植込	16 件
ペースメーカー交換	10 件	ペースメーカークリニック	282 件

・高気圧酸素療法 429 回

院内勉強会

新入職者 ME 機器勉強会	2 回	人工呼吸器	4 回
血液浄化装置	1 回	輸液ポンプ	1 回
IABP	1 回	除細動器 (AED)	1 回
PCPS	1 回	生体モニタ	1 回
ダビンチ	1 回	O-アームナビ	2 回

(文責 中村 丈彦)

VII

事務 管理部門

総務課

1. 概要

総務課の業務は、いわゆる「縁の下の力持ち」であり、組織全体に関する事務を取り扱い、病院全体が円滑に動くよう全方位でバックアップしております。また、ユニフォームやロッカーの管理、寮の手配などを通じて職員が働きやすい環境を整え、様々なサポートもしております。更に、設備購入や建物管理、福利厚生制度の整備、院内制度の改善・推進、病院（法人）主催の様々なイベント運営も行っております。

2. スタッフ構成

課長：柏崎 康宏

課員：溝本 佑介 亀井 紘実 今田 みづほ 頼住 理沙 村尻 由利加
亀岡 美幸（医務部秘書） 東 もと子（図書室司書）

3. 活動内容

運営・準備などで関わり、活動した主なイベントは下記の通りです。

2024 年 4 月 新入職員オリエンテーション（進行） 総括・年度目標発表会 新入職員歓迎会

5 月 全館停電検査 診療部（各科）目標発表会

6 月 ネーム運用 ダビンチ見学会 引越（院長室、更衣室など）

7 月 納涼祭 RPA 導入 MR 予防接種

8 月 防災訓練 安否確認サービス B 型肝炎予防接種

9 月 病院機能評価受審に向けた模擬サーベイランス 保育室監査

10 月 引越（医局） 病床機能報告

11 月 病院機能評価（受審） 年末調整確認 引越（保育室）インフルエンザ予防接種

12 月 三思会忘年会 臨床病理検討会 職員献血

2025 年 1 月 医療監視（立入調査）

2 月 緩和ケア研修会 防災訓練 安否確認サービス B 型肝炎予防接種
緩和ケア地域連携カンファレンス

3 月 新入職員オリエンテーション（準備） 初期臨床研修修了式

今後も職員だけではなく院内で働くすべての人が働きやすく、患者さんにとっても心地よい入院生活が送れますよう、日々精進してまいります。

（文責 柏崎 康宏）

医事課

1. 概 要

医事課は、救急外来や内視鏡センター外来、がん治療に特化した放射線治療外来・化学療法外来・緩和ケア外来を担当する外来係と、入院会計業務を行う入院係、病棟内での事務全般を取り扱う病棟クランクにて構成されています。他部署との連携をはかり、正確で質の高い診療報酬請求により病院の収益に貢献できるよう業務を行うとともに、患者さん・ご家族に安心してご利用いただけるよう心がけています。

2. スタッフ構成

課 長：金谷 渉（診療情報管理士）

主 任：井出 紀美子（診療情報管理士）

外来係：林 美樹、高橋 未羽、石垣 みくみ、土井 陸斗、上原 香絵

入院係：田中 秀和、今屋 咲乃、金古 くるみ、田中 理菜、鈴木 愛菜、今村 楓

受 付：斎藤 順子（パート）

病棟クランク：島袋 夏実、阿部 恵子、旭 真奈、小林 あゆみ、戸村 早希、本杉 沙綺

電話交換手：阿野 妙子（パート）松本 縁（パート）

コンシェルジュ：綾部 由美子、高木 三紗保（パート）

3. 活動内容

- 受付・会計業務
- 病棟クランク業務
- 診療報酬請求業務
- 保険制度に係る申請
- 施設基準の届出及び管理
- DPC 分析
- テレフォンオペレーター業務
- 医療コンシェルジュ業務

（文責 井出 紀美子）

地域連携部

1. 概 要

地域連携部は、主に「東名厚木病院」と「とうめい厚木クリニック」へのご紹介をお受けする部署です。看護師である受診コーディネーターをはじめとしたスタッフ一同が、患者さんの症状や緊急度により、最適な外来への予約・受診調整に努めています。

また、当院は神奈川県がん診療連携指定病院や地域医療支援病院の承認を受けており、その役割を果たすための活動や事務局を担当しています。

当院ホームページの「医療関係者の方」にご紹介やオープン検査に関するご案内と紹介状などの各種書類のダウンロード、登録医マップなどを掲載しています。

2. スタッフ構成

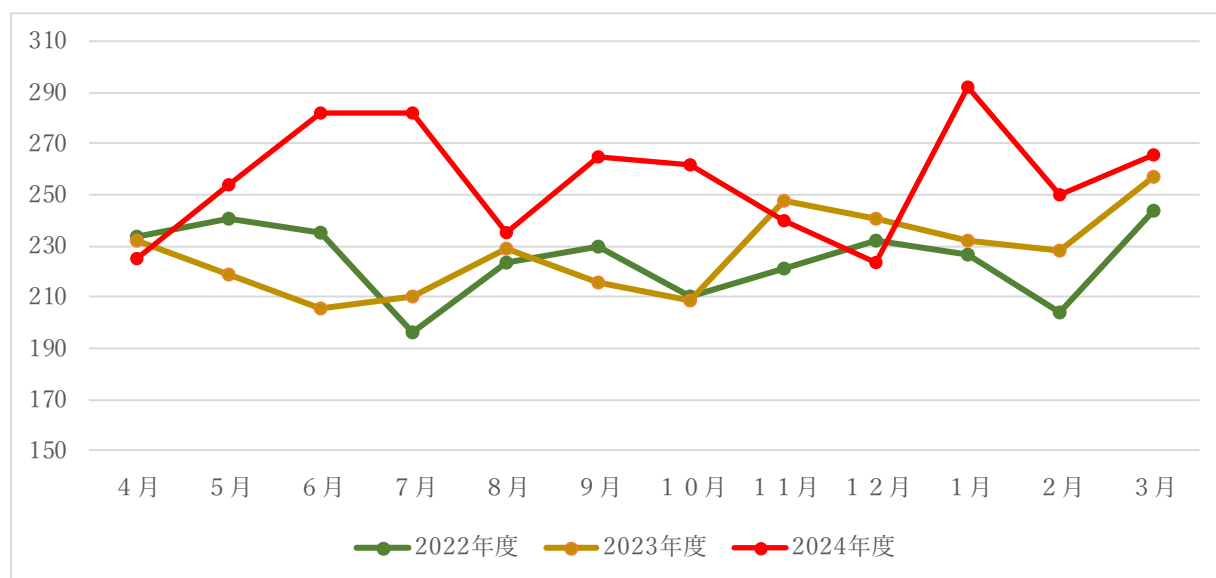
部 長	：	平山 卓哉	事務	（管理・渉外活動担当）
マネージャー	：	金丸 佐恵子	看護師	（管理・受診コーディネーター）
主 任	：	木村 弘宗	事務	（渉外活動担当）
	：	高橋 咲妃	事務	（連携調整担当）
	：	小山 雅嗣	事務	（渉外活動担当）
	：	酒井 佐知子	事務	（連携調整担当）
	：	檜山 英巳	事務	（連携調整担当）
	：	都築 幸美	事務	（連携調整担当）
	：	千村 優介	事務	（渉外活動・送迎担当）
	：	箭内 信英	事務	（送迎・車両管理担当）
	：	赤井 七海	事務	（連携調整担当）

3. 活動内容

- ・ ご紹介・逆紹介に関する業務
- ・ オープン検査に関する業務
- ・ 渉外活動
- ・ 紹介状や報告書の管理・配送
- ・ 送迎、車両管理
- ・ 神奈川県がん診療連携指定病院に関する事務業務
- ・ 地域医療支援病院に関する事務業務
- ・ 医療講座に関する業務
- ・ 厚木医師会の一部医会・部会に関する事務業務
- その他

紹介患者数 （単位：件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	234	241	235	196	224	230	210	221	232	227	204	244	2,698
2023年度	232	219	206	210	229	216	209	248	241	232	228	257	2,727
2024年度	225	254	282	282	235	265	262	240	224	292	250	266	3,077



2024年11月2日に第6回地域連携フォーラムを開催いたしました。（上写真）

院内外で106名の方々にご参加いただき、第一部では、東名厚木病院より3例の症例報告と東京大学医学部附属病院放射線科講師片野 厚人先生に「放射線治療の進歩と地域連携の展望～技術革新と患者中心の医療を目指して～」についてご講演いただきました。

第二部では、懇親会を開催し、皆さまと色々な情報交換させていただき親睦を深めることができました。

（文責 平山 卓哉）

患者総合支援センター（入退院支援／患者サポート／医療福祉相談・がん相談）

1. 概 要

患者総合支援センターは、入退院支援センター、医療福祉相談室、患者サポート窓口とがん相談支援センターの役割を担っています。

患者家族の総合的な相談室として機能を強化してきました。また、地域との連携を強化し地域包括ケアシステムづくりへ参画しております。今後も患者家族と地域に信頼されるよう努力してまいります。

2. スタッフ構成

センター長：安齋 明雅、高坂 佳宏 補佐：小田 和美（看護師）

課長：福田 美香（社会福祉士）、高瀬 由佳（看護師）

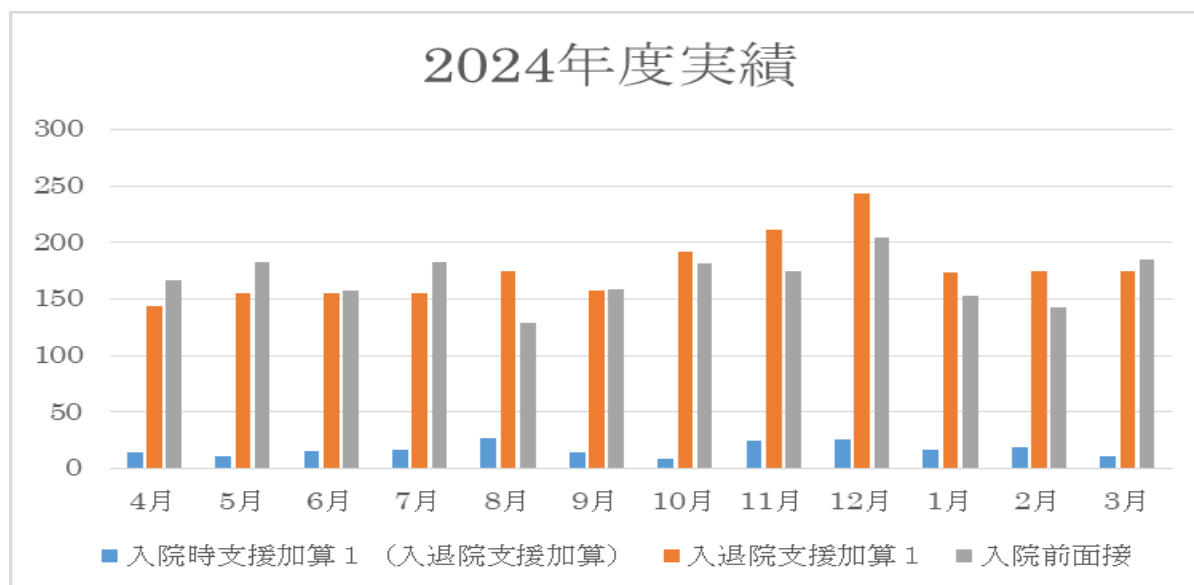
入退院支援看護師：8名、社会福祉士：6名、事務職：1名、ケアワーカー：1名

がん相談看護師：1名、社会福祉士：1名

3. 活動内容

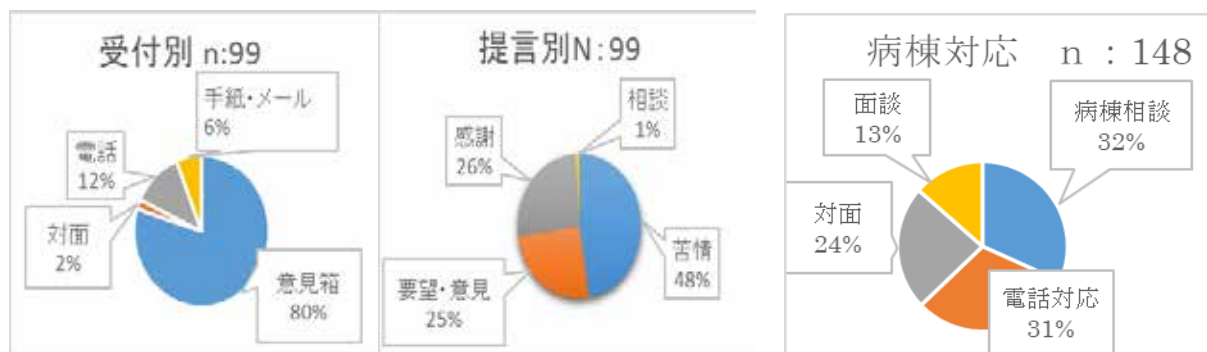
1) 入退院支援センター

2024年度は、面会時間と面会人数制限がさらに緩和されたことで、家族や在宅チームと連携を図り積極的に合同カンファレンスの実施や退院前訪問を行いました。生活の場となる在宅の環境で本人の生活動作を確認し、退院までの間、具体的な課題に対するアプローチができ、本人のみならず、家族の安心にもつなげることができました。本人、家族から退院前訪問して良かったと笑顔を目のあたりにし、退院支援へのやりがいを感じると共に、よりよい退院調整が行えていると実感しています。入院前面談では、事務職と共同することや他職種と連携することで、安心して入院できる支援につなげました。



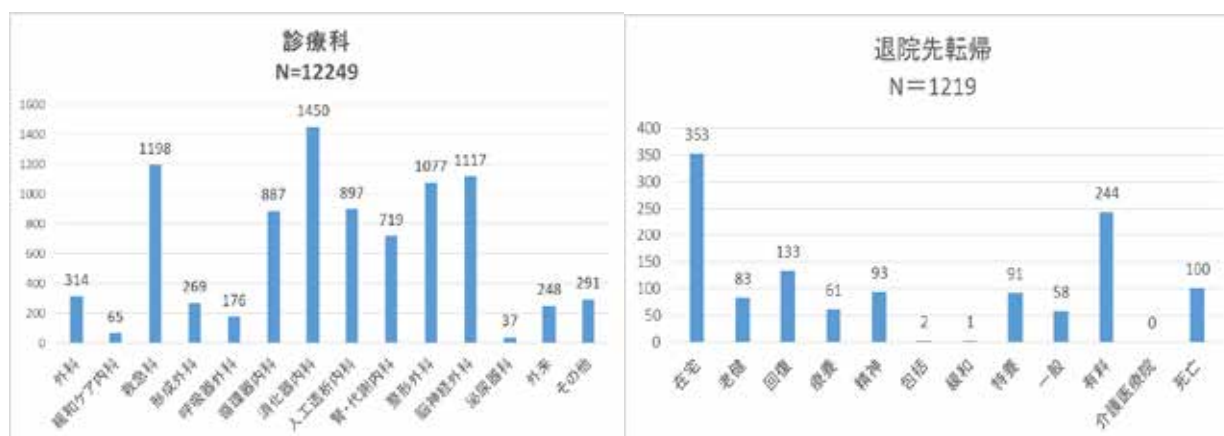
2) 患者サポート窓口

患者家族からの提言は99件で、患者74%、家族26%でした。受付別、提言内容、病棟や他部署からの相談は下記のグラフを参照ください。面会制限が続いている中、患者家族に十分伝えられていない面もあります。感謝の言葉も頂戴していますが、患者家族からの提言を踏まえ、職員の接遇改善に取り組んでまいります。



3) ソーシャルワーク業務

2024年度は対面での活動も増えました。退院調整では、在宅への退院調整も増えており、有料施設等在宅療養の場の選択肢も増えています。単身者や身寄りのない方が増えており、行政機関等含め地域での多職種他機関連携がかかせない症例が増えていきます。2024年度も medical B.I.G net®を活用した ICT の連携を実施しています。



4) がん相談支援センター業務

自院・他院からのがん相談件数では、新規370件、延べ479件でした。2024年度も、がん相談支援センターやがんに関わる情報を法人と共に病院や地域の広報誌を通じて定期的に発信してきました。広報を通じて当院の相談支援センターを知った患者さんやご家族さま等からご連絡を頂くことが出来ました。定期的ながんサロン・医療講座は今年度対面で実施することができました。より地域住民の皆様とお近くで交流することができ、次年度も引き続きがん患者さん及びご家族や関わられる方々の相談場所として周知啓蒙を行っていきます。

(文責 福田 美香)

診療支援部 診療情報管理室

1. 概要

診療情報管理室では、医療記録（診療録・診療（諸）記録）の監査及び保管管理や、記録に基づいた退院患者データベースを作成し、様々な医療統計を作成しております。また正確且つ、迅速なデータの抽出及び作成をし、健全な病院経営に貢献することを目指しています。

診療録及び診療（諸）記録の重要性及びリスクマネジメントについて、全職種に対しての正確な記録は医療者及び患者さんを守るという考え方を周知させ、保険診療や行政監査、情報開示請求及び訴訟等に耐えられる診療録記載の徹底を図っています。今後も、診療情報管理士の立場からチーム医療・地域医療の貢献にスタッフ一同邁進していく所存です。

2. スタッフ構成

部 長 : 田澤 賢一

課 長 : 金谷 渉（診療情報管理士）

スタッフ : 阿部 京子（診療情報管理士） 石川 舞（診療情報管理士）
高松 優哉（診療情報管理士） 露木 優夏（診療情報管理士）
佐藤 由紀（パート）

3. 活動内容

- ・ 疾病・処置・手術コーディング
- ・ 届出施設基準管理
- ・ 診療情報開示
- ・ 診療録及び診療（諸）記録監査
- ・ 手術記録記載管理
- ・ 同意書等スキャンニング
- ・ 院内がん登録（全国がん登録）
- ・ 各種 CQI (Clinical Quality Indicator)
- ・ 厚生労働省提出用 DPC データ作成（様式 1・3・4、D・EF・H・K ファイル）
- ・ 疾病統計（疾病別・年齢別・平均在院日数・死亡数等）
- ・ DPC データベンチマーク及び DPC データを用いた院内データ
- ・ 在宅復帰率データ/提出データ評価加算における未コード化傷病名使用率

※統計データは別頁を参照。

（文責 田澤 賢一、阿部 京子）

診療支援部 医師事務支援室

1. 概 要

医師事務支援室では、診療支援部門として医師の事務作業負担軽減業務を担っています。医師に代わり事務作業を行うことで、医師の勤務時間の短縮及び、診療に専念することで質の高い医療技術が提供できる手助けとなるよう日々、業務を遂行しております。

昨年2月に導入した診断書作成システム MEDI-Papyrus の運用も軌道に乗り、年間約4,600件ある診断書作成業務も遅滞なく行えています。

また、本年度より、一部の診療科で診療情報提供書、報告書の代行入力を開始しました。

2. スタッフ構成

部 長 : 田澤 賢一
課 長 : 金谷 渉 (診療情報管理士)
主 任 : 尾形 えみ (医師事務作業補助者・診療情報管理士)
スタッフ : 深谷 有美 (医師事務作業補助者)
村上 沙羅 (医師事務作業補助者)
足立原 朋世 (医師事務作業補助者)
大場 朱音 (医師事務作業補助者)
幅 麗桜 (医師事務作業補助者)
川口 奈緒美 (窓口事務担当)
菅沼 由米 (窓口事務担当) (パート)

3. 活動内容

- ・ 公的保険及び民間保険の診断書等の代行作成
- ・ 電子カルテへ診療録の代行入力
- ・ 各種学会の手術症例の代行入力 (NCD/JND/JED/JOANR)
- ・ キャンサーボード開催の準備及び議事担当
- ・ 診療情報提供書、報告書の代行入力

(文責 尾形 えみ)

医療安全管理室

1. 概 要

医療安全管理室は、平成 15 年 7 月から「患者の安全を最優先に考える医療」を基本方針に活動しています。主な業務内容は、医療事故防止活動、医療事故対応活動を医療安全管理室、安全管理委員会、看護部セーフティ委員会のメンバーと協働して実施しています。

2. スタッフ構成

医療安全管理室室長	中 正剛（医師）
医療安全管理室副室長	石川 征之（医師）
医療安全管理室副室長	小田 和美（看護師）
医療安全管理室	竹田 英子・蒲谷 朱希子（看護師）
医薬品安全管理者	徳原 大介（薬剤師）
医療機器安全管理者	中村 丈彦（臨床工学士）
医療放射線安全管理者	阿部 敦（医師）
リハビリテーション科	橋本 健太郎（理学療法士）
総務課	溝本 佑介（事務職）

3. 活動内容

医療安全管理室では、院内各部署から報告されたインシデントレポートに対して週 1 回行われる医療安全カンファレンスで事例を報告し、患者安全を最優先に考えた再発防止策の検討を行っています。

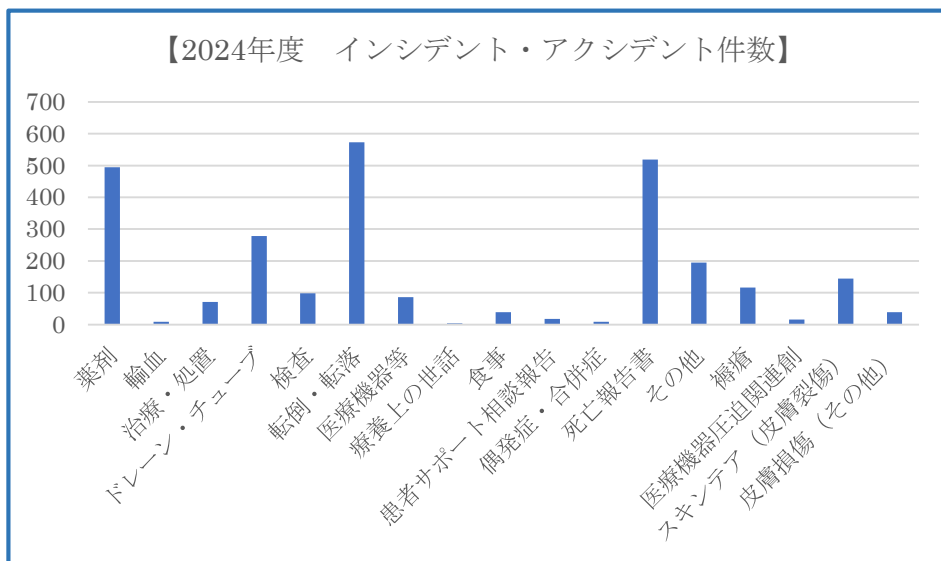
薬剤関連で、安全に薬剤を運搬するため 2 病棟で試験運用を行ない施錠できる注射カートを全病棟に導入し施錠管理しています。また、麻薬の管理では麻薬金庫の鍵を独立管理とし、定期的なラウンドで独立管理の周知徹底を確認しています。薬剤の処方に関して、オーダー時に用紙が印刷される物と印刷されない物があり業務が複雑化しています。処方時の医師と看護師の画面の見え方が違うなど、職種別に見える画面が異なることからスムーズな情報伝達ができいないため情報システム課を含め検討し情報伝達エラー防止に努めていきたいと考えます。

安全機構等から得た安全情報は院内ルールの見直しに活用し、「胸腔・腹腔穿刺時の穿刺針」・「CV 抜去時の対応」について見直ししました。胸腔・腹腔穿刺時の針の導入と CV 抜去時の対応基準の作成をしました。安全で質の高い医療を提供するために、医療安全管理マニュアルの見直しも行い 20 項目の改訂をしました。

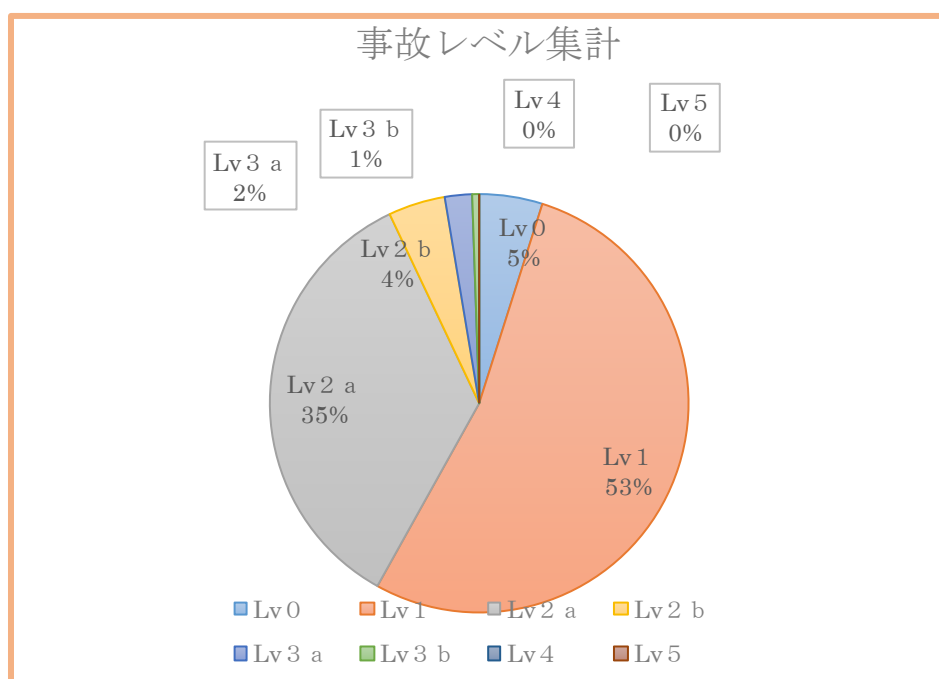
医療安全講演会では、コミュニケーション不足からのインシデントが多いため「医療チームのコミュニケーション」・「医療者間のコミュニケーションエラー防止～ノンテクニカルスキルを活用したチーム連携～」をテーマに講演会を行い、「チーム連携」の重要性を周知しました。

【インシデント・アクシデント報告 2024 年】

概要	件数
薬剤	495
輸血	9
治療・処置	71
ドレーン・チューブ	278
検査	98
転倒・転落	573
医療機器等	86
療養上の世話	4
食事	39
患者サポート相談報告	18
偶発症・合併症	9
死亡報告書	519
その他	195
褥瘡	116
医療機器圧迫関連創	16
スキントピア(皮膚裂傷)	145
皮膚損傷(その他)	39
合計	2710



事故レベル	Lv0	Lv1	Lv2a	Lv2b	Lv3a	Lv3b	Lv4	Lv5	合計
件数	100	1089	714	90	43	11	0	0	2047



(文責 蒲谷 朱希子)

院内感染対策室

1. 概要

平成 22 年から「院内感染に対する総合的な予防、防止策の企画、立案、実践に関わる部門」として活動しています。

院内感染とは、「病院内で体に侵入した細菌やウイルスなどの病原体でおきる感染症のこと」と定義されています。病院に入院されている患者さんは、原疾患・手術・治療・高齢などのため体の抵抗力が低下されている方が多くなっており、通常では病気を起こさない微生物による感染症や抗生物質が効きにくい菌による感染症の危険性が増えているのが現状です。

入院によって新たな感染症に罹患することは、本来必要な治療以外の治療が必要になり、患者さんに大変な不利益をもたらします。また注射針などを刺してしまって、医療従事者が感染に罹患してしまうことも院内感染に含まれています。そのため、院内感染対策は病院における患者さんと職員を守る医療安全対策とも深く関連し、安全な医療の提供と信頼を確保するための重要なポイントとなります。

当院では、院内感染対策を決定する院内感染対策委員会を設置し、その実働組織として院内感染対策チーム、抗菌薬適性使用チーム（AST）、看護部リンクナース会を組織し、感染対策全般を総括していく役割の院内感染対策室が活動を行っています。

2. スタッフ構成

室 長：川井 貴美子（ICD: Infection Control Doctor）

補 佐：小島 淳夫（ICD: Infection Control Doctor）

専従業務：中嶋 君江（ICN: Infection Control Nurse）

3. 主な業務内容

1) 毎月 1 回、第 1 水曜日に委員会開催

2) 感染防止対策講演会開催

第 1 回「環境から感染する病原微生物とその対策」

講師：社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東病院 TQM センター感染管理室対策室長
大石 貴幸先生

第 2 回「多職種で取り組む抗菌薬適性使用」

講師：東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策部 部長 中澤 靖先生

3) 業務内容

(1) 毎月委員会の前に院内ラウンド実施、環境整備を ATP 測定して委員会で結果報告と現場へフィードバック

(2) 週 1 回の感染対策チーム（ICT）ラウンドと部署へのフィードバック

(3) 週 1 回の薬剤耐性菌発生状況と抗菌薬使用状況の把握と介入（AST 活動）

- (4) 感染対策標語・ポスターの募集、表彰、掲示
- (5) 感染防止に必要な製品の見直しと新規導入の検討
- (6) 院内感染対策マニュアル改訂
- (7) 抗菌薬適正使用状況の把握
- (8) 流行性疾患発生時の対策協議と院内への啓蒙活動

COVID-19・インフルエンザなど感染防止対策実施状況の確認と指導

(9) サーベイランス実施

- ① 手術部位感染サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
- ② 検査部門サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
- ③ 全入院患者部門サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
- ④ 尿道留置カテーテルサーベイランス
- ⑤ 中心静脈カテーテルサーベイランス
- ⑥ 手指消毒剤使用量サーベイランス

(10) 職業感染対策

- ① 職員の流行性ウィルス抗体価確認とワクチン接種
- ② 針刺し・切創時の確認と対応

(11) 地域連携

- ① 感染対策向上加算 1 を算出した伊勢原協同病院、神奈川リハビリテーション病院と年 1 回相互評価
- ② 感染対策向上加算 2・3・外来を算出した、鶴巻温泉病院、近藤病院、さがみ野中央病院とうめい厚木クリニック、関根医院と年 4 回合同カンファレンス
- ③ 伊勢原協同病院、神奈川リハビリテーション病院、東名厚木病院 3 施設合同（各連携施設含む）厚木保健福祉事務所・平塚保健所秦野センターからも参加いただき、15 施設で新興感染症想定訓練実施（開催場所：神奈川リハビリテーション病院）
- ④ 感染対策向上加算 2・3・外来施設への助言

(12) 所轄保健所との連携、報告実施

平成 31 年 4 月 1 日より、感染症発生動向調査事業における指定届出機関（擬似症定点）に指定されました

（文責 中嶋 君江）

院内定例会議及び委員会・医療チーム

会議

管理会議

役職会議

医務部科長会、医務部会

看護課長会議

法人本部主催会議

病院執行会議

委員会

地域医療支援病院研修・地域連携推進委員会

広報委員会

診療録委員会

図書委員会

電子カルテ委員会

ボランティア委員会

臨床研修管理委員会

業務改善・患者満足度向上委員会

職業倫理及び個人情報管理委員会

職員満足度向上委員会

救急・ICU 委員会

災害対策委員会

DPC 管理委員会

材料選定委員会（下部組織、材料委員会）

院内感染対策委員会

ホームページ委員会

病床管理委員会

臨床倫理委員会

クリニカルパス委員会

事故対策委員会

ICLS 委員会

がん診療連携委員会

摂食嚥下委員会

栄養委員会

医療チーム

年報編集委員会

内視鏡センター運営会議

安全管理委員会

化学療法委員会

治験審査委員会

緩和ケアチーム運営会議

薬事・輸血委員会

呼吸療法チーム運営会議

労働安全衛生委員会

VTE 予防対策チーム運営会議

医療従事者負担軽減及び処遇改善委員会

DM チーム運営会議

手術室運営委員会

せん妄・認知症ケアチーム運営会議

NST 委員会

放射線治療センター運営会議

褥瘡対策委員会

身体拘束最少化チーム運営会議

医療ガス安全管理委員会

ロボット手術運営委員会

精度管理委員会

レジオネラ症防止対策チーム運営会議

2024年度 各種委員会

【◎=委員長、○=副委員長、△=召集係】

2025/2/1

		1		2		3		4		5		6	
委員会	目的	地域医療支援病院研修・地域連携推進委員会		診療録委員会		電子カルテ委員会		臨床研修管理委員会		職業倫理及び個人情報情報管理委員会		救急・ICU委員会	
		1.外部医療機関との連携に関すること 2.症例検討会開催についての調査 3.地域の医療従事者に対する生涯教育および研修に関すること		診療録に関する業務の円滑な運営のため、記録・管理事項の検討及び評価		電子カルテシステムについての検討 (運用の検討は診療録委員会)		管理型臨床研修病院の役割を果たすこと 3月臨床研修了式		患者さんご家族及び職員の個人情報の保護、また利用に関すること ・職業倫理・教育に関すること		救急・ICUの運用に関すること	
委員会	目的	◎ 平山 卓哉 地域連携部 ○ 渡邊 奈月 医務部 ○ 金丸 佐恵子 地域連携部 △ 木村 弘宗 地域連携部 鬼塚 圭一郎 医務部 阿部 敬 医務部 神宮 裕太 医務部 新井 圭一 医務部 成尾 宗浩 看護部 小田 和美 看護部 原山 里美 看護部 中尾 美幸 看護部 村岡 令安 放射線技術科 片岡 修 検査科 栗田 英香 医療福祉相談室 今堀 咲乃 医事課 林田 陽子 CL医事課		◎ 田澤 賢一 医務部 ○ 金谷 渉 医務部 △ 阿部 京子 診療情報管理室 岩倉 秀雅 医務部 鬼塚 圭一郎 医務部 中 正剛 医務部 蓮美 盛 医務部(研修医) 中村 幸範 看護部 蒲谷 朱希子 看護部 原山 里美 看護部 竹田 英子 医療安全管理室 金谷 健太郎 リハビリテーション科 根本 健太郎 放射線技術科 深井 香美 医療福祉相談室 井出 紀美子 医事課 伊倉 由貴 CL医事課 中西 有紀子 CL看護部		◎ 中正剛 医務部 ○ 藤元 秀浩 ICT推進課 △ 久保田 祥平 ICT推進課 岩倉 秀雅 医務部 鬼塚 圭一郎 医務部 田澤 賢一 医務部 蓮美 盛 医務部(研修医) 金谷 渉 診療情報管理室 蒲谷 朱希子 看護部 原山 里美 看護部 竹田 英子 医療安全管理室 金谷 正人 放射線技術科 根本 健太郎 リハビリテーション科 矢島 和俊 検査科 成田 千津 薬剤科 深井 香美 医療福祉相談室 山本 佳奈 栄養科 井出 紀美子 医事課 伊倉 由貴 CL医事課 中西 有紀子 CL看護部 倉島 秀太 CL総務課 堀内 祐介 透析センター 真藤 竜平 管理センター 芳賀 泰誠 管理センター(SSU) 阿部 京子 診療情報管理室 有馬 義裕 ICT推進課 水谷 裕介 ICT推進課		◎ 小島 淳夫 医務部 ○ 鎌田 順通 医務部 △ 足立原 明世 医師事務支援室 深谷 有美 医師事務支援室 北野 義和 医務部 富田 公夫 医務部 山下 麻 医務部 堀村 正嗣 医務部 鬼塚 圭一郎 医務部 中 正剛 医務部 玉置 道生 医務部 安西 秀聡 医務部 堀 賢一郎 医務部 高梨 進 医務部 藤城 貴敬 医務部 田澤 賢一 医務部 竹内 真吾 医務部 阿部 敬 医務部 加藤 俊子 医務部 岩倉 秀雅 健康センター 田中 浩史 愛川クリニック 村本 将俊 CL医務部 河野 昌史 医務部(研修医) 山本 優輝 医務部(研修医) 日野 悠輝 医務部(研修医) 阿部 京子 医務部(研修医) 下島 三千代 看護部 片岡 令安 放射線技術科 金谷 渉 医務部 柏崎 康宏 総務課 その他外部委員		◎ 鬼塚 圭一郎 医務部 ○ 金谷 渉 医務部 △ 阿部 京子 診療情報管理室 中 正剛 医務部 岩倉 秀雅 医務部 田澤 賢一 医務部 蓮美 盛 医務部(研修医) 中村 幸範 看護部 蒲谷 朱希子 看護部 原山 里美 看護部 竹田 英子 医療安全管理室 金谷 正人 放射線技術科 深井 香美 医療福祉相談室 井出 紀美子 医事課		◎ 安齋 明雅 医務部 ○ 山崎 友也 医務部 △ 高橋 未羽 医事課 深井 里美 医務部 原山 里美 看護部 坂本 隆行 臨床工学科 堤井 志帆 検査科 手塚 芳華 放射線技術科 今村 圭史朗 看護部 清家 基 薬剤科	
構成員	目的												
		1回/2ヶ月(第4火曜日)		1回/2ヶ月(第2火曜日)		1回/2ヶ月(第2火曜日)		1回/2ヶ月(第4火曜日)		随時/(第2火曜日)		随時	

(敬称略)

委員会	7	8	9	10	11	12
	DPC管理委員会	院内感染対策委員会	病体管理委員会	クリニカルパス委員会	ICLS委員会	摂食嚥下委員会
目的	標準的な診断及び治療方法の周知を徹底して適切なコーティングを行う体制を維持すること	院内感染予防と発生時対応 7月11月院内感染対策に関する研修	適切な病床運営を図る	医療の内容を評価・改善して、チーム医療のもと質の高い医療を提供する パス大会の運営	ICLS開催に関すること	摂食・嚥下障害患者の早期経口摂取 再獲得およびQOL向上を目指した摂食・嚥下リハビリテーションを提供する
構成員	◎△ 金谷 渉 診療情報管理室 ○ 井出 紀美子 医事課 △ 成田 千津 薬剤科	◎ 川井 貴美子 医務部 ○ 安藤 明彦 医務部 △ 中嶋 碧江 院内感染対策室 石田 尚明 院内感染対策室 大谷 路子 院内感染対策室 北野 義和 医務部 中 正剛 医務部 小島 淳夫 医務部 松岡 康信 医務部(研修医) 梅津 貴志 医務部(研修医) 伊藤 玲子 看護部 小川 美津子 看護部 清野 晃弘 薬剤科 大石 啓太 薬剤科 栗田 修 検査科 榎井 忠帆 検査科 鈴木 涼子 栄養科 小林 大輔 リハビリテーション科 朝倉 裕太 放射線技術科 金谷 渉 事務部 島袋 夏実 医事課 今田 みづほ 総務課 山本 映水子 CL看護部 鎌田 祐実 健診センター 中野 敦 宮の里クリニック	◎ 鬼塚 圭一郎 医務部 ○ 小田 和美 看護部 △ 井出 紀美子 医事課 中 正剛 医務部 玉置 道生 医務部 高坂 佳宏 医務部 伊藤 玲子 看護部 下島 三千代 看護部 信太 弥栄子 看護部 中尾 美幸 看護部 安東 まみ 看護部 和田 淑乃 看護部 小川 美津子 看護部 大澤 直子 看護部 原山 里美 看護部 平林 幸子 看護部 福田 美香 医務部 旭 真奈 医務部 平山 卓哉 地域連携部 橋本 健太郎 リハビリテーション科 山内 領紅 CL看護部	◎ 神山 公希 医務部 ○ 小田 和美 看護部 △ 中田 秀和 医事課 玉置 道生 医務部 中 正剛 医務部 山崎 友也 医務部 石川 沙羅 医務部 和田 淑乃 看護部 芹田 勇人 看護部 平田 彰 看護部 車田 巧 看護部 竹部 彩花 看護部 岩元 翔馬 看護部 立石 魁 看護部 相良 真美 看護部 山田 真希 看護部 岩切 彩希 看護部 東村 智己 栄養科 成田 千津 薬剤科 藤原 悠希 薬剤科 古屋 一樹 リハビリテーション科 土方 麻衣 リハビリテーション科 赤星 絵子 検査科 石川 舞 診療情報管理室 有馬 義裕 ICT推進課 水谷 裕介 ICT推進課	◎ 山下 巖 医務部 ○ 関口 美理 看護部 △ 林田 朋子 CL医事課 今村 圭史朗 看護部 亀井 結実 総務課	◎ 西川 利恵 看護部 ○ 本田 小百合 看護部 △ 金子 晶子 看護部 相原 圭佑 看護部 小西 茉奈 看護部 佐藤 義典 看護部 松浦 華月 看護部 田中 綾乃 看護部 利根川 明子 看護部 鈴木 直昭 リハビリテーション科 青木 昭馬 リハビリテーション科 鈴木 涼子 栄養科 上野 未樹 薬剤科 外山 美紀 検査科 宮脇 美早恵 医療福祉相談室 安部松 愛華 看護部
	4回/年	1回/月(第1水曜日)	1回/月(第3月曜日)	1回/2ヶ月(第3火曜日)	1回/月(第1金曜日)	1回/2ヶ月(第1火曜日)

委員会	栄養委員会	年報編集委員会	安全管理委員会	治験審査委員会	薬事・輸血委員会	労働安全衛生委員会
目的	1.患者の栄養指導及び栄養管理に関すること 2.患者・職員の嗜好及び喫食に関すること 3.給食の運営に関すること 4.給食材料に関すること 5.病院関係者と給食関係者との連絡調整に関すること 6.調理場及び職員食堂の管理に関すること 7.その他給食に関すること	三思会年報作成	医療安全の推進、医療事故防止	治験薬の審査、運用	新薬採用など、薬事・輸血全般の討議 (医師 任期2年) (ただし所任を妨げない)	職員の労働安全・衛生に関すること
構成員	◎ 渡邊 奈月 医務部 ○ 田中 明美 栄養科 △ 東村 智己 栄養科 小田 和美 看護部 信太 弥栄子 看護部 中尾 美幸 看護部 安東 まみ 看護部 和田 淑乃 看護部 小川 美津子 看護部 原山 里美 看護部 西川 和恵 看護部 江頭 文江 三思会栄養顧問 委託給食会社 4名	◎ 鬼塚 圭一郎 医務部 ○ 橋本 健太郎 リハビリテーション科 △ 柏崎 康宏 総務課 中尾 美幸 看護部 阿部 京子 診療情報管理室 高橋 鉄紀 地域連携部 武尾 竜平 管理部 吉田 貴和子 管理部	◎ 中 正剛 医務部 ○ 竹田 英子 医療安全管理室 △ 清本 佑介 総務課 蒲谷 朱希子 医療安全管理室 岩倉 秀雅 医務部 阿部 敦 医務部 石川 征之 医務部(研修医) 椿野 瑞希 医務部(研修医) 若林 健治 看護部 小田 和美 栄養科 山本 佳奈 遠折センター 小池 一彦 放射線技術科 金谷 正人 リハビリテーション科 橋本 健太郎 検査科 青柳 雄城 臨床工学科 中村 文彦 薬剤科 成田 千津 診療情報管理室 高松 優哉 医事課 石垣 みくみ CL看護部 山内 領紅 CL看護部 小林 美紀	◎ 小島 淳夫 医務部 ○ 高坂 佳宏 医務部 △ 徳原 大介 薬剤科 下島 三千代 看護部 金谷 渉 事務部 福田 美香 医療福祉相談室 清野 昇弘 薬剤科(事務局) 春原 悠希 薬剤科(事務局) 岸本 明希 その他外部委員	◎ 中 正剛 医務部 ○ 小島 淳夫 医務部 △ 徳原 大介 薬剤科 神山 公希 医務部 鬼塚 圭一郎 医務部 鎌田 順道 医務部 堀 賢一郎 医務部 石川 征之 医務部 玉置 道生 医務部 河野 昌史 CL医務部 伊藤 玲子 看護部 栗田 修 検査科 金谷 渉 医事課 成田 千津 薬剤科(事務局) 武井 まどか 薬剤科(事務局) 矢萩 史 薬剤科(事務局)	◎ 北野 義和 医務部 ○ 柏崎 康宏 総務課 △ 井出 紀美子 医事課 鬼塚 圭一郎 医務部(衛生管理者) 中 正剛 医務部(衛生管理者) 小田 和美 看護部 山田 恵梨奈 看護部 中嶋 君江 院内感染対策室 坂本 隆行 臨床工学科 徳原 大介 薬剤科 小泉 龍春 管理部用度 中川 望 健診センター
定例会期	1回/2ヶ月	2回/年	1回/月(第3月曜日) (月曜日が休日の場合は第2水曜日)	1回/月(第1水曜日)	1回/月(第2水曜日)	1回/月(第4火曜日)

(敬省略)

25	26	27	28	29	30
委員会	広報委員会	ボランティア委員会	業務改善・患者満足度向上委員会	職員満足度向上委員会	病院災害対策委員会
機関誌などの発行として、医療に 関する情報、企画行事による活動の掲 載	1 図書購入の検討 2 図書室・図書スペースの整理	1 地域に開放された病院としてボランティ アを受け入れ、地域住民と交流を図る 2 ボランティアがその活動を通して個人 の能力を生かせるような環境を作る	・接遇に關すること ・業務改善に關すること ・11月患者満足度調査	職員の労働環境を改善、職員が働き やすくやがいが持てる職場作りを行 い、職員離職率を低下させることを目 的とする 職員満足度調査の実施	1 災害マニュアルの見直し 2 実践的な防災訓練 3 トレーニング訓練の実施(年2回) 4 行政、医師会、病院協会との連携 強化 5 法令の防災訓練実施
目的	◎ 小島 淳夫 医師部 ○ 亀岡 美幸 総務課 △ 柏崎 康宏 総務課 中尾 美幸 看護部 小野沢 辰之 放射線技術科 小林 あゆみ 医事課	◎ 金谷 渉 事務部 ○ 信太 弥栄子 看護部 △ 頼住 理沙 総務課 藤井 有美 CL総務課 田畑 かずり 健診センター	◎ 中正剛 医師部 ○ 柏崎 康宏 総務課 △ 吉田 貴和子 管理部 竹田 英子 医療安全管理室 小森 孝一 リハビリテーション科 植村 麻美 医療福祉相談室 橋本 智子 放射線技術科 松本 望也 検査科 坂本 隆行 臨床工学科 堀内 祐介 透視センター 吉村 雄 管理部 瀧谷 朱希子 看護部	◎ 中正剛 医師部 ○ 武尾 竜平 管理部 △ 今田 みづほ 総務課 下島 三千代 看護部 蜂須賀 和人 第2事業部 菊池 賢介 第3事業部 末森 孝司 第4事業部 佐藤 賢治 第5事業部 草山 龍二 管理部	◎ 北野 義和 医師部 ○ 中正剛 医師部 △ 柏崎 康宏 総務課 下島 三千代 看護部 関口 美里 看護部 中橋 真弓 管理部 田中 明美 検査科 栗田 修 検査科 坂本 隆行 臨床工学科 金谷 正人 放射線技術科 徳原 大介 薬剤科 清家 慧 薬剤科 金谷 渉 医事課 藤元 秀浩 ICT推進課 奥野 凌 管理部用度 阿部 靖治 管理部用度
構成員					
定例会期	1回/3ヶ月(第3or4金曜日)	1回/2ヶ月(第3木曜日)	1回/月(8.12月開催無し)	2回/年	1回/2ヶ月(第2火曜日)

(敬省略)

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎ 玉置 道生 ○ 川井 貴美子 △ 林 美樹 安西 秀総 新井 圭一 田澤 賢一 原山 里美 安東 まみ 岡本 貴世江 大盛 千香子 野上 美幸 新藤 ちひろ 大石 啓太 山田 英延 松澤 敏行 今田 みづほ 中野 敏史	◎ 神山 公希 ○ 川井 貴美子 △ 清水 佑介 藤城 貴教 鎌田 順道 竹内 真吾 高瀬 由佳 信太 弥栄子 近藤 由香 大槻 まゆみ 嶋津 桃花 安東 まみ 松田 亜莉沙 相場 裕美子 田中 明美
定期開催	1回／月(第4火曜日)	1回／4ヶ月(第3木曜日)	1回／2ヶ月(最終週、水曜日)	1回／2ヶ月(火曜日)	1回／月(第4木曜日)

（新着録）

委員会	31-1	32	33	34	35
	材料選定委員会	材料委員会	ホームページ委員会	内視鏡センター運営会議	化学療法委員会
目的	①経費の削減 ②医療材料、医療用器械備品の購入 時審査 ③購入後の評価	材料管理に関すること	法人および各事業所における窓口としての ホームページ機能強化	内視鏡センターの円滑な運用及び情報の 共有	安全な化学療法の施行 ・外来化学療法センターの運用 ・レジパムの審査及び管理
構成員	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 八木 健太 石川 沙羅 蒲谷 朱希子 大澤 直子 中村 文彦 興野 演	◎ 金谷 渉 ○ 小島 淳夫 △ 興野 演 伊藤 玲子 下島 三千代 信太 弥栄子 中尾 美幸 安東 まみ 和田 淑乃 小川 美津子 大澤 直子 原山 里美 関口 美里 竹田 英子 蒲谷 朱希子 中嶋 君江 中村 文彦 八木 健太 井出 紀美子	◎ 中正剛 ○ 吉田 貴和子 △ 頼性 理沙 田中 治 藤元 秀浩 蜂須賀 和人 高橋 恵吾 星 信昭 佐藤 賢治 高瀬 由佳	◎	

委員会	呼吸療法チーム運営会議 ・人工呼吸器に関わる医療事故防止 ・呼吸器疾患及び呼吸療法に関する知識の向上	VTE予防対策とラウンド	DMチーム運営会議 ・チーム医療を通じた糖尿病診療の質向上 ・地域糖尿病医療への貢献	せん妄・認知症ケアチーム運営委員会 高齢者医療の支援・認知症ケア加算支援 (週1回ラウンド)	放射線治療センター運営会議 ・放射線発生装置を安全に管理し、 環境整備を整え、従事者の健康を守る。 ・患者に対する放射線治療が適切かつ安全に行われているか検討する。	身体的拘束最小化チーム運営会議 ・身体的拘束を最小化する取り組みを強化する。
36	37	38	39	40	41	
⑥ 竹内 真吾 医療部 ○ 中尾 美幸 看護部 △ 坂本 隆行 臨床工学科 遠藤 奈月 医療部 鈴木 健斗 看護部 井田 勇人 看護部 金城 広也 リハビリテーション科 土方 麻衣 リハビリテーション科 岩田 亜慧 臨床工学科 中村 文彦	⑥ 小島 淳夫 医療部 ○△ 大澤 直子 看護部 鈴木 美実 看護部 鈴木 健斗 看護部 中村 志穂 看護部 青木 美穂 看護部 伊藤 美太 看護部 相原 穂乃花 看護部 林 しおん 看護部 松尾 理紗 看護部 松元 聡宏 看護部 黄金井 麻友美 リハビリテーション科 高橋 萌里 リハビリテーション科 手塚 桜 検査科	⑥ 堀 賢一郎 医療部 ○ 中尾 美幸 リハビリテーション科 △ 黄金井 麻友美 CL医療部 野口 匡子 看護部 神原 綱太郎 看護部 佐々木 智之 看護部 王 昭飛 看護部 生田 加那実 看護部 佐々木 勇輔 看護部 新井 七海 看護部 林 くるみ 看護部 四宮 佳奈 リハビリテーション科 東村 智己 栄養科 香原 悠希 薬剤科 大石 啓太 薬剤科 田中 翼 薬剤科 鈴木 博明 検査科 外山 美紀 検査科 齊藤 祐奈 CL医療福祉相談室 類住 理沙 CL看護部 上杉 美樹 CL看護部 土田 佳子 透析センター 関口 麻衣子	⑥ 岩元 誠 医療部 ○△ 中西 千夏 看護部 山崎 友也 看護部 小川 美津子 看護部 松野 羽咲 看護部 泉 博子 看護部 秋田 さくら 看護部 津島 理恵 看護部 林 亜利沙 看護部 渡辺 梨奈 看護部 澤村 沙央梨 看護部 谷巻 鈴花 看護部 小森 孝一 リハビリテーション科 四宮 佳奈 リハビリテーション科 西田 貴亮 リハビリテーション科 鈴木 雷乃 医療福祉相談室 高梨 咲葉子 薬剤科 水口 彩芽 栄養科 柳田 彩夏 透析センター 奈良 那津子 看護部	⑥ 山下 嵐 医療部 ○ 片岡 令安 放射線技術科 △ 高瀬 由佳 看護部 信太 弥栄子 看護部 榎本 彩加 看護部 杉田 浩章 放射線技術科 伊藤 拓也 放射線治療管理室 井出 紀美子 医事課 金丸 佐恵子 地域連携室 竹田 英子 医療安全管理室 近藤 由香 看護部 望月 智美 看護部 新納 結実 看護部	⑥ 石川 沙羅 医療部 ○△ 中西 千夏 看護部 小川 美津子 看護部 石田 尚明 看護部 椎名 由重 看護部 笹生 一樹 看護部 小黒 美香 看護部 西條 美紀 看護部 古澤 綾菜 看護部 遠藤 音羽 看護部 小倉 裕美 看護部 関 園子 看護部 竹田 英子 医療安全管理室 蒲谷 朱希子 医療安全管理室 古塵 一樹 リハビリテーション科 清野 晃弘 薬剤科 難波 梨花 透析センター	
構成員						
定期開催	1回/2ヶ月(第2火曜日)	1回/2ヶ月(第3水曜日)	1回/月(第3木曜日)	1回/月(第3水曜日)	1回/月(第1金曜日)	1回/月(第2火曜日)

(敬省略)

42	43	44	45	46
委員会	事故対策委員会	がん診療連携推進委員会	ロボット手術推進委員会	レジオン菌予防対策チーム運営会議
1 医療の現場における「医の倫理」の諸問題や「患者の権利」に関する課題の研究・検討 2 人間の生命・尊厳上の倫理課題に関する研究・検討	院内の事故及び有害事象への対策・協議・立案	がん診療連携指定病院の運営全般 県がん診療連携協議会の活動確認 県地域連携クリティカルパス部会に関すること	ロボット手術の運営全般	院内感染の発生を未然に防止するための施策を検討し、発生の減少と拡大の防止を目指す
◎ 北野 藤和 院長 ○ 鬼塚 圭一郎 副院長 ○ 中 正剛 副院長 △ 柏崎 康宏 総務課課長 伊藤 玲子 副院長兼看護部長 小島 淳夫 医務部長 金谷 渉 事務長	◎ 北野 藤和 院長 ○ 鬼塚 圭一郎 副院長 ○ 中 正剛 副院長 △ 柏崎 康宏 総務課課長 伊藤 玲子 副院長兼看護部長 小島 淳夫 医務部長 金谷 渉 事務長 小田 和真 医療安全管理室副室長 石川 匡之 医療安全管理室副室長 竹田 英子 医療安全管理室課長 菊谷 未希子 医療安全管理室課長	◎ 北野 藤和 医務部 ○ 田澤 賢一 医務部 △ 木村 弘宗 地域連携部 中 正剛 医務部 神山 公希 医務部 高坂 佳宏 医務部 雄田 順道 医務部 竹内 真吉 医務部 川井 真美子 医務部 玉置 道生 医務部 日野 浩司 医務部 山下 義 看護部 伊藤 玲子 看護部 小田 和美 看護部 高瀬 由佳 看護部 徳太 弥栄子 看護部 金谷 渉 事務部 徳原 大介 薬剤科 福田 美香 医療福祉相談室 金谷 渉 医事課 金丸 佑恵子 地域連携部 柏崎 康宏 総務課 吉田 貴和子 管理部	◎ 岩村 正嗣 医務部 ○ 岩倉 秀雅 医務部 △ 中 正剛 医事課 高坂 佳宏 医務部 田澤 賢一 医務部 竹内 真吉 医務部 藤城 真教 医療安全管理室 竹田 英子 医療安全管理室 菊谷 英希子 看護部 大澤 直子 看護部 一戸 裕貴 臨床工学科 井出 紀美子 医事課	◎ 川井 貴美子 医務部 ○ 中 正剛 医務部 △ 中嶋 君江 院内感染対策室 大谷 路子 院内感染対策室 北野 藤和 医務部 小島 淳夫 医務部 横津 貴志 医務部(研修医) 松岡 康信 医務部(研修医) 伊藤 玲子 看護部 小川 美津子 看護部 石田 尚明 看護部 清野 晃弘 薬剤部 大石 啓太 薬剤部 矢島 和俊 検査科 奥田 修 検査科 滝井 志帆 検査科 鈴木 涼子 検査科 小林 大輔 リハビリテーション科 藤倉 祐太 放射線技術科 金谷 渉 事務部 島崎 夏実 医事課 今田 みづほ 総務課 中野 敦史 宮の里クリニック 奥野 潤 管理部用度 阿部 靖治 管理部用度 新日本空調機
随時	随時	1回/3ヶ月(第2水曜日)	1回/月(第2水曜日)	1回/月(第1水曜日)
定例会期	随時	1回/3ヶ月(第2水曜日)	1回/月(第2水曜日)	1回/月(第1水曜日)

(敬称略)

(敬省略)

委員会	呼吸療法チーム運営会議			VTE予防対策チーム運営会議			DMチーム運営会議			せん妄・認知症ケアチーム運営委員会			放射線治療センター運営会議		
	呼吸療法チーム運営会議			VTE予防対策とラウンド			DMチーム運営会議			高齢者医療の支援・認知症ケア加算支援 (週1回ラウンド)			放射線発生装置を安全に管理し、環境整備を整え、従事者の健康を守る。 ・患者に対する放射線治療が適切かつ安全に行われているか検討する。		
目的	・人工呼吸器に関わる医療事故防止 ・呼吸器疾患及び呼吸療法に関する知識の向上			VTE予防対策とラウンド			・チーム医療を通じた糖尿病診療の質向上 ・地域糖尿病医療への貢献			高齢者医療の支援・認知症ケア加算支援 (週1回ラウンド)			放射線発生装置を安全に管理し、環境整備を整え、従事者の健康を守る。 ・患者に対する放射線治療が適切かつ安全に行われているか検討する。		
構成員	◎ 竹内 真吾 ○ 中尾 美幸 △ 坂本 隆行 渡邊 奈月 金城 広也 芹田 勇人 橋本 健太郎 岩田 亜慧 中村 文彦			◎ 小島 淳夫 ○△ 大澤 直子 深井 翼 小島 衣佐子 高橋 萌 平田 彩 池谷 亜弓 錦部 美実 立石 魁 田中 華奈子 植田 沙也佳 山岡 麻衣 土方 梓紗 平尾 椋順 手塚 椋順			◎ 堀 賢一郎 ○ 中尾 美幸 △ 黄金井 麻友美 野口 匡子 小川 美津子 生田 加那美 佐々木 勇輔 鈴木 健斗 猪股 利彦 王 曉飛 吉原 香緒里 古賀 雄子 神保 捺未 飯田 勇次郎 矢部 悠希 春原 悠葉子 高梨 咲 田中 翼 赤星 曉子 鈴木 博明 齊藤 裕奈 今田 みづほ 上杉 美樹 土田 佳子			◎ 岩元 誠 ○△ 中西 千夏 山崎 友也 今泉 愛 遠藤 音羽 古澤 麻美 濱野 麗 泉 博子 北野 令花 林 亜利沙 大畑 優美子 弦巻 鈴花 小森 孝一 黄金井 麻友美 古歴 一樹 金沢 春香 鈴木 雪乃 齊藤 裕奈 上野 未樹 日笠 優香			◎ 山下 巖 ○ 片岡 令安 △ 高瀬 由佳 信太 弥栄子 大瀬 弥加 杉田 浩章 伊藤 拓也 和田 博貴 金丸 佐恵子 竹田 英里 関口 美里 中村 清美		

地域医療支援病院研修・地域連携推進委員会

地域医療支援病院として、医療機関や地域の関係機関の連携体制を確立・推進し、地域全体で切れ目のない医療提供体制を築くことを目的とする委員会です。2ヶ月に1回開催し、議題は以下の通りでした。

- ・紹介率・逆紹介率の実績分析と改善策の検討
- ・紹介患者数、逆紹介患者数の報告・分析
- ・地域医療支援病院承認要件の達成状況報告
- ・地域医療支援病院の機能評価や自己点検
- ・受け入れが出来なかった症例の報告・改善点の検討
- ・連携に関する活動報告・検討
- ・クレーム・苦情報告と改善策の検討
- ・院内スタッフの地域連携意識の醸成

(文責 平山 卓哉)

診療録委員会

- ・診療録の質的監査
- ・診療録保管用紙の新規申請及び内容修正
- ・診療録等開示の状況報告
- ・各種説明同意書の内容等見直し
- ・診療記録の入力
- ・入院診療計画書の書式統一

診療録は法律で定められた医学的診療の経過を記録したものです。診療に関する諸記録とともに保管を義務付けられています。質の高い安全・安心な診療情報提供のため、管理を行っていきます。

(文責 田澤 賢一、阿部 京子)

電子カルテ委員会

電子カルテのシステムに関する議題につき検討することを目的に2ヶ月に1回開催されます。基本的な考え方として、診療録に関する運用・ルール検討は、各現場および診療録委員会などで行われ、それを実装するためのシステム構築（マスタ作成・権限付与 等）に関する案件を議題としています。

(文責 中 正剛)

臨床研修管理委員会

臨床研修部をご参照ください

職業倫理及び個人情報管理委員会

職業倫理については、今後も他のセクション・委員会等とも連携して、職員が快適に自己の業務分野を遂行できるよう活動範囲を広めていきます。

個人情報の管理では、実際に生じた案件の共有を行い、マニュアルの見直し等を行いました。引き続き今後に対応していきます。

(文責 鬼塚 圭一郎、阿部 京子)

救急・ICU委員会

救急総合診療部、ICUをご参照ください

DPC管理委員会

◎適正なコーディングについて

- ・ 部位不明、詳細不明コード（傷病名）の使用率
- ・ 詳細不明コード（傷病名）の実例及び適正傷病名

◎ベンチマークデータについて検討

- ・ 再入院に係る県央医療圏におけるベンチマーク
- ・ 4 週間以内の再入院率（予定・予定外）及び再入院理由等

◎DPC 分析データ

- ・ 診療科別DPC 別単価トップ10 データ

今後も、標準的治療の選択及び医療の質を維持し、DPC 請求における適正なコーディング管理及びデータの作成を実施していく所存です。

(文責 金谷 渉)

院内感染対策委員会

- ・ 毎月 1 回第一水曜日に委員会開催

- ・ 全職員対象研修会の開催

第 1 回 講師：済生会横浜東部病院 大石 貴幸

「環境から感染する病原微生物とその対策」

第 2 回 講師：慈恵会医科大学付属病院 感染対策部 部長 中澤 清

「他職種で取り組む抗生剤適正使用」

- ・ 毎月委員会の前に院内ラウンド実施、環境整備を ATP 測定して委員会で結果報告と現場へのフィードバック
- ・ 週 1 回の感染対策チームラウンドとフィードバック
- ・ 薬剤耐性菌の発生状況の把握と介入。毎週木曜日に抗生剤適正使用チームとして活動。
- ・ 感染対策標語・ポスターの募集、表彰、掲示

- ・感染防止に必要な製品の見直しと新規導入の検討、備蓄
- ・院内感染対策マニュアル改訂
- ・流行性疾患発生時の対策協議と院内への啓蒙活動
- ・サーベイランス実施
 - ① 手術部位感染サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
 - ② 検査部門サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
 - ③ 全入院患者部門サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
 - ④ ICU 部門サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
 - ⑤ 尿道留置カテーテルサーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
 - ⑥ 手指消毒剤使用量サーベイランス実施（厚生労働省サーベイランス事業への報告）
- ・地域における活動、連携医療施設との連携

感染対策向上加算 1（伊勢原協同病院、神奈川リハビリテーション病院）、感染対策向上加算 3（鶴巻温泉病院、近藤病院、さがみ野中央病院）外来感染対策向上加算（関根医院、とうめい厚木クリニック）との合同カンファレンスや訓練の開催

- ・COVID-19 対応
 - ① 発熱患者・コロナ陽性患者の対応マニュアルの作成
 - ② 陰圧室の造設に伴いゾーニングの設定、ゾーニングに適した個人防護具の着脱指導

（文責 川井 貴美子）

病床管理委員会

ICU、急性期、地域包括ケア、緩和ケア各病棟の特徴、現状を把握しながら、適正な病床管理を目標にしています。各病棟における重症度医療看護必要度の評価、維持や転院困難事例を報告してもらい、速やかな転院につながるよう検討しています。また患者受け入れ増加を目指し、救急、地域連携部でのお断り症例の理由を検討し、受け入れるための方策を検討しています。

（文責 鬼塚 圭一郎）

クリニカルパス委員会

昨年に引き続きパス活動日を設けフレキシブルパスの新規導入及び修正を行い、順次クリニカルパスの更新を行いました。今年も院内のクリニカルパス大会の開催はできませんでした（予定されるも感染症拡大に伴う無期限延期）が、引き続きパス委員を中心に新たなクリニカルパスの作成・稼働を続け、また、稼働しているクリニカルパスの見直しを行い、よりよいクリニカルパスにしていくことで医療の標準化を目指します。本年は第 24 回日本クリニカルパス学会で学術集会にて学会発表（3 演題）も行いました。

（文責 神山 公希）

ICLS委員会

救急部をご参照ください

摂食嚥下委員会

摂食嚥下療法科をご参照ください

栄養委員会

- ・インシデント対策
- ・経管用「濃厚流動食」の配膳方法
食札の代わりにラベルシールでの運用導入
- ・予備カラトリ運用について
- ・嗜好調査について

(文責 東村 智己)

安全管理委員会

安全管理委員会では、東名厚木病院における構造的なミスを防止するために、インシデント・アクシデント報告を通じて、安全管理に対する啓蒙と教育・システムの改善・対応を行なっています。委員会開催は、毎月第3月曜日とし、インシデント・アクシデント報告の中からレベル3b以上及び警鐘事例に対して、問題点の抽出と改善策を検討し医療事故防止に繋げています。委員会の開催前には、3チームに分かれて院内のラウンドを実施し、患者誤認防止策や転倒転落防止策などが遵守されているか確認し部署にフィードバックしています。

安全管理委員会を中心に院内専門職（リハビリテーション科・臨床工学科・薬剤科・臨床検査科・放射線科・医務部・診療情報室）による医療安全研修を年8回実施しました。

(文責 中 正剛)

治験審査委員会

治験審査委員会とは治験の実施において、治験参加者さんの「人権」と「安全性」に問題がないかどうか、当該施設での治験実施が適切であるかどうか、を審査するための委員会です。当院では外部委員を3名加えた計9名で構成され、原則月1回開催されています。

東名厚木病院、とうめい厚木クリニック、近隣医院からの審議依頼に対応し、GCPに従い、治験実施の可否、治験継続の可否、等について審議しています。

(文責 徳原 大介)

薬事・輸血委員会

薬事・輸血委員会は、①薬剤の効能効果、副作用、病院経済等を総合的に考慮し、医薬品の採用・削除品目を決定すること ②輸血療法に関し、適正使用を推進するための情報収集・院内

の周知 を目的とした院長の諮問機関です。

委員会は月に1度、定例会が開催されているほか、必要に応じて随時開催。

委員会規定に基づき、主に①～⑤について実施した。

- ①採用医薬品の適正化のために新規採用及び中止品目の検討
- ②未承認薬の適正使用の評価と院内使用の審議を実施。
- ③後発品の推進の進捗状況の確認と新規切り替え品目の確認。
- ④院内副作用発生状況の確認
- ⑤血液製剤(輸血)の動向及び、副作用の発生状況・不良在庫の確認。

(文責 徳原 大介)

労働安全衛生委員会

長時間労働の解消を達成すべく、部署別平均残業時間の把握だけでなく、職員個々の残業時間数を把握し各部署に指導することで、時間外労働削減の実現に取り組み、成果を収めています。同時に労災発生状況や休職状況においての把握についても取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した後においても、職員が安全で健康に勤務し、仕事と家庭生活を両立すべく、安全な職場環境の確保と長時間労働の是正に努めました。

今年度からは、毎週、各部署を順番に巡視することにより、各部署の希望や労働環境の問題点をいち早く確認し、改善するように努めています。

今後も労働安全衛生法に基づき、産業医・衛生管理者中心に職場の安全に関わることや、職員の健康障害の防止を図るため、質の高い統括管理を目指して活動していきます。

(文責 北野 義和)

医療従事者負担軽減及び処遇改善委員会

当委員会は、医師、看護師、薬剤師、医師事務作業補助者、医事課職員で構成されており、各職種の負担軽減計画に基づいて業務内容の計画立案および見直しを行っております。それぞれの職種が専門領域に専念し、チーム医療に貢献できるよう活動しております。診療録の代行入力、診断書作成、各種データベースの代行入力を充実させ、各種医療チーム(嚥下、NST、褥瘡、緩和、呼吸、VTE、DM、せん妄、身体拘束)による専門的な業務分担も行っております。今年度の新たな取り組みとして、委員会メンバー以外の部署代表者から意見を求める機会を設け、放射線科、栄養科、臨床工学科、臨床検査科、リハビリ科、ICT推進課などの各部署における負担軽減および業務効率化に関する課題や取り組みについて確認し、負担軽減を加速させることができました。

(文責 小島 淳夫)

手術室運営委員会

手術室運営委員会は、適正な運営及び安全な管理体制の確立を図るため、効率的な手術室の運用・手術が安全で円滑に実践できるための基準・手順の検討及び活用・必要診療材料、器材の確保・業務内容検討しています。また、医師・看護師・臨床工学士等で協働し人材育成に取り組んでいます。

主な討議事項について

- ・手術件数報告、運用検討。手術マネジメント
- ・物品管理、器械の運用・購入
- ・手術室の業務改善・運用方法、マニュアル等の検討、改訂
- ・スタッフの育成状況と協力依頼
- ・安全対策（手術室インシデント報告、情報の共有）

（文責 大澤 直子）

NST 委員会

2006年4月にNSTを稼働しました。週1回の「NST回診・カンファレンス」では入院患者全体にスクリーニングを行い、栄養状態の悪い患者に対して具体的に栄養療法の提案を行っています。NST委員会の目標は、複数の職種の目線で栄養摂取量不良因子を早期発見し介入することで治療中の病態が改善に向かうことをサポートすることです。結果として入院期間短縮が実現可能となります。

毎週行っている回診症例は、①食欲不振・嘔吐・下痢などの臨床的な問題が表面化しています。患者群 ②毎週 全入院患者を低Alb血症（Alb3.0mg/dl以下）でスクリーニングにかけて抽出した患者群に分けられます。①については、「原因を見つけ出すための検査」や、「症状改善が見込める薬剤処方」などの具体的な対処の提案を行います。また、1週間後に再度回診をすることで効果判定も行っています。②については、低Alb血症の原因が「1日栄養摂取量が少ない」ことによるのか、「背景にある基本病態（肝不全、ネフローゼ症候群、炎症性疾患など）」によるのか鑑別を行っています。

加算専任メンバーの不足のために回診を行っても加算が取れない時期が続きました。2021年11月より資格をもった専任メンバー（医師、看護師、管理栄養士、薬剤師）が揃った時にはNST加算を算定しており、新型コロナウイルス感染症の流行はラウンド件数に影響しています。

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
依頼件数	31件	18件	10件	11件	7件
ラウンド件数	94件	68件	37件	32件	32件
算定件数	算定なし	24件	18件	14件	24件

（文責 大山 聡子）

褥瘡対策委員会

2024 年の年間褥瘡推定発生率は 0.81%と全国平均値よりも高い数値でした。

院内発生褥瘡の深さは大半が d2（真皮までの損傷）であることから、治癒に至る症例が大半でした。しかし、院外発生褥瘡は、何らかの原因により長時間の除圧不足から発生した多発褥瘡や長期保存的治療のみでは治癒困難な症例などもありました。

褥瘡管理者は、院内の褥瘡保有月平均 18.3 個を把握し、形成外科医師との症例カンファレンスを毎週行っています。（毎週水曜日の褥瘡回診後に実施）

また、褥瘡発生要因である内的要因と外的要因について、褥瘡ケアチームでカンファレンスし、委員会で症例検討を実施しています。褥瘡治癒に向けた介入のみではなく、治癒後の再発防止や退院後の生活を見据えて、家族の方が実施可能なポジショニングや栄養管理についてなど継続的な介入もしています。

手術適応の症例においては、形成外科医師、皮膚・排泄ケア特定認定看護師、理学療法士など多角的な視点からチームで継続的な介入をしています。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師が壊死組織の除去（特定行為）や病棟スタッフとの協働でのケア内容立案を行うことで早期治癒が望め、患者の QOL 向上に繋がるよう日々精進していく所存です。

2024 年 1 月～12 月の褥瘡推定発生率、院内褥瘡発生件数、院外褥瘡発生件数

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
褥瘡推定発生率	0.5%	1.3%	1.1%	1.0%	1.3%	0.3%	1.2%	0.8%	0.9%	0.6%	1.7%	0.8%
院内件数	3 件	7 件	6 件	4 件	7 件	4 件	8 件	5 件	5 件	4 件	10 件	5 件
院外件数	8 件	20 件	9 件	6 件	9 件	13 件	9 件	16 件	10 件	5 件	7 件	21 件

（文責 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 今村 圭史朗）

医療ガス安全管理委員会

1. 酸素ボンベの保管管理について

酸素ボンベ取り扱いのマニュアル作成

酸素ボンベ保管・点検マニュアル作成

2. 酸素ガス配管・酸素流量計の定期点検実施

3. 医療ガスの取り扱いに関する勉強会実施

4. ケアワーカー委員会と連携して取り扱い認定試験の実施

5. 医療ガス安全管理委員会規程の改訂

（文責 坂本 隆行）

精度管理委員会

“臨床検査実施に伴う精度管理及び症例検討、業務を円滑に実施するための具体案の検討、立案、協議決定を委員会で行い、その決定における実施を推進する”という目的で同委員会は活動しています。

日臨技臨床検査精度管理調査・日本医師会臨床検査精度管理調査の参加と結果について報告。問題点の解決に向けて検査室の取り組みを報告。その他、機器更新における選定基準の設定や臨床医からの要望の検討を行っています。

(文責 栗田 修)

広報委員会

昭和 56 年より、機関誌『とうめい』の企画・編集を中心に活動を続けています。

今年度も、がん診療に関連する内容など、年間を通し多方面からの連載として当院の医師による医療記事や登録医紹介、三思会関連施設の特集を各号に分けて掲載し、さまざまな報告や情報を発信することができました。印刷などとうめい 201 号より変更した形になりましたが、今後も患者さんや地域の方々へ新しく豊かな情報の提供に取り組んでいきます。

(文責 阿部 京子)

図書委員会

全ての院内図書を検索システムに登録して内容の充実に努めています。年間購読雑誌や希望図書について、年度ごとに各部署からの要望をもとに委員会で検討しています。業務上使用する書籍については各部署で管理していますが、院内図書として検索システムに登録して他部署でも利用できるようにしています。院内にはない医学系論文の複写費用について図書費として補助する仕組みもあり、職員の自己研鑽に役立てています。

(文責 小島 淳夫)

ボランティア委員会

地域の有志の方々に様々なボランティア活動を行っていただいています。それぞれの委員が担当制で役割を分担し、ボランティアの方々がスムーズに活動できるよう支援しています。

委員会ではボランティア活動の定期報告を行い、要望があればその場で検討を行っています。

◎当院での主なボランティア活動をご紹介します。

・園芸 ・絵画展示 ・写真展示 ・切り絵展示 ・生花展示 ・エコキャップリサイクル

(文責 金谷 渉)

業務改善・患者満足度向上委員会

本年も組織横断的課題について検討し、活動いたしました。

- ・入院案内改定、院内掲示物の改定

患者さんにとってわかりやすい内容となるよう改定を試み、実施に至っております。

- ・入院、外来患者アンケート実施

2024 年度は、前期は当院独自の調査方法にて、後期は病院機能評価機構の調査方法にてアンケートを実施しました。

(文責 中 正剛)

職員満足度向上委員会

2012 年度から活動を再開し、主に職員満足度アンケートを通して、職員が日頃抱いている職場の勤務環境、組織体制から福利・厚生までの現状認識、要望を収集することに努めております。現在は、携帯電話やスマートフォンで回答できるシステムを取り入れています。回収したアンケート結果を分析後、内容を関係部署に配布し、解決策等の回答を含めて全職員に公表しています。

(文責 中 正剛)

災害対策委員会

災害対策を総合的に企画、運営、実施、評価し、三思会のみならず地域や行政など施設外との連携、体制整備を目的に 2 ヶ月に 1 回活動しました。

1. 災害対策マニュアル改定

災害時の医薬品供給協定及び備蓄、止水板の運用について改訂し、告示に伴う役職者名や BCP マニュアルのタイムラインについても修正を行いました。また、院内改修工事の進行に合わせ、各マニュアルの確認で修正を行いました。

2. 広域災害救急医療情報システム (EMIS)

神奈川県よりデータ登録及び最新情報への更新案内が届き、基礎データ等の確認にて修正を実施した。また、入力訓練への参加で実践に備えた教育を兼ねてデータ入力体験を行いました。今後、病床数や年間の救急患者数、設備内容など定期的に更新を実施する。

3. 防災訓練 (避難・消火・通報訓練)

法令で定められている年 2 回の防災訓練 (避難・消火・通報訓練) では、とうめい厚木クリニック及び保育室からトランシーバーを使用した通信訓練を組み入れて実施、その後、防災倉庫内の備品確認や止水板設置訓練を実施し、職員への周知を行いました。

4. 安否確認システム訓練

気象庁と連携して、震度 5 強以上を観測した際にアプリやメールで職員及び委託業者に自動配信でお知らせする安否確認システム会社の変更に合わせて、マスタ準備や管理者への操作

説明、更に個別登録の介助を行い、通信テストを実施しました。

今後も防災訓練の一環として通信テストを継続して実施していきます。

三思会グループによる病院としての役割を再確認し、引き続き、地域や行政等と連携して地域のために災害活動に取り組んでいきます。

(文責 北野 義和、柏崎 康宏)

材料選定委員会 (下部組織 材料委員会)

医療材料の適正な在庫管理及び経費削減を目的とし、効果的かつ効率的なSPD運用の改善に取り組んでいます。定数品目の適正数量の見直しや、定数カードの回転状況の定期的な確認を行い、より効果的なSPD運用を実現することを目指しております。

(文責 金谷 渉)

ホームページ委員会

ホームページの内容充実を目的に、2ヶ月に1回開催されます。

基本的な検討事項としては、①内容の監査、②更新改訂、③新規作成についてとなります。Google analytics にて状況を分析し、法人内外からのアクセス件数の増加を目指しています。

(文責 中 正剛)

がん診療連携委員会

がん診療連携委員会は、東名厚木病院が神奈川県地域がん診療連携指定病院の指定を受けるために発足しました。定期的ながん診断および治療に関わってくれている多職種が集まり、指定病院としての現状報告、地域医療機関等との連携報告、現状の問題点、さらには将来に向けての計画対策等を話し合っています。具体的には化学療法、クリニカルパス、緩和ケア、患者総合支援、放射線治療の5部門の活動報告、目標報告が行われ、さらには地域へのがんの啓発活動や講習会の開催等も計画しています。昨年も地域に呼びかけ、積極的な活動を行ってきました。今後もさらに、神奈川県がん診療連携指定病院としての責任ある活動を継続していきたいと思えます。

現在の超高齢社会におけるがん対策は、単に手術治療を行うだけではなく、様々な手段をもって患者さんの人生を支えることであり、また若いがん患者さんにおいては、仕事の継続を考慮した治療方法、妊娠や出産を支えることなども可能であり、全人的な生活や人生を支えるものであると考えます。がんによって制限される人生にあらゆる面からアプローチし、そして、できる限り開放していくことが当病院の役割であると思っています。

(文責 北野 義和)

内視鏡センター運営会議

消化器内科及び内視鏡センターをご参照ください

化学療法委員会

化学療法センターをご参照ください

緩和ケアチーム運営会議

緩和ケア内科をご参照ください

呼吸療法チーム運営会議

呼吸療法チームは、呼吸器疾患及び人工呼吸器に関する知識の向上、呼吸療法認定士の育成を目的とし、2005年7月に発足しました。「安全で効果的な呼吸療法を支援する」ことを目的に、多職種チームで人工呼吸管理中の患者を主な対象とし、院内ラウンドを1回/週行っています。対象となる患者へ定期的に関わり、人工呼吸管理中の体位管理や観察ポイント、酸素投与デバイスの選択等について助言・提案を行っています。また人工呼吸器離脱に向けての介入や離脱計画立案を行い、チームとしての提言を行っています。

1) 部署別介入患者数累計（単位：人）

部署	ICU	2-3	2-4	3-3	3-4	4-3	4-4	計
患者数	94	23	49	18	27	26	7	244

2) 月別介入患者数累計（単位：人）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
患者数	14	13	19	16	14	18	37	26	25	27	14	21	244

3) 離脱試験加算 算定患者数と回数（単位：人）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
患者数	0	0	0	2	0	1	1	0	2	1	0	1	8
回数	0	0	0	3	0	6	1	0	8	2	0	3	23

（文責 中尾 美幸）

VTE 予防対策チーム運営会議

VTE 予防対策チームでは、静脈血栓塞栓症を予防するために各部署や委員会で勉強会や症例検討会を実施し知識を深め知識・技術の向上を図っています。また、VTE の予防や看護が適切に行われているか多職種で情報共有し連携することで VTE 予防対策を行っています。VTE マニュアルを見直す事で、病院全体が正しい予防法を理解し意識を統一できるように改訂を実施しました。患者さんが安心して入院生活を送ることができるように日々予防の実践と観察を行い、VTE 予防対策を実践しています。

（文責 大澤 直子、小島 淳夫）

DM チーム運営会議

糖尿病内科をご参照ください

せん妄・認知症ケアチーム運営会議

厚生労働省から人権擁護や高齢者の QOL の維持のため、「身体抑制ゼロ作戦」が出されています。急性期機能を持つ当院では「治療や安全を優先する上でやむを得ない」と拘束を行っている現状があります。そこで認知症患者や環境の変化等によるせん妄状態にある患者に対して質の高い急性期の医療サービスを提供するために、せん妄・認知症ケアチームは医師・看護師・リハビリテーション科・薬剤科・栄養科・医療相談員で構成し活動を行っています。

毎月第 3 水曜日に定期のケアチーム会議と毎週水曜日せん妄ラウンドを行い、延べ 66 名のラウンドを行いました。ラウンドでは医師やコメディカルが病棟訪問し、様々な視点からせん妄を引き起こす原因の薬剤やケアの実践状況への助言をしています。

ケアチーム会議では認知症ケアの質の向上のため、ひもときシートを使用した事例検討を行い、患者視点の課題解決を行いました。せん妄・認知症の理解のために勉強会の実施、三思会掲示板への動画を作成しました。また、認知症高齢者日常生活自立度の正しい評価の監査、マニュアル・看護計画の見直しを行い、認知症ケア加算につながるように働きかけています。

今後は身体抑制三原則の理解を深め、患者さんの安全と医療の質向上を目指していきます。

(文責 中西 千夏)

放射線治療センター運営会議

放射線治療センターをご参照ください

身体拘束最少化チーム運営会議

厚生労働省から人権擁護や高齢者の QOL の維持のため、「身体抑制ゼロ作戦」が出されています。福祉・介護分野では以前から身体拘束ゼロに向けた取り組みがされてきましたが、2024 年度診療報酬では、医療分野でも患者さんの人権擁護や高齢者の QOL の維持のために身体拘束最少化に向けた取り組みをすることが盛り込まれました。

今年度、身体拘束最少化に向けた取り組みとして、医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション科が構成員となり、身体拘束最少化チームを立ち上げました。チーム活動として、身体拘束最少化に向けた指針、緊急やむを得ない場合の身体拘束実施時のマニュアルの作成を行い、周知に向けた活動を行いました。また、身体拘束最少化に向け日常生活ケアの重要性や身体拘束の具体的な内容、緊急やむを得ない場合についての勉強会を 2 回実施しました。身体拘束実施時には、解除に向けて緊急やむを得ない場合の 3 原則（一時性・切迫性・非代替性）について考え、記録を行っていくことを徹底しています。また、2025 年 1 月より月 1 回、各病棟のラウンドを実施し、多職種で身体拘束解除に向けたカンファレンスを実施し、様々な視点で助言を行っています。

以上の取り組みを実施し、2023 年度安全帯（体幹抑制、上肢抑制、ミトン）実施率 13.5%でしたが、2024 年度安全帯実施率は 5.8%まで実施率を下げることができました。

職員一人一人が患者さんの人権擁護、QOL の維持のために身体拘束最小化について考え、安全安楽に治療が行われ、療養生活を過ごせるよう取り組んでいきます。

（文責 中西 千夏）

ロボット手術運営委員会

ロボット手術センターをご参照ください

レジオネラ症防止対策チーム運営会議

院内感染の発生を未然に防止するための施策を検討し、発生の減少と拡大の防止を目的として月に1回活動しました。発生リスク対象リストを作成して業者に協力を得て水質検査の実施、また、ウォータークーラーの撤去やウォーターサーバーの清掃確認、更に加湿器の保有台数確認など実施しました。引き続き、チーム内で共通認識をもって、衛生管理を行います。

（文責 川井 貴美子）

院外活動（2024 年 1 月～2025 年 3 月）

各医師の発表論文・学会発表などの活動を下記に報告いたします。

1. 受賞

1) 岩村 正嗣

日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会

第 24 回カールストルツ賞受賞

日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会；千葉市：2024. 11. 28

2. 論文

1) 竹内 真吾，吉野 直之，白田 実男

同一肺葉に部分静脈環流異常を合併した肺癌の 1 切除例

日本呼吸器外科学会；38(4)：p9-13：2024. 5

2) Dai Koguchi, Hideyasu Tsumura, Ken-Ichi Tabata, Soichiro Shimura, Takefumi Satoh, Masaomi Ikeda, Akinori Watanabe, Tsutomu Yoshida, Jiichiro Sasaki, Kazumasa Matsumoto, Masatsugu Iwamura

Real-world data on the comprehensive genetic profiling test for Japanese patients with metastatic castration-resistant prostate cancer

Japanes Journal of Clinical Oncology；54(5):p569-576：2024. 5

3) 大久保 絵子，大山 聡子，堀 賢一郎，齋藤 快児，平出 聡，田村 博之， 富田 公夫

肺泡出血から 10 ヶ月後に抗 GBM 抗体陽性の急速進行性糸球体腎炎を発症した 1 例

日本腎臓学会誌；66(3)：p435-441：2024. 5

4) 岩村 正嗣，森 亘平

ロボット支援腎盂形成の合併症と対策

泌尿器外科；37(6)：P501-506：2024. 6

5) Arimichi Kamata, Koji Hino, Arisa Matsuda, Koki Kamiyama, Yoshihiro Takasaka, Kenichi Tazawa

Treatment of HER2-positive cutaneous apocrine carcinoma of the axilla

International Cancer Conference Journal；13：p348-352：2024. 6

- 6) Toshiaki Komatsu, Yuka Kawai, Yoko Takayama, Yuto Akamada, Eri Kusume, Masaomi Ikeda, Hideyasu Tsumura, Daisuke Ishii, Masatsugu Iwamura, Hirotsugu Okamoto, Hideaki Hanaki, Katsuya Otori
Population pharmacokinetics and pharmacodynamic target attainment analysis of cefazolin using total and unbound serum concentration in patients with prostatectomy or nephrectomy
- 7) Arimichi Kamata, Koji Hino, Kenichi Tazawa, Kimiko Kawai , Keiichi Arai, Atsushi Nakano
Complete recovery from pseudocirrhosis caused by chemotherapy for diffuse liver metastases of breast cancer
International Cancer Conference Journal ; Published online : : 2025.3.28

3. 学会発表

- 1) 田澤 賢一, 櫻井 太郎, 山野 格寿, 神山 公希, 高坂 佳宏, 藤井 努
TAPP 術中所見から考える成人鼠径ヘルニアに対する LPEC. および Advanced LPEC の適応拡大
第 23 回日本 LPEC 研究会 ; 名古屋市 : 2024. 1. 26
- 2) 安藤 武俊, 成尾 宗浩, 渥美 優, 森 健太郎, 青木 雄佑, 櫻井 太郎
大腿骨近位髓腔形状の狭小化は大腿骨頸部骨折の重症度を増悪させる
第 26 回救急整形外科シンポジウム ; 北谷町 : 2024. 2. 9
- 3) 森 健太郎, 成尾 宗浩, 青木 雄佑, 安藤 武俊, 渥美 優, 櫻井 太郎
大腿骨近位部骨折における近位髓腔形状は、骨折形態に關与する
第 26 回救急整形外科シンポジウム ; 北谷町 : 2024. 2. 9
- 4) 渥美 優, 成尾 宗浩, 青木 雄佑, 安藤 武俊, 森 健太郎, 櫻井 太郎
両側位大腿骨近位部骨折部位の相關性の調査の報告
第 26 回救急整形外科シンポジウム ; 北谷町 : 2024. 2. 9
- 5) 門松 沙織里, 田澤 賢一, 櫻井 太郎, 神山 公希, 高坂 佳宏, 加藤 優子, 藤井 努
術前検査にて後区域枝へ合流する胆嚢管を同定し、腹腔鏡下手術を安全に施行し得た胆嚢ポリープの一例

第 160 回神奈川県臨床外科医学会集体会；横浜市：2024. 2. 243. 3. 11

- 6) 田澤 賢一，山野 格寿，門松 沙織里，浦 綾仁，櫻井 太郎，神山 公希，
高坂 佳宏，新井 圭一，苗村 佑太，川井 貴美子，中野 敦史，玉置 道生，
加藤 優子，藤井 努
LECS の大きな胃壁切開部に Barbed suture 連結縫合(train suture)を行った胃粘膜
下腫瘍の 1 例
第 96 回日本胃癌学会総会；京都市：2024. 2. 29
- 7) 櫻井 太郎，田澤 賢一，神山 公希，高坂 佳宏
るい瘦患者の上部消化管穿孔に対して大網と肝円索を用いて大網被覆術を施行し
た一例
第 60 回日本腹部救急医学会総会；北九州市：2024. 3. 21
- 8) 田澤 賢一，櫻井 太郎，門松 沙織里，浦 綾仁，神山 公希，高坂 佳宏，
藤井 努
両側鼠径ヘルニア術後再発との鑑別が困難であった sacless sliding
fatty inguinal hernia の 1 例
第 60 回日本腹部救急医学会総会；北九州市：2024. 3. 22
- 9) 鬼塚 圭一郎，山崎 友也
末梢性前下小脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の 1 例
第 37 回厚木脳神経外科カンファレンス；厚木市：2024. 4. 17
- 10) Dai Koguchi, Hideyasu Tsumura, Ken-Ichi Tabata, Takehumi Satoh, Masaomi
Ikeda, Soichiro Shimura, Mori Kohei, Kazumasa Matsumoto, Masatsugu Iwamura
Impact of combination strategy of rectal swab culture with amikacin for
levofloxacin-resistant Escherichia coli in transrectal ultrasound-guided
prostate biopsy
- 11) 木村 七菜
右側結腸にまつわるエトセトラ
次世代外科医のスキルアップ Web セミナー；富山市：2024. 4. 26
- 12) 木村 七菜，五十嵐 隆通，深澤 美奈，伊藤 綾香，渋谷 和人，田中 晴祥，
平野 勝久，吉岡 伊作，平林 健一，藤井 努

UR-LA 膵癌と CY1 膵癌における集学的治療後の Conversion 手術の検討
第 110 回日本消化器病学会総会；徳島市：2024. 5. 10

- 13) 田澤 賢一，櫻井 太郎，神山 公希，高坂 佳宏，澤田 成朗，山岸 文範，
藤井 努
術後漿液腫、および静索水腫に対する五苓散の治療効果
第 22 回日本ヘルニア学会学術集会；新潟市：2024. 5. 24
- 14) 田澤 賢一，櫻井 太郎，山野 格寿，神山 公希，高坂 佳宏，藤井 努
TAPP 術中所見から考える成人鼠径部ヘルニアに対する LPEC、および Advanced
LPEC の適応拡大
第 22 回日本ヘルニア学会学術集会；新潟市：2024. 5. 25
- 15) 木村 七菜，渡辺 徹，八木 健太，村主 遼，三輪 武史，平野 勝久，
橋本 伊佐也，渋谷 誠和人，吉岡伊作，藤井 努
馬蹄腎に対し蛍光尿管カテーテルガイド下に切除し得た下行結腸癌に対する
ロボット支援下手術の一例
日本蛍光ガイド手術研究会 第 7 回学術集会；札幌市：2024. 5. 31
- 16) 渡辺 徹，木村 七菜，村主 遼，眞鍋 高宏，平野 勝久，三輪 武史，
渋谷 和人，橋本 伊佐也，吉岡 伊作，藤井 努
発光尿管カテーテルが有用であった前立腺術後直腸癌に対するロボット支援下
手術の一例
日本蛍光ガイド手術研究会 第 7 回学術集会；札幌市：2024. 5. 31
- 17) 小田 虎賢，岡崎 賢
腱鞘切開術後再発ばね指に対し、拡散型体外衝撃波治療が有効であった一例
第 24 回日本抗加齢医学会総会；熊本市：2024. 5. 31
- 18) 渥美 優，成尾 宗浩，青木 雄佑，松岡 慶悟，小田 虎賢，清水 岳大，
浦田 雄太郎
大腿骨近位髓腔形状は両側大腿骨近位部骨折の骨折形態を規定する因子である
第 24 回日本抗加齢医学会総会；熊本市：2024. 6. 1
- 19) 松岡 慶悟，成尾 宗浩，青木 雄佑，渥美 優，清水 岳大，小田 虎賢，
浦田 雄太郎

大腿骨近位髓腔形状は両側大腿骨 Purtscher 網膜症を続発した大腿骨骨幹部骨折の一例

第 24 回日本抗加齢医学会総会；熊本市：2024. 6. 1

- 20) 清水 岳大, 成尾 宗浩, 浦田 雄太朗, 小田 虎賢
腓骨筋腱脱臼を合併したショパール関節脱臼骨折の一例

第 24 回日本抗加齢医学会総会；熊本市：2024. 6. 1

- 21) 木村 七菜, 五十嵐 隆通, 伊藤 綾香, 深澤 美奈, 村主 遼, 白井 祥睦,
平野 勝久, 渡辺 徹, 橋本 伊佐也, 渋谷 誠, 吉岡 伊作, 藤井 努

第 78 回手術手技研究会；福岡市：2024. 6. 7

- 22) 中村 幸範, 田澤 賢一, 木村 七菜, 神山 公希, 高坂 佳宏, 加藤 優子
回盲部切除術を施行した前期高齢者に発症した盲腸軸捻転症の 1 例

第 161 回神奈川県臨床外科医学会集談会；横浜市：2024. 6. 22

- 23) 成尾 宗浩, 根岸 靖幸, 奥田 貴久, 森田 林平

ClassⅢアルコール脱水素酵素はマウス皮質コラーゲン配向性を抑制する

第 9 回日本骨免疫学会；宮古市：2024. 6. 26

- 24) Nana Kimura, Ayano Sakai, Kenta Yagi, Katsuhisa Hirano, Naoya Takada,
Kazuto Shibuya, Hironori Otomune, Noriaki Hattori, Isaku Yoshioka,
Tsutomu Fujii

Risk evaluation using the NCD Risk Calculator for pancreaticoduodenectomy
in the elderly

第 36 回日本肝胆膵外科学会・学術集会；広島市：2024. 6. 28

- 25) 長森 正和, 渋谷 和人, 木村 七菜, 深澤 美奈, 武田 直也, 森 康介,
三輪 武史, 渡辺 徹, 平野 勝久, 橋本 伊佐也, 林 伸彦, 吉岡 伊作,
安田 一郎, 藤井 努

悪性胆道狭窄に対する胆管ステント留置後に胆嚢炎を発症した 80 の検討

The 11th Summer Seminar in Okinawa；裏添え市：2024. 7. 6

- 26) 鎌田 順道, 日野 悠輝, 川井 貴美子, 神山 公希, 高坂 佳宏, 田澤 賢一,
島高 津尾, 山下 巖

化学療法が著効することで偽性肝硬変へと変化した乳癌多発肝転移の 1 例

第 32 回日本乳癌学会学術総会；仙台市：2024. 7. 12

- 27) 田澤 賢一，櫻井 太郎，木村 七菜，神山 公希，高坂 佳宏，澤田 成朗，
山岸 文範，藤井 努
JSES 技術認定取得を目指した Web 教員の基礎となった当科の TAPP 外科専攻医教育
第 79 回日本消化器外科学会総会；下関市：2024. 7. 17
- 28) 櫻井 太郎，田澤 賢一，神山 公希，高坂 佳宏
臍部の手術既往のある成人鼠径ヘルニアに対する TAPP の第一穿刺として
Palmer's point を利用した手術経験
第 79 回日本消化器外科学会総会；：2024. 7. 18
- 29) 椿野 瑞希，田澤 賢一，山野 格寿，櫻井 太郎，木村 七菜，神山 公希，
高坂 佳宏，加藤 優子，藤井 努
高度貧血、消化管出血を認めた Von Recklinghausen 症に合併した小腸原発腫瘍
の 1 例
第 79 回日本消化器外科学会総会；下関市：2024. 7. 18
- 30) 門松 沙織里，田澤 賢一，櫻井 太郎，木村 七菜，神山 公希，高坂 佳宏，
加藤 優子，藤井 努
術前検査にて後区域枝へ合流する胆嚢管を同定し、腹腔鏡下手術を安全に施行
し得た胆嚢ポリープの一例
第 79 回日本消化器外科学会総会；下関市：2024. 7. 19
- 31) 山本 優輝，田澤 賢一，高坂 佳宏，神山 公希，櫻井 太郎，木村 七菜，
藤井 努
自己免疫性細動脈炎に起因する異時性多発性小腸穿孔の 1 例
第 79 回日本消化器外科学会総会；下関市：2024. 7. 19
- 32) 木村 七菜，五十嵐 隆通，室谷 健太，伊藤 綾香，深澤 美奈，櫻井 太郎，
酒井 彩乃，伊東 剛，森 康介，眞鍋 高宏，平野 勝久，渡辺 徹，
渋谷 和人，吉岡 伊作，藤井 努
膵頭十二指腸切除術における新規胆管腔腸吻合法「T 字型吻合」による術後胆管
炎発症抑制効果の検討～Propensity Score Matching 法による解析～
第 55 回日本膵臓学会学術大会；宇都宮市：2024. 7. 25

- 33) 田澤 賢一, 櫻井 太郎, 木村 七菜, 神山 公希, 高坂 佳宏, 藤井 努
仙台ベラを用いた他領域腹腔鏡手術への応用
11th Reduced Port Surgery Forum in Kanazawa 第16回単孔式内視鏡手術研究会
第26回Needlescopic Surgery Meeting ; 金沢市 : 2024.8.9
- 34) 木村 七菜, 酒井 彩乃, 八木 健太, 平野 勝久, 武田 直也, 伊藤 綾香,
深澤 美奈, 村主 遼, 白井 祥睦, 渡辺 徹, 渋谷 和人, 乙宗 宏範,
服部 憲明, 吉岡 伊作, 藤井 努
高齢者に対する膵頭十二指腸切除術における NCD Risk Calculator を用いた
リスク評価
第51回日本膵切研究会 ; 奈良市 : 2024.8.30
- 35) N.Kimura, S.yamada, K. Murotani, I. Yoshioka, H. Takami, K.Shibuya,
H. Tanaka, K. Hirano, T. Watanabe, N. Tanaka, A. Sakai, A. Itoh, M. Fukasawa,
I, Hashimoto, K. Matsui, T.Okumura, Y Kodera, T. Fujii
Prognostic factors of multidisciplinary treatment for borderline resectable
and Locally advanced pancreatic adenocarcinoma : Results of a dual-center
study
The ESMO Congress 2024 ; Barcelona : 2024.9.13
- 36) 清水 岳大, 成尾 宗浩, 岡崎 賢
大腿骨転子部骨折における骨頭内骨質は骨折重症度と相関しない
第73回東日本整形災害外科学会 ; 箱根町 : 2024.9.28
- 37) 若林 健治
肩甲骨内側縁に痛覚過敏領域を有する肩甲骨上神経麻痺を合併した肩甲部嚢腫の一例
第73回東日本整形災害外科学会 ; 箱根町 : 2024.9.28
- 38) 松岡 慶悟, 成尾 宗浩, 清水 岳大, 小田 虎賢, 沼口 大輔, 中 正剛
稀な網膜動脈閉塞症を続発した大腿骨骨幹部骨折の一例
第73回東日本整形災害外科学会 ; 箱根町 : 2024.9.28
- 39) 田澤 賢一, 梅津 貴志, 木村 七菜, 神山 公希, 高坂 佳宏, 藤井 寛也
傍ストーマヘルニア、ストーマ脱、腹壁腸管癒着が誘因となった回腸断裂の1例
第45回神奈川ストーマ研究会 ; 相模原市 : 2024.9.28

- 40) 大山 聡子, 齋藤 快児, 平出 聡, 田村 博之, 富田 公夫
Streptococcus 感染症心内膜炎が引き起こしたと考えられる PR3-ANCA 陽性急性糸球
体腎炎の治療に難渋した一例
第 54 回日本腎臓学会東部学術大会 ; 宇都宮市 : 2024. 9. 29
- 41) 春木 耀介, 鶴田 健, 池田 祐毅, 箸方 健宏, 佐藤 伸洋, 中原 翔平,
渡辺 友樹, 飯倉 早映子, 瀧上 悠, 江田 優子, 藤田 鉄平, 飯田 祐一郎,
石井 俊輔, 阿古 潤哉
集学的治療をおこなった免疫チェックポイント阻害薬関連劇症型心筋炎の一例
第 28 回日本心不全学会学術集会 ; 大宮市 : 2024. 10. 4
- 42) 鬼塚 圭一郎, 山崎 友也
聴神経腫瘍に対する定位放射線治療から 8 年後に末梢性前下脳動脈瘤破裂をおこし
た 1 例
日本脳神経外科学会第 83 回学術総会 ; 横浜市 : 2024. 10. 17
- 43) 田澤 賢一, 櫻井 太郎, 木村 七菜, 神山 公希, 高坂 佳宏, 原 真太郎,
新井 圭一, 川井 貴美子, 玉置 道生, 渋谷 和人, 藤井 努
From Atsugi (A) to Toyama (T) 富山大学附属病院との膵癌診療における医療連携
第 62 回日本癌治療学会学術集会 ; 福岡市 : 2024. 10. 25
- 44) 神山 公希, 木村 七菜, 田澤 賢一, 木村 七菜, 藤井 努
Nivolumab 併用療法が奏功した cStageIVb 食道扁平上皮癌の 2 例
第 62 回日本癌治療学会学術集会 ; 福岡市 : 2024. 10. 25
- 45) 小田 虎賢
上腕骨骨幹部骨折術後の偽関節症例に対して、拡散型体外衝撃波治療により良好な
骨融合が得られた 1 例
第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 ; 岡山市 : 2024. 11. 2
- 46) 田澤 賢一, 櫻井 太郎, 木村 七菜, 神山 公希, 高坂 佳宏, 白水 夏実,
竹江 雄貴, 高梨 遼, 藤井 努
遠位胆管癌に対する SSpPD 術後表層 SSI から胸骨骨髓炎を来し、開放ドレナージ術
にて改善にいたった 1 例
第 37 回日本外科感染症学会総会学術集会 ; 台東区 : 2024. 11. 8

- 47) 神宮 裕太
当院でのリクシアナ 15mg の臨床成績
第 17 回厚木心臓・血管研究会；Web：2024. 11. 13
- 48) 深澤 美奈，山本 皓太郎，楠 弘充，松本 茂樹，櫻井 太郎，金谷 瑛美，
荒木 美聡，渡辺 徹，三輪 武史，平野 勝久，渋谷 和人，橋本 伊佐也，
吉岡 伊作，松井 恒志，藤井 努
若手外科医による教育のためのオペレコ の書き方
第 86 回日本臨床外科学会学術集会；宇都宮市：2024. 11. 21
- 49) 中村 幸範，田澤 賢一，木村 七菜，神山 公希，高坂 佳宏，加藤 優子，
山下 巖，藤井 努
回盲部切除術を施行した前期高齢者に発症した盲腸軸捻転症の 1 例
第 86 回日本臨床外科学会学術集会；宇都宮市：2024. 11. 22
- 50) 梅津 貴志，田澤 賢一，山本 優輝，木村 七菜，櫻井 太郎，神山 公希，
高坂 佳宏，山下 巖，藤井 努
十二指腸穿孔に対し、腹腔鏡下多臓器充填術（大網、小網、肝円索）を施行した一例
第 86 回日本臨床外科学会学術集会；宇都宮市：2024. 11. 23
- 51) 田澤 賢一，木村 七菜，櫻井 太郎，神山 公希，高坂 佳宏，山下 巖，藤井 努
TAPP 術中所見から考える成人鼠径ヘルニアに対する LPEC、および Advanced
LPEC の適応拡大
第 86 回日本臨床外科学会学術集会；宇都宮市：2024. 11. 23
- 52) 神山 公希，木村 七菜，櫻井 太郎，高坂 佳宏，田澤 賢一，藤井 努
がん緩和ケア中に消化管穿孔による急性汎発性腹膜炎に対して手術介入を行った 2 例
第 86 回日本臨床外科学会学術集会；宇都宮市：2024. 11. 23
- 53) 鬼塚 圭一郎，山崎 友也
聴神経腫瘍に対する定位放射線治療後に末梢性前下小脳動脈瘤破裂を起こした 1 例
第 53 回西湘脳神経外科懇話会；伊勢原市：2024. 11. 28
- 54) 森 亘平，池田 勝臣，石井 大輔，岩村 正嗣，松本 和将
再発症例に対するロボット支援腎盂形成術
第 38 回日本泌尿器科内視鏡ロボティクス学会総会；美浜区：2024. 11. 29

- 55) 田澤 賢一, 木村 七菜, 櫻井 太郎, 神山 公希, 澤田 成朗, 藤井 努
二施設間における閉鎖孔ヘルニアに対する手術治療の比較検討
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 ; 福岡市 : 2024. 12. 6
- 56) 山野 格寿, 宮地 孟, 堀江 咲良, 松永 龍, 去川 秀樹, 矢澤 直樹,
志村 国彦, 根本 洋, 宮前 拓
直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の検討
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 ; 福岡市 : 2024. 12. 6
- 57) 宮地 孟, 山野 格寿, 去川 秀樹, 矢澤 直樹, 宮前 拓, 松永 龍, 志村 国彦
術前化学療法後に腹腔鏡下 ISR を行った直腸 GIST の 1 例
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 ; 福岡市 : 2024. 12. 6
- 58) 松永 龍, 宮地 孟, 根本 洋, 宮前 拓, 矢澤 直樹, 志村 国彦, 去川 秀樹,
山野 格寿
回腸 Meckel 憩室炎による反復する腸閉塞の 1 例
第 37 回日本内視鏡外科学会総会 ; 福岡市 : 2024. 12. 6
- 59) 成尾 宗浩
脛骨骨切り術と骨延長術を併用した同側膝および足変形性関節症の一例
第 2 回日本膝関節学会 ; 宜野湾市 : 2024. 12. 6
- 60) 清水 岳大, 成尾 宗浩, 松岡 慶悟, 小田 虎賢, 渥美 優, 岡崎 賢
人工膝関節単顆置換術術後早期における骨質低下の性差
第 2 回日本膝関節学会 ; 宜野湾市 : 2024. 12. 7
- 61) Mina Fukasawa, Toru Watanabe, Koutarou Yamamoto, Hiromitsu Kusunoki,
Shigeki Matsumoto, Nana Kimura, Taro Sakurai, Tatsuhiko Araki, Ayano Sakai,
Kosuke Mori, Tsuyoshi Ito, Ryo Muranushi, Tomohiro Minagawa, Kenta Sukegawa,
Takahiro Manabe, Yoshihiro Shirai, Katsuhisa Hirano, Takeshi Miwa, Isaya
Hashimoto, Kazuto Shibuya, Isaku Yoshioka, Tomoyuki Ikumura, Tsutomu Fujii
Importance of staging laparoscopy and study of patients with positive
peritoneal washing cytology
APA/JPS/CAP/IAP 2024 ANNUAL MEETING ; Maui : 2024. 12. 11

- 62) 田澤 賢一, 深澤 美奈, 神山 公希, 高坂 佳宏, 鎌田 順道, 玉置 道生,
藤井 努
mFOLF0X6, S-1 単剤療法施行時に HBV の再活性化を来した stage IV胃癌の 1 例
日本消化器病学会関東支部会第 382 回例会 ; 千代田区 : 2024. 12. 14
- 63) 田澤 賢一, 櫻井 太郎, 山野 格寿, 木村 七菜, 神山 公希, 高坂 佳宏,
藤井 努
右鼠径ヘルニアを合併した高齢女性盲腸癌に対し、腹腔鏡下回盲部切除に膨潤 LPEC
を同時施行した 1 例
第 24 回日本 LPEC 研究会 ; 港区 : 2025. 1. 25
- 64) 國重 祐太, 田澤 賢一, 木村 七菜, 深澤 美奈, 神山 公希, 高坂 佳宏,
小島 淳夫, 山下 巖, 藤井 努
空腸壊死を来した門脈血栓症の一例
外科医学会集談会 ; 横浜市 : 2025. 2. 8
- 65) 若林 健治, 田澤 賢一, 國重 祐太, 深澤 美奈, 山野 格寿, 神山 公希,
高坂 佳宏, 加藤 優子
Double protoctors 法で単孔式胃内手術を施行した胃噴門部前壁内腔発育型 GTST
の 1 例
外科医学会集談会 ; 横浜市 : 2025. 2. 8
- 66) 山崎 友也, 鬼塚 圭一郎
硬膜陥入部に発生した椎骨動脈の分枝から発生した真性脳動脈瘤破裂の一例
STROKE 2025 ; 大阪市 : 2025. 3. 6
- 67) 和田 圭司
骨粗鬆症性椎体骨折治療の新展望
武蔵野地区整形外科病診連携の会 ; 三鷹市 : 2025. 3. 11
- 68) 田澤 賢一, 木村 七菜, 深澤 美奈, 神山 公希, 高坂 佳宏, 玉置 道生,
藤井 努
mFOLF0X6, S-1 単剤療法中に HBV の再活性化を認めた stage IV胃癌の 1 例
第 97 回日本胃癌学会総会 ; 名古屋市 : 2025. 3. 13
- 69) 田澤 賢一, 深澤 美奈, 山野 格寿, 木村 七菜, 神山 公希, 高坂 佳宏,

藤井 努

傍ストマヘルニア、人工肛門脱、回腸癒着の合併が誘因となった回腸断裂の1例
第61回日本腹部救急医学会総会；名子屋市：2025.3.20

- 70) 國重 祐太，田澤 賢一，木村 七菜，深澤 美奈，神山 公希，高坂 佳宏，
小島 淳夫，山下 巖，藤井 努

空腸壊死を来した門脈血栓症の一例

第61回日本腹部救急医学会総会；名子屋市：2025.3.21

4. 講演

- 1) 石川 沙羅

講師：糖尿病と心不全の治療について

厚木薬剤師会学術講演会；厚木市：2024.1.29

- 2) 田澤 賢一

講師：外科医が伝える五苓散の魅力

WEBで伝える漢方；Web：2024.1.30

- 3) 鎌田 順道

乳癌診療ガイドラインによるT-DXdの位置づけについて

乳がん治療連携最前線；Web：2024.3.6

- 4) 鎌田 順道

乳がんのチーム医療

がん診療のトータルケア；横浜市：2024.3.26

- 5) 藤城 貴教

講師：過活動膀胱薬物治療におけるMRロールプレイング研修 SGLT阻害薬について

過活動膀胱 臨床セミナー；海老名市：2024.3.7

- 6) 鎌田 順道

講師：乳がん治療に関する再診の医学的知見について

協和キリン株式会社 社内研修会；厚木市：2024.4.12

- 7) 川井 貴美子

講師：社員研修

持田製薬株式会社 社員研修会；厚木市：2024. 5. 28

8) 石川 征之

講師：高齢者心房細動の診断と治療、抗凝固療法を中心に
第一三共株式会社 社員研修会；厚木市：2024. 6. 19

9) 石川 沙羅

講師：循環器専門医による生活習慣・治療について
興和株式会社 社員研修会；厚木市：2024. 7. 1

10) 岩村 正嗣

講師

第 11 回神奈川泌尿器ビデオフォーラム；横浜市：2024. 7. 6

11) 沼口 大輔

講師：脊椎分野の診察における、見逃すべきでない重要な痛みしびれ
Orthopedic web Seminar；Web：2024. 8. 27

12) 田澤 賢一

講師：鼠径ヘルニア手術手技

鼠径ヘルニア手術手技セミナー；Web：2024. 8. 27

13) 堀 賢一郎

講師：2 型糖尿病の治療戦略 ～J-SELECT Study をふまえて～
Stop CLD Meeting；海老名市：2024. 9. 10

14) 藤城 貴教

講師：泌尿器科領域でのロボット支援手術について
第 11 回厚木臨床外科医会；厚木市：2024. 10. 17

15) 和田 圭司

骨粗鬆性椎体骨折治療の新展望

新時代の骨粗鬆症治療戦略セミナー；：2024. 11. 28

16) 鎌田 順道

特別講演：TNBC 治療における KEYNOTE－522 ～導入時 IC の工夫～
TNBC web Seminar ～IC でのポイントを中心に～；Web：2024. 12. 3

- 17) 和田 圭司
 骨粗鬆症性椎体骨折治療の新展望
 山梨骨粗鬆症治療 UPDATE 2024；甲府市&Web：2024. 12. 9
- 18) 和田 圭司
 骨粗鬆症性椎体骨折治療の新展望
 骨折予防・治療戦略セミナー ～椎体骨折治療と骨粗鬆症診療を考える～；那覇市：
 2024. 12. 18
- 19) 和田 圭司
 骨粗鬆症性椎体骨折治療の新展望
 Osteoporosis Update in Sapporo；Web：2024. 12. 19
- 20) 田澤 賢一
 第 8 回首都圏ヘルニアセミナー；横浜市：2025. 1. 20
- 21) 和田 圭司
 脊椎外科専門医の手術および骨粗鬆症診断の実際
 帝人ヘルスケア社内研修会；厚木市：2025. 1. 20
- 22) 和田 圭司
 脊椎疾患の病態、治療、神経障害性疼痛を含む疼痛管理
 Orthopedic WebSeminar；Web：2025. 1. 29
- 23) 和田 圭司
 ジクトルテープ 75mg 発売 3 周年記念講演会 in 神奈川県央・湘南
 脊椎疾患の最近の治療～ジクトルテープ 75mg について；海老名市：2025. 2. 26
- 24) 和田 圭司
 骨粗鬆症性椎体骨折治療の新展望
 骨粗鬆症ランチタイムセミナー；Web：2025. 2. 5

5. その他

- 1) 中野 敦史
オープニングリマークス
第3回神奈川県央・県西肝疾患フォーラム；海老名市：2024. 1. 18
- 2) 石川 征之
座長
NextGen 厚木医師の会；厚木市：2024. 1. 20
- 3) 田澤 賢一
コメンテーター
第三回特別編ラパヘル道場；名古屋市：2024. 1. 27
- 4) 成尾 宗浩
座長
Orthopedic web Seminar；Web：2024. 1. 29
- 5) 北野 義和
座長
心房細動の最前線 ～持続的な脳卒中予防を考える～；Web：2024. 3. 13
- 6) 大山 聡子
第11回厚木臨床外科医会；厚木市：2024. 10. 17
CKD 医療連携シンポジウム 2024；Web 配信：2024. 4. 18
- 7) 田澤 賢一
司会
第124回日本外科学会定期学術集会；常滑市：2024. 4. 20
- 8) 岩村 正嗣
座長
東富士腎セミナー；厚木市：2023. 6. 15
- 9) 北野 義和
座長
不整脈 Web Seminar；Web：2024. 5. 20

- 10) 田澤 賢一
司会
第 22 回日本ヘルニア学会学術集会；新潟市：2024. 5. 25
- 11) 北野 義和
座長
痛風・高尿酸血症治療セミナーin 厚木；Web：2024. 6. 4
- 12) 田澤 賢一
座長
第 161 回神奈川県臨床外科医学会集談会；横浜市：2024. 6. 22
- 13) 岩村 正嗣
司会
第 27 回泌尿器内視鏡懇話会；千代田区：2024. 6. 29
- 14) 中野 敦史
座長
Stop CLD Meeteing；海老名市：2024. 9. 10
- 15) 北野 義和
座長
高尿酸血症と循環器疾患セミナー；Web：2024. 11. 7
- 16) 藤城 貴教
座長
Kanagwa 県央・相模原泌尿器科セミナー；町田市：2024. 11. 13
- 17) 春木 耀介
コメンテーター
第 15 回会津心臓病・心血管疾患研究会；会津若松市：2024. 11. 16
- 18) 田澤 賢一
座長
第 86 回日本臨床外科学会学術集会；宇都宮市：2024. 11. 23

19) 石川 征之
座長
第 240 回厚木内科集談会；厚木市：2025. 2. 20

20) 北野 義和
座長
心房細動治療の最前線；Web：2025. 3. 6

[Web ライター]

- 1) 田澤 賢一
HER2 陽性早期乳癌に対する抗 HER2 療法の期間短縮は可能か？
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察；2024. 1. 15
- 2) 田澤 賢一
HER2 陽性転移性乳がんに対する TCH 療法の 20 年後の生存者コホートの調査結果が
公表！
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察；2024. 2. 15
- 3) 田澤 賢一
ロボット支援下、鏡視下および従来の乳頭温存乳房切除術の NRCT
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察；2024. 5. 15
- 4) 田澤 賢一
PreMRT により再建乳房の機能不全や蜂窩織炎は減少し得るか
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察；2024. 6. 15
- 5) 田澤 賢一
術前治療における超音波検査は治療効果の確認に有効か
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察；2024. 7. 15
- 6) 田澤 賢一
プロトポンプ阻害薬による CDK4/6 阻害薬の効果への影響
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察；2024. 8. 15

- 7) 田澤 賢一
TNBC に対する NAC に続発した CRS/HLH の症例報告
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察 ; 2024. 8. 15
- 8) 田澤 賢一
乳癌切除術後の RFGT のリスク因子は？
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察 ; 2024. 9. 15
- 9) 田澤 賢一
症例報告から見る陽電子放出マンモグラフィの可能性
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察 ; 2024. 10. 15
- 10) 田澤 賢一
T-DM1 長期使用に関する肝肺症候群の症例報告
臨床に役立つ乳癌診療サイト m3 論文考察 ; 2024. 12. 15

看護部

森谷 優月 石原 悠伎
「離床プロトコル活用による看護師の認識変化」
第 55 回日本看護学会 ; 熊本県 : 2024/9/27・28・29

下島 三千代
「外国人看護補助者育成体制構築への取り組み」
第 55 回日本看護学会 ; 熊本県 : 2024/9/27・28・29

小田 和美 相良 真美
「クリニカルパス教育計画の見直し～パスコア活動の支援を通して～」
第 24 回クリニカルパス学会学術集会 ; 愛媛県 : 2024/10/4・5

牛山 浅美
「弾性ストッキングの色調による使用感と形態的・物理的性質に関する検討」 優秀演題賞受賞
第 5 回日本フットケア・足病医学会年次学術集会 ; 兵庫県 : 2024/11/29・30

牛山 浅美
「調節型圧迫装具による下腿浮腫の減少効果に関する検討」

第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会；兵庫県：2024/11/29・30

牛山 浅美

「弾力性包帯の伸縮性と影響因子に関する検討」

第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会；兵庫県：2024/11/29・30

紺野 清暉 立石 魁

「ピクトグラム導入による患者館制度の共通認識を目指した業務改善の取り組み」

第26回神奈川県看護学会；神奈川県：2024/11/30

高瀬 由佳

「認知症高齢がん患者の意思決定支援研修会の評価～意思決定支援の取り組みと今後の課題認識の質的分析～」

第39回日本がん看護学会学術集会；北海道：2025/2/22・23

院内感染対策室

中嶋 君江

「新型コロナウイルス感染症クラスターを契機とした当院の感染対策の経緯」

第65回全日本病院学会 京都府：2024. 9. 28～29

リハビリテーション科

1. 学会発表

西田 貴亮

「左片麻痺・感覚障害を呈し、早期荷重にて歩行改善した症例」

神奈川県理学療法士会 士会主催症例検討会（神経系）：オンライン：2024. 6. 16

高橋 萌里

「心原性脳塞栓症により高次脳機能障害、軽度運動麻痺を呈した症例

～独居生活を目指して～」

県央地区リハビリテーション連絡会主催 第14回症例検討会；オンライン：2025. 1. 26

加藤 涼風

「高次脳機能障害により行動制限が生じストレス過多となった症例

～ストレス緩和に向けて～」

県央地区リハビリテーション連絡会主催 第14回症例検討会；オンライン：2025. 1. 26

臼井 大智

「起立練習により基本動作介助量軽減に至った失語症の症例」

県央地区リハビリテーション連絡会主催 第14回症例検討会；オンライン：2025.1.26

勝谷 凜

「Th12 椎体骨折を呈し BKP 手術を施行した一症例～Jewett 型体幹装具自己装着に向けて」

県央地区リハビリテーション連絡会主催 第14回症例検討会；オンライン：2025.1.26

2. 講師

橋本 健太郎

神奈川県理学療法士会 新人教育部 第2回症例発表会 ファシリテーター

オンライン：2024.9.8

古屋 一樹

臨床実習セミナー

横浜リハビリテーション専門学校；横浜市：2024.10.7

医療福祉相談室

1. 学会発表

金子 千晶 福田 美香

「障害年金における医療機関に求められる支援内容の考察」

第44回日本医療社会事業学会；大分市：2024.6.16

2. 講師

深井 杏実

「社会福祉実習先で必要とされる相談援助の知識と技術」

上智大学；千代田区：2024.5.14

福田 美香

2024年度 病院医療ソーシャルワーカーと多職種で取り組む入退院支援研修

全日本病院協会 大会議室；千代田区：2024.8.10-11 2025.2.8-9

福田 美香

2024年度 社会福祉士実習指導者講習会「実習スーパービジョン論」

ウィリング横浜；横浜市：2024.11.30

福田 美香

ICTを利用した情報共有 「ICTの概要について」

令和6年度厚愛地区医療介護多職種研修会;厚木シティプラザ5階 厚木市:2025. 2. 2

福田 美香

『身寄りのない方を地域で支えるには～医療・ケアチームでできることを考えよう～』

神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター 令和6年度入退院支援に関する研修会

TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜西口;横浜市:2025. 3. 1

植村 麻美

「医療ソーシャルワーカー業務を紹介します！」

東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 講義「社会福祉学専門演習ⅠⅡ」

東洋大学赤羽台キャンパス;北区:2024. 7. 9

宮内 花奈

「卒業生に話を聞こう！」

田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻 専門演習Ⅰ

田園調布学園大学;川崎市: 2024. 11. 11

野球部

今年のジャパンメディカルリーグは、開催地が遠方であるため参加しませんでした。地元の企業との練習試合や合同練習を重点的に行っています。社会人リーグ戦春は残念な結果に終わりました。

より多くの方にご参加いただけるよう、試合やリーグ参加の機会を多く設けたいと考えております。

経験者・未経験者問わず部員募集しておりますので興味のある方は是非ご連絡ください。

(文責 阿部 靖治)

陸上競技部

1. 概要

三思会陸上部は 1999 年創立と法人の部活の中では比較的長い歴史を持つ部活となります。近隣で開催される駅伝大会に年 1 回程度参加し、何回か入賞歴があります。

2. 活動内容及び記録

2024 年 1 月 28 日市制施行記念第 70 回あつぎ駅伝競走大会出場。その他、個人競技にも参加。

主な結果

2024 年 1 月 28 日市制施行記念第 70 回あつぎ駅伝競走大会出場 1:33:54 第 10 位

(文責 村越 怜)

よろず音楽隊

1. 概要

部長：石綿 祐樹（マザーホーム戸室、厚木市南毛利地域包括支援センター）

副部長：山下 源（老健なでしこの里 リハビリひらつか）

部員：17 名

2. 活動内容及び記録（2006 年活動開始）

主に高齢者向けに地域に出かけて、演奏をしております。地域の方へ歌を通してふれあいの場を得、顔の見える活動をしております。また、東名厚木病院、介護老人保健施設さつきの里あつぎ等、法人のイベントにあわせて、演奏しております。聞いて、歌ってくださる方の歌声・喜びが、よろず音楽隊のパワーの源になっております。

3. 今年度のトピックス

2024年度は出前演奏を15カ所行きました。からは徐々に依頼が増えてきました。

本年度の出前演奏

- 5月 恩名と毛利台ミニデイ
- 6月 あじさい音楽会開催
- 7月 三思会
- 10月 マザーホーム祭り
- 11月 南毛利公民館と愛甲公民館 出演
- 12月 緩和ケア病棟と戸室 クリスマス会 三思会忘年会バンド出演
- 2月 長谷ミニデイ
- 3月 高坪

これからも地域に出かけて、出前演奏していきます。



(文責 石綿 祐樹)

写真部

1. 概要

法人の催しでの写真撮影、個人で撮影した写真の展示など

2. 活動内容及び記録

現在休部中

(文責 吉田 貴和子)

アクアリウム

1. 概要

来院される方々や職員に癒しをあたえることを目的とし、各施設へアクアリウム設置推進活動や設置後の管理を中心に活動しています。また、生物採集を通して職員同士の親睦を深める活動も行っています。

部長：野村 直樹（三思会理事長）

副部長：杉山 秀（なでしこの里 リハビリひらつか）

会計：有馬 義裕（三思会管理部）

部員：他 15 名

2. 活動内容及び記録

2024 年は 90 c m の海水魚水槽を新たに設置しました。採集はあまり行えず、チンアナゴ水槽など、既存水槽のメンテナンスを中心に活動しました。2025 年は採集回数を増やし、親睦を深めるとともに、施設内に癒し空間を提供できるよう活動していきます。

(文責 有馬 義裕)

フットサル

1. 概要

部長：佐伯 健太郎（とうめい宮の里クリニック）

副部長：草山 竜二（管理部兼東名厚木病院）

会計：古屋 一樹（東名厚木病院）

2. 活動内容及び記録（2023 年活動開始）

市内のフットサル場にて、各事業部の職員が集いゲーム形式で活動しております。法人職員間の交流に加え、他医療機関・外部団体との交流を目的に活動しております。2024 年は 6 月に厚木はやぶさ FC 主催の大会に出場、12 月には近隣のフットサル大会に出場しました。

2023 年 9 月 F チャンネル主催ソサイチ大会（相模原） 優勝

2023 年 12 月 F チャンネル主催ソサイチ大会（町田） 準優勝

2024 年 6 月 厚木はやぶさ FC スポンサーCUP 3 位

（文責 佐伯 健太郎）



ねいちゃー

1. 概要

自然を楽しみながら心身の健康を保つことを目的として活動しています。2024 年度は主にキャンプ、釣り、ガサガサ、山菜や野草の採取・食べる会を開催しました。

部 長：平山 卓哉（管理部）

副部長：木村 弘宗（管理部）

会 計：千村 優介（管理部）

部 員：ほか 14 名

2. 活動内容及び記録

活動 毎月 1 回程度実施

場所 相模川、中津川、七沢川、小鮎川、谷太郎川、二宮海岸など

効果 以下参加者の意見

- ・自然に触れ、リフレッシュになった

- ・食べられる魚や野草、山菜を知り、災害時に役に立つと思った
- ・野草が美味しいことを知った など

(文責 平山 卓哉)



介護老人保健施設さつきの里あつぎ

1. 概 要

介護老人保健施設さつきの里あつぎは、高齢者を含む地域住民が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられる社会の構築を実現します。医学的管理のもと、多職種が連携しながらリハビリテーションや介護ケアを提供し、利用者の在宅復帰を支援しています。身体拘束廃止推進モデル事業の施設として身体拘束適正化、認知症ケアにも取り組んでいます。また利用者やその家族とニーズを共有し、ターミナルケアも実践しています。

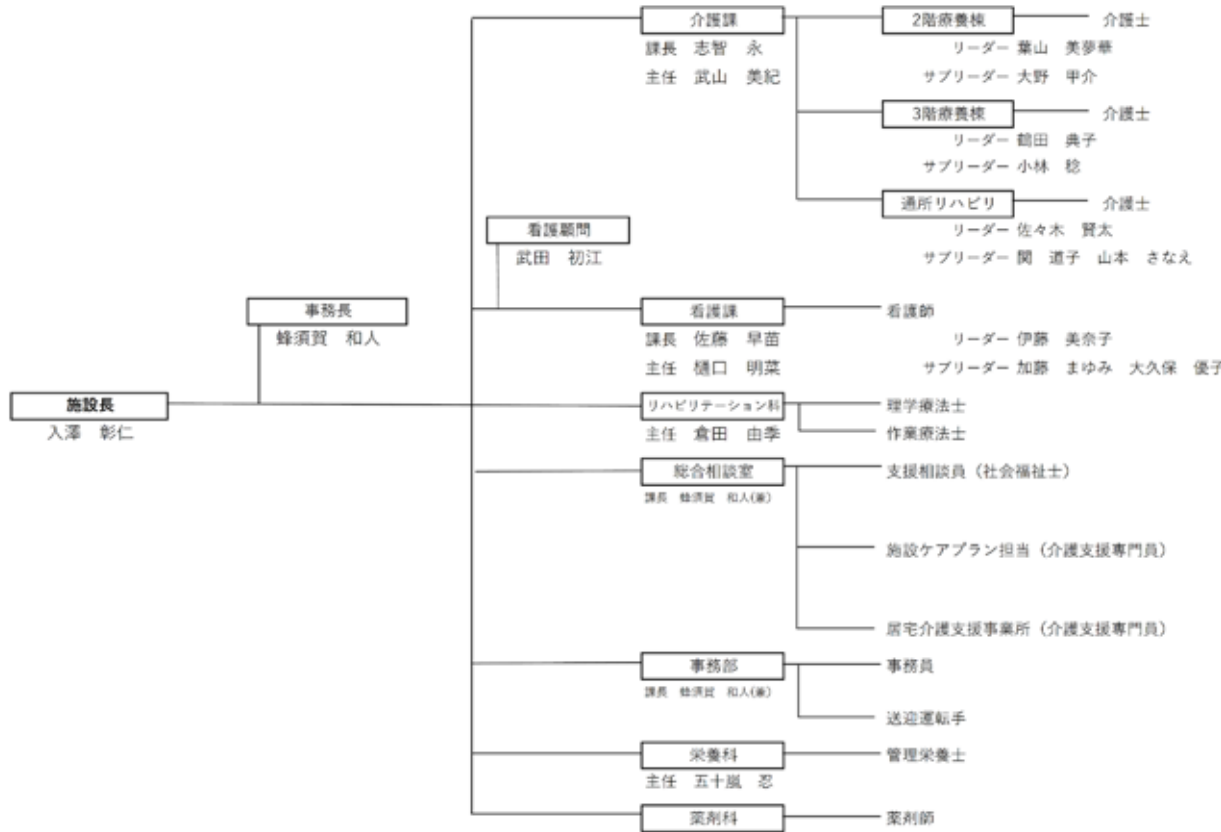
事業内容は、①入所（2階一般棟 55名 3階認知症専門棟 45名）②短期入所療養介護③通所リハビリテーション（定員 60名）④予防通所リハビリテーション（定員 15名）⑤訪問リハビリテーションです。2025年1月をもって、居宅介護支援事業所は東名厚木病院居宅介護支援センターに統合され、廃止となりました。

（文責 蜂須賀 和人）

2. スタッフ構成

施設長	： 入澤 彰仁
事務長	： 蜂須賀 和人
医師	： 1名（常勤）
看護職	： 21名（常勤 11名 嘱託 4名 非常勤 6名）
歯科衛生士	： 1名（非常勤）
介護職 療養棟	： 35名（常勤 30名 嘱託 3名 非常勤 2名）
通所リハ	： 15名（常勤 11名 嘱託 1名 非常勤 3名）
リハビリテーション職	： 13名（理学療法士 8名 作業療法士 3名 非常勤 2名）
支援相談員	： 4名（常勤 3名 非常勤 1名）
施設ケアプラン担当	： 1名（常勤）
管理栄養士	： 1名（常勤）
薬剤師	： 2名（非常勤）
事務	： 5名（常勤 4名 非常勤 1名）
運転手	： 4名（非常勤）
訪問リハビリテーション	： 兼務 1名（理学療法士 1名）

3. 組織図



4. 年間行事

2024 年 療養棟 年間行事

開催月	内容
4 月	
5 月	
6 月	さつき運動会
7 月	相撲大会
8 月	
9 月	さつき祭り
10 月	
11 月	ハロウィンパーティー
12 月	
1 月	
2 月	節分
3 月	のど自慢大会/風船バレー

2024 年 通所リハビリテーション 年間行事

開催月	内容
4 月	ちらし寿司パーティー
5 月	
6 月	
7 月	芋もち作り/ゼリー作り
8 月	かき氷作り
9 月	秋祭り
10 月	
11 月	
12 月	ハンドベル/芋煮/じゃがバター作り
1 月	
2 月	おでんバイキング
3 月	

5. 施設外活動

【学会発表・講演】

学 会 名	発 表 者	テ ー マ
第35回全国老人保健施設大会 岐阜	塩川 竜也	排泄ケアの見直しから得られたこと

【講師】

項 目	
福祉用具専門相談員指定講習会	イノベーションオブメディカルサービス
介護職員初任者研修	各講座研修講師（会場：さつきの里あつぎ）
介護福祉士施設実習	西部総合職業技術校
湘北短期大学	「ケアマネジメント概論」「公衆衛生」

【実習受入】

項 目	
看護師臨床実習	松陰大学 神奈川工科大学 厚木看護専門学校
介護福祉士等施設実習	町田福祉保育専門学校 YMCA健康福祉専門学校 西部総合職業技術校
教員免許取得介護等体験	東京農業大学
社会福祉士ソーシャルワーク実習	神奈川県立保健福祉大学
作業療法士臨床実習	横浜リハビリテーション専門学校 国際医療福祉大学 北里大学
理学療法士臨床実習	横浜リハビリテーション専門学校 国際医療福祉大学 仙台医健専門学校
職場体験学習	玉川中学校 伊勢原支援学校

【地域事業】

項 目	時 期	テ ー マ
南毛利シニアフェスティバル	11月	健康相談 体力測定 栄養相談
南毛利南地区地域福祉推進委員会 地域福祉交流会	11月	地域住民の交流の促進
第43回南毛利南地区公民館まつり 介護相談コーナー	11月	介護に関する制度の普及啓発 相談全般の対応
厚木市生活支援体制整備協議体	年4回	小地域における地域包括ケア社会の構築と推進

【役員等】

項 目	内 容
神奈川県老人保健施設協会 事務部会	ブロック長(県央・県西)
神奈川県老人保健施設協会 介護部会	副部会長 ブロック長(県央)
神奈川県老人保健施設協会 支援相談員部会	書記 ブロック長(県央、湘南東、湘南西)

6. 事業別実績データ

2024年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
入 所 サ ー ビ ス	入所平均ベッド数	93.0	92.6	92.4	89.9	90.5	91.6	92.6	91.4	88.7	85.8	90.8	94.0	91.1
	在宅復帰率(前6ヶ月)	51.9%	55.8%	58.0%	61.7%	53.1%	50.0%	50.0%	52.6%	50.8%	52.2%	53.2%	56.4%	53.8%
	ベッド回転率(前3ヵ月)	11.0%	9.4%	9.0%	8.5%	9.8%	12.2%	13.6%	13.3%	11.2%	11.5%	12.7%	14.6%	11.4%
	在宅復帰等評価指標	81	71	71	71	71	81	81	81	81	81	81	81	78
在 宅 サ ー ビ ス	通所利用者延べ回数	869	885	836	888	813	835	849	832	767	732	735	769	817.5
	予防通所利用者数	14	17	16	16	17	17	15	14	16	14	15	14	15.4
	訪問リハビリ利用単位数	190	222	204	207	147	195	202	186	200	151	125	114	178.6
	居宅介護支援件数	103	99	97	92	94	95	94	93	92	88			94.7

南毛利地域包括支援センター（介護保険法に基づく厚木市の委託業務）

1. 概 要

「障がい者を含む地域の子どもからお年寄りまで」に対する地域の総合相談窓口としての役割を担うため、介護保険法等に規定される専門職が集まり、温水西に事務所を構え、業務を展開しています。

地域包括ケア社会を目指す上での重要な役割として、従来からの高齢者に対する個別支援だけでなく、地域課題を発見・共有するための地域ケア会議の開催や、地域の生活支援体制整備業務として第2層の協議体の事務局を担うなど、地域の各種社会資源と協力しながら地域支援に重点を置いた業務を展開していくことが求められています。

担当地域は、南毛利公民館区の戸室・恩名・長谷・温水（一部地域を除く）・温水西・毛利台・愛名地区で、地区人口 49,506 人（2025 年 2 月 1 日現在）、高齢者人口も 9,084 人（2024 年 1 月 1 日現在）と、市内最大の地域包括支援センターとなりました。

2. スタッフ構成 10 名

センター長、社会福祉士：3 名、主任介護支援専門員：3 名、保健師：2 名、事務：1 名

3. 活動内容

- 1) 包括的支援事業（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）
- 2) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
- 3) 地域ケア会議の開催
- 4) 生活支援体制整備（生活支援コーディネーターとの連携、第2層の協議体の設置・運営）
- 5) 指定介護予防支援
- 6) 一般介護予防事業（介護予防普及啓発、地域介護予防活動支援）
- 7) 認知症コーディネーターによる認知症地域支援推進員活動の伴走的支援および後方支援

（文責 石綿 祐樹）

居宅介護支援センター

1. 概 要

当センターは、介護保険制度創設と共に設立され 25 年を迎えました。開設以来の理念「地域に出て在宅での生活を支える」を大切に、社会に貢献できるよう活動しています。

業務内容は、要介護状態となられた方の在宅生活を支えるため、介護、医療、保健、福祉をコーディネートしたケアプランを作成します。利用者の意向に沿った相談援助を中心に、介護保険サービスの調整、必要に合わせた介護保険外の制度活用、市町村に対する申請書類の申請代行等を行っています。また、厚木市より介護保険認定調査の委託を受けております。事業所としては最も専門性の高い「特定事業所加算（Ⅰ）」を継続すると共に、がん末期の方を在宅で支える「特定事業所医療介護連携加算」を取得しています。地域、行政、医療、保健サービス機関との連携により、利用者本位で中立公正なケアプラン作成を目指しています。

2. スタッフ構成

ケアマネジャー（介護支援専門員）7 名および事務員 1 名の事業所です。2025 年 2 月には、介護老人保健施設さつきの里あつぎ居宅部門と統合しケアマネジャー（介護支援専門員）は 10 名となりました。特定事業所加算Ⅰには幾つかの要件がありますが、算定要件である「主任介護支援専門員数 2 名以上」について 10 名中 5 名で運営するなど質の確保に努めています。

「基礎資格」：社会福祉士 1 名 介護福祉士 8 名 看護師 1 名

3. 2024 年の取り組みについて

今年度は、介護報酬改定があり当事業所としても改正に合わせ見直しを行いました。改正により、医療介護連携加算の算定要件が変更となり算定要件であるターミナルケアマネジメント加算は、算定件数が年 5 件から 15 件に変更。算定要件としてはかなり厳しくなりましたが、職員の努力により要件を満たすことが出来ました。また、地域包括や法人内外のケアマネ事業所との合同勉強会では厚木市の各担当課へ講師を要請し、防災や重層的支援について学び地域のケアマネジャーに対してのスキルアップに貢献しました。

2025 年 2 月には、事業所がさつきの里あつぎ内へ移転し新たなスタートを切りました。今後、多様化・複雑化する課題に取り組み、専門職として自己研鑽に努め『支える～その人らしく生活すること』を胸に日々取り組んでいきます。

（文責 三橋 悟）

居宅介護支援センター 2024 年度「月報集計表」

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	月平均
登録利用者数合計		157	156	153	155	158	168	176	181	189	189	188	196	2,066	172.2
給付管理数合計		181	179	180	185	186	188	195	194	194	187	263	252	2,384	198.7
内訳	事業対象	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	1.2
	要支援1	9	9	9	10	9	10	10	10	10	9	10	9	114	9.5
	要支援2	14	15	14	14	15	15	15	14	16	16	19	17	184	15.3
	要介護1	24	23	24	22	22	25	24	27	29	30	42	34	326	27.2
	要介護2	58	56	56	60	56	55	56	59	56	51	82	84	729	60.8
	要介護3	33	35	34	38	38	36	37	33	31	28	49	47	439	36.6
	要介護4	27	27	29	28	30	31	36	36	34	32	40	37	387	32.3
	要介護5	14	12	13	12	15	15	16	14	17	20	20	23	191	15.9
初回加算		1	4	4	5	3	6	6	5	1	4	4	4	47	3.9
入院時情報連携加算Ⅰ		0	1	1	1	1	4	1	1	1	0	6	3	20	1.7
入院時情報連携加算Ⅱ		0	2	2	4	1	2	1	2	2	0	4	1	21	1.8
退院・退所加算Ⅰ 1		3	3	3	1	2	3	1	2	3	1	0	3	25	2.1
退院・退所加算Ⅰ 2		0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1	5	0.4
退院・退所加算Ⅱ 1		1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	7	0.6
退院・退所加算Ⅱ 2		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.1
退院・退所加算Ⅲ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ターミナルケアマネジメント加算		0	1	1	1	1	0	3	1	1	3	1	1	14	1.2
小規模多機能型居宅連携加算		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
通院時情報連携加算		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0.3
処遇困難ケース		5	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5	45	3.8
重度者割合(要介護3, 4, 5/ 困難ケースを含む)		47.4%	48.4%	48.7%	48.8%	51.6%	50.6%	52.7%	49.1%	49.1%	49.7%	46.8%	47.6%		50.9%

相談延べ件数		1,215	1,198	1,469	1,695	1,731	1,576	1,648	1,530	1,546	1,488	1,664	1,904	18,664	1,555
業 務 分 類	申請代行	2	12	4	4	3	4	8	3	8	9	6	8	71	5.9
	契約関係	11	9	8	11	17	7	9	4	5	14	4	6	105	8.8
	内容説明	148	57	46	77	68	72	85	86	92	75	108	142	1,056	88.0
	モニタリング	247	274	316	342	384	352	364	327	351	314	413	450	4,134	344.5
	サービス調整	169	177	264	289	304	262	287	262	258	255	264	317	3,108	259.0
	苦情処理	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0.4
	受診・入院相談	13	8	14	36	38	31	19	12	12	21	20	29	253	21.1
	入所相談	2	5	1	11	17	11	8	4	4	19	20	13	115	9.6
	療養上の問題	263	297	354	405	411	375	389	365	376	346	358	407	4,346	362.2
	心理・情緒問題	56	58	48	61	49	63	49	60	60	58	66	85	713	59.4
	日常生活の問題	259	281	355	389	393	361	384	356	363	331	353	409	4,234	352.8
	家族・人間関係問題	15	7	20	30	10	12	18	14	2	19	19	15	181	15.1
	経済問題	5	2	7	8	3	5	2	9	1	8	7	6	63	5.3
	制度・社会資源	24	10	30	32	34	21	26	28	14	18	26	17	280	23.3
方 法	面接	192	210	208	225	237	226	238	241	240	222	298	337	2,874	239.5
	電話	283	312	327	467	530	418	423	436	399	389	522	592	5,098	424.8
	合同	62	52	66	88	91	88	76	79	68	57	61	88	876	73.0
	その他	16	32	40	44	41	28	51	35	49	29	39	67	471	39.3
訪 問	訪問合計	198	222	227	224	293	224	245	243	234	224	308	341	2,983	248.6
	家庭	178	194	202	206	209	203	209	213	207	195	257	289	2,562	213.5
	その他	20	28	25	18	84	21	36	30	27	29	51	52	421	35.1

認定調査件数	4	4	4	4	4	4	5	6	5	5	8	8	61	5.1
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-----

新 規	新規総数	9	9	7	10	11	6	5	9	6	4	3	3	82	6.8
	法人内	9	6	5	6	9	3	2	4	4	3	3	1	55	4.6
	法人外	0	3	2	4	2	3	3	5	2	1	0	2	27	2.3
	契約	3	6	3	6	9	4	6	4	2	3	1	3	50	4.2
終了		5	4	3	3	2	3	3	2	3	10	3	11	52	4.3

2024 年度 紹介経路

紹介元集計	合計	合計
集計期間: 2024年04月01日～2025年3月31日	件数	%
総合計	77	100%
法人内	50	64.9%
南毛利地域包括	20	26.0%
東名厚木病院	15	19.5%
訪看さつき	10	13.0%
看多機いわしぐも	3	3.9%
老健さつきの里	2	2.6%
マザーホーム	1	2.0%
とうめい厚木クリニック	1	1.3%
はなの家とむろ	1	1.3%
法人外	27	35.1%
本人	1	1.3%
家族	10	13.0%
厚木市立病院	1	1.3%
東海大学病院	1	1.3%
神奈川リハビリテーション病院	1	1.3%
厚木循環器内科クリニック(あつじゅん在宅)	1	1.3%
南東北第二病院	1	1.3%
相川・南毛利南地域包括	2	2.6%
依知地域包括	1	1.3%
荻野地域包括	1	1.3%
睦合地域包括	1	1.3%
清川村地域包括	1	1.3%
望星台訪問看護ステーション	1	1.3%
フレアスメディカルケアホーム	4	5.2%
ミノワホーム	1	1.3%
りぼん居宅	1	1.3%

訪問看護ステーションさつき

1. 概 要

令和7年2月1日に、介護老人保健施設『さつきの里あつぎ』内に事務所を移転、県央地区で最初に開所してから30周年を迎えました。平成29年5月15日に愛川町に『サテライト愛川』を開設、と同時に訪問エリアを7地域として厚木市、愛川町、清川村、海老名市、伊勢原市の全域と、平塚市と相模原市の一部までに拡大して訪問しています。

訪問看護ステーションさつきは、機能強化型訪問看護ステーション及び特定行為看護師の在籍が特色でして、生後数か月の小児から100歳近い高齢者と幅広い年齢層、がん末期、特定疾患、障害、精神疾患や認知症、医療依存度の高い利用者様からご依頼をいただき、“安心なのは当たり前”の日常生活”をモットーに家族状況や家庭環境、ニーズに合わせてサービスを提供しています。在宅看取りも積極的に関わらせていただいています。また併設事業所として『東名厚木病院居宅介護支援センター』と共に困難事例や医療依存度の高い利用者様により良いサービス提供を行うよう協働・連携しています。多くの医療機関や地域包括支援センターなどから新規依頼を受け、タイムリーな相談援助と医療系サービス提供に対応し、今後も地域の期待に貢献できるよう努めます。

地域で『顔の見える関係』を意識して、多くの医療・介護・福祉、時には民間の事業にかかわる方々と積極的に関わり、連携・協働に努めて『たまに入院、ほぼ在宅』を支える在宅サービスが可能となるように、スタッフ一同“いのち・くらし・尊厳を守り支える看護・リハビリ”を提供し続けていきたいと思っています。

2. 活動内容

- ・医師の指示による訪問看護（介護・医療）、予防訪問看護、リハビリ訪問（介護・医療）
- ・指示書発行医療機関：約40か所
- ・厚木市学校等訪問看護支援事業：2校
- ・訪問看護実習、研修受け入れ：厚木看護専門学校、湘南平塚看護学校、神奈川工科大学、松陰大学、神奈川県看護協会訪問看護実習など
- ・研 修：訪問看護ステーション管理者研修、在宅小児重度心身障害養成研修、精神科訪問看護研修、地域リハビリテーション研修、神経難病研修会
厚愛訪問看護部会研修、厚愛多職種研修、他多数
- ・所外活動：東名厚木病院居宅介護支援センターや訪問診療医等と協働で勉強会開催
- ・委員会活動：厚愛医療介護連携会議委員、厚木医療福祉連絡会委員、厚愛訪問看護部会委員など

（文責 田中 和子）

2024 年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
利 用 者 数(うちサテライト)		158 (26)	171 (26)	175 (24)	180 (26)	186 (30)	181 (29)	182 (30)	188 (31)	183 (33)	182 (33)	181 (38)	187 (39)	2154	365		
訪 問 回 数		776 (104)	822 (100)	884 (84)	973 (128)	909 (150)	818 (112)	942 (113)	924 (117)	886 (131)	873 (118)	770 (137)	900 (165)	10477	1458		
介護 保 険	利用人数	予防訪問看護	4 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	5 (0)	4 (0)	5 (1)	6 (1)	8 (4)	8 (4)	60	10	
		訪問看護	86 (14)	90 (14)	93 (14)	95 (15)	97 (16)	96 (16)	94 (15)	95 (16)	93 (16)	93 (16)	89 (17)	92 (18)	1113	187	
		リハビリ	32 (0)	36 (0)	38 (0)	40 (0)	41 (0)	38 (0)	39 (0)	42 (0)	37 (0)	39 (0)	37 (0)	38 (0)	457	0	
		申請中	0 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (2)	3 (2)	20	9	
		合計人数	122 (14)	131 (14)	138 (14)	140 (15)	144 (17)	140 (17)	140 (16)	143 17	136 (18)	138 17	137 23	141 24	1650	206	
		緊急加算	75 (13)	80 (13)	83 (13)	87 (14)	90 (15)	91 (15)	89 (13)	89 (16)	86 (13)	86 (14)	85 (17)	90 (15)	1031	171	
		特別管理Ⅰ	13 (3)	13 (3)	14 (3)	14 (3)	16 (3)	16 (3)	15 (3)	15 (3)	14 (3)	15 (3)	14 (3)	15 (3)	174	36	
		特別管理Ⅱ	6 (1)	8 (1)	11 (1)	9 (1)	10 (1)	7 (1)	5 (0)	6 (0)	7 (1)	6 (1)	7 (3)	8 (2)	90	13	
		東名居宅	37 (7)	38 (7)	39 (7)	39 (8)	40 (9)	40 (9)	38 (9)	37 (9)	38 (9)	37 (9)	36 (9)	39 (9)	458	101	
	利用回数	リハビリ20分	279 (0)	329 (0)	380 (0)	415 (0)	353 (0)	321 (0)	384 (0)	382 (0)	357 (0)	308 (0)	306 (0)	359 (0)	4173	0	
		30分	126 (15)	127 (17)	142 (17)	135 (20)	134 (23)	127 (17)	143 (23)	143 (22)	133 (24)	112 (20)	115 (21)	128 (27)	1565	246	
		60分	183 (35)	190 (44)	192 (40)	230 (46)	207 (57)	174 (43)	204 (47)	191 (48)	198 (59)	282 (45)	172 (57)	199 (60)	2422	581	
		90分	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (1)	6 (2)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	7 (0)	2 (0)	2 (2)	34	5	
		長時間	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	
		緊急出動	8 (0)	10 (2)	21 (0)	19 (2)	21 (1)	19 (3)	11 (0)	18 (1)	19 (1)	9 (0)	0 (0)	12 (5)	167	15	
		合計回数	597 (50)	657 (63)	735 (57)	801 (68)	719 (82)	647 (65)	744 (70)	737 (71)	711 (84)	718 (65)	595 (78)	700 (94)	8361	847	
		医療 保 険	利用人数	合計人数	36 (12)	40 (12)	37 (10)	40 (11)	42 (13)	41 (12)	42 (14)	45 (14)	47 (15)	44 (16)	44 (15)	46 (15)	504
	24時間			27 (9)	30 (9)	28 (7)	31 (8)	31 (9)	28 (9)	31 (14)	32 (11)	34 (12)	33 (12)	33 (12)	34 (12)	372	124
	特別管理5000			10 (2)	11 (2)	10 (2)	10 (1)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	10 (2)	9 (2)	9 (2)	10 (2)	10 (2)	119	23
	特別管理2500			3 (2)	5 (3)	5 (2)	7 (3)	8 (3)	6 (2)	6 (2)	5 (2)	7 (3)	6 (2)	6 (3)	7 (3)	71	30
	別表7			16 (6)	18 (5)	16 (4)	19 (4)	17 (5)	14 (6)	14 (3)	17 (5)	18 (5)	18 (6)	17 (5)	16 (4)	200	58
	利用回数		通常訪問(看護)	135 (43)	123 (29)	104 (23)	126 (47)	140 (52)	127 (41)	148 (37)	135 (40)	126 (37)	116 (48)	120 (45)	142 (55)	1542	497
			通常訪問(リハビリ)	13 (0)	12 (0)	15 (0)	16 (0)	19 (0)	22 (0)	22 (0)	22 (0)	23 (0)	15 (0)	27 (0)	25 (0)	231	0
			緊急出動	8 (4)	14 (3)	8 (0)	15 (8)	13 (5)	10 (2)	13 (2)	11 (2)	7 (3)	7 (2)	8 (6)	14 (8)	128	45
			長時間訪問	15 (5)	8 (3)	10 (4)	10 (5)	13 (8)	10 (4)	9 (2)	14 (3)	11 (3)	13 (4)	14 (5)	11 (3)	138	49
			複数名訪問	8 (2)	8 (2)	12 (0)	5 (0)	5 (3)	2 (0)	6 (2)	5 (1)	8 (4)	4 (0)	6 (3)	8 (3)	77	20
	合計回数	179 (54)	165 (37)	149 (27)	172 (60)	190 (68)	171 (47)	198 (43)	187 (46)	175 (47)	155 (54)	175 (59)	200 (69)	2116	611		
訪問キャンセル数		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (2)	1 (1)	5 (3)	11	7		
新規 利 用	人 数	介護保険	4 (0)	6 (0)	4 (0)	5 (2)	4 (1)	5 (0)	5 (0)	5 (1)	5 (2)	4 (0)	8 (2)	8 (2)	63	10	
		医療保険	3 (3)	4 (1)	1 (0)	8 (2)	5 (3)	2 (1)	3 (1)	5 (1)	4 (2)	2 (1)	6 (3)	2 (1)	45	19	
		合計人数	7 (3)	10 (1)	5 (0)	13 (4)	9 (4)	7 (1)	8 (1)	10 (2)	9 (4)	6 (1)	14 (5)	10 (3)	108	29	
		紹介先	法人内	6 (2)	4 (0)	3 (0)	7 (1)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	8 (1)	9 (4)	4 (1)	9 (2)	5 (0)	61	13
法人外	1 (1)		6 (1)	2 (0)	6 (2)	6 (3)	7 (1)	5 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (0)	5 (3)	5 (2)	47	14		
終 了	内 訳	軽快	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7	0	
		入院	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	8	3	
		老健・施設	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	4 (2)	0 (0)	3 (1)	3 (0)	7 (1)	1 (1)	4 (1)	29	6	
		死亡(自宅)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (1)	21	2	
		死亡(その他)	1 (1)	3 (1)	3 (2)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (2)	2 (0)	21	6	
		その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	3	0	
		合計	2 (1)	5 (1)	7 (2)	5 (0)	11 (1)	8 (3)	6 (0)	9 (1)	7 (1)	12 (1)	7 (3)	10 (3)	89	17	

()はサテライト

サービス付き高齢者向け住宅 マザーホーム戸室

1. 概要

平成28年4月1日、厚木市戸室に建設された複合型施設マザーホーム戸室の3階・4階部分がサービス付き高齢者向け住宅 マザーホーム戸室です。

原則60歳以上の方にご入居いただけます。定員は24名（1人部屋16室、2人部屋4室の計20室）で、お一人やご夫婦だけの時間を過ごすことはもちろん、3階のラウンジや1階の地域交流スペース「戸室のひろば」で、入居者同士や地域の方との交流を図ることもできます。

また、施設のすぐ隣にはスーパーやホームセンターなどがあるため、お買い物にも不自由はなく、一番近い医療機関は、徒歩2～3分の距離にあります。なお、施設の玄関前は、とうめい厚木クリニック行きの無料送迎バスの発着場所となっており、平日の午前中に地域の方を含め、お住まいの皆さんにご利用いただいています。

職員による1日2回の安否確認や生活相談サービスに加え、建物内に併設されている訪問看護や看護小規模多機能型居宅介護事業などを利用しながら、または、外部のサービスを自由に取り入れていただきながら、支援や介護が必要となっても、ご自身の生活を自由に組み立て、安心して住み続けることができます。

2. スタッフ構成

施設長 1名

事務員 3名

3. 活動内容

行事等は、4月	お花見	10月	運動会
5月	田園散策	11月	南毛利シニアフェスティバル参加
6月	あじさい音楽会	12月	年越しそば
7月	屋台風やきそば	2月	入居者対象はしご訓練
8月	夢未市買い物	3月	入居者対象非常階段訓練
9月	夏祭り		

ご家族やヘルパーさんなどの出入がありますが、十分な感染対策を実施し、活気やふれあいが図れるようつとめております。

（文責 石綿 祐樹）

看護小規模多機能型居宅介護事業いわしぐも

1. 概 要

看護小規模多機能型居宅介護事業（以下、看多機）として、2016年にマザーホーム戸室内に開所。利用者の心身の状況に合わせ、「訪問看護」、「訪問介護」、「通い」、「泊まり」の4つのサービスを柔軟に組み合わせたサービスの提供をすることで、利用者の在宅生活の継続を目指しています。年間平均登録者は24名、平均要介護度は3.9で推移しています。

同施設内にある訪問看護ステーションと一体型で運営しており、看護師と介護職で協働しながら、医療ケアを必要とする方の積極的な受け入れや訪問サービスの充実をはかっています。緊急時体制も整えていて、終末期や看取りを希望される利用者にも柔軟な対応が可能となっています。

2. スタッフ構成

管理者…1名（看護師業務兼務）

介護支援専門員…2名（看護師業務兼務2名）

看護師…訪問看護ステーションもみじ看護師が兼務

介護福祉士…13名 介護初任者研修修了者…1名

調理員2名、運転手1名

3. 活動内容

(1) 看多機としてのサービス提供の強化

各職種が看多機の役割を理解し、方向性を共有した上で、在宅生活を支援する考え方を柱とした支援の提供を大切にしています。医療ケアのある利用者の受け入れ、訪問介護の強化、宿泊利用の柔軟な受け入れが可能となるよう体制作りを実施しています。また、サービス提供の質の確保に向けた勉強会や業務改善の取り組みを、職員が中心となり実施しています。以下、宿泊と訪問介護件数（昨年度比較）をグラフに示します。

＜宿泊件数＞



＜訪問介護件数と同一建物外訪問介護割合＞



(2) 事業所間と多職種連携

訪問看護ステーションもみじと一体型の運営により、訪問看護や訪問リハビリとの協働が定着しています。利用者個々のニーズとありたい姿に合わせ、それぞれの専門的な視点からの助言・提案・知識技術がお互いの成長を促しています。

(3) 喀痰吸引 1・2・3 号実地研修および外部研修

看多機サービスの質の向上に向け、介護職の経験値に合わせた研修への参加を積極的に実施しています。喀痰吸引資格取得に関しては、訪問看護ステーションもみじに指導看護師在籍しており、安全な環境を整備し介護職の資格取得に向けて協力体制を整えています。介護職員全員の資格取得を目指しています。認知症研修に関しては、実践者研修および介護実践リーダー研修への参加を実施しています。

(4) 運営推進会議を軸とした、満足度調査及び事業所評価

運営推進会議とは、利用者家族代表、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質を確保することを目的に開催しています。2 か月に 1 回対面および WEB にて会議を開催しています。利用者家族との交流の場としての活用も行っています。

同施設内事業所間、職種間での連携やサービス提供内容に関して、一定の評価をいただいています。職員間のコミュニケーションや、職場環境の改善、ケアの質の確保に向けた研修体制の強化や風土作りを強化していく予定です。

(5) 研修・実習受け入れ、院内外研修

認定看護管理者教育課程セカンドレベル実習

厚木看護専門学校地域・在宅看護論Ⅰ実習 湘南平塚看護専門学校在宅看護論実習Ⅰ

認知症実践者研修 2 名修了、認知症介護実践リーダー研修 2 名修了

食品衛生責任者養成講習会 3 名修了、日本救急医学会認定 BLS コース 3 名修了 等

(文責 徳原 春香)

多機能型事業所にじいろ

1. 概 要

多機能型事業所にじいろは、主に医療的ケアが必要な重症心身障がい児者を対象とした通所サービスを提供しています。利用される方々は、乳幼児対象の「児童発達支援」、学童対象の「放課後等デイサービス」、成人対象の「生活介護」と、幅広い年齢層の受け入れをしています。また、重度の障がい等により外出が著しく困難な障がい児に対しては、ご自宅に訪問して発達支援を行う「居宅訪問型児童発達支援」のサービスも提供しています。

事業の運営においては、訪問看護ステーションもみじと一体となって支援することで、在宅生活の流れや状況を共有し、細やかなケアを継続しながら、安心して通える場を提供することをコンセプトにしています。

2. スタッフ構成

- 管理者 1名（サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者を兼任）
- 看護師 1～2名（訪問看護ステーションもみじ看護師がローテーション配置）
- 保育士 3名（常勤2名、非常勤1名）
- 理学療法士 1名（訪問看護ステーションもみじ理学療法士がローテーション配置）
- 運転手 1名
- 嘱託医 1名（とうめい厚木クリニック 小児科より）
- 事務職員 1名（マザーホーム戸室事務職員が兼任）

3. 活動内容

にじいろでは、以下にあげる「目指したい姿」の支援を心掛けています。

目指したいにじいろ	● 経験を通じ、心身の育み・生きる力を養う支援 ● 家族の想いに寄り添い心身共に支援 ● ガイドライン等を基準にした運営体制や基準の整備 ● 障がい児者と家族の住みやすい地域づくり ● 各専門分野の研鑽と協働力を高めよう ● 利用者支援を支える職員層の育成 ● 地域での情報共有と地域の支援力を高める
-----------	--

医療的ケアや障がいがあっても、それぞれの職種が専門性を活かし、利用される方々の心身を整え、「療育活動」に楽しく参加・体験することで成長発達を支援しています。

また、もみじと連携を密にしながら、ご本人・ご家族がご自宅での生活が快適に安定して過ごせるように支援するとともに、充実した在宅サービスを受けられるように関係機関との支援体制づくりも行っています。

厚木市には、医療的ケアの必要な重症心身障がい児者を受け入れる事業所は少ないため、ご本人・ご家族の代弁者となり地域会議等に積極的に参加したり、地域に対する啓蒙活動も行っていきたいと考えています。

4. 活動実績

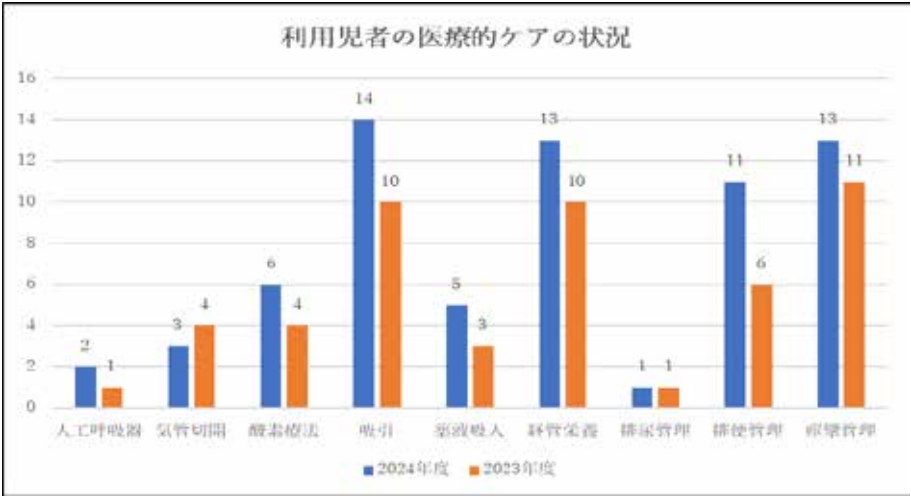
- 登録者（2025 年 3 月 31 日現在） ※全利用児者が重症心身障害認定

通所	訪問
児童発達支援 7 名 放課後等デイサービス 9 名 生活介護 3 名	居宅訪問型児童発達支援 0 名

- 2024 年度の延べ利用人数と前年度比較

	2024 年	2023 年
通所	988 人（月平均 80.2 人）	987 人（月平均 82.3 人）
訪問	42 人（月平均 3.5 人）	49 人（月平均 4.1 人）

- 2024 年度 利用児者の医療的ケアの状況と前年度比較



5. 2024 年度の取り組み

- にじいろ及び訪問看護もみじをご利用されている方々の各担当者が、個別支援計画更新の際に話し合いを持つ機会を設けたことで、家族も含めた生活状況等の把握を深めることで、支援の充実を図った。
- 支援職員（1 名）が喀痰吸引等研修（2 号）を終了し、看護師と協業して喀痰吸引及び栄養注入を行うことで、医療的ケア支援の充実を図った。
- 厚木市障がい者協議会のプロジェクト及び連絡会に参加し、現場で得た声や情報を届けるとともに、厚木市の障がい児者支援の推進事業等に参画した。

（文責 兼子 健）

訪問看護ステーションもみじ

1. 概 要

1999年3月16日に法人の第2番目の訪問看護ステーションとして発足し、2016年度より地域包括ケア社会の構築に向けて、複合型施設マザーホーム戸室へ移転しました。

訪問看護ステーションもみじ（以下、もみじ）では、ご自宅での療養生活を支援するため、お住まいに訪問し、小児・精神・難病・ターミナルなど幅広い疾患や年齢層を対象とした看護を提供しています。

24時間体制により、夜間や休日の緊急対応や、かかりつけ医師と連携することで、医療ケアが必要な方やご自宅での看取りまで対応可能です。厚木市より学校等訪問看護支援事業を受託し、さらに県の事業を活用し、医療的ケアのあるお子さんの通学支援を開始しています。また、県央地区の医療的ケア児等の相談業務を担い、支援者支援、地域支援等実施しています。

複合型施設の訪問看護ステーションとして、もみじ・看護小規模多機能型居宅介護事業いわしぐも（以下、いわしぐも）登録利用者の訪問看護以外に、いわしぐもや多機能型事業所にじいろ（以下、にじいろ）の通い時の看護ケアやリハビリ、サービス高齢者住宅にお住まいの体調変化時の相談等、マザーホーム内事業所を横断しながら看護ケアに当たり、複合型施設の訪問看護の役割を担っています。

訪問看護とリハビリ職種が介護職種と協働し、地域の関係機関と連携に努めながら利用者やその家族を対象とした暮らし・生活を支える支援を考え柔軟に対応可能なステーションを目指しています。

2. スタッフ構成

管理者 1名（看護師業務兼務） 看護職 13名（もみじ・いわしぐも・にじいろ兼務）
理学療法士・作業療法士 3名（もみじ・いわしぐも・にじいろ兼務）

3. 活動内容

（1）複合型施設の訪問看護ステーションとしての同一敷地内職員配置

もみじに在籍する看護師・理学療法士・作業療法士を、訪問看護業務だけではなく、限られた人員体制の中でも同一敷地内事業所に配置することで、それぞれが専門性を発揮しています。事業所間連携を強化し協働していくことで、柔軟な情報共有と突発的な対応や複雑なケースにおいても迅速に対応できる体制を築いています。訪問看護ステーション本来の機能を維持するために、時間の工夫や業務改善を行いながら、訪問件数の制限はせず地域のニーズに応えられるよう努力しています。

（2）労働環境改善に向けた継続的な取り組み

訪問看護ステーション本来の業務だけではなく、複合型訪問看護ステーションの役割を担う

ことで、看護師業務量や業務の煩雑化は継続的な課題となっています。さらに、近年の社会情勢や令和6年度診療報酬改定において、看護業務の負担の軽減に資する十分な業務管理が事業所には求められてきています。そのため、ICT活用による業務の効率化、業務の見直しと改善、公休の取り方の工夫、夜間対応した場合の翌日の勤務配慮等、試行錯誤しながら体制整備をしています。

実際に働く職員での意見交換を大切に、職員の理解と納得が得られる体制整備をしていくことで一体感が生まれ、職員の定着に繋がるというプラスの連鎖となっています。

(3) 医療的ケア児に向けた事業展開

もみじでは、以前より医療的ケア児等の受け皿としての役割を担えるよう尽力しています。厚木市より学校等訪問看護支援事業を受託し、日常的に医療的ケアが必要な児童への市内中学校への訪問看護を継続しています。さらに今年度は、支援学校のバス通学が困難な医療的ケアを必要とする利用者に向けた、県の通学支援事業を受託し、対象となるもみじ利用者へ通学支援事業を開始しています。

(4) 訪問看護実習・研修の受け入れ：湘南平塚看護専門学校、神奈川工科大学看護科

神奈川県看護協会訪問看護養成講習実習

小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修

認定看護管理者教育課程セカンドレベル実習

・院外研修講師：医療的ケア教員講習会

医療的ケア児等コーディネーター養成研修講師

・所外活動：厚愛訪問看護ステーション会/県央地区訪問看護ステーション会

厚愛地区小児等在宅医療連絡会/県央地区訪問リハビリテーション連絡会

訪問看護推進委員会

一貫した療育プロジェクト会議

障害者自立支援会議

・地域支援者育成活動：医療的ケア児等県央ランチ相談業務

神奈川県医療的ケア児等の会議参加

海老名市保育所への継続的な介入

初任者研修講師協力

介護職員等の喀痰吸引等のための看護師指導者伝達講習会講師

県央ランチ研修会保育所での医療的ケア児に対する支援の講師

支援学校向け小児看護ステップアップ研修講師

児童相談所向け「医療的ケア児への支援」講師

地域事業所への1.3号介護職等喀痰吸引等業務の実地指導

(文責 今堀 亜紀)

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

1. 概 要

2024 年の実績は、10 月に入所の在宅復帰・在宅療養機能指標が 70 点を超え、超強化型老健になりました。開設よりコツコツと実績を重ね、令和 5 年に強化型、令和 6 年に超強化型と、スタッフの努力により着実にステップアップを図ることができました。老健施設の機能を活かし、入所者の在宅復帰を推進するという老健施設の役割を今後も果たして行きたいと思います。

通所リハビリテーションは、利用者の人数を飛躍的に伸ばすことができました。居宅介護支援事業所はケアマネ 4 名体制にし、特定事業所加算Ⅱを取得し、機能強化と利用者の増員を行いました。訪問リハビリテーションはリハビリスタッフの欠員により利用者を増やすことができませんでした。

いずれの事業も実績数の伸びしろはあるため、次年度は利用者実績を伸ばし、全体収支も改善を図るべく努力してまいります。

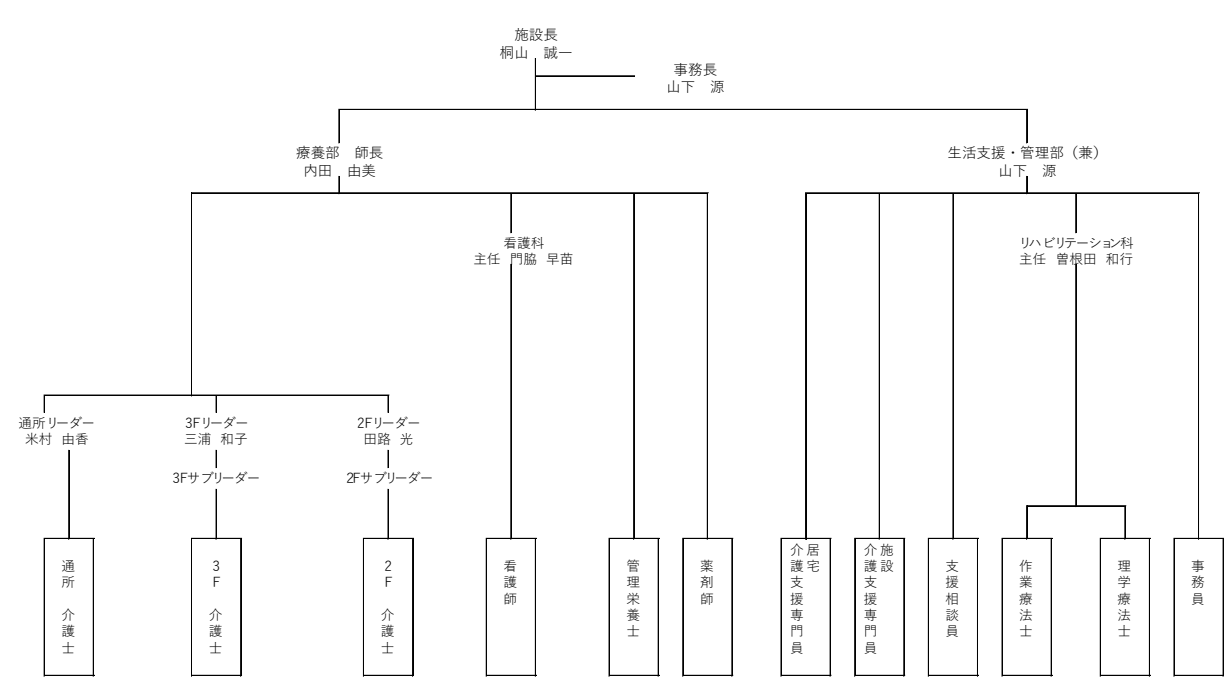
(文責 山下 源)

2. スタッフ構成

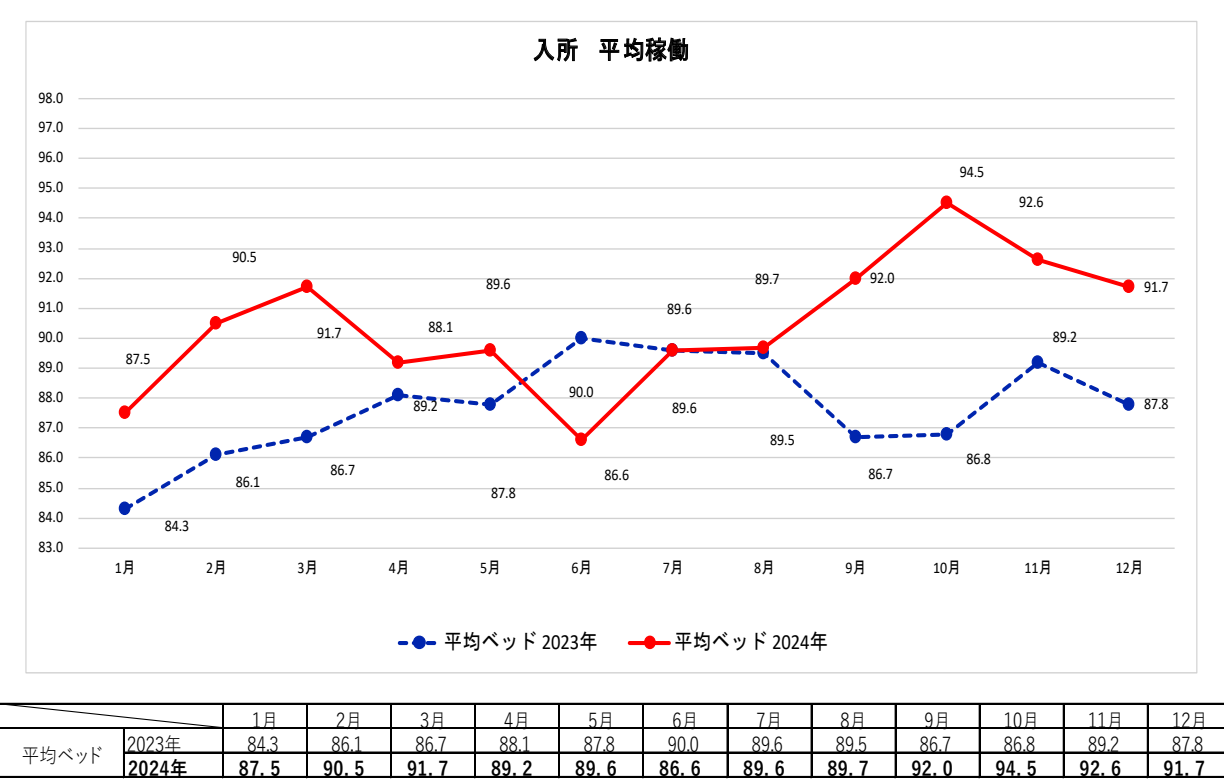
施設長	桐山 誠一
事務長	山下 源
看護師長	内田 由美

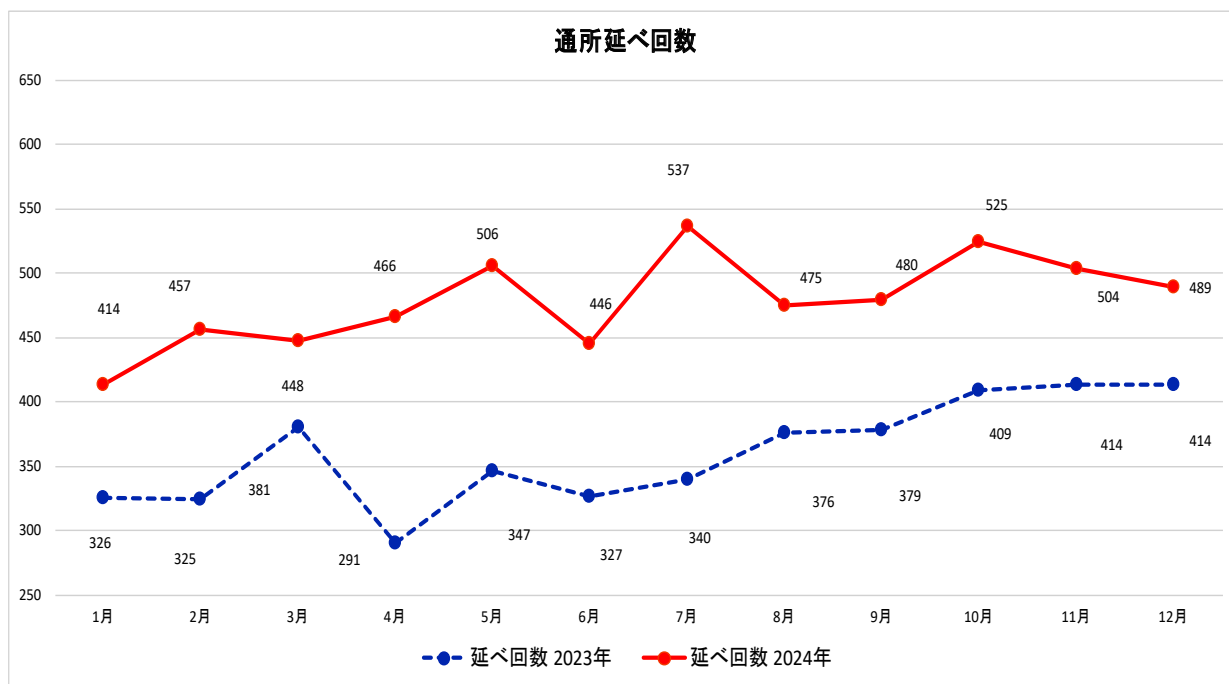
医師	1 名
看護師	16 名 (内パート 5 名)
管理栄養士	1 名
入所介護職	36 名 (一般等 18 名 認知症専門棟 18 名) (パート 3 名)
通所介護職	12 名 (内パート 4 名)
リハビリ職	11 名 (理学療法士 6 名 作業療法士 4 名 言語聴覚士 1 名)
支援相談員	1 名
施設ケアマネジャー	2 名
事務員	4 名
運転手	4 名 (パート)

3. 組織図

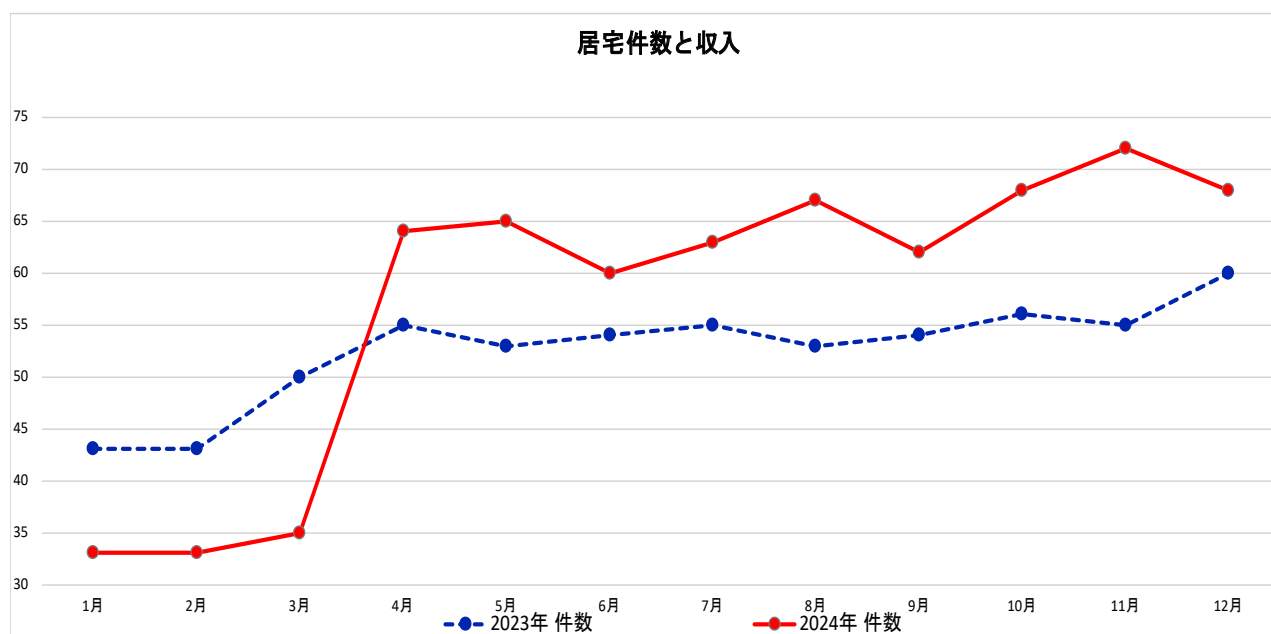


4. 事業別実施データ

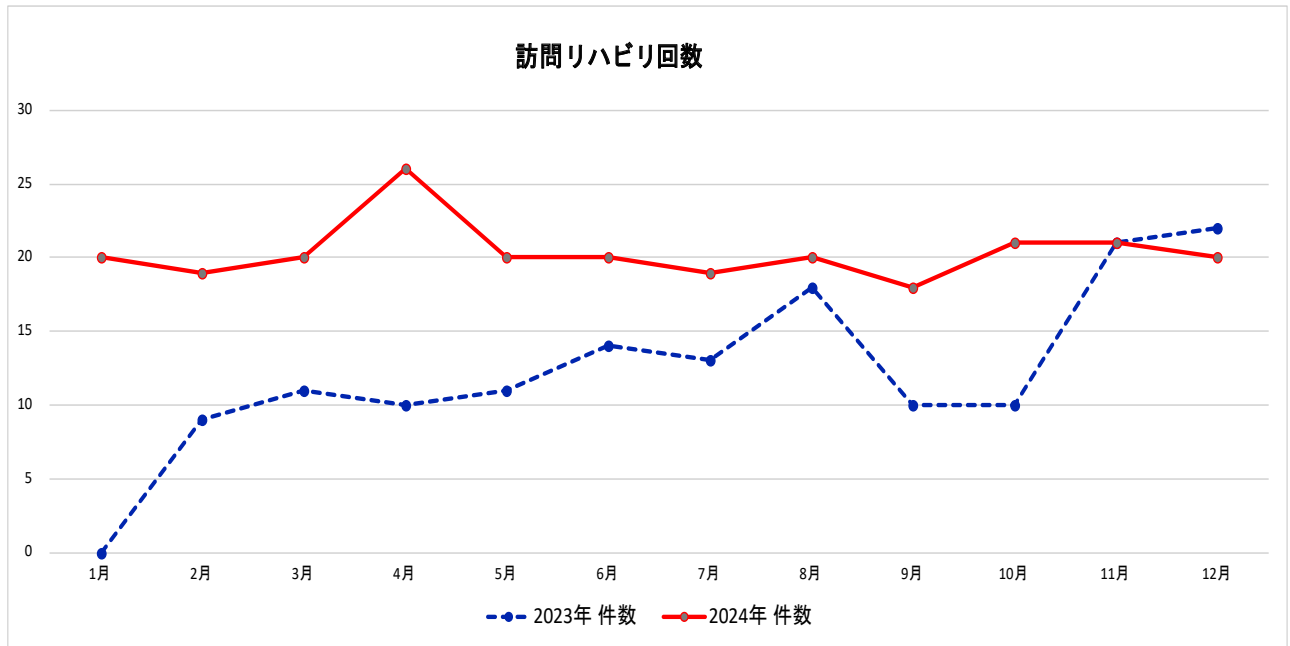




		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延べ回数	2023年	326	325	381	291	347	327	340	376	379	409	414	414
	2024年	414	457	448	466	506	446	537	475	480	525	504	489



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	件数	43	43	50	55	53	54	55	53	54	56	55	60
2024年	件数	33	33	35	64	65	60	63	67	62	68	72	68



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	件数	0	9	11	10	11	14	13	18	10	10	21	22
2024年	件数	20	19	20	26	20	20	19	20	18	21	21	20

東名厚木メディカルサテライトクリニック 総合健診センター

1. 概 要

東名厚木メディカルサテライトクリニックは、2022年6月に開設30周年を迎えました。開設当時、健診に注力する病院は少なく、予防医療の重要性を先読みしての開設でした。現在は人間ドック、企業健診、住民健診、各種がん検診、出張健診など厚木市をはじめ様々な市町村在住の受診者約70,000人弱に達し、これも30年という歴史の積み重ね故だと思います。

1992年に開設当初、現所在地に東名厚木メディカルサテライト総合健診センター・透析センターとしてスタート。2001年に3号館1階へ移転、2008年に開設当初の建物を増築して移転、現在に至っています。2005年には日本人間ドック学会の機能評価認定施設となりました。これは、人間ドックを実施する施設の中で、運営のための基本的体制・受診者の満足と安心・健診の質の確保・運営の合理性に関して、およそ100を超える項目について、複数のサーベヤー（評価基準に基づいて適切に評価できるよう養成された専門審査員）による、訪問審査を受審し、その項目一つ一つの基準を満たした評価点に達していることで、認定が認められるもので、全国に数多くある健診施設の中で、日本国内で433施設、神奈川県内では25施設だけが認定を現在受けております。認定施設として恥じぬよう、多様化したニーズに応えるべくサービス提供をできるようスタッフ一同努力しております。ひとりでも多くの受診者様の健康管理の責務を担い、精確な健診業務を、『お客様目線』に立ったサービス提供を使命に、引き続きTAMS職員一同取り組んで参ります。

2. スタッフ構成

院長 田中 浩史

職員	医 師	68 名	（常勤 3 名、非常勤 65 名）
	看護師	15 名	（常勤 10 名、非常勤 5 名）
	保健師	3 名	（常勤 1 名、非常勤 2 名）
	放射線技師	8 名	（常勤 4 名、非常勤 4 名）
	臨床検査技師	10 名	（常勤 7 名、非常勤 3 名）
	事務（クラーク含む）	49 名	（常勤 21 名、非常勤 27 名）

（文責 菊池 賢介）

1. 2024 年月別受診者実績表

	人間ドック	院内健診	出張健診	合計
1月	916	2,110	545	3,571
2月	936	2,417	1,079	4,432
3月	722	2,102	367	3,191
4月	943	2,423	6,124	9,490
5月	1,089	2,275	1,792	5,156
6月	1,074	2,727	1,260	5,061
7月	1,177	2,997	1,886	6,060
8月	1,160	2,479	2,965	6,604
9月	1,047	2,639	1,033	4,719
10月	1,252	3,790	2,843	7,885
11月	1,205	3,194	4,151	8,550
12月	1,085	2,480	846	4,411
合計	12,606	31,633	24,891	69,130

2. 年間総受診者数

10 年間の推移

	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年
人間ドック	11,215	11,133	12,131	12,228	12,641	10,115	13,049	12,423	12,698	12,606
院内健診	22,869	21,715	26,309	31,291	30,547	25,416	31,111	29,853	30,954	31,633
出張健診	15,869	14,959	14,231	23,689	24,676	22,349	24,774	27,179	27,111	24,891
合計	49,953	47,807	52,671	67,208	67,864	57,880	68,934	69,455	70,763	69,130

3. 人間ドック男女別受診者数

10年間の推移

	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年	2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年
男性	7,095	7,039	7,176	7,321	7,317	6,521	8,300	7,951	8,015	8,004
女性	3,911	4,094	4,071	4,120	4,255	3,594	4,750	4,484	4,683	4,602
合計	11,006	11,133	11,247	11,441	11,572	10,115	13,050	12,435	12,698	12,606

4. 厚木市住民がん検診受診者数

8年間の推移

	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 令和元年	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年
肺がん	1,696	1,720	1,710	1,561	1,606	1,448	1,445	1,576
大腸がん	1,516	1,542	1,488	1,433	1,432	1,293	1,316	1,238
前立腺がん	898	941	969	844	1,128	872	900	940
胃がん	301	277	230	198	262	202	221	187
乳がん	318	342	417	300	395	323	399	352
合計	4,729	4,822	4,814	4,336	4,823	4,138	4,281	4,293

新横浜メディカルサテライト

1. 概要

2015 年 12 月 11 日東名厚木に続き新横浜駅前に健診センターを開院し、9 年が経過しました。契約健康保険組合や事業所の増加に伴い受診者も増えてきました。横浜市がん検診、近隣事業所など地域の皆様に安心と快適な健診をご提供して参りたいと考えております。

新横浜について

新横浜駅は 1964 年東海道新幹線開業に伴い JR 横浜線との交点に開業された駅です。

「港町・横浜市の新幹線における玄関口となる駅」というのが一番有名かもしれません。その後 1985 年横浜市営地下鉄（ブルーライン）の開業、2008 年に地上 19 階・地下 4 階の駅ビル（キュービックプラザ新横浜）が完成し発展してきました。2019 年には横浜国際総合競技場（日産スタジアム）でラグビーワールドカップ決勝戦が開催、その他エンターテインメントイベントなどで賑わう場となっております。また横浜アリーナでは、二十歳の集い（約 2 万人参加）が行われました。その他ラーメン博物館はすでに広く知れ渡るところです。

近年では 2023 年 3 月に相鉄東急新横浜線、相鉄・東急相互乗入れが開始され、神奈川県央部および横浜市西部と東京都心部が直結、新幹線へのアクセスが向上し、新横浜の益々な発展に期待が膨らみます。2024 年 5 月には、同ビル 3 階フロアも拡張し、健診コースやオプション検査により実施フロアを振り分け、1 フロアでの受診が可能です。

また、人間ドック受診者への特典として提供している食事券の利用店舗も、2024 年 10 月よりこれまでの 3 店舗から、駅ビル内の飲食店での利用も可能になりました。今後は WEB を活用した「予約」「問診」「結果配信」の導入を予定しており、さらなるサービス向上を図り、新たな取り組みにチャレンジしています。

2. スタッフ構成

院長 橋口 隆之

医師 常勤 2 名 非常勤 23 名

職員 看護師 12 名（常勤 5 名、非常勤 7 名） 保健師 1 名（常勤 1 名）

放射線技師 6 名（常勤 2 名、非常勤 4 名） 臨床検査技師 7 名（常勤 4 名、非常勤 3 名）

事務 46 名（常勤 14 名、非常勤 32 名）

主な設備検査機器

胃部 X 線装置	2 台	上部内視鏡装置	2 列
胸部 X 線装置	2 台	超音波（腹・乳）	4 台
骨塩定量検査	1 台	超音波（経膈）	1 台
ヘリカル CT	1 台	マンモグラフィ	1 台

（文責 酒井 法史）

Yangon Japan Medical Centre

1. 概 要

2019年2月1日、Yangon Japan Medical Centre (YJMC) は、三思会初の海外拠点としてミャンマー連邦共和国ヤンゴン市に開院しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行やミャンマーの政情不安などで、2021年5月より約1年間休診、2022年8月より再開し、現在に至っています。

再開後は、在留邦人数が減少する中、日本で活躍する技能実習生等の派遣前健診を中心に業績を伸ばして来ましたが、2025年1月より海外就労者向け証明カード (Overseas Worker Identification Card: OWIC) の発行停止／制限、送り出し機関の1か月の申請件数制限などにより技能実習生等の健診件数も減少に転じています。

YJMCにとって厳しい状況ではありますが、原点に立ち返り、日系クリニックとしての強みを活かして、外来、健診できめ細かいサービスを提供すべく、利用者数の増加に向けて注力しています。

● ミャンマーについて

東南アジア諸国連合 (ASEAN) 加盟国。人口は5,114万人(2019年推計 (ミャンマー入国管理・人口省発表))。国土面積は日本のおよそ1.8倍で首都はネピドー。公用語はミャンマー語 (ビルマ語)、135の民族がいる多民族国家で、人口の7割がビルマ族です。

2. スタッフ構成

職員 医師	5名 (ミャンマー人 常勤1名、非常勤4名)
看護師	2名 (ミャンマー人 常勤1名、非常勤1名)
ヘルスケア・アシスタント	2名 (ミャンマー人 常勤2名)
薬剤師	2名 (ミャンマー人 常勤1名、非常勤1名)
放射線技師	3名 (ミャンマー人 常勤2名、非常勤1名)
検査技師	2名 (ミャンマー人 常勤1名、非常勤1名)
事務	6名 (日本人1名、ミャンマー人常勤5名)

2024 年度月別受診者実績表

	外来	健診	合計（人）
4 月	131	705	836
5 月	191	982	1, 173
6 月	173	842	1, 015
7 月	165	689	854
8 月	197	693	890
9 月	184	754	938
10 月	182	825	1, 007
11 月	177	654	831
12 月	179	693	872
2025 年 1 月	168	645	813
2 月	108	382	490
3 月	108	474	582
合計	1, 963	8, 338	10, 301
割合	19%	81%	100%

（文責 松田 俊夫）

透析センター

1. 概 要

主要設備

透析装置・ベッド 52 床、入院装置・ベッド 5 床

超音波診断装置

電子カルテシステム、透析情報管理システム

2. スタッフ構成（2025 年 3 月末時点）

透析センター センター長 大山 聡子

医師 外来室室長 平出 聡

職員 看護師 （常勤 17 名、非常勤 1 名、嘱託 1 名 内育休 2 名、休職 1 名）

臨床工学士 （常勤 11 名）、ケアワーカー（常勤 5 名）

事務 （常勤 5 名 内育休 1 名）、管理栄養士 （兼務 1 名）

理学療法士 （兼務 1 名）

3. 活動内容

2024年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
外来透析回数	1679	1718	1648	1741	1723	1647	1670	1566	1736	1596	1520	1590	19834	1653
入院透析回数	124	110	133	128	156	152	119	144	162	155	127	130	1640	137
合計	1803	1828	1781	1869	1879	1799	1789	1710	1898	1751	1647	1720	21474	1790

外来 52 床、入院 5 床で運営を行っています。月・水・金の 2 部は 22 時までの透析を行い、火・木・土の 2 部については 19 時までの透析に対応しています。また入院患者については、入院用の 5 床のベッドのみならず、感染症の患者には病棟に上がり透析をする出張対応も行っています。

2025 年度からは東名厚木病院の緩和ケア病床増床のため、外来化学療法室移転が必要となり、透析センターのベッド数を 52 床から 35 床へ減少する事となります。減少のため、透析センターより 25 名程度の患者がとうめい栄町クリニックへ異動する予定です。また第 1 事業部、第 5 事業部との機能的な結合をした組織である慢性腎臓病総合医療センターを設置し、あらゆる腎代替療法に対して展開していく予定です。

（文責 星 信昭）

愛川クリニック

1. 概 要

主要設備

透析装置・ベッド 38 台

エックス線撮影室

超音波診断装置（心臓・胸腹部・頸部・シャント）ABI

電子カルテシステム

透析情報管理システム 等

2. スタッフ構成

院長 村本 将俊（人工透析科）、常勤 1 名（小児科）、非常勤 13 名

職員 看護師 （常勤 10 名）

ケアワーカー （常勤 6 名）

臨床工学士 （常勤 6 名）

事務 （常勤 5 名）

ソーシャルワーカー（兼務 1 名）

管理栄養士 （兼務 1 名）

3. 活動内容

愛川町には透析施設が無かったことから、2013 年 1 月 7 日に開院し 12 年が経ちました。地域医療に貢献し、信頼される医療機関を目指し人工透析と小児科を実施しています。現在、99 名の透析患者さんが外来透析を実施しています。また、小児科は愛川町には少ないため、乳児検診や予防接種を積極的に受け入れております。里帰り出産されてしばらく実家で過ごす他県のお子さんも安心して予防接種を受けられるよう取り組んでおります。そのため、年々、受診される患者数が増えています。新型コロナウイルス感染症の影響で一時は患者数が 3 分の 2 まで激減しましたが、現在は感染対策をしっかりと行いながら透析と共に、今後も愛川町を中心に地域医療に努めてまいります。

（文責 松本 由美）

とうめい綾瀬腎クリニック

1. 概 要

主要設備

透析装置・ベッド 35 台
エックス線撮影室
超音波診断装置（心臓・腹部）
電子カルテシステム
透析情報管理システム
患者送迎車 4 台 等

2. スタッフ構成（2025 年 3 月末時点）

院長 田村 博之
医師 非常勤 1 名
職員 看護師 （常勤 8 名）
臨床工学士 （常勤 6 名、非常勤 1 名）
ケアワーカー （常勤 5 名）
ドライバー （非常勤 3 名）
事務 （常勤 4 名、嘱託 1 名）
管理栄養士 （兼務 1 名）
理学療法士 （兼務 1 名）

3. 活動内容

綾瀬市や透析患者会の強い要望があり、2017 年 3 月 1 日に綾瀬市初の人工透析施設としてスタートし 9 年目を迎えました。当初は 1 部のみで行っていましたが、2022 年 1 月より全ての曜日で 2 部透析を開始しました。その後、綾瀬市をはじめ藤沢市、海老名市、座間市大和市などから順調に患者さんは増え、現在では 85 名の透析患者さんが当院を利用しています。また近隣にお住まいの外来患者さんも増えてきています。

2025 年度からは田村院長がとうめい栄町クリニックに異動するため、寺田 典生医師が三思会に入職し、当院長に就任いたします。

これからも綾瀬市を中心に地域医療に努めてまいります。

（文責 末永 孝司）

とうめい厚木クリニック

1. 概 要

2024 年は新型コロナウイルス感染症が 5 類移行後 1 年経過し、発熱外来の在り方を再構築してきましたが、インフルエンザとともに 1 年を通して検査や治療が必要な患者さんが絶えない年ではありました。その他、地域からの紹介も増え、患者数は増加の一途で、信頼される高度医療クリニックならびにかかりつけクリニックとして認知されてきています。法人の入口部門として東名厚木病院へ入院数も着実に増加しており、今年も目標の月間 260 名を大きく上回る患者数を確保できました。病院の入院経路としてはクリニック経由が 50%を上回り、まずは最低限の目標は達成できたと思っています。

がん検診は、2022 年から肺がん検診を採用し、伊勢原市の乳がん、子宮がん検診の受け入れも行い、すべてのがん検診が可能となりました。今年は胃がん、乳がんなどが前年より減少しましたが、その他のがん検診は昨年同様の受検数を確保できました。今後は当院で一括して受診できる体制があることを多くの患者さんに案内周知するとともに、かかりつけ患者さんには、特定検診をどう誘導していくかが課題と考えています。また WEB による予約方式を拡大する方針です。

2024 年は DX 化を進めた年でもありました。マイナ保険証によるオンライン資格確認患者数も増加し、40%を超えてきています。さらにはオンライン処方箋なども国の施策として急速に進めて来ており、当院としても迅速に対応していく必要があります。

また医療の高度化、高い医療水準に沿った標準治療を行うことも必須のことであり、各診療科の専門性と質向上に努め、各種検査機化の更新、新規導入なども行っていました。今後も、幅広い専門診療科とかかりつけ医機能を備えた地域密着型クリニックを目指し、精進していきたいと思っています。

(文責 河野 昌史)

2. スタッフ構成

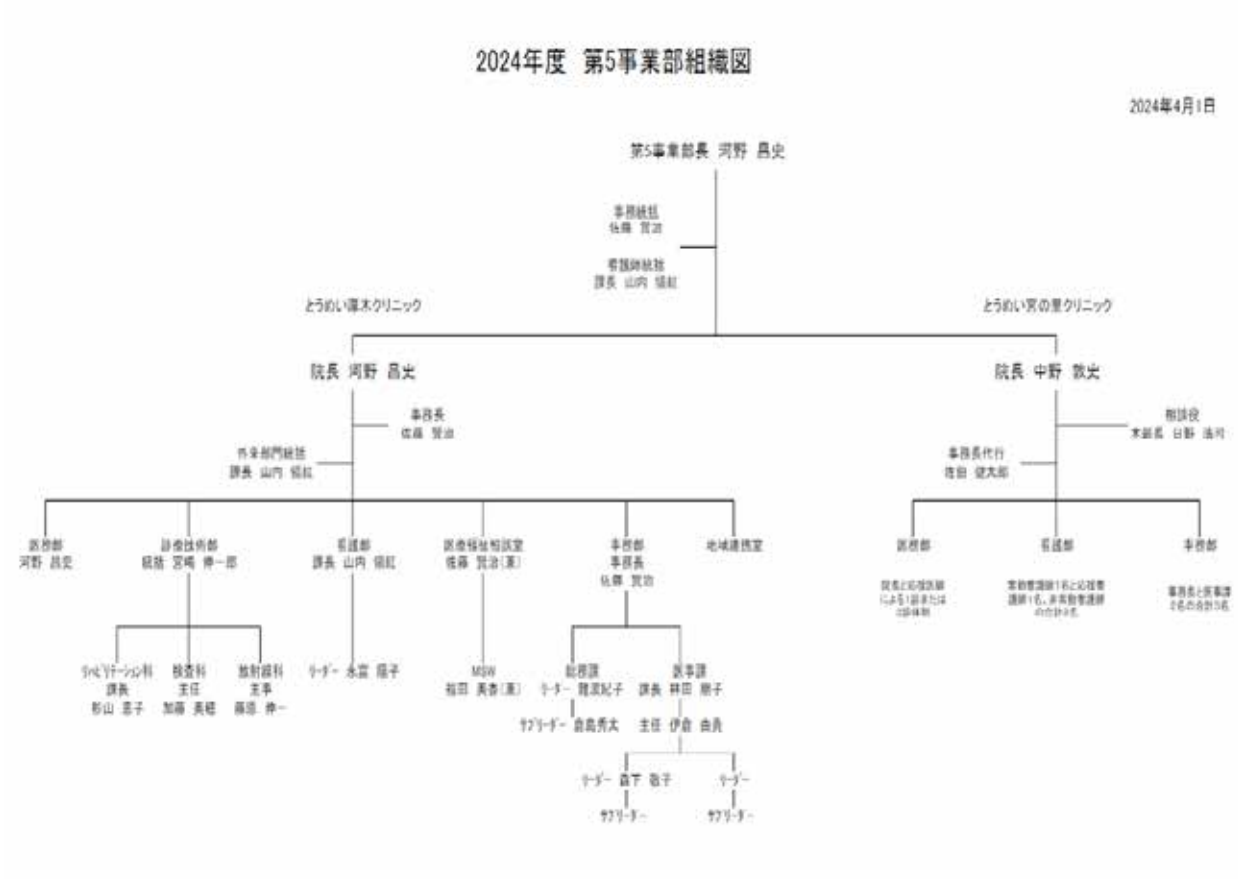
院長	河野 昌史
事務長	佐藤 賢治
外来部門統括課長兼看護部課長	山内 領紅
リハビリテーション科課長	杉山 恵子
医事課課長	林田 朋子

医師	常勤	4 名	非常勤医師	84 名
看護部		35 名		
放射線技師		1 名		
検査科		14 名		

リハビリテーション科	7 名
ソーシャルワーカー	1 名
事務部	32 名

3. 組織図

2024 年度　とうめい厚木クリニック組織図



4. 業務実績

検査科

活動実績（採血件数、生理検査件数）

採血件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年度	3,612	3,425	3,862	3,626	3,528	3,688	3,687	3,478	3,662	3,895	3,589	3,897
2024年度	4,031	3,909	3,995	4,160	3,799	3,911	4,287	3,945	4,089	4,037	3,815	4,233

生理検査件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年度	1,469	1,583	1,691	1,545	1,567	1,673	1,827	1,634	1,649	1,601	1,543	1,592
2024年度	1,676	1,635	1,698	1,822	1,616	1,639	1,978	1,756	1,773	1,715	1,677	1,865

リハビリテーション科

疾患別リハビリ・物理療法及び消炎鎮痛件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
疾患別	2023年度	682	716	744	730	749	628	672	633	643	687	717	744
	2024年度	726	721	746	820	850	827	856	814	811	754	782	819
消炎鎮痛	2023年度	401	390	434	394	374	314	326	356	347	339	333	371
	2024年度	384	380	360	418	386	330	362	356	346	339	307	301

医療福祉相談室

相談内容・件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	集計
件数	新規	21	23	25	34	27	29	34	28	21	37	33	20	332
	総件数	111	121	109	134	138	109	119	105	103	131	122	103	1405
診療科目別件数	総合診療科・内科	8	17	15	25	21	14	16	10	5	14	10	17	172
	消化器科	2	4	4	9	13	25	9	6	8	4	4	3	91
	呼吸器科	10	9	4	15	18	8	13	9	4	9	5	9	113
	糖尿病・内分泌科	1	4	1	0	1	0	0	1	2	3	3	1	17
	腎・糖尿病科	13	17	14	10	8	5	9	7	9	11	19	7	129
	循環器科	18	7	11	8	11	3	4	2	11	16	14	6	111
	脳神経内科	6	3	4	10	10	10	9	15	5	5	7	3	87
	小児科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	泌尿器科	3	1	7	1	0	3	6	4	9	9	7	9	59
	心身内科	1	5	1	7	1	3	2	1	3	1	3	3	31
	婦人科	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	整形外科	13	10	13	7	8	10	6	14	19	17	15	10	142
	外科	2	4	7	8	3	2	7	10	2	2	2	1	50
	乳腺外科	0	0	0	2	1	6	3	0	0	3	4	4	23
	脳神経外科	4	6	8	11	18	7	16	6	8	10	9	8	111
	血管外科	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	5
	形成外科	13	12	8	12	13	8	6	7	5	8	5	6	103
	眼科	2	0	2	4	4	2	2	6	2	9	4	4	41
	皮膚科	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	5
	耳鼻咽喉科	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	8
	救急科	1	2	0	1	0	1	1	1	2	1	1	0	11
	緩和ケア内科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	紹介外来	3	4	0	2	1	1	4	3	3	3	1	0	25
	訪問診療	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	4
	その他	7	16	10	1	5	0	2	2	4	5	4	3	59
業務集計分類	心理・社会的問題	80	67	73	86	90	65	75	71	68	83	73	57	888
	受診・受療	73	93	76	82	94	77	80	69	64	87	93	72	960
	経済的問題	8	10	6	9	11	7	4	8	9	6	14	6	98
	家族への支援	1	5	5	7	1	3	4	3	9	5	1	1	45
	社会復帰支援	0	0	1	0	3	5	1	1	1	0	0	0	12

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般撮影	1990	2136	1986	2246	1874	1977	2084	2039	2062	2058	1977	2067	24496	2041.3
TV室（骨塩含）	93	117	107	137	90	108	130	153	149	177	158	200	1619	134.9
マンモ	86	69	93	146	146	164	206	183	147	102	146	109	1597	133.1
MRI	229	233	245	242	244	207	231	234	252	243	253	270	2883	240.3
CT	716	704	675	718	680	700	783	738	708	780	784	774	8760	730
心臓CT（内訳）	23	25	18	25	25	20	26	27	26	21	22	29	287	23.9
総件数	3137	3284	3124	3514	3059	3176	3460	3374	3344	3381	3340	3449	39642	3303.5
総患者数	2785	2875	2788	3123	2765	2257	3175	2749	2998	3046	3007	2830	34398	2866.5

5. 委員会

委員会	医療安全リスクマネジメント委員会	院内感染対策委員会	衛生委員会	防災委員会
目 的	・現場から提出されるインシデントレポートについて検討を行う ・インシデントに対してとられた対策を共有する ・患者のクレーム、意見についての対応	・感染防止対策の実施 ・感染症の発生状況、抗菌薬の使用状況等についての報告を行う	・職員の安全衛生について法令順守が維持されているかの視点で話し合いを行う ・現場の巡視点検を行う	・年2回の避難訓練・防災訓練を実施する ・災害対策、防災対策
◎委員長 △招集係	◎ 山内 領紅 看護部 小林 美紀 看護部 有崎 美由紀 検査科 小脇 翼 医事課 四宮 明宏 リハビリテーション科	◎ 河野 昌史 院長 菊池 良太 リハビリテーション科 山本 映水子 看護部 △ 星野 麻衣 医事課 笹谷 早苗 検査科	◎ 河野 昌史 院長 宮嶋 伸一郎 医務部(衛生管理室) 佐藤 賢治 事務長 杉野 森 奈未 検査科 細川 紗也佳 看護部 菅井 ゆう子 医事課 △ 倉島 秀太 総務課 日野 浩司 産業医	◎ 宮嶋 伸一郎 医務部 佐藤 賢治 事務長 四宮 明宏 リハビリテーション科 後藤 陽子 看護部 山中 雄太 検査科 森 杏樹 医事課 安藤 真衣子 医事課 △ 倉島 秀太 総務課
定期開催	1回/月(第2月水 16:00～)	1回/月(第1月もしくは第2月 13:15～)	1回/月(第3木 16:30～)	1回/月(第4木 16:00～)

委員会	編集委員会	精度管理委員会
目 的	・毎月のどうもいニュースの発行に関すること企画し、完成させる ・どうもいニュース発送業務 ・病院とどうもい号の年1回の記事担当	・臨床検査実施に伴う精度管理及び症例検討、業務を円滑に実施するための具体案の検討、立案、協議決定を行うこと
◎委員長 △招集係	◎ 杉山 恵子 リハビリテーション科 内田 百香 検査科 谷口 奈津 看護部 工藤 史夏 医事課 齊藤 みどり 総務課	◎ 高橋 純子 検査科 佐口 武史 医務部 三木 祥子 看護部 △ 山下 未菜美 医事課
定期開催	1回/月(最終金 15:30～)	年3回

6. 協力大学医局（50 音順）

- ・ 北里大学眼科
- ・ 北里大学産婦人科
- ・ 北里大学精神科
- ・ 北里大学脳神経内科
- ・ 北里大学泌尿器科
- ・ 北里大学皮膚科
- ・ 杏林大学形成外科
- ・ 聖マリアンナ医科大学病院代謝・内分泌科
- ・ 聖マリアンナ医科大学病院乳腺外科
- ・ 聖マリアンナ医科大学病院脳神経内科
- ・ 東海大学呼吸器内科
- ・ 東海大学産婦人科
- ・ 東海大学耳鼻咽喉科
- ・ 東海大学循環器内科
- ・ 東海大学消化器内科
- ・ 東海大学乳腺外科
- ・ 東京医科大学呼吸器内科
- ・ 東京女子医科大学整形外科
- ・ 富山大学第 1 外科
- ・ 富山大学第 2 外科
- ・ 富山大学脳神経外科

（文責 難波 紀子）

とうめい宮の里クリニック

1. 概 要

とうめい宮の里クリニックは、2022 年 11 月 1 日に厚木市宮の里に開院致しました。

2020 年 3 月まで同所にあった旧クリニックが閉院したことから、地域住民よりクリニック再開の強いご要望を受け、三思会が厚木市の生活利便施設立地促進補助金第一号としてこの地に開院することになりました。

東名厚木病院、とうめい厚木クリニックと情報を共有し、連携することで地域の皆様へ質の高い医療を提供しています。また、福祉施設や他医療機関等と連携することで、幅広いサポートができるよう取り組んでいます。

当院では、放射線装置を設置しており一般撮影の検査ができます。200 種程度の薬は院内処方し、それ以外は院外処方を行います。検体検査は東名厚木病院にて検査を行い翌日以降に検査結果の説明を行います。

2. スタッフ構成

院長 中野 敦史

医師 6 名（非常勤医師含む）

看護師 3 名（非常勤看護師含む）

事務 3 名（常勤）

3. 活動内容

一般撮影 X 線装置 1 台

超音波（腹部・乳腺）装置 1 台

眼底写真撮影装置 1 台

心電計 1 台

視力検査機器 1 台

聴力検査機器 1 台

眼底写真撮影装置 1 台

（文責 佐伯 健太郎）

編集後記

1月石川・能登で震度7の津波被害、第100回箱根駅伝は青山学院大が2年ぶり7度目の総合優勝を果たしました。3月北陸新幹線、金沢―敦賀間延伸開業、7月日本銀行、20年ぶりに新紙幣発行、パリ五輪大会にて日本は金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個を獲得。金、総数ともに海外の夏季五輪では過去最多となりました。9月大谷翔平、米大リーグ初「50本塁打・50盗塁」2年連続の本塁打王に輝きました。ドジャースはヤンキースを破り、ワールドシリーズ制覇を果たしました。11月プロ野球の横浜DeNAベイスターズが福岡ソフトバンクホークスを破って26年ぶり3度目の日本一に輝きました。

三思会の皆様、この1年お疲れ様でした。年報のタイトルは「東名厚木病院」ですが、「三思会」としての年報を意識しています。各施設各部署よりこの1年の活動報告がされています。これを一つの区切りとしてさらなる成長、発展を祈願します。

編集委員

委員長	鬼塚 圭一郎	(医務部)
委 員	橋本 健太郎	(リハビリテーション科)
	柏崎 康宏	(総務課)
	中尾 美幸	(看護部)
	阿部 京子	(診療情報管理室)
	千村 優介	(地域連携部)
	武尾 竜平	(管理部)
	吉田 貴和子	(管理部)

東名厚木病院 年報 第30号 (2024)

2025年10月1日 発行